

## 第4章 中世大友府内町跡第8次調査

### 第1節 調査の経緯

大友氏館跡  
御蔵場

中世大友府内町跡第8次調査区は、大分市中心部の東南にあたる大分市六坊北町に所在する。大分川左岸に位置しており、国道10号線とJR線が交差する万寿橋の西側にあたり、『大分市史』に掲載されている「戦国時代の府内復元想定図」によれば国指定史跡大友氏館跡の南外郭線の外、大友氏館と御蔵場の間の空閑地と想定される場所に該当する。また、中世大友府内町跡第5次B調査区とは調査区西側で里道をはさんで隣接しており、大友氏館跡南側の状況や、御蔵場との関係を知る上で重要な場所である。

第8次調査区は国道10号線とJR線に沿うように東西約100m、南北に10～20mに展開している。遺構検出面は、現地表面から近世・近代の水田・畑地層を除去した標高約4.4mである。遺構面としては1面であり、調査区西側で検出した近世の埋設窠が上半分を削平された状態で出土していることから、近世以降の水田開発に伴い調査区はかなりの削平を受けており、その結果、時間の異なる複数の遺構面が同一の遺構面で検出された可能性が高い。

この中世大友府内町跡第8次調査については、大分県教育委員会が大分駅周辺総合整備事務所の依頼を受け、平成12年度に実施することとなったが、第8次調査区は、周知遺跡である「中世大友城下町跡」内に存在するため、調査にあたってまず確認調査から開始する予定であった。しかし、すでに中世大友府内町跡第5次調査区において16世紀代に比定される遺構・遺物が確認されたこと、大友氏館跡の庭園遺構に隣接することなどから、この調査区内にも遺跡が展開している可能性が高いため確認調査は実施せず本格的な調査へと移行した。

調査は平成12年4月17日から平成13年3月27日の間実施したが、調査終了後に調査区内の埋め戻しを行うため、排土置場を用地内で確保しなければならず、そのために調査区を東西に分け(第495図)、まず、調査区東側から調査を開始し、埋め戻した後に西側の調査を実施する順序で、切り替えての調査を実施することとなった。

平成12年度前・中期調査区 (B18～25区・C18～25区・D18～25区)

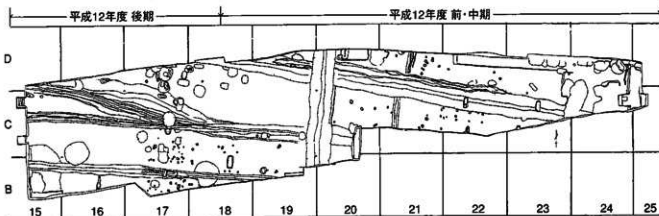
2000年4月～12月 調査面積 約1,600㎡

平成12年度後期調査区 (B15～18区・C15～18区・D15～18区)

2000年12月～2001年3月 調査面積 約400㎡

調査面積  
約2,000㎡

以上のように、調査期間は2000年4月から2001年3月までの12ヶ月であり、最終的な発掘調査面積は約2,000㎡であった。



第495図 中世大友府内町跡第8次調査区

## 第2節 遺構と遺物

### I. 遺構の概要と基本層序

#### 基本層序

中世大友府内町跡第8次調査区では、遺構検出にあたって現状が水田であることから、まず、バックホウを使用し表土である水田及び水田基盤層を掘り下げる作業から開始した。水田及び水田基盤層は0.3～0.5mほど堆積しており、その下層には、近世の遺物を含む灰色及び灰黄色砂質土が0.2mほど堆積することを確認した。この遺物を含む包含層については、近世と思われる集石遺構を確認したものの遺物も少なく、また、中世大友府内町跡に関わる明確な遺構は確認できなかった。さらにバックホウ及び人力で掘り下げを行った結果、この下層で遺構面を確認した。なお、この灰色及び灰黄色砂質土層については、その後の調査の結果、遺構面を覆うように第8次調査区全体に広がっていることから、包含層というよりも水田開発に伴う整地層の可能性が高い。

#### 遺構の検出

遺構の検出にあたっては、まず本遺跡の性格を把握するために調査区東端部に先行トレンチを設定し、遺構面の把握を試みたが、地山層は確認したものの明確な遺構面を把握するには至らなかった。そこで調査区北端にトレンチを設定し部分的に断ち割りを実施したところ、前述のように遺構面を1面確認した。本遺跡において出土した遺物は縄文時代から近世に至る各時代の遺物が出土しているが、遺構が主体的に検出される時期は、14世紀代から16世紀後半代の中世段階であり、これらの遺構はすべてこの面において検出したものである。このことは、複数存在したであろう遺構面が後世の水田開発の際に削平されたことを示すものであろう。

遺構検出の結果、まず調査区東では東西・南北方向に伸びる大型の掘り込み（後に堀 SD101、102、103）や土坑群等を、調査区西側では東西方向に伸びる掘り込み（後に堀 SD107）や土坑群、井戸跡などを検出した。しかし、遺構面が1面のため、遺構の切り合いで新旧の関係を把握できるものの、各遺構の時期については層位的に把握できないため、それぞれの遺構の時期については、出土した遺物によって比定せざるを得ない状況となった。

遺構面検出後は、調査区内に国土座標に乗せた10m×10mの方眼を設定し、遺構の掘り下げ及び調査を実施した。このグリッド及びグリッド番号については、中世大友府内町跡第5次B調査区の延長として設定し、それぞれの方眼を西から東へ15～25、南から北へB～Dの番号を付し、第5次調査区と同様に数字とアルファベットの組み合わせで各々の区画を呼称することにした。

#### 遺構について

第8次調査区は、前述のように大友氏館跡の南外郭線の外にあり、大友氏館と御蔵場の間の空間地と想定される場所である。そのため都市空間としての性格は不明であったが、調査の結果、本調査区は14世紀の大型土坑群、15世紀の大型溝状遺構、井戸跡、16世紀の大型溝状遺構、土塁状遺構、土坑群などで構成されることが明らかとなった。特に溝状遺構については大友館の外郭ラインに平行するグループ、主軸をやや北に振るグループに大別できること、14～15世紀の遺構が調査区西側に、16世紀の遺構が東側に集中すること、また、調査区東側の整地層より、中世大友府内町跡では初のキリシタン遺物であるコンタが出土するなど、当時の府内の様子や、大友氏館の成立や規模、町屋の変遷を考える上で重要な遺構を検出することができた。

なお、本遺跡における遺構の配置及び土層の堆積状況は、第497～499図である。また、本報告書で使用している遺構番号と発掘調査時に使用した遺構名称が異なるため、遺構一覧表（第5表）で整理を行った。

以下、遺構と出土遺物についての詳細を報告するが、遺構については溝、土坑、土塁、ピット、井戸の順に、遺物については出土した遺構ごとに掲載し説明を加えるが、一括遺物についてはその他遺物で説明を加える。また、説明についてはこの遺跡の主体が16世紀であることから、16世紀後半から14世紀代の順に行いたい。なお、縄文時代～古墳時代などの遺物については、いずれも遺構の埋土から出土したものであり、出土地点を把握するためにも、出土した遺構の項で説明を加える。

第5表 遺構一覧表

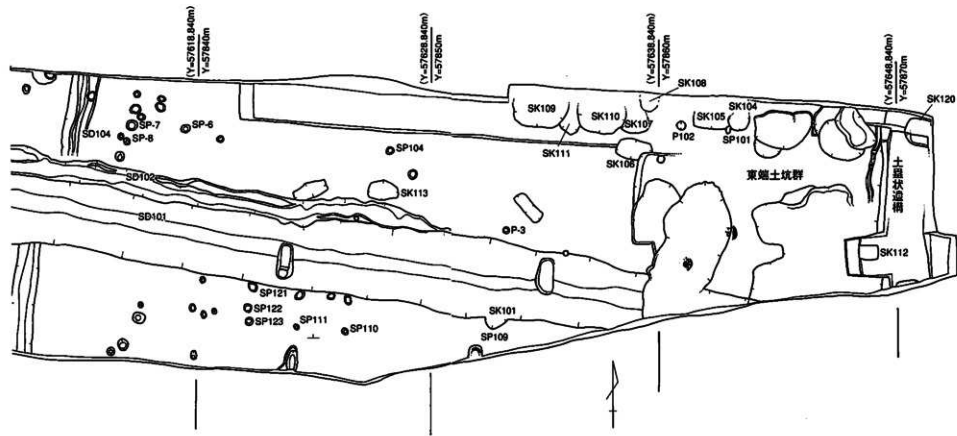
本報告での 遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	遺構の時期	特記事項	掲載頁
SK101	SK 1	土坑	C23	15世紀以降		439
SK102	SK 3	土坑	C19	15世紀以降		439
SK103	SK 4	土坑	C19	15世紀以降		439
SK104	SK 5	土坑	D24	16世紀末		431
SK105	SK 6	土坑	D24	16世紀末	京都系土師器	431
SK106	SK 7	土坑	D23	14世紀中～後葉		450
SK107	SK 8	土坑	D23	16世紀末		433
SK108	SK26	土坑	D23	16世紀末	京都系土師器	433
SK109	SK11	土坑	D23	16世紀末	京都系土師器・天目茶碗	434
SK110	SK 9	土坑	D23	16世紀末	黒輪陶器 京都系土師器・風炉	435
SK111	SK10	土坑	D23	16世紀末		438
SK112	SK13	土坑	C24	14世紀	在地系土師質土器	450
SK113	SK14	土坑	D22	14世紀?		451
SK114	SK15	土坑	D18	14世紀中～後葉		451
SK115	SK16	土坑	B18	15世紀前葉	在地系土師質土器	
SK116	SK17	土坑	D18	14世紀前葉	在地系土師質土器・托	452
SK117	SK18	土坑	D18	15世紀	在地系土師質土器	
SK118	SK19	土坑	D18	15世紀末		441
SK119	SK20	土坑	B19	14世紀	在地系土師質土器	454
SK120	SK22	土坑	D25	14世紀末～15世紀前葉	在地系土師質土器	
SK121	SK24	土坑	B19	15世紀	銅銭	446
SK122	SK27	土坑	B・C17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	455
SK123	SK28	土坑	B17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	457
SK124	SK29	土坑	B17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	458
SK125	SK30	土坑	B18	15世紀?		442
SK126	SK31	土坑	B18	15世紀?	銅銭5枚	442
SK127	SK32	土坑	C17	14世紀前葉	在地系土師質土器	459
SK128	SK33	土坑	C17	15世紀?		460
SK130	SK35	土坑	C17	15世紀		447
SK131	SK36	土坑	C・D17	14世紀後葉	在地系土師質土器	
SK132	SK37	土坑	D17	15世紀前葉		447
SK133	SK38	土坑	C・D18	14世紀?	在地系土師質土器	461
SK134	SK39	土坑	D17	14世紀?		463
SK135	SK45	土坑	D18	14世紀?		463
SK136	SK51	土坑	D18	14世紀?		463
SK137	SK40	土坑	D18	14世紀後葉	在地系土師質土器	463
SK138	SK43	土坑	D17・18	14世紀前葉		464
SK139	SK44	土坑	C17	15世紀前葉	在地系土師質土器	447
SK140	SK47	土坑	D17	14世紀後葉	在地系土師質土器	464
SK141	SK49	土坑	D17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	466
SK142	SK50	土坑	C17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	466
SK143	SK53	土坑	D17	14世紀中～後葉	在地系土師質土器	470
SK144	SK54	土坑	D16	15世紀末?		448
SK145	SK55	土坑	D18	14世紀中～後葉?		
SK146	SK56	土坑	C17	15世紀		
SK147	SK41	土坑	D18	15世紀	在地系土師質土器	449
SK148	SK42	土坑	B17	15世紀		449
SD101	SD01	溝状遺構	B・C・D18～24	14世紀末～15世紀前葉	在地系土師質土器・白磁皿	414
SD102	SD02	溝状遺構	B・C・D19～23	15世紀前葉	青磁皿	424
SD103	SD03	溝状遺構	B・C・D19～20	16世紀末	在地系土師質土器・地蔵菩薩・塔場	339
SD104	SD08	溝状遺構	B・C・D21	14世紀前半?	在地系土師質土器	429
SD105	SD06	溝状遺構	B15～19	15世紀前・中葉	在地系土師質土器・白磁皿	425
SD106A	SD07A	溝状遺構	C・D15～20	14世紀末～15世紀前葉	在地系土師質土器・白磁碗	426
SD106B	SD07B	溝状遺構	C15～20	15世紀前・中		
SD107	SX02	溝状遺構	D20	14世紀末～15世紀前葉		428
SD108	SD09	溝状遺構	C15	16世紀末		414
SX101	SX103	大型の掘込み	C20	16世紀末	京都系土師器	482
SX102	SX104	大型の掘込み	D21	14世紀後葉		483
SX103	SX106	大型の掘込み	B・C15	15世紀後葉		484
SE101	SE01	井戸	B18	15世紀末～16世紀第1四半期	常滑窯系壺	487
SE102	SE02	井戸	B・C16	15世紀後葉?	在地系土師質土器・白磁碗	481
土壘状遺構	土壘状遺構	土壘	C・D24～25	16世紀後葉～末		490
東堀土坑群	東堀土坑群	整地跡	C・D24	16世紀後葉～末	コンタ	470











※数値は旧日本測地系・括弧内は世界測地系による

第499図 中世大友府内町跡第8次調査区道構配置図 (1/200)



## II. 溝状遺構

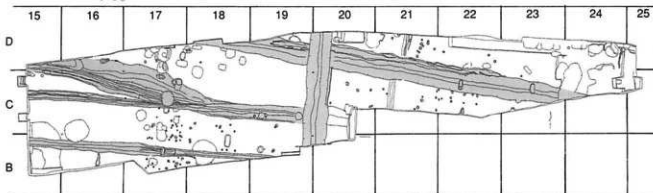
### 概要

中世大友府内町跡第8次調査区では、中世の溝状遺構として第500図のように東西方向に走る5本の溝状遺構と、(SD101、102、105、106A、106B)南北方向に走る4本(SD103、104、107、108)の溝状遺構を検出した。

東西方向に走る溝状遺構については、主軸を大友氏館跡の推定外郭ラインとほぼ平行するグループA(SD101、SD102、SD107B)と、やや北に振るグループB(SD106とSD107A)に大別することができる。出土した遺物からグループAは14世紀後葉～15世紀前葉、グループBについては15世紀後葉の所産と推定される。まずAグループであるが、SD101からは森田B類に比定される白磁や乗岡中世3期に比定される備前系統縮陶器播鉢や大甕、14世紀末～15世紀初頭に比定できる在地系土師器等が出土している。またSD102からは15世紀頃の遺物が出土した。SD106Bについては、14世紀後葉から15世紀後葉までの幅広い時期の遺物が出土したが、遺物の集中する調査区中央部分でSD106Aと重複しておりSD106のAとBで明確に遺物を区別することは困難であった。そこで他の溝との平行関係から、基本的には古い時期の遺物をSD106B、その他をBグループのSD106Aに伴うものと判断した。SD105についても幅広い時期の遺物が出土しているが、これも平行関係からSD106Aとほぼ同時期と判断、Bグループとした。南北に走る遺構については、切り合い関係や出土した遺物からSD104が14世紀前葉、SD107が15世紀後葉、SD103・SD108が16世紀代で、特に出土した遺物の中に明確に時期の比定できる涼州窯の青花皿やⅢ期の京都系土師器等が出土したSD103については1570年以降の所産と推定される。

16世紀の遺構の中で注目されるのがSD103である。溝というよりもその形状や規模から堀の可能性が高く、大友館の外郭ラインに直交するように主軸をとり大友館へと続く。今回検出した遺構の中で最大の規模を誇る。これに平行するように調査区西端でSD108を検出したが、調査区外に続くため一部確認しただけである。しかし、これらの遺構は16世紀後葉と推定される調査区東端の土器状の積土遺構から西へ約50m間隔(半町)でSD103、SD108と並ぶなど、かなり企画性が高く、大友館の南にあたることから大友館の一部若しくはそれに伴う何らかの施設もしくは区画遺構であった可能性が高い。次に、15世紀後葉の遺構であるが、東西方向に走るBグループのみであり、2つの遺構に挟まれた直線的に伸びる空間については、道路であった可能性が高く、14世紀～15世紀前葉の遺構であるAグループについても同様であるが、SD101については堀状の遺構であり、また、ほぼ同時期の南北方向に伸びるSD108が、SD101と同様の形状を示すなど、道路に伴うというより屋敷もしくは施設にともなう遺構の可能性が高い。

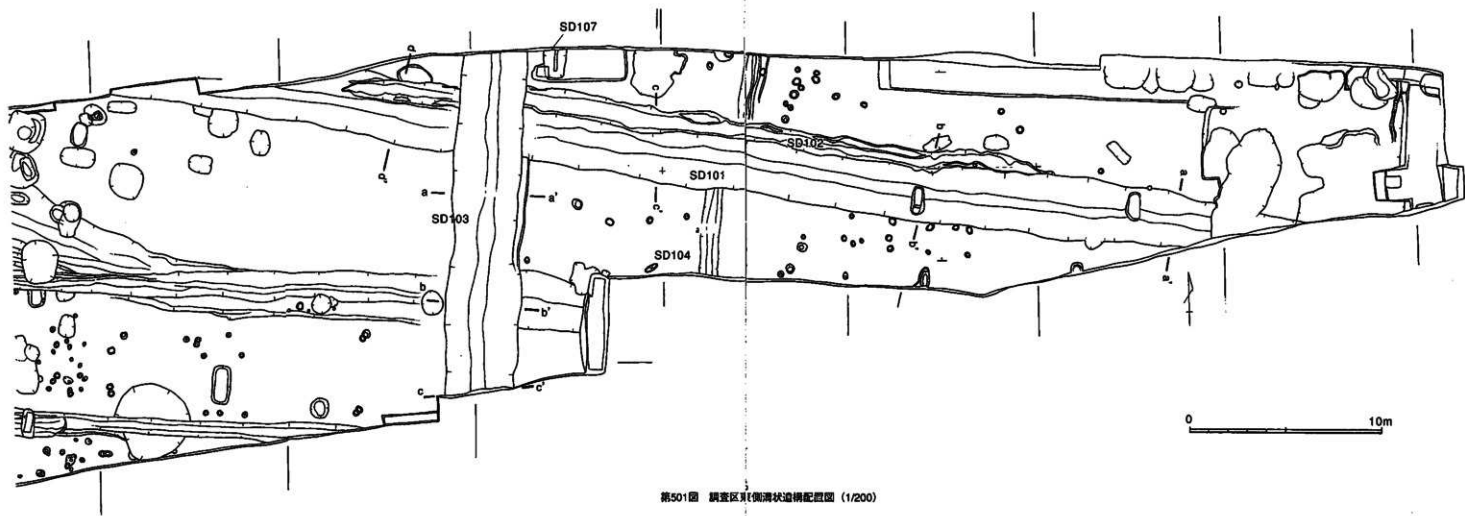
ここでは、第8次調査区で検出した溝状遺構の内、中世の9基について報告をするが、中世大友府内町の最盛期が16世紀であることから、16世紀を中心に時代を遡りながら、説明を加えることとする。



第500図 中世大友府内町跡第8次調査区溝状遺構分布図

307  
306  
①

307  
306  
①



3

307  
306  
②

307  
306  
②

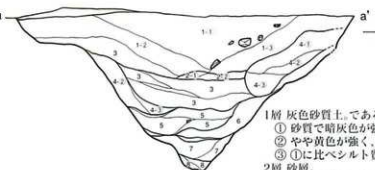


391  
392  
①

391  
392  
①

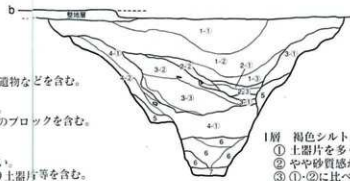
391  
392  
②

4,000m a



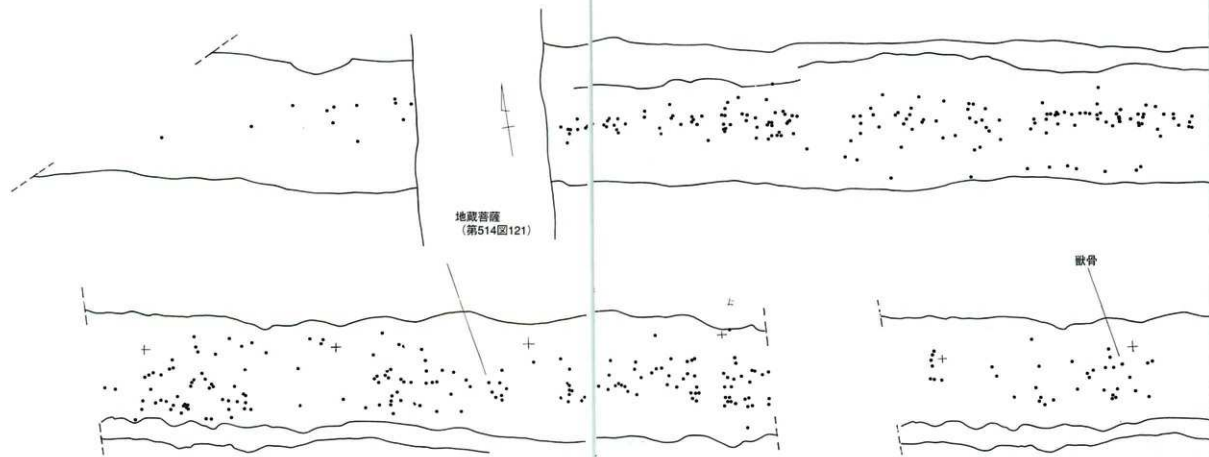
- 1層 灰色砂質土である。季大の礫や遺物などを含む。  
 ① 砂質で暗灰色が強い。  
 ② やや黄色が強く、きめが細かい。  
 ③ ①に比べシルト質が強く、褐色のブロックを含む。
- 2層 砂層。  
 ① きめが粗くしまりはない。  
 ② サラサラしており、粘質等はない。
- 3層 褐色土砂質シルト。しまりがあり土層片等を含む。
- 4層 黄褐色砂質シルト。しまりがある。  
 ① 黄褐色のブロックや礫、土層片等を含む。  
 ② 黄褐色のブロックを多く含む。  
 ③ やや黒色を帯び、きめが粗い。
- 5層 茶褐色シルト。きめが細かく粘質あり。灰や土層などの遺物を含む。
- 6層 黄褐色砂質シルト。きめが細かく粘質あり。
- 7層 灰色砂質シルト。きめが細かく、粘質がある。
- 8層 灰色砂質土。下層ほど砂のきめが粗い。

4,400m



- 1層 褐色シルト。土層片等を多く含む。  
 ① 土層片を多く含む。  
 ② やや砂質感があり、灰色が強く、土層片を含む。  
 ③ ①・②に比べ砂質が強い。
- 2層 砂層。  
 ① 灰色が強いきめが粗い。  
 ② 黄褐色土が混ざる。  
 ③ 黄褐色のブロックや遺物を多量に含む。
- 3層 暗褐色シルト。  
 ① 砂質感がある。  
 ② 黄褐色のブロックを多く含む。遺物等を含む。  
 ③ 砂質感が強い。
- 4層 褐色シルト。褐色のブロックを含む。  
 ① 遺物を含んでいる。  
 ② 黄褐色のブロックを含む。
- 5層 黄褐色シルト。遺物を含んでいない。
- 6層 灰色砂質シルト。クワイ層。
- 7層 砂利層。

地蔵菩薩 (第514図121)

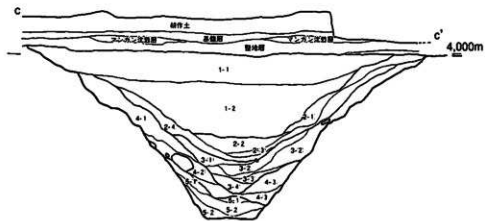


391  
392  
④

391  
392  
④

391  
392  
⑤

391  
392  
②



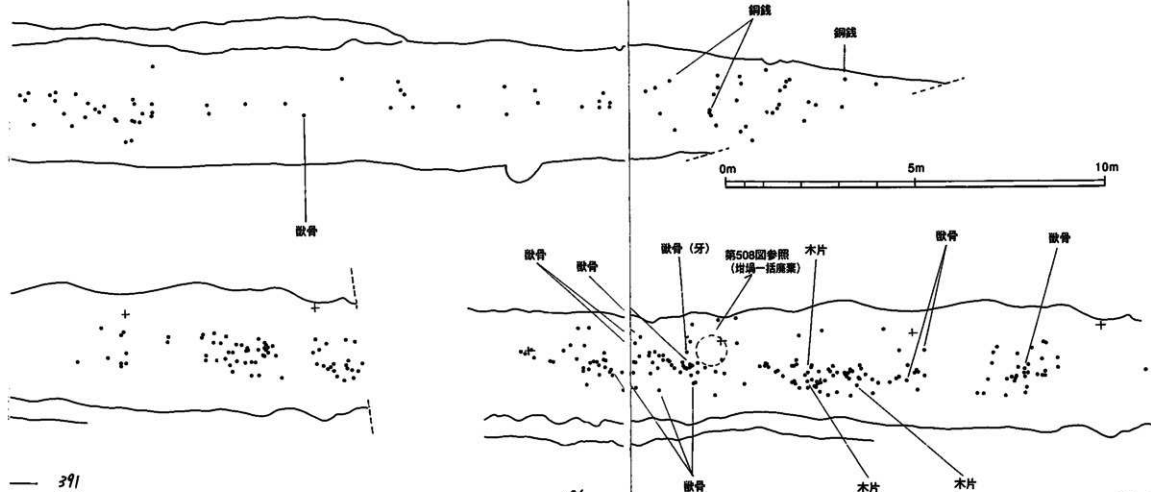
391  
392  
③

391  
392  
④

- 1層 灰黄褐色砂質土。  
① やや黄色を帯びる。  
② ①より褐色が強い。
- 2層 褐灰色砂質シルト。しまりがある。  
① 褐色のブロックを含む。  
② ①に比べシルト質が強く褐色のブロックを含む。  
③ 粘質が強く帯状に入る。  
④ 褐灰色のブロックを含む。
- 3層 灰褐色砂質シルト。  
① 砂質であるがしまっている。  
② ①より粘性が強い。  
③ 粘性は弱くしまりが少ない。  
④ 黄褐色土を含む。
- 4層 明褐色シルト。  
① 褐色が強く黄褐色のブロックを含む。  
② しまりがあり、黄褐色土のブロックを含む。  
③ 粘性が強く、マンガンの沈着がみられる。
- 5層 褐灰色シルト。粘質が強く、マンガン等の沈着がみられる。  
① シルト層と砂層の互層。  
② 砂粒を含む。



第503図 SD103土層断面図 (1/40)



391  
392  
⑤

391  
392  
④

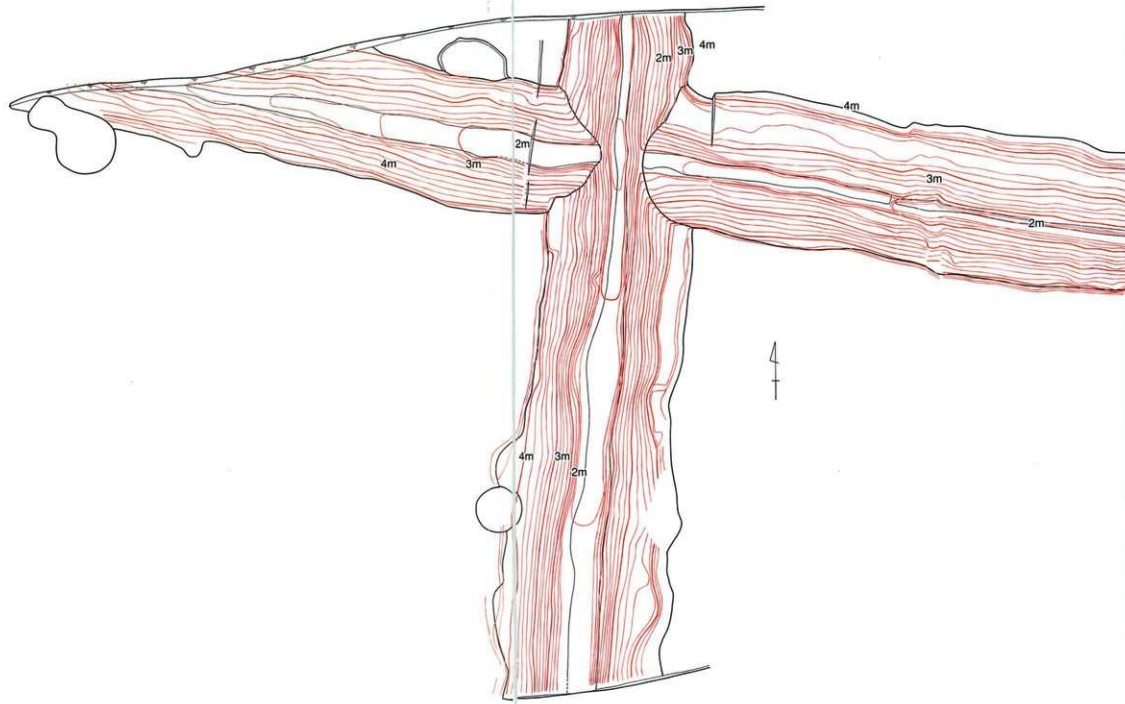
391  
392  
⑤

第504図 SD101・103遺物出土分布図 (1/100)

393  
394  
①

393  
394  
②

393  
394  
③



393  
394  
④

393  
394  
⑤

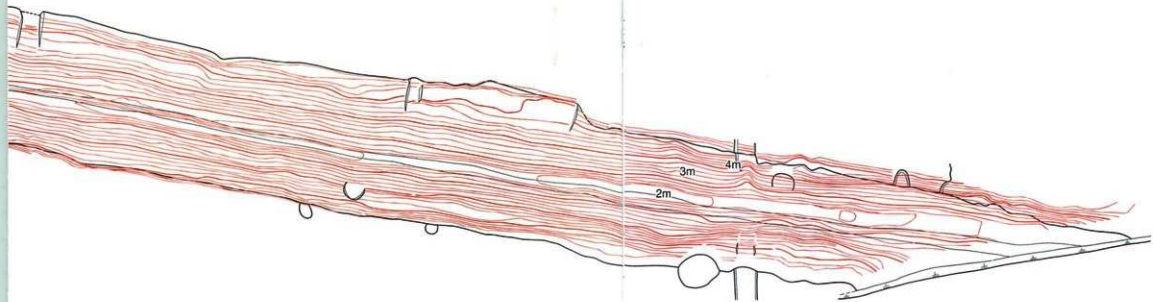
393  
394  
⑥

第505圖 SD101 · SD1

393  
394  
②

393  
394  
③

393  
394  
③



3m  
4m  
2m



03地形測量図 (1/100)

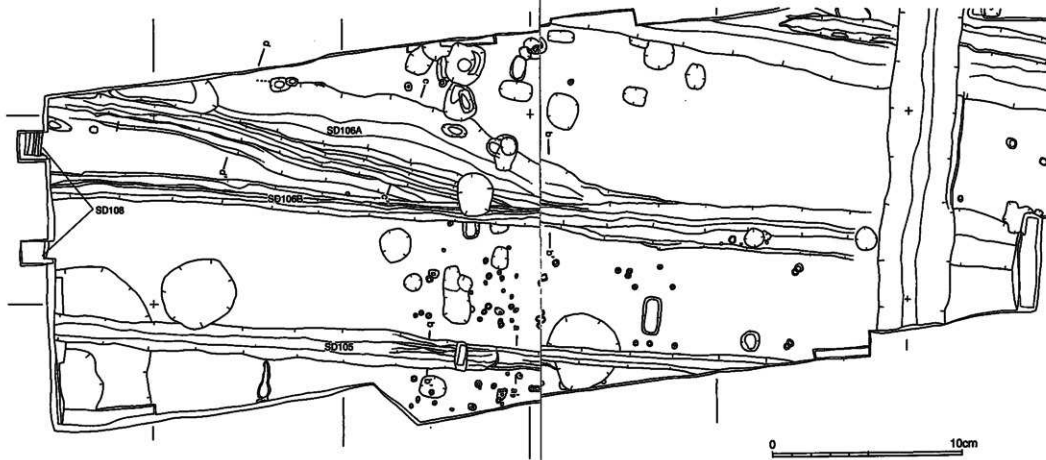
393  
394  
⑤

393  
394  
⑥

393  
394  
⑥

295  
296  
①

295  
296  
①



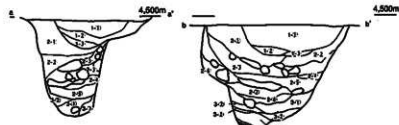
第506图 勘察区西侧横状边沟 配线图 (1/200)

295  
296  
②

295  
296  
②

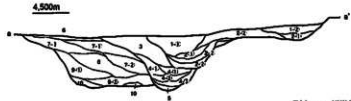


397  
398 ①



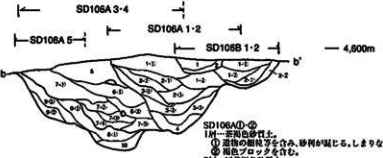
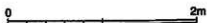
SD108 1剖面図  
1層・・・灰褐色砂土。  
① 褐色のブロックを含む。しりとりなし。  
② やや色が暗い。しりとりあり。  
③ ④よりやや褐色が強い。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① 1層に比べ色が暗く、遺物の散見を含む。  
② 砂土が暗い。  
③ 褐色のブロックを含む。  
④ 砂土が暗くしりとりあり。  
⑤ 砂土が暗い。  
3層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗い。  
② さめが暗く、遺物の散見を含む。

1層・・・灰褐色砂土。  
① 褐色のブロックを含む。しりとりなし。  
② やや色が暗くしりとりあり。  
③ ④よりやや褐色が強い。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① 1層に比べ色が暗く、遺物の散見を含む。  
② 砂土が暗い。  
③ 褐色のブロックを含む。  
④ さめが暗くしりとりあり。  
⑤ 褐色のブロックを含む。  
⑥ しりとりなし、褐色のブロックを含む。  
⑦ さめが暗くしりとりあり、⑧との間に砂利が混在する。  
3層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗い。  
② 褐色のブロックを含む。  
③ 砂土が暗く、砂土とシルトが混在する。  
④ シルトが暗い。



SD108 3剖面図  
1層・・・灰褐色砂土。  
① 上部の層がやや暗く、砂利を含む。  
② しりとりあり褐色のブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① 上部の層が暗く、褐色を含む。  
② 褐色のブロックが、上部の層に散見する。  
③ 褐色のブロックが多量に散見する。  
④ ⑤に似てはるかに暗く、上部が暗い。  
3層・・・灰褐色砂土、上部の層が褐色のブロックを含む。  
4層・・・灰褐色砂土。  
① 褐色のブロックが少く含む。  
② 褐色のブロックを多量に含む。しりとりあり。  
③ 褐色のブロックを多量に含む。  
5層・・・褐色シルト。さめが暗くしりとりあり。  
6層・・・灰褐色砂土。さめが暗く散見はない。

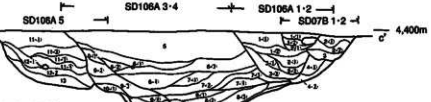
7層・・・灰褐色砂土。  
① 褐色のブロックを含む。  
② 褐色が暗い。  
③ 褐色が暗い。  
8層・・・灰褐色砂土。  
① 上部の層が暗く、褐色が強い。  
② ④よりさめが暗い。  
10層・・・褐色砂土シルト。



SD108A ③-④  
1層・・・灰褐色砂土。  
① 褐色のブロックを含む。砂利が混在し、しりとりなし。  
② ③と似てはるかに暗く、上部が暗い。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり。  
② さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
③ 褐色のシルトのブロックを含む。  
3層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

SD108A ⑤  
1層・・・灰褐色砂土。  
① 褐色のブロックを含む。砂利が混在し、しりとりなし。  
② ③と似てはるかに暗く、上部が暗い。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
3層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

SD108A ①-②  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

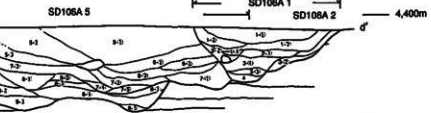


SD108A ⑤  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

SD108A ③-④  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

SD107 ①-②  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

SD106A ⑤  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。



SD106A ⑤  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。

SD106A ①  
1層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色のシルトのブロックを含む。  
2層・・・灰褐色砂土。  
① さめが暗くしりとりあり、遺物の散見を含む。  
② 褐色が暗い、砂土を含む。



397  
398 ②

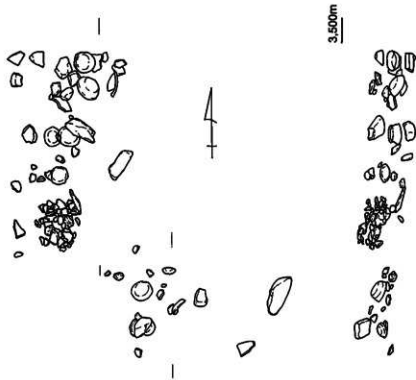
## 16世紀の溝状遺構

SD103

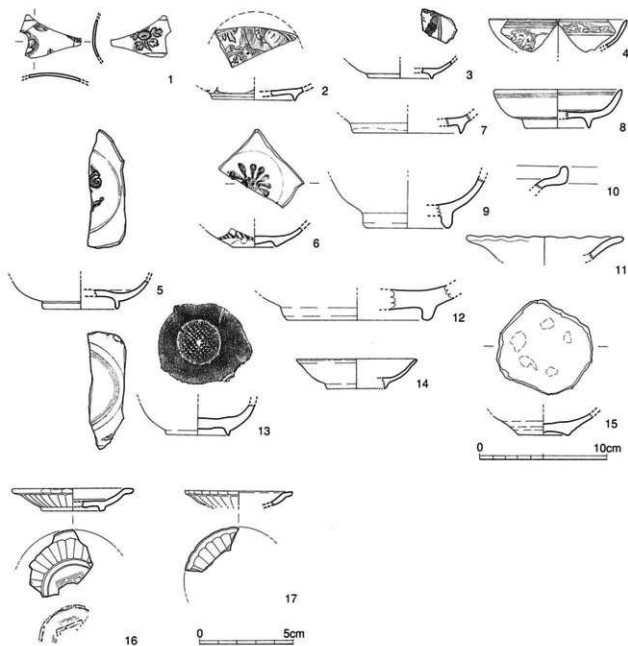
**SD103 (第501図)** 調査区西側の中央東側で検出した16世紀末頃の所産と思われる「堀」である。主軸をN5°-Eにとり、南北に走る。現状で長さ約18.3m、幅は約3.5m～約4m、深さは約1.7m～約1.8mを測り、いずれも南端において最大となる。SD101と同様に「薬研堀(やげんぼり)」の形態に近いが、SD101のように床面には箱堀は認められず、幅約0.5m～約0.6mの底部が平坦に形成される。「薬研堀(やげんぼり)」というよりもむしろ「箱堀(はこぼり)」の形態に近い。覆土の土層観察では、SD101と同様に溝上部は削平されており、土塁の存在や、本来の掘方は確認できなかった。また、底部から約0.4mの中層付近までは、徐々に堆積した様子がうかがえる。上層の覆土には、地山ブロック(黄褐色・褐色ブロック)等が含まれていることから、埋戻しに伴う埋土であろう。

出土遺物

**SD103出土遺物 (第509～521図)** SD103からは陶磁器類や土師器類などを検出したが、大半は小破片である。土師質土器の坏類をみると、3期の京都系土師器が主体であるなど出土した遺物は基本的には16世紀後半～末の所産のものが主体を占める。また、その他にも、埴塙の一括廃棄や地蔵菩薩像が出土するなど、この遺構の時代や空間の役割を示唆する上で重要な資料が出土している。1～7は中国製青花である。1～5は景德鎮窯系の青花碗で兼付碗E群に属し、3・5はマントーシ碗である。6・7は漳州窯系の青花小皿である。8～13は中国産の青磁で、11は稜花皿であるが被熱し変色している。9・13は碗、12は鉢、8は皿である。14は白磁の端反り皿でE群の製品である。15は朝鮮産の小皿であるが、萁筒底で見込み部に胎土目の跡が残る。16・17は背軸小皿で、15は被熱し変色している。16世紀後半の所産であろう。18～50は焼締陶器類である。18～27は楕円形の口縁部片、胴部片、底部片である。いずれも備前系統焼締陶器で、口縁部が口縁内に稜を持つものや、口縁部が先細りになるタイプで、また、26のように交差するスリ目が存在することから近世1期bに相当する。28・29は壺の口縁部である。28はタイ産焼締陶器、29は備前系統焼締陶器である。30～40は大甕の口縁部や底部、41は信楽系の甕か。42は壺もしくは瓶の底部である。



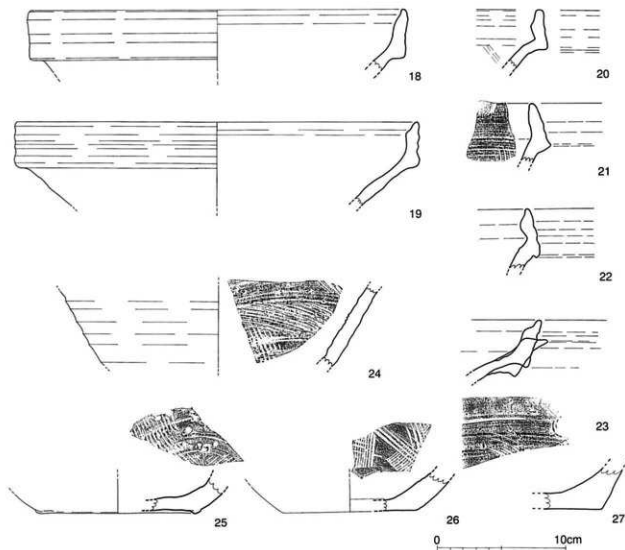
第508図 SD103増堀出土状況 (1/30)



第509図 SD103出土遺物実測図① (1/3)

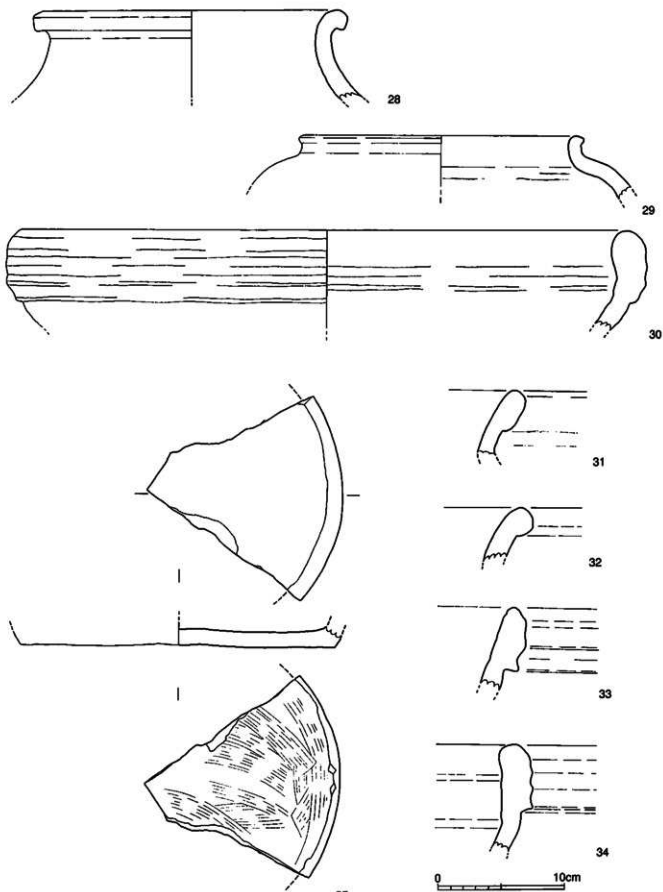
大甕の口縁部をみると、口縁部がやや外開きのものや内湾する、いわゆる近世1期 a-b のものが主体をなしている。43は産地不明の焼締陶器で肩部に把手がつく。44~50は備前系焼締陶器で、44は鉢、45は瓶の口縁部、46は口縁端部が内側に折れる皿の口縁部、47~49は甕や鉢の底部である。50は壺の底部か。51~114は京都系土師質土器である。いずれも3期に相当するもので51~96は小皿で97~109は坏である。小皿については3法量に分かれるが、ここでは中・小のものが圧倒的に多い。また、小皿が灯明皿として使用されたものが多いのに対し、坏はいずれも増埴とともに廃棄されており、増埴として使用された痕跡もあり小皿との用途の違いが認められる。115~120は土師質土器である。115~117は土鍋、118は灯火具で燭台の脚部、119は溝底から出土した朝鮮産焼塩壺で16世紀後半、天正年間のものである。120は土師質土器であるが、9世紀前半頃の高台付埴で明ら

かに混入品である。121は型を使った僧形坐像で、前後2枚の型形成である。地藏菩薩像であるが、頭部・底部及び手の一部が欠損している。完全な中空構造ではなく、型から出した後に底からヘラで中をくり込み擬似的な中空構造を採る。正面の袈裟には「万寿」の文字が表現され、背面にも袈裟模様などが表現される。このような僧形坐像は太宰府観世音寺を中心に佐賀、福岡平野で広く分布することが知られ、基本的には在家信者の所持するものと考えられている<sup>(1)</sup>。太宰府史跡57・67次調査で出土した地藏菩薩は14世紀、佐賀県大貞遺跡で出土したものは16世紀に比定される。122～136は瓦質土器である。122～128は火鉢である。122は在地系火鉢で、口縁部が肥厚するタイプで、124・125は風炉である。126・128は深鉢型火鉢の口縁部で127は脚付の底部である。129～133は播鉢である。129は防長系の播鉢で、134は鉢であろう。135は土鍋の底部片で内面に当て具痕、外面には格子目状のタタキ痕が残る防長系の土鍋か。136は蓋であるが器種は不明である。137～146は瓦である。137は丸瓦、138は軒丸瓦、その他は平瓦であるが142は埴か。147・148は銅製品であるが器種は不明である。149・150は銅銭である。150～156は石製品である。151・152は茶臼である。153は滑石製の石鍋の口縁部、154は結晶片岩製の砥石、155は両側に抉りの入る石鍾、156は

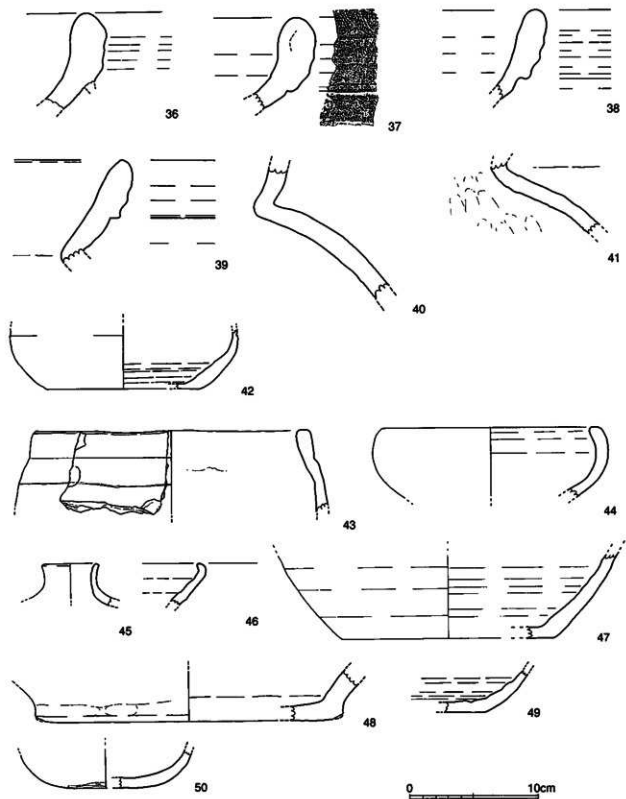


第510図 SD103出土遺物実測図② (1/3)

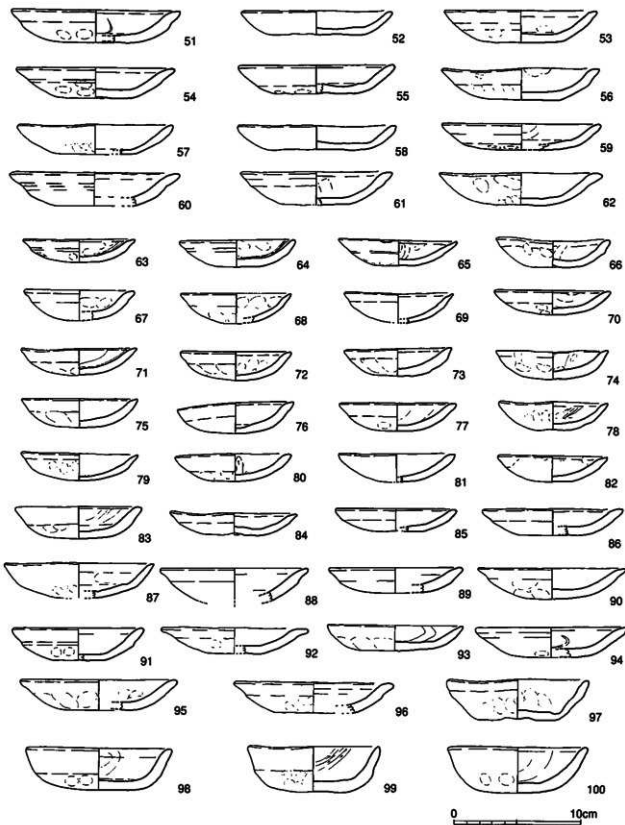
註(1) 山村信榮「中世素焼人形考」(『博多研究会誌』第5号 博多研究会)



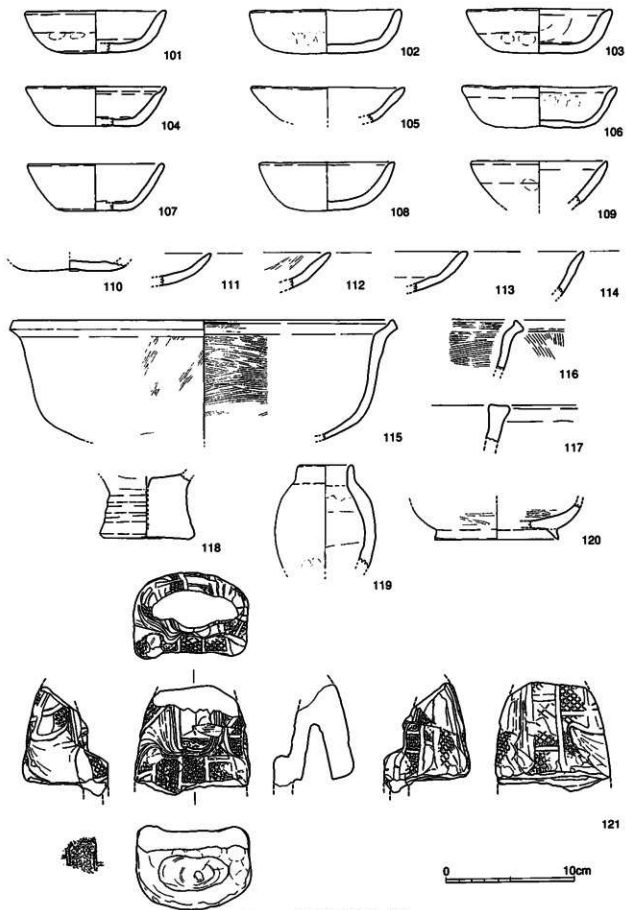
第511圖 SD103出土遺物実測図③ (1/3)



第512図 SD103出土遺物実測図④ (1/3)

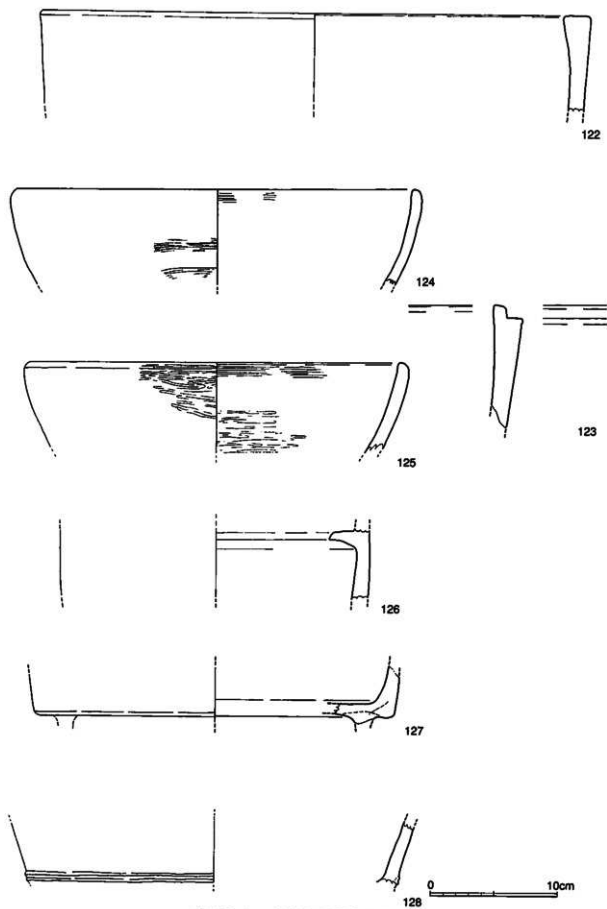


第513図 SD103出土遺物実測図⑤ (1/3)

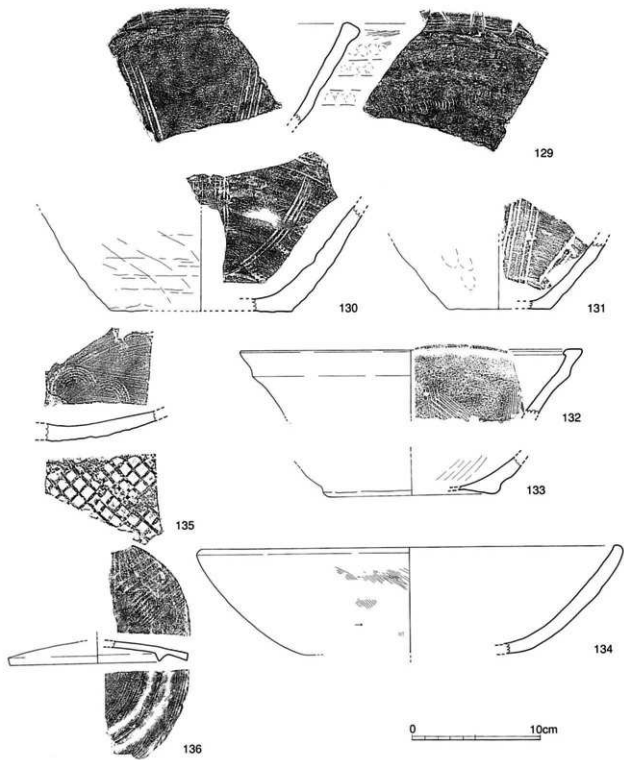


第514図 SD103出土遺物実測図① (1/3)

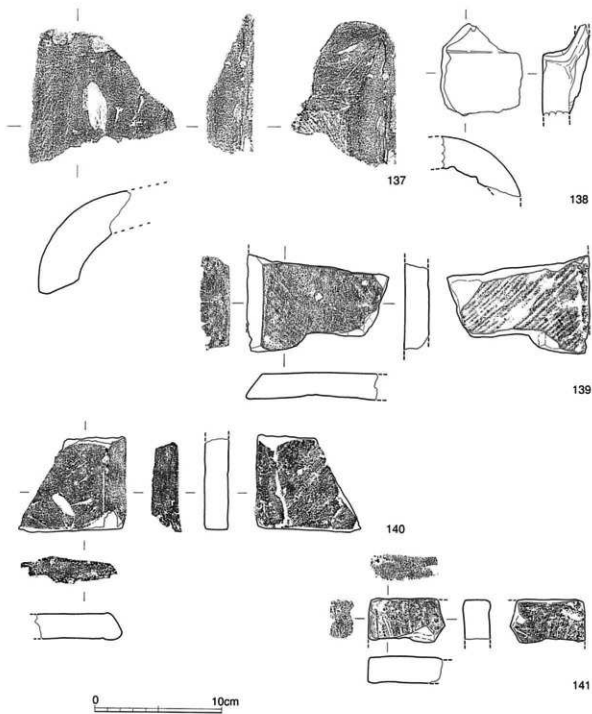




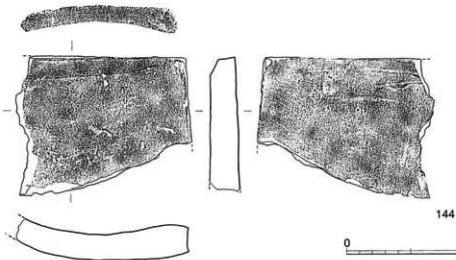
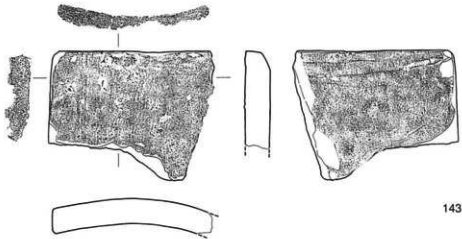
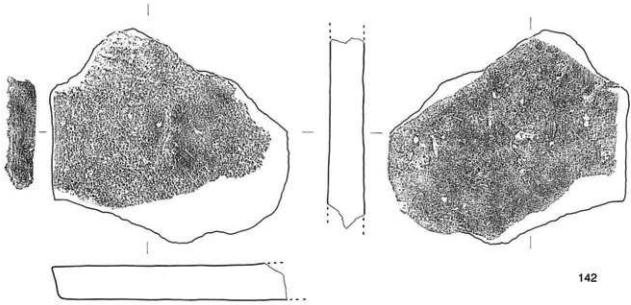
第515圖 SD103出土遺物実測図① (1/3)



第516図 SD103出土遺物実測図⑧ (1/3)

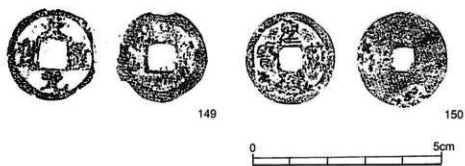
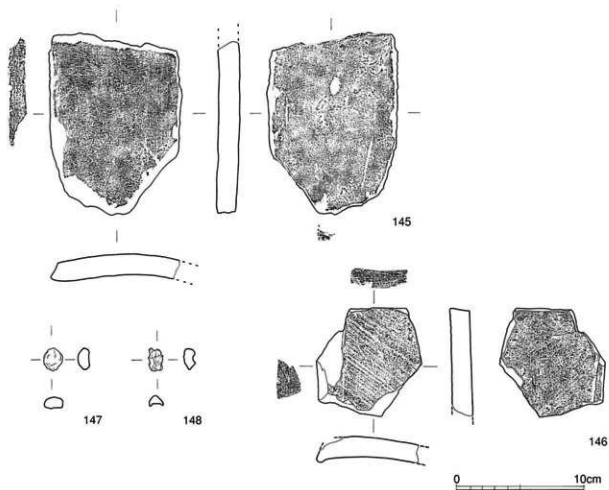


第517図 SD103出土遺物実測図⑨ (1/3)



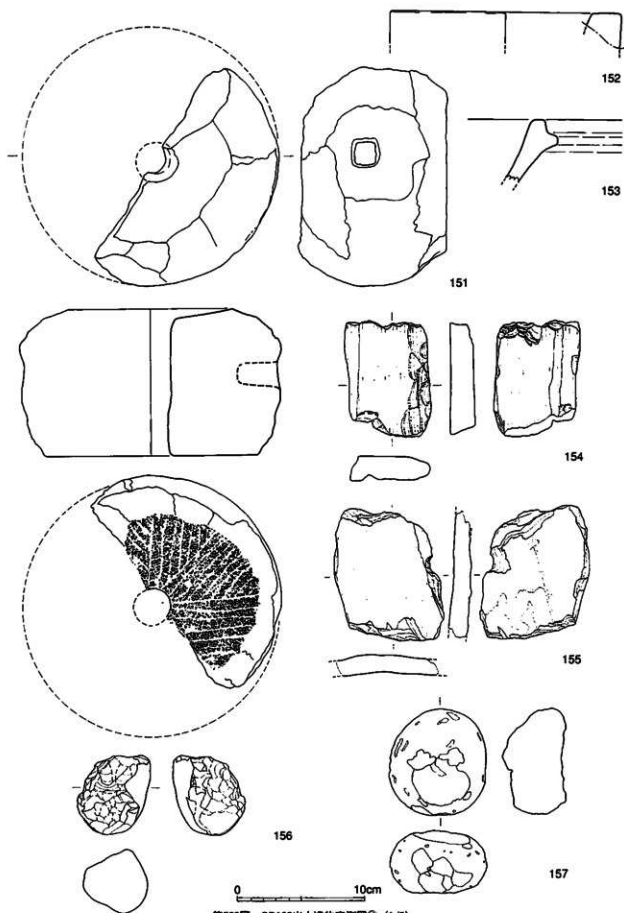
0 10cm

第518図 SD103出土遺物実測図⑩ (1/3)

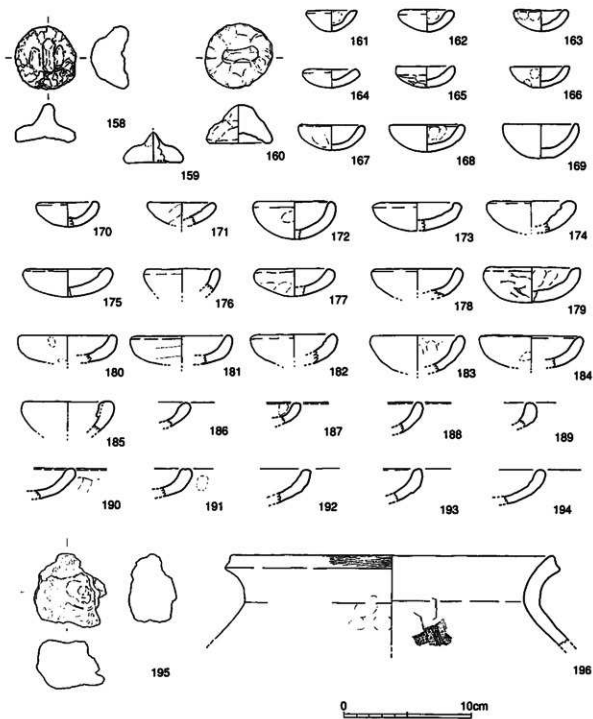


第519図 SD103出土遺物実測図① (1/3, 1/1)

石英の火打石、157は敲き石であるが、154～157は縄文時代など時代を遡る遺物であり、明らかに混入品である。158～194は埴壇である。158・159・160は摘みの付いた蓋でその他は身である。身については、3法量に分かれており、内面にはガラス状の物質や青灰色の物質、銅などの付着物が残存する。いずれも手捏ね製で指頭圧痕が内外面に残る。195は碗型鉄滓、196は須恵器の甕の口縁



第520図 SD103出土遺物実測図② (1/3)



第521図 SD103出土遺物実測図③ (1/3)

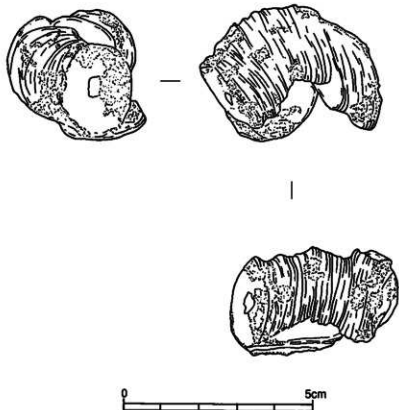




部である。

SD108

**SD108 (第522図)** 調査区西端B15区のSX106の土層調査で確認した溝状の遺構である。土坑の可能性もあるため、調査区西端を一部拡張して確認調査を行い、延長と思われる溝を確認した。調査区外のため全体的な様相は確認できなかったが、現状では、幅約0.8m、深さ0.3mの箱掘り状の溝が現道の下を南北方向に走る様子が見える。



第523図 SD108層出土遺物実測図 (1/1)

**出土遺物(第523図)**

拡張区Bの溝の付近で奉告紙に包まれた30～

銅銭

40枚の銅銭が不明瞭な土坑状の掘りこみから出土している。なお、土層観察の結果、この遺構はSD105が埋まった後に掘り込まれ、遺構検出前で確認できることから、16世紀後葉の所産と考える。

#### 15世紀の溝状遺構

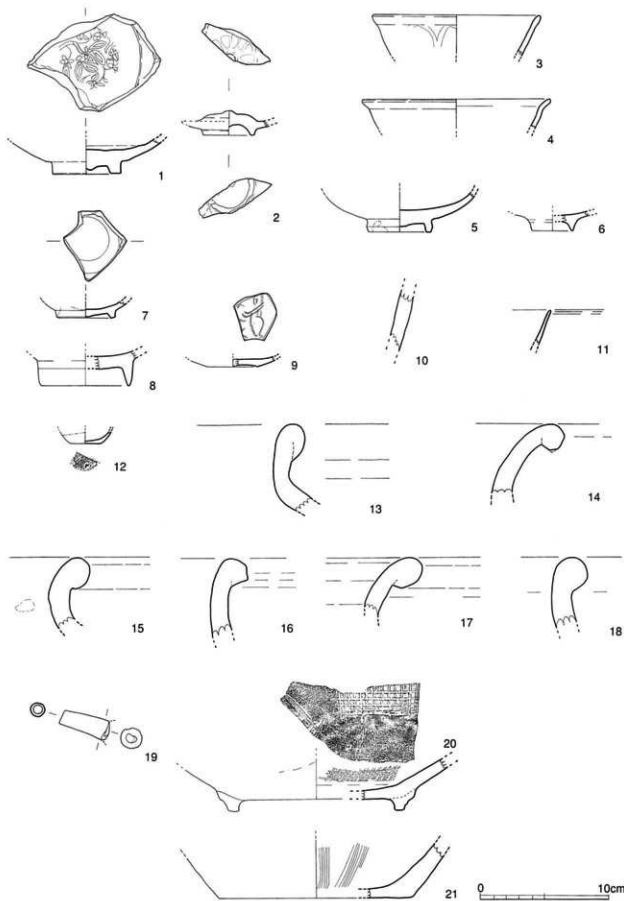
SD101

**SD101 (第501図)** 調査区西側のほぼ中央で検出した。主軸をW-8°-Nにとり、東西方向に走る。現状で長さ約53m、幅は約2.6m～約3.8mを測り中央部分が最大となる。また、深さは約0.9m～約1.8mを測り、東端に近づくほど深くなる。いわゆる「葉研掘(やげんぼり)」の形態を呈しており、中央部ではさらに幅約0.2m、深さ約0.4mの箱掘が施されているなど、溝や水路というよりも「堀」の可能性が高い。覆土の土層観察では、溝上部は削平されており、土塁の存在や、本来の掘方は確認できなかった。また、底部から0.6m前後は砂層やシルト層が徐々に堆積した様子が認められ、緩やかな水流があった様子が見えるが、上層については、埋土に地山ブロック(黄褐色ブロック)を含み硬くしまっていることなどから、埋戻しに伴う埋土であると思われる。

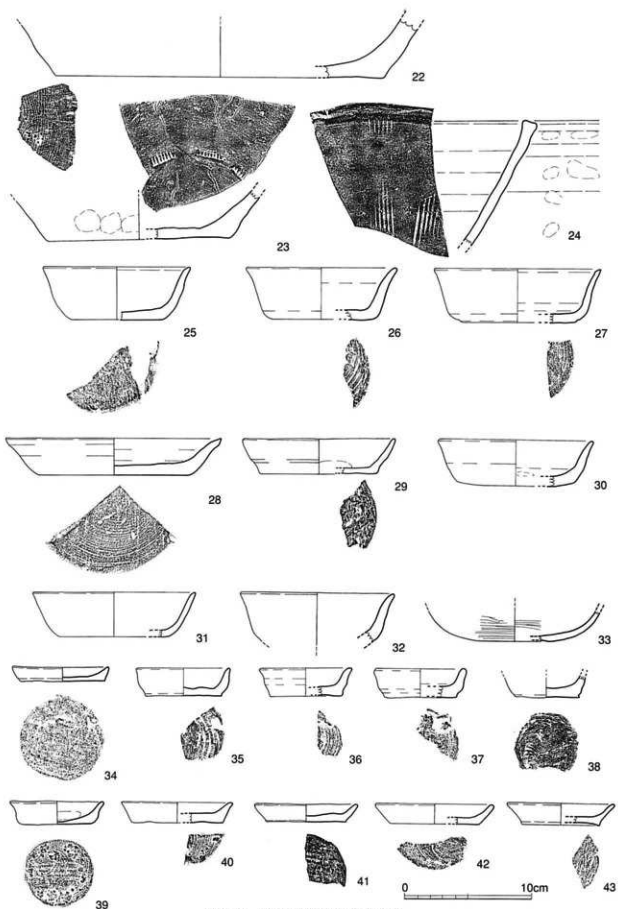
出土遺物

**出土遺物(第524～533図)** SD101からは陶磁器類や土器類などを検出したが、大半は小破片であった。また、釘等の鉄器や鉄落も認められた。しかし京都系土器や赤褐色系の在地系土器等は出土していない。

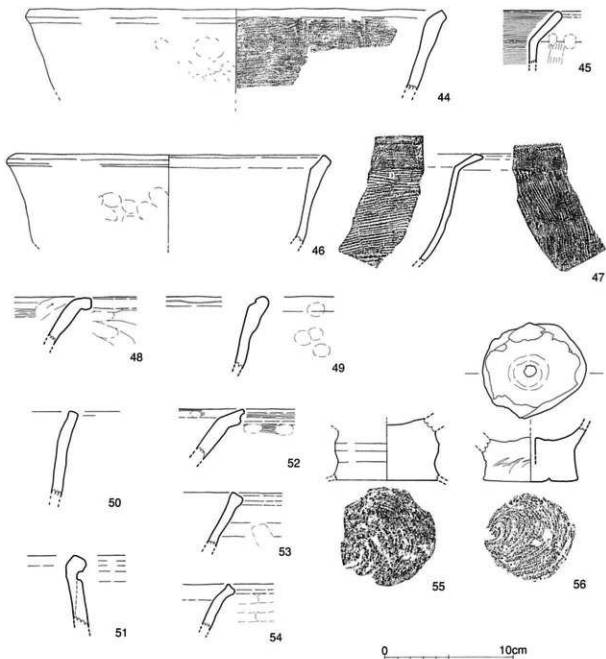
1～8は青磁および白磁片である。1は白磁の埴で、内面見込み部には印花による花文のスタン



第524図 SD101出土遺物実測図① (1/3)

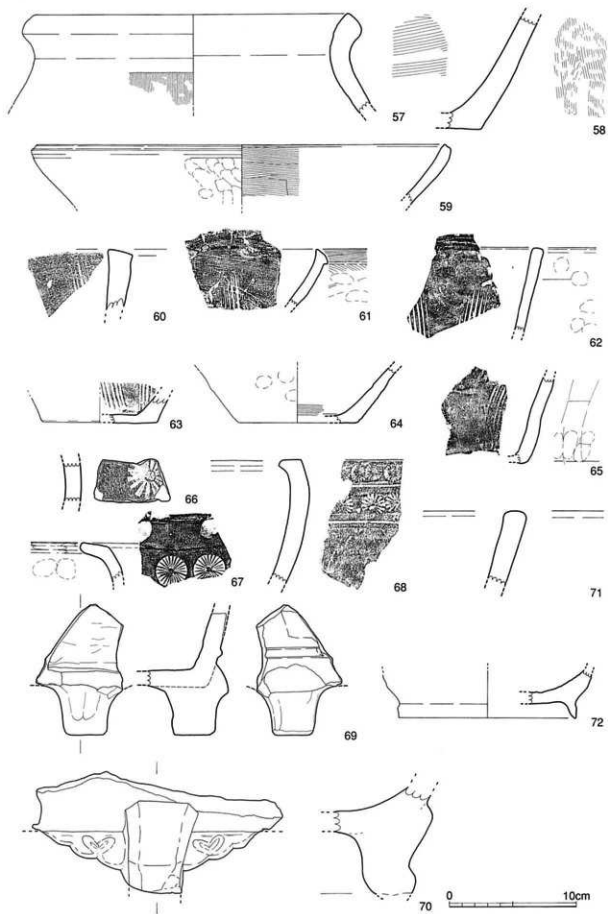


第525図 SD101出土遺物実測図② (1/3)

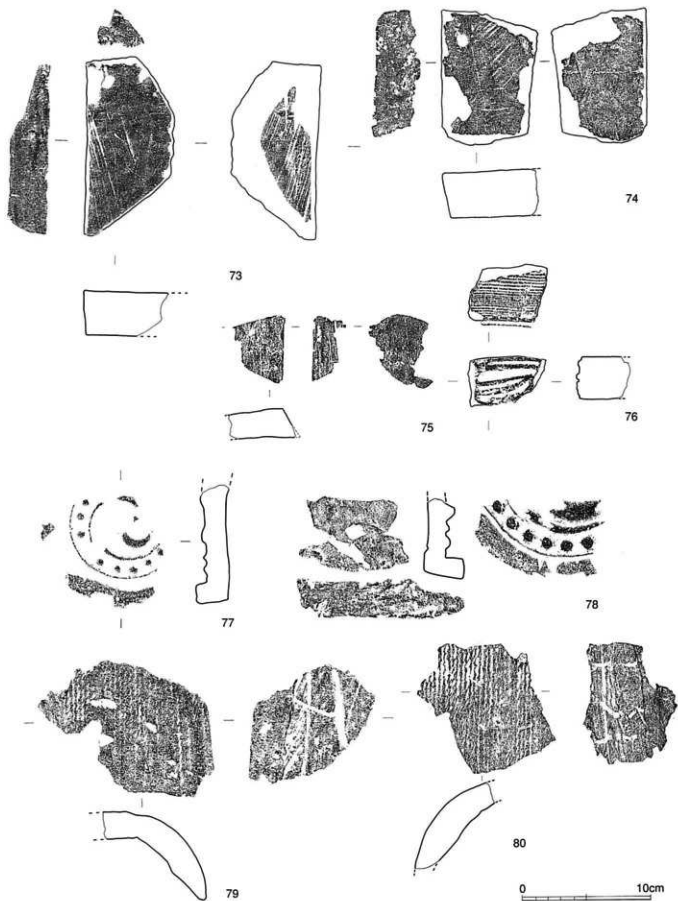


第526図 SD101出土遺物実測図③ (1/3)

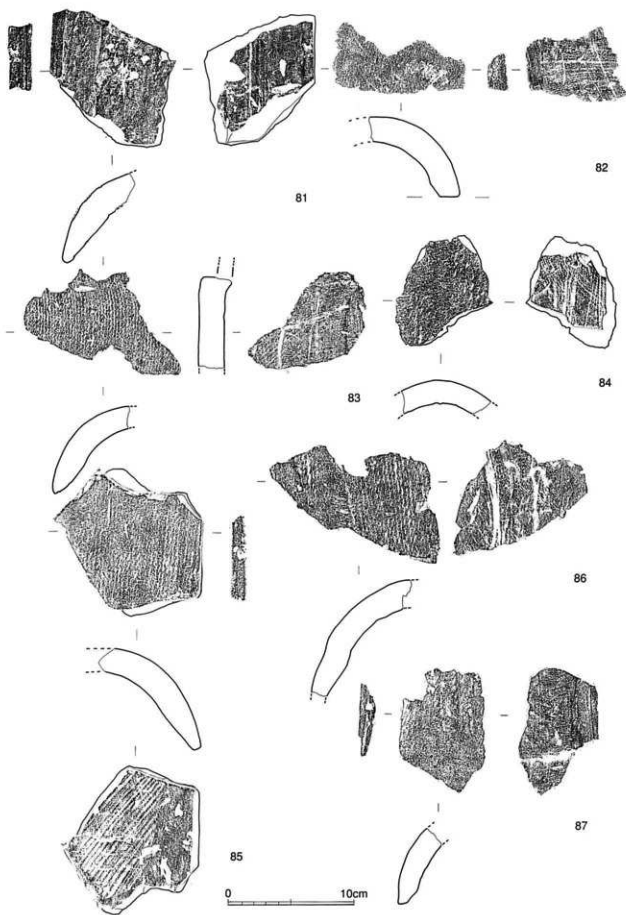
プが施され、わずかに文様部分には朱色が認められる。内面は釉軸されるが、底部外面および高台部には施軸は認められない、いわゆる森田B類に属す。2は上層から出土した青磁の蓋である。外面には印花による菊花文をスタンプする。内面には施軸は認められない。3は蓮弁文青磁碗の口縁部片である。外面には片切彫りの蓮弁文が施され、内・外面とも施軸されている。4は青磁の端反り碗の口縁部である。5は青磁碗の底部である。内面には施軸されているが、高台下部外面、畳付および高台内には施軸されない。高台下部外面は斜めの面取が施される。6は青磁小皿の底部である。内・外面ともに施軸されているが、高台下部外面は茶褐色を呈し畳付及び高台内は施軸されない。7は白磁碗か。内・外面ともに施軸されているが高台下部外面、畳付および高台内には施軸されない。また内面見込み部には釉割ぎが施される。8は白磁碗の底部か。内・外面ともに施軸されるが、高台端部外面および高台内には施軸されない。9は白磁の皿か。内面には片切彫りで花鳥



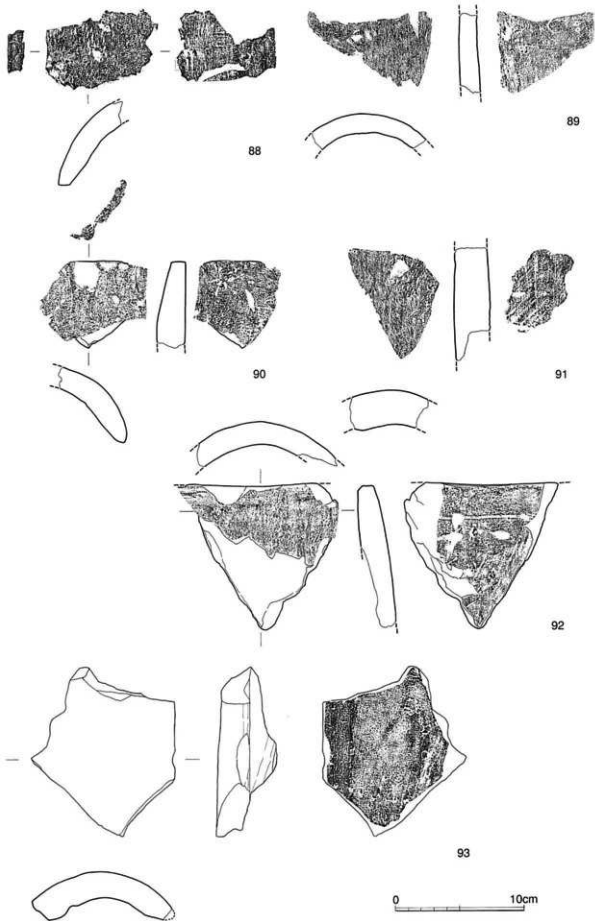
第527図 SD101出土遺物実測図④ (1/3)



第528図 SD101出土遺物実測図⑤ (1/3)

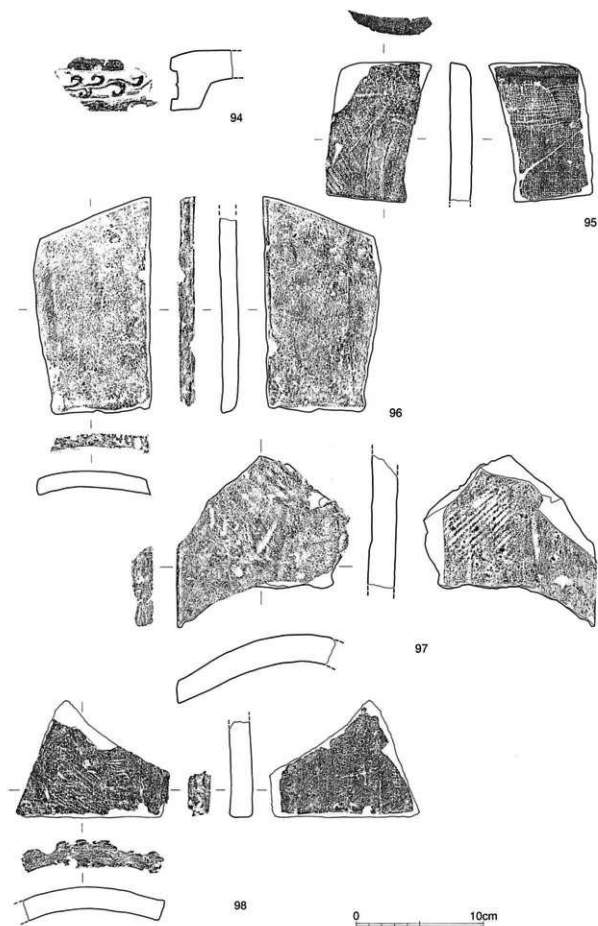


第529図 SD101出土遺物実測図⑤ (1/3)

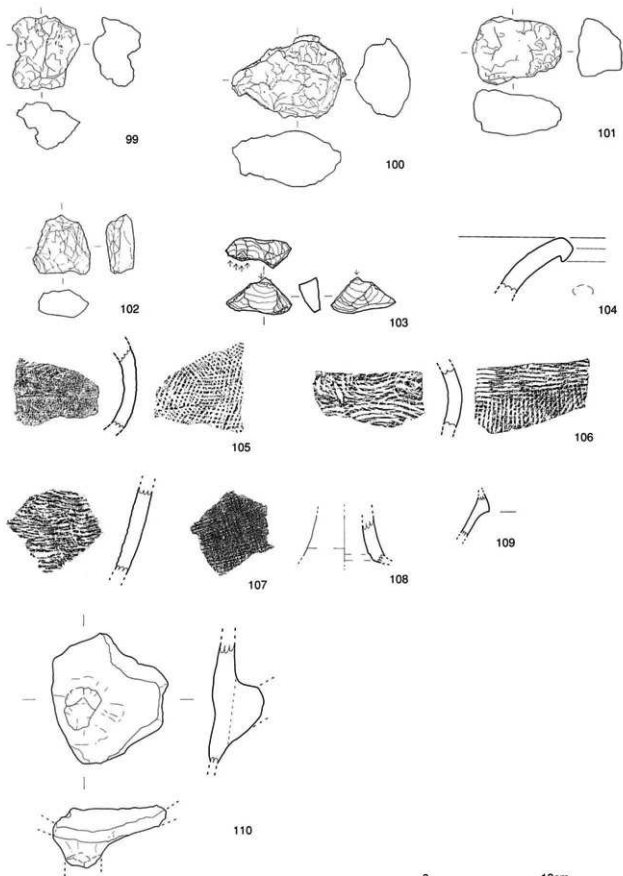


第530図 SD101出土遺物実測図⑦(1/3)

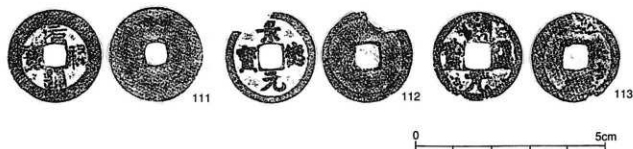




第531図 SD101出土遺物実測図⑧ (1/3)



第532回 SD101出土遺物実測図⑨ (1/3)

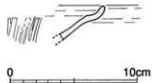


第533図 SD101出土遺物実測図(1/1)

文が施される。底部は碁筒底(ごげぞこ)であり、底部内面に一部軸がまわる。10・11は青磁の口縁部片、胴部片である。いずれも内・外面に施軸される。12は中国製の茶入れの底部である。糸切り底で外面底部付近まで鉄軸が施される。13～18は口縁が頸部の短い玉縁の備前焼大甍である。14と16については口縁外面の上縁と下縁に稜が形成されるが、まだ扁平化は進んでおらず中世3期に相当する。19は備前焼水柱の口先片である。20～23は播鉢である。20は瀬戸美濃系の脚付御風か。体部内面に格子目状のスリメが存在する。21～23は備前系統焼締陶器で、いずれも底部片である。いずれも底部内面のスリメの条数が6本程度であることから、大甍同様に中世3期に属するものであろう。24は瓦質の播鉢で、口縁端部が肥厚する防長系の播鉢であろう。25～43は在地系土師質土器である。25～33は坏、34～43は小皿である。28は体部立ち上がり部に強いナデが施されており、その結果、端部付近が肥厚する14世紀後葉の特徴を残しているが、その他の坏は端部が外反する15世紀前葉の特徴を有す。小皿についても底部が体部に比べて肥厚するものも含まれており、やはり15世紀前葉のものであろう。なお33については9世紀前半の都城系土師質土器Eであり混入品であろう。43～54は土師質土器の土鍋の口縁部及び口縁部片である。49・53は口縁部が直線的に伸び、その他は口縁部が「く」の字状に外反する。55・56は灯火具の燭台である。57～68は瓦質土器である。57・58は東播系の甍の口縁部と底部であろうか。59～65は播鉢の口縁部及び底部で、58・59は口縁端部内側が、やや肥厚する防長系の播鉢である。14世紀後葉のものか。66～70は火鉢である。66～68は浅鉢形で口縁部外面には菊花文が押印される。67・68の口縁部は内側へ突出する。69・70は獸脚である。71は風炉の口縁部、72は小型のもので香炉と思われる。これらの火鉢については、口縁部に突帯を巡らせておらず、少なくとも15世紀前半代までには取まるものと考えられる。73～74は樽である。表はナデ仕上げであるが、表面にタタキ痕が残る。75は小片のため器種は不明であるが樽か。76～98は瓦である。77・78は九瓦の左巻三巴連珠紋瓦当である。79～93は九瓦であるが、79～88の表は縄目タタキ後ナデ仕上げが施され、裏面には布目痕が残る樽作りの瓦である。90～93には縄目タタキ痕は認められず、91・92にはコビキAが認められる。94～98は平瓦で、94は軒平瓦の唐草紋瓦当である。いずれも表裏ともにナデ仕上げであるが、95には布目痕が、97にはコビキAが認められる。99～101は椀型滓であり中世段階のものか。102・103は火打石であるが時期は不明である。104～109は須恵器で104は甍の口縁部片、105～107は胴部片である。108は高坏の脚部、109は口縁部片である。110は古代の甎の把手部分であり、火打石を含め、須恵器や甎については遺構に伴うものではなく混入品であろう。111～113は銅銭である。

SD102

**SD102 (第501図)** SD101と同様に調査区西側のほぼ中央で検出した。SD101が埋戻された後、SD101に平行するように上面に掘り込まれている。主軸はSD101とはほぼ同様であり、現状で長さ約35.5m、幅が約1m～約1.5mを測り、中央付近で最大となる。深さは約0.2m～約0.6mでやはり中



第534図 SD102出土遺物実測図(1/3)

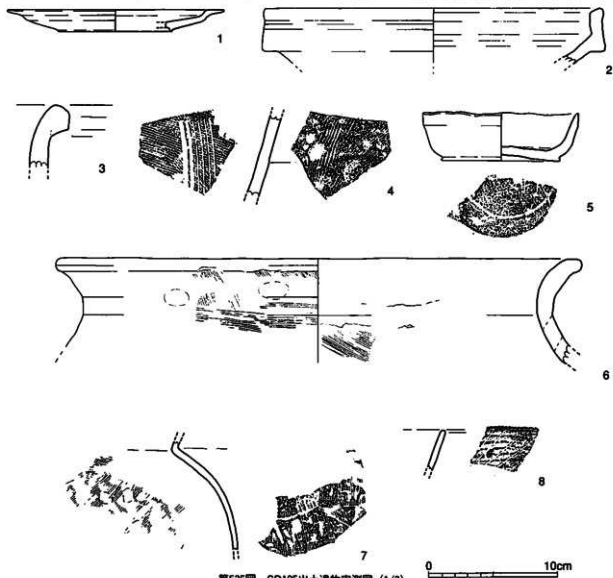
尖付近で最大となる。覆土の土層観察では、底部付近に約0.1mのシルト層の堆積が認められるが、中層及び上層の埋土は埋戻しに伴う埋土であることから、長期間使用された痕跡は認められない。遺物は青磁皿が1点出土した。

## 出土遺物

**出土遺物 (第534図)** 1は内面に蓮弁文を持ち、口縁部を「く」の字状に外反させ更に端部を上方に引き上げた青磁皿の口縁部である。全体的に端部の形状に鋭さが無く15世紀前後のものであろう。

## SD105

**SD105 (第506図)** 調査区西側中央で検出した。主軸をW-3° -Nにとり東西に走る。現状で長さ約36m、幅は約1m～約1.8mを測り中央部分で最大となる。また、深さは約1mを測り、西側は上部の削平が激しいため浅くなるが、基本的には東になるほど深くなる。また、西側は砂層に掘り込まれているため不定形な形状を呈すが、東端では幅が0.25mの平坦な底面が認められ箱型状の溝であった可能性が高い。中層に地山ブロック（褐色ブロック）を含むなど覆土の土層観察では、2度の埋戻しと掘り直した状況が看取でき、また底面から0.2～0.25mほどに砂の堆積が認められることから、若干の水流があったものと思われる。他の遺構と同様に遺構上面の削平が激しく土層の存在や、本来の掘方の確認できなかつた。内部からは縄文時代や古墳時代の遺物を含む若干



第535図 SD105出土遺物実測図 (1/3)

の遺物が出土している。

## 出土遺物

**出土遺物 (第535図)** 1は白磁皿である。口縁部が「く」の字状に外反する。2は備前系統縄陶器鉢の口縁部で、口縁外面に稜が認められることから乗岡中世3期に相当する。3は備前系統縄陶器大甕の口縁部で肩部に強いナデが認められることから乗岡中世6期aのもので、4は外面にハケ目が残る周防系の鉢であろう。5は在地系土師質土器の坏で、体部がやや内湾気味に立ち上がり、先端が尖り気味に立ち上がることから14世紀中葉～後葉のものであろう。6は瓦質土器の東播系の大甕か。7は弥生土器の甕、8は縄文時代後期の鉢である。

## SD106

**SD106 (第506図)** 調査区西側南で検出した。中央付近でやや南に影らむがSD101とほぼ平行するように東西に走るSD105Aと、主軸をW-4°-Nにとり東西に走るSD106Bに分けられる。SD106Aは現状で長さ約42.5mを測るが、覆土の土層観察から少なくとも4回の掘直しが確認できた。これらの溝はC19区でSD106Bと交差し約5°～10°北寄りに向きを変え、掘直しの度に溝が南寄りに移行している。このSD106Aを構成する5本の溝の底面には若干の砂層とシルト層が確認でき、若干の水流があったものと考えられる。

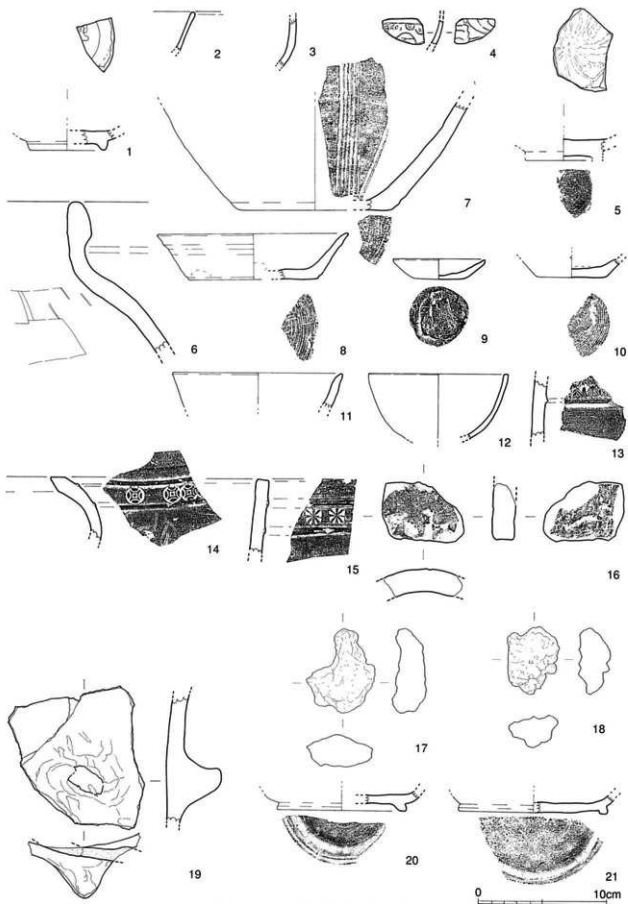
SD106Bについては、ほぼ真っ直ぐに東端へと延びる。長さは約51mを測り、覆土の土層観察から2回掘直しを確認できた。SD106Aと同様に掘直しの溝は南側に存在する。それぞれの溝の底部には砂層やシルト層は確認できないことから恒常的に水流が存在した可能性は低い。

## 出土遺物

**出土遺物 (第536～538図)** SD106A・Bからは14～15世紀を中心とした遺物が出土している。SD106Bについては特に遺物の時期幅が広いが、遺物が集中する調査区中央部分でSD106Aと重複し、掘直しが複数回行われているため遺物がシャッフルされており、SD106AとSD106Bで明確に遺物を区別することは困難であった。しかし、SD106Bと平行するSD101、SD102からは15世紀後半の遺物は出土していないことなどから、基本的には古い時期の遺物がSD106Bに伴うもので、14世紀後半から15世紀前半にかけての所産である可能性が高いと判断した。まずSD105Aから出土した遺物であるが、まず、1～4は磁器類である。1は中国景德鎮窯系の青花皿の底部、2は青磁碗の口縁部、3は華南三彩の小片であるが器種は不明である。5は白磁碗の底部であるが、内面見込み部には印花による花文のスタンプが施される、いわゆる森田B類に相当する。6・7はいずれも備前系統縄陶器である。6は大甕で、口縁の玉縁は扁平化し頸部が直立気味であることから乗岡中世5期aに相当、7の口縁部は不明であるが、スリ目の条数が6本程度であり、中世3期aの頃のものであろう。8～11は在地系の土師質土器の坏である。8・9は坏、10・11は小皿である。全体的に外開きであり8にはロクロナデの跡が認められることからこれらの一群は15世紀後葉のものであろう。13～15は瓦質土器で、12は瓦器碗の口縁部、13～15は火鉢の口縁部である。13には「X」字型のスタンプが施される。14は九鉢タイプで口縁部外面に2条の細い突帯を巡らし、その間には銭型の文様がスタンプされる。15は深鉢タイプで口縁部内面がわずかに突出しており15世紀前葉～中葉のものであろう。16は平瓦片である。17・18は碗蓋である。19～21はいずれも古代の土器で19は甕の把手部分、20・21は須恵器の高台付坏で、高台が底部端に近いことから9世紀前半のものであろう。次にSD105Bから出土した遺物であるが、1は青磁碗の口縁部で、

第6表 SD106計測表

遺構番号	幅(m)	深さ(m)
SD106A 1	—	0.5～0.55
SD106A 2	—	0.49～0.55
SD106A 3	—	0.7～0.84
SD106A 4	—	0.86～0.9
SD106A 5	—	0.63～0.7
SD106B 1	0.43	0.15～0.2
SD106B 2	—	0.24～0.27

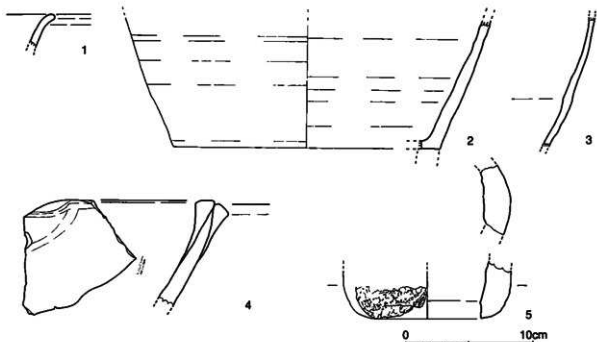


第536図 SD106A 出土遺物実測図 (1/3)

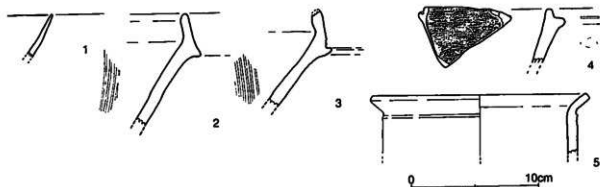
端部が外反する。2は産地不明の鉢の底部である。東南アジア産か。3も東南アジア産か。器種は不明である。4は備前系統焼締陶器で片口楕鉢か。5は碗の羽口である。羽口の外面にはススやガラス状のものが付着する。次はSD105一括で取り上げた遺物である。1は朝鮮産の粉青沙器の副部片である。2・3は備前系統焼締陶器の楕鉢で、口縁下角の垂下が小さくてシャープなことから乗岡中世5期aに相当しよう。4は土師質土器の羽釜の口縁部である。5は古代の土器で甕の口縁部であろう。

**SD107** **SD107** (第539図) 調査区中央D20区で検出した、調査時にはSX02としていた遺構である。幅1.2mを測り、SD101と同様に「葉研堀(やげんぼり)」の形態を呈しており、中央部ではさらに幅約0.2m、深さ約0.2mの箱堀が施されることから堀状遺構と判断した。

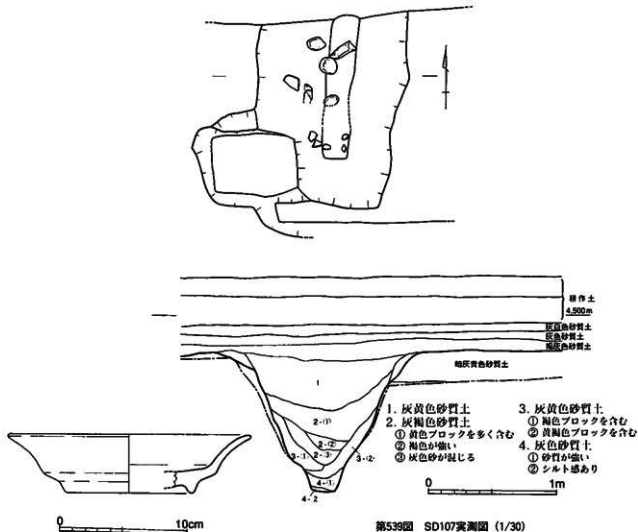
**出土遺物** **出土遺物** (第540図) 1はSD107から出土した中国製の桜花風である。高台内面まで施装されていることから15世紀代のものである。



第537図 SD1068 出土遺物実測図 (1/3)



第538図 SD106一括出土遺物実測図 (1/3)

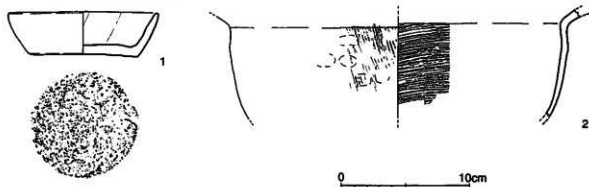


第540図 SD107出土遺物実測図 (1/3)

## 14世紀の溝状遺構

SD104 SD104 (第501図) C・Dの21区で検出した南北に走る溝で、中央付近をSD101により切られる。底部の痕跡のため、本来の大きさは不明であるが、現状で約12m、幅約1mを測る。

出土遺物 出土遺物 (第541図) 1は在地系土師質土器である。直線的に伸びる体部は端部でわずかに肥厚し尖り気味に仕上がる。径もやや小さく14世紀前半ごろのものであろう。2は土鍋である。内面にハケ目が施される。





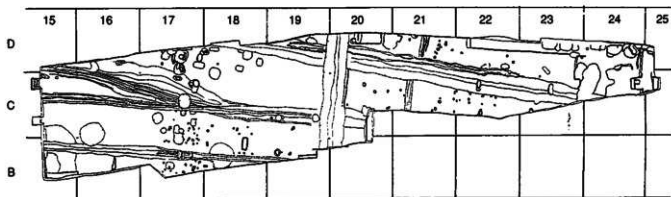
## Ⅲ. 土坑について (第542図)

**概況** 中世大友府内町跡第8次調査区では、中世の土坑として第542図のように48基の土坑を検出した。いずれも出土した遺物から14世紀～16世紀後半の遺構である。

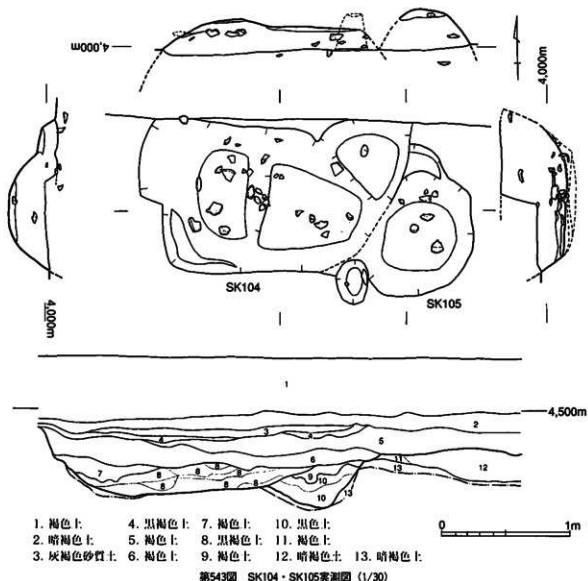
**土坑** 16世紀の土坑については、いずれも3期の京都系土師器を中心とした遺物が出土することから16世紀後葉～末の土坑であり、調査区東のD23・24区に東西方向に並ぶように集中するが、15世紀末から16世紀前葉の在地系土師質土器や京都系土師器を含む土坑は確認できなかった。また15世紀の土坑については15世紀初頭～前葉の在地系土師器の小皿や坏、雑器が出土しており、西側に集中するが、15世紀末の在地系土師質土器を含む土坑は検出していない。14世紀の遺構については在地系土師質土器や小皿を含む土坑が中央北側に集中する。遺構の配置で特徴的なのは14世紀及び16世紀であり、その配置関係から周辺に何らかの区画や施設が存在した可能性を示唆するような状況が看取できる。また、土坑の性格についても時期差が認められる。16世紀の土坑には埋土に遺物のほかに焼土や焼けた礫を含むなど火災処理と思われる土坑が中心であり、15世紀の土坑は焼土が確認できず、出土した遺物に雑器類が入ることから廃棄土坑の性格が強い。14世紀の土坑については大型で深く、出土遺物も在地系土師器の坏や小皿が中心となるなど、単なる廃棄土坑というよりも祭祀もしくは儀式に伴う土坑の可能性が強い。このように時期差に伴い、遺構配置や土坑の性格に違いが認められる状況は、当然、大友館の成立や大友府内町の形成・変遷に伴う可能性が高く、特に溝状遺構と同様に、15世紀後葉～16世紀前葉の遺構が存在しない状況は、この空間が大友館の南に位置することからも、大友館の変遷を解釈していく上で重要なポイントとなるであろう。いずれにしても土坑だけでなく他の遺構と共に総合的に判断・解釈していくことが、大友館の南としてこの第8次調査区の空間が果たす役割を明確にする上で肝要であると考えられる。

なお、調査当時のSK12やSX01など調査当初に土坑と考えていた東端の土坑群については、土層の観察により、埋土は土塁構築時の整地に伴うものであり、土坑というより土塁構築の際の土取り跡の可能性が高く、また、東端の土坑群出土と考えていた遺物についても、この整地層に伴うものでなく、水田化する際の埋土に伴うものであることが明らかとなった。そのため、当初東端土坑群と考えた土坑については配置のみ説明し、遺物については水田化に伴う整地層出土遺物として一括して取り扱うこととし、また、土塁状遺構については東端土坑群と関連するため、本項で取り扱うことにする。なお、性格不明の掘り込みについてはSXとし、本稿の最後で説明を加えていきたい。以下、それぞれの遺構について検討を加えるが、ここでも溝状遺構同様に16世紀の遺構から順に説明する。

土坑状遺構



第542図 土坑配置図



## 16世紀の土坑

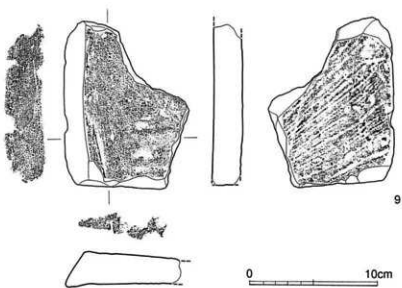
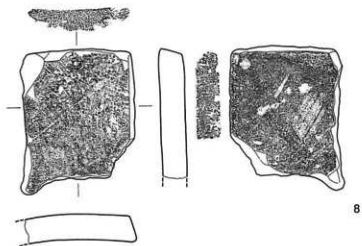
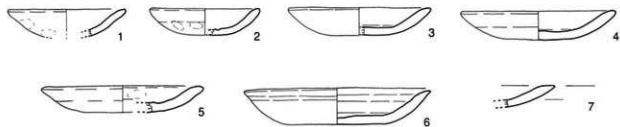
SK104

**SK104 (第543図)** 調査区東側のD24区で検出した。104・105号は重複して並んでおり、検出面の観察で104が105を切って掘り込まれた状態が認められた。複雑な平面形を呈しており、検出面の観察や、土層観察では確認できなかったが、複数の土坑が切り合っている可能性も残る。長軸約2.1m、短軸約1.2m、深さ約0.5mを測り、床面は平坦である。

**出土遺物 (第544図)** 1～9はSK104から出土した遺物である。1～7は3期の京都系土師器の小皿である。9cm前後、12cm前後、15cm前後の3法量が認められる。これらの口縁部外面には強いナデが施されており、5・6の口縁部は外反する。8・9は軒平瓦片である。いずれも裏面にコビキAの痕跡が認められる。

**SK105 (第543図)** 平面が不整な円形の上坑で床面は平坦である。長軸約1.2m、床面の深さまで約0.2mを測るが、床面南にはもう一段の掘込みが認められ、全体の深さは約0.4mになる。

**出土遺物 (第545図)** 1～3はSK105から出土した遺物である。1・2は京都系土師器の坏である。これらの口縁部外面には強いナデが施されており、1の口縁部は大きく外反する。3は鉛製の玉である。銹痕が残る。



第544回 SK104出土遺物実測図 (1/3)

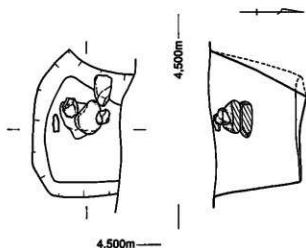


0 10cm

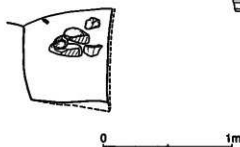
0 10cm

第545回 SK105出土遺物実測図 (1/3, 1/1)

0 5cm



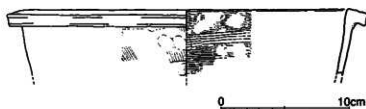
4,500m



第546図 SK107実測図 (1/30)

SK107 (第546図) 調査区東側のP23区で検出した土坑である。SK107・108・109・110・111は重複して東西方向に並び、北側は調査区外へ続く。検出面の観察でSK108がSK107を切って掘り込まれた状態が認められた。不定形の土坑で長軸約1.0m、深さは約0.8mを測る。

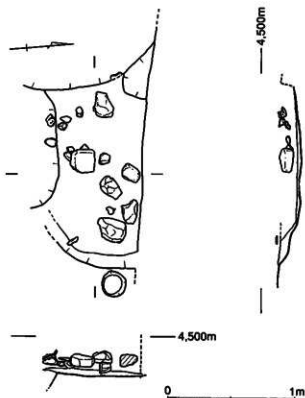
出土遺物 (第547図) 1はSK107から出土した土鍋である。逆し字状の口縁部を有す。



第547図 SK107出土遺物実測図 (1/3)

SK108 (第548図) SK107の東側に位置し、SK107により切られる。北側は調査区外へ続く。平面形は不明であるが床面はほぼ平坦で、深さは約0.1mを測る。礎を多く含む。

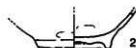
出土遺物 (第549図) 1～3はSK108から出土した遺物である。1は3期の京都系土師器の小皿で口縁部外面には強いナデが施される。2は瓦質土器の碗である。3は砥石で4面共に使用痕が残る。



第548図 SK108実測図 (1/30)



1



2



3



第549図 SK108出土遺物実測図 (1/3)

SK109

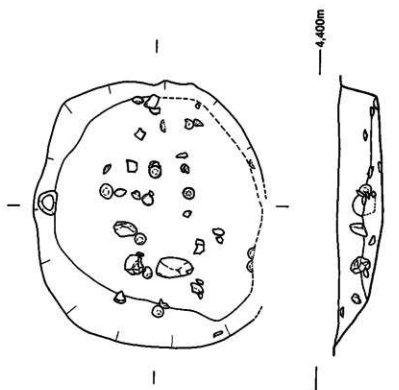
SK109 (第550

図) SK107の西側  
に位置し、SK  
107及びSK110を  
切り込むように掘  
り込まれた平面が  
楕円形の土坑であ  
る。床面はほぼ平  
坦で、長軸約2.1  
m、短軸約1.9m、  
深さは約0.4mを  
測る。壁を多く含  
む。

出土遺物

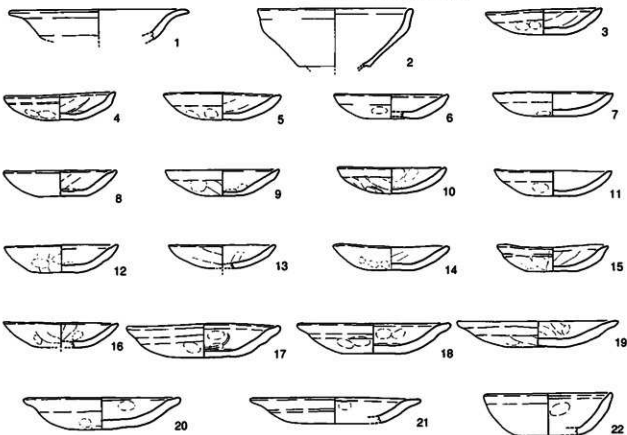
出土遺物(第551

図) 1~22は  
SK109から出土し  
た遺物である。1  
は青磁の皿である。  
口縁部が屈折  
気味に大きく外反  
する。2は天目茶



0 1m

第550図 SK109実測図 (1/30)



第551図 SK109出土遺物実測図 (1/3)

0 10cm

碗であるが、被熱して変色している。3～21は京都系土師器の小皿である。これらの口縁部外面には強いナデが施されており、9cm前後と12cm前後の2法量が存在する。11径が12cm前後のものは口縁部が外反する。22も手捏ねの京都系土師器であるが他の京都系土師器に比べ器口が高い杯である。

SK110

## SK110 (第552

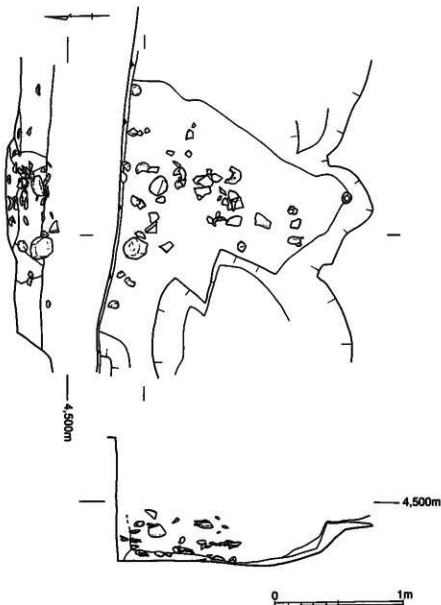
図) SK109の西側に位置する土坑である。SK109及びSK111により両端を切られているため、全体規模や平面形が不明である。検出面の観察では確認できなかったが、床面が両端の土坑より深いため、その存在が明らかとなった。床面は平坦であり京都系土師器や黒釉陶器、風知などが出土した。

出土遺物

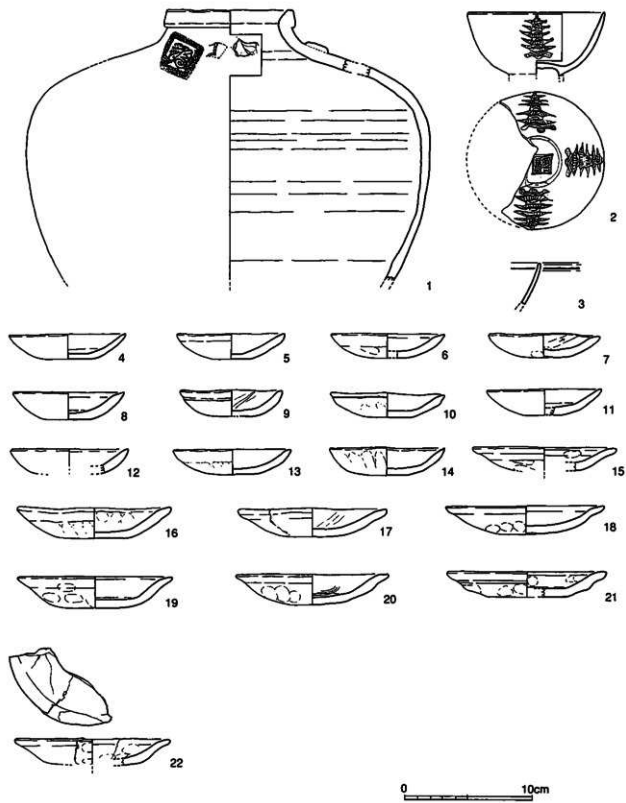
## 出土遺物 (第553

図) 1～28はSK110から出土した遺物である。1は中国産の黒釉陶器、いわゆる四耳壺である。肩部に「カド福」の刻印が見られる。2・3は景徳鎮窯系の青花碗である。朱付E群に属するマントーシ碗である。胴部には五層の樓閣が描かれ、高台内面には「富貴佳器」の銘

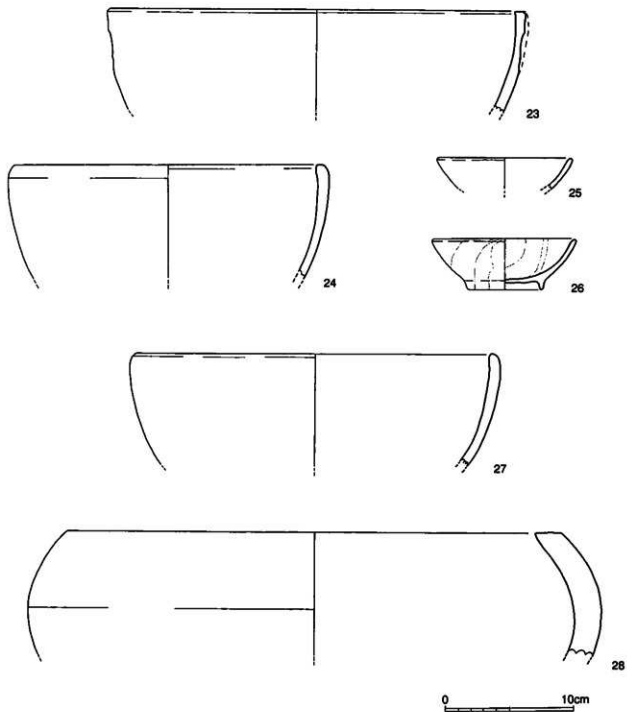
が入る。3は口縁部片で口縁部外面に界線が描かれる。4～22は3期の京都系土師器であり、これらの口縁部外面には強いナデが施される。SK109出土の京都系土師器同様に口径が12cm前後のものは口縁部が外反する。6・7には煤が付着しており灯明皿として使用されたことがわかる。23～28は瓦質土器である。25・26は碗で、23・24・27・28は風知であろう。



第552図 SK110実測図 (1/30)

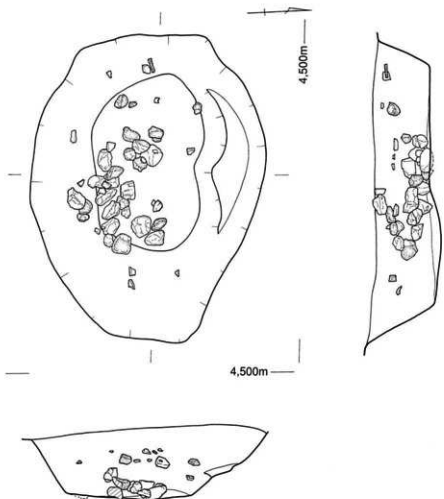


第553図 SK110出土遺物実測図① (1/3)

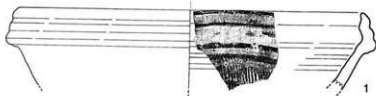


第554図 SK110出土遺物実測図② (1/3)





第555図 SK111実測図 (1/30)



第556図 SK111出土遺物実測図 (1/3)

SK111

**SK111** (第555図) SK110の西側に位置する土坑である。平面が不整な楕円形で、床面は平坦、北側には小さなテラスを有す。全体規模は長軸約2.4m、短軸約1.9m、テラスまでは約0.3m、全体の深さは約0.6mを測る。

出土遺物

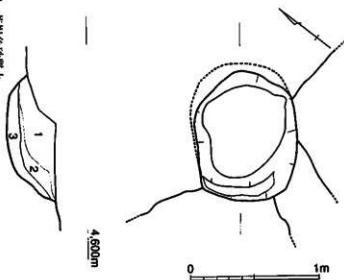
**出土遺物** (第556図) 1はSK111から出土した備前焼の播鉢の口縁部である。口縁端部のナデが鋭く口縁帯に2条の凹線を有するなど近世1期に属するものであろう。

## 15世紀の土坑

SK101

SK101 (第557図) 調査区東側のC23区で検出した平面が隅丸方形の土坑である。SD101と重複しており、その切り合い関係からSD101が埋まってから掘り込まれたものである。長軸約1.0m、短軸約0.8m、深さ約0.4mを測る。遺物は出土していない。

1. 茶褐色砂質土  
2. 茶褐色砂質シルト  
3. 茶褐色シルト



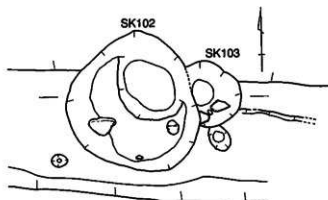
第557図 SK101実測図 (1/30)

SK102

SK102 (第558図) 調査区中央南側のC19区で検出した。SK102・SK103は重複して並んでおり、検出面の観察でSK102がSK103を切って作られた状態が認められた。平面が不整な円形の土坑で床面は平坦で北側で一段さがる。長軸約1.1m、短軸約1.0m、深さ約0.3mを測る。礎を含む。

SK103

SK103 (第558図) 楕円形の土坑である。長軸約0.5m、深さ約0.2mを測り、礎を含む。



SK115

SK115 (第559図) 調査区中央東側のB18区で検出した隅丸方形の南北方向に長い土坑で、床面は平坦である。長軸約2.0m、短軸約1.0m、深さ約0.25mを測る。

1. 灰色砂質土  
2. 褐色砂質シルト  
3. 暗灰色シルト



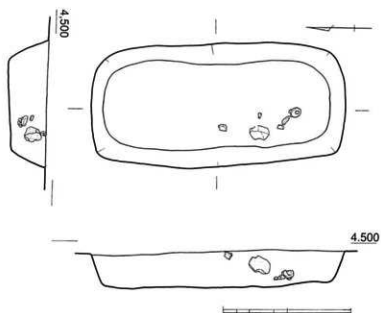
出土遺物

出土遺物 (第560図) 1・2はSK115から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の坏である。体部はやや内湾気味に立ち上がり端部は外反する。2は器種不明の土製品である。

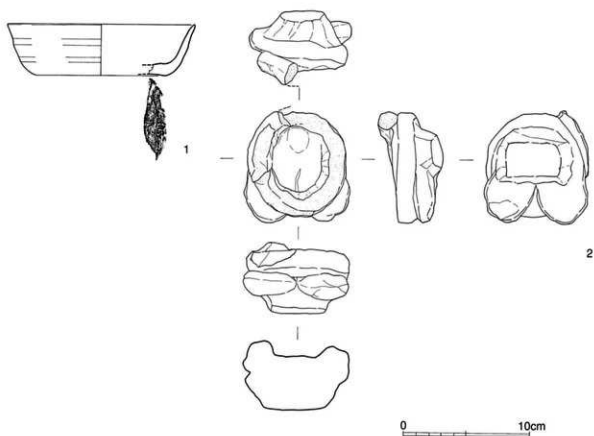
1. 灰色砂質土  
2. 暗褐色砂質シルト  
3. 灰褐色砂質シルト  
4. 褐色砂質土  
5. 暗灰色砂



第559図 SK102・103実測図 (1/30)



第559図 SK115実測図 (1/30)



第560図 SK115出土遺物実測図 (1/3)

SK118

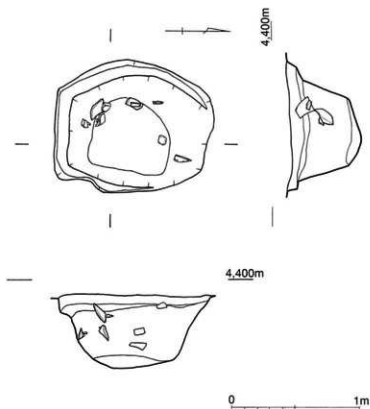
## SK118 (第561図)

調査区東側のD18区で検出した。平面が不整な隅丸方形で、床面中央が1段下がり底面は丸みを帯びる。長軸約1.3m、短軸約1.0m、深さは床面までが約0.1m、底まで約0.6mを測る。

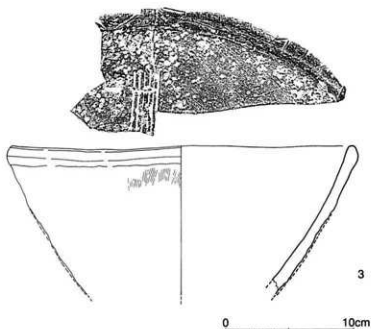
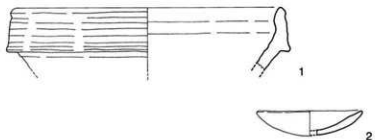
出土遺物

## 出土遺物(第562図)

第1～3はSK118から出土した遺物である。1は備前焼の播鉢の口縁部である。中世5期に属するものである。2は3期の京都系土師器であるが、1・3に比べると時期差があるため混入物であろう。3は播鉢の口縁部である。スリ目の単位は6条ある。



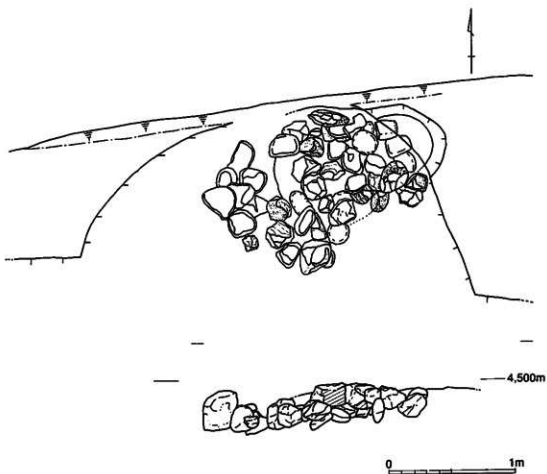
第561図 SK118実測図 (1/30)



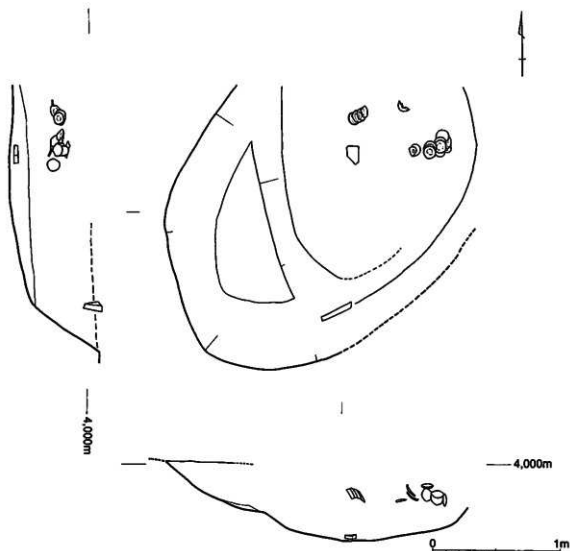
第562図 SK118出土遺物実測図 (1/3)

SK125 (第563図) 調査区西側B18区、SE101の上面で検出した土坑である。平面プランや底部の形状が不明確であり、土坑でない可能性も考えられたが、内部に隙が存在したことから土坑と判断した。SK126と重複する。これらの遺構の上面には隙が存在するが、どちらの遺構に伴うものであるか正確に捉えることはできなかった。なおSK125はSK126により東側を切られる。長軸は不明であるが、現状で短軸約1.0m、深さ約0.3mを測る。遺物は出土していない。

SK126 (第564図) SK125同様に西側B18区、SE101の上面で検出した土坑である。平面が楕円形の土坑であるが、西側のプランが明確ではない。SK125と同様に平面プランや底部の形状が不明確であり、土坑でない可能性も考えられたが、若干の土器片と銅銭45枚が出土していることから土坑と判断した。(第565～567図)長軸については不明であるが、現状で短軸2.0m、深さ0.6mを測る。南西側に緩やかなテラスの形状を呈している。SK126はSK125の東側を切っているが、重複した部分についてはかなり不明瞭である。



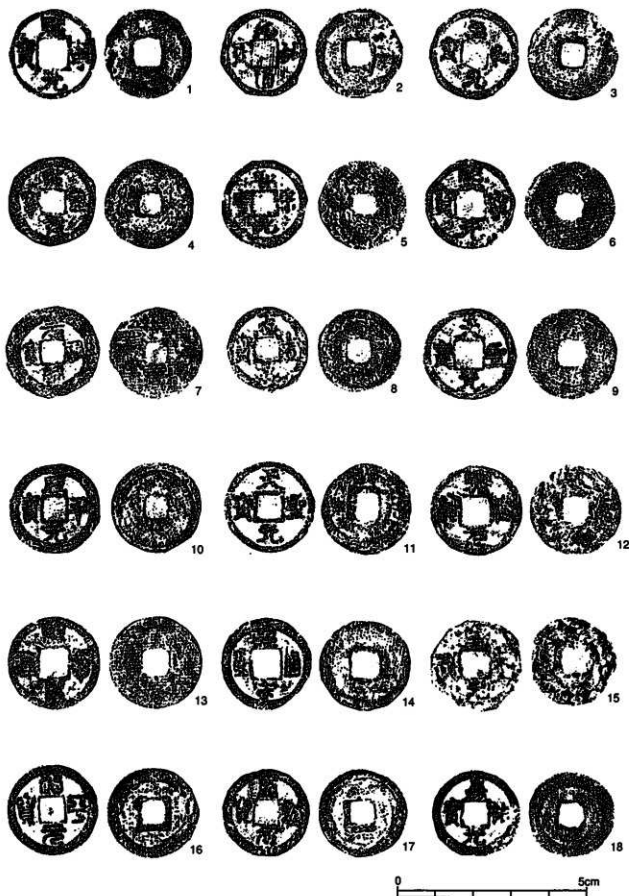
第563図 SK125実測図 (1/30)



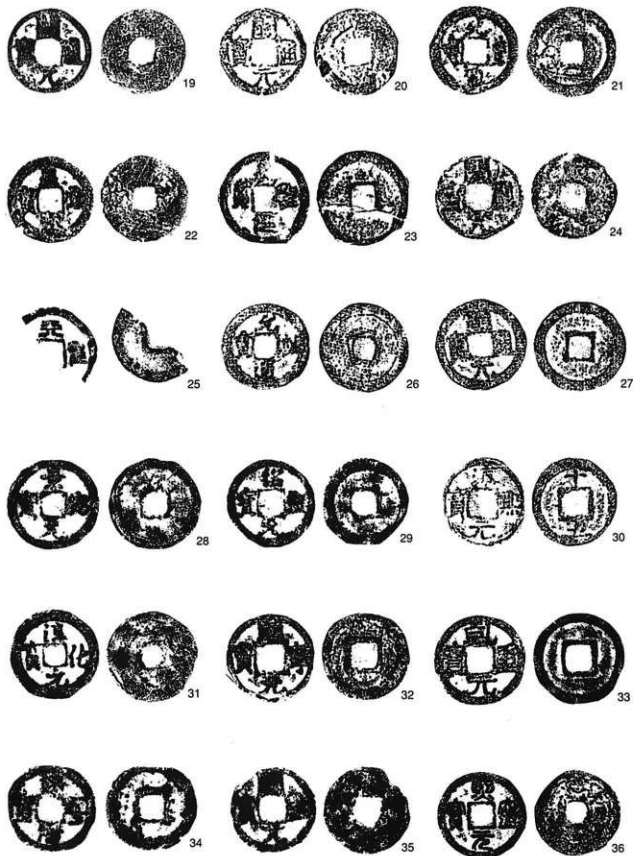
第564図 SK126発掘図 (1/30)

第7表 SK126出土銅銭一覧表

番	種類	初鋳年	番	種類	初鋳年	番	種類	初鋳年
1	熙寧元寶	北宋1068年	16	治平元寶	北宋1064年	31	淳化元寶	北宋 990年
2	元祐通寶	北宋1086年	17	紹聖元寶	北宋1094年	32	熙寧元寶	北宋1068年
3	至和元寶	北宋1054年	18	景祐元寶	北宋1034年	33	元重寶	唐 758年
4	熙寧元寶	北宋1068年	19	開元通寶	唐 621年	34	治平元寶	北宋1064年
5	聖宋元寶	北宋1101年	20	開元通寶	唐 621年	35	開元通寶	唐 621年
6	熙寧元寶	北宋1068年	21	元豐通寶	北宋1078年	36	熙寧元寶	北宋1068年
7	元祐通寶	北宋1086年	22	皇宋通寶	北宋1038年	37	天聖元寶	北宋1023年
8	至道元寶	北宋 995年	23	天聖元寶	北宋1023年	38	元豐通寶	北宋1078年
9	天聖元寶	北宋1023年	24	開元通寶	唐 621年	39	皇宋通寶	北宋1038年
10	咸平元寶	北宋 998年	25	天聖元寶	北宋1023年	40	不明	
11	天聖元寶	北宋1023年	26	元祐通寶	北宋1086年	41	熙寧元寶	北宋1068年
12	熙寧元寶	北宋1068年	27	開元通寶	唐 621年	42	元符通寶	北宋1098年
13	皇宋通寶	北宋1038年	28	景德元寶	北宋1004年	43	天聖元寶	北宋1023年
14	皇宋通寶	北宋1038年	29	紹聖元寶	北宋1094年	44	皇宋通寶	北宋1038年
15	皇宋通寶	北宋1038年	30	淳熙元寶	南宋1174年	45	開元通寶	唐 621年

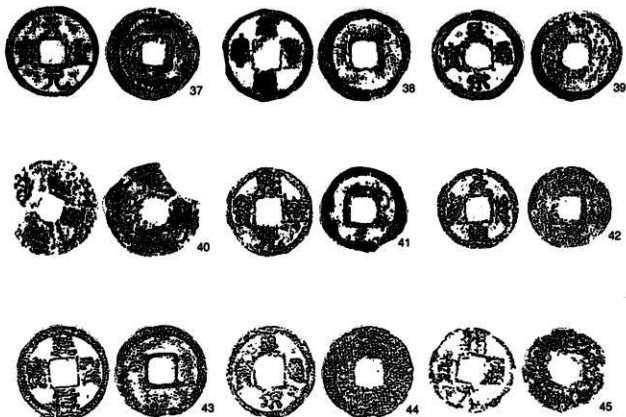


第565図 SK126出土遺物実測図① (1/1)



第566図 SK126出土遺物実測図②(1/1)

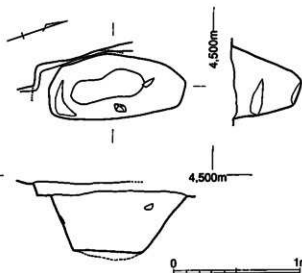




第567図 SK126出土遺物実測図③ (1/1)

SK121 第568図 調査区中央南側 B19区で検出した土坑である。平面が楕円形を呈しており南側にテラスを有する。床面はやや丸みを帯び、長軸約1.1m、短軸約0.5m、テラスまで0.1m、底まで0.5mを測る。

出土遺物 出土遺物(第569図) 1~3はSK121から出土した遺物である。いずれも銅銭で、1が初鋳年が998年(北宋)の「咸平元寶」、2が初鋳年が845年(唐)の「開元通寶」、3が1038年(北宋)の「皇宋通寶」である。



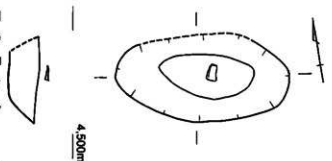
第568図 SK121実測図 (1/30)



第569図 SK121出土遺物実測図 (1/1)

SK130

**SK130 (第570回)** SK128と同様に調査区西側C17区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦である。長軸は約1.4m、短軸約0.7m、深さ約0.25mを測る。北側をSD105Aによって切られる。遺物は出土しなかった。

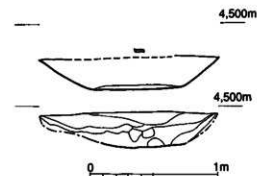


SK132

**SK132 (第566回)** 調査区西側D17区で検出した平面が不整形の土坑で、床面はほぼ平坦である。長軸は約1.3m、短軸約0.6m、深さ約0.2mを測る。

出土遺物

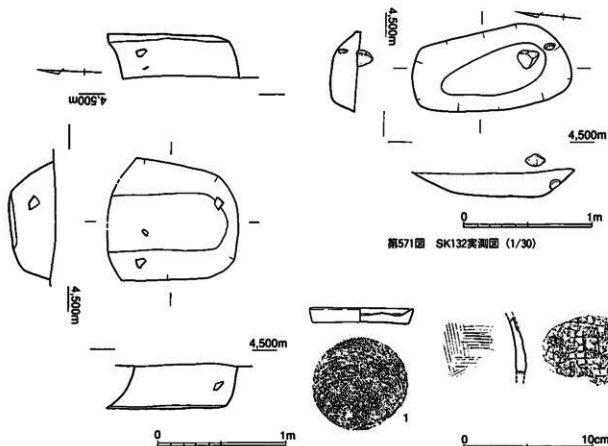
**出土遺物 (第572回)** 1・2はSK132から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の小皿で底部が肥厚しており15世紀代の所産であろう。2は土鍋の胴部片で、外面に格子目状のタタキ痕が残る。



第570回 SK130実測図 (1/30)

SK139

**SK139 (第573回)** 調査区西側C17区で検出した土坑である。北側がSD105Aによって切られている。平面は楕円形を呈していた可能性が高い。床面はほぼ平坦で長軸は不明、短軸約1.0m、深さ約0.3mを測る。



第573回 SK139実測図 (1/30)

第572回 SK132出土遺物実測図 (1/3)

出土遺物

**出土遺物（第574図）** 1はSK139から出土した遺物である。坏の口縁部片であるが、内面にミガキ調整の残る都城系土師質土器の坏であり、調査区から当該期の遺構は検出されておらず、混入品であろう。



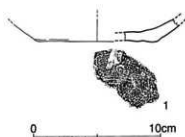
第574図 SK139出土遺物実測図 (1/3)

SK144

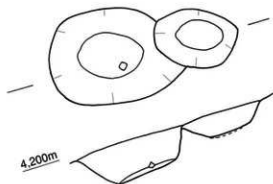
**SK144（第575図）** 調査区西側のD16区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦である。長軸約1.1m、短軸約0.7mで、深さは0.3mを測り、東側をビットで切られる。

出土遺物

**出土遺物（第576図）** 1はSK144から出土した瓦質土器の底部である。糸切り底で体部はかなり外傾して立ち上がる。



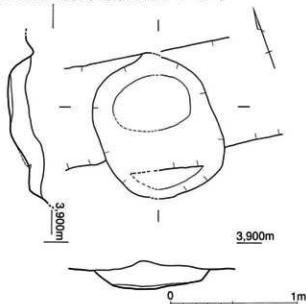
第576図 SK144出土遺物実測図 (1/3)



第575図 SK144実測図 (1/30)

SK146

**SK146（第577図）** 調査区西側のD18区で検出した平面が楕円形の土坑である。SD101の上面から掘り込まれており、床面はほぼ平坦で中央北側が1段下がる。長軸約1.2m、短軸0.9mで、深さは0.1m、底まで0.2mを測る。遺物は出土していない。



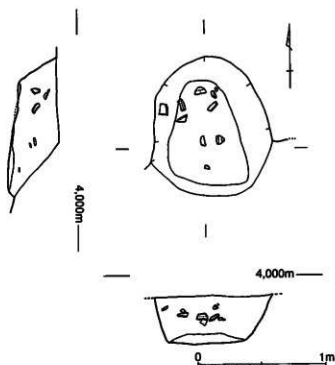
第577図 SK146実測図 (1/30)

SK147

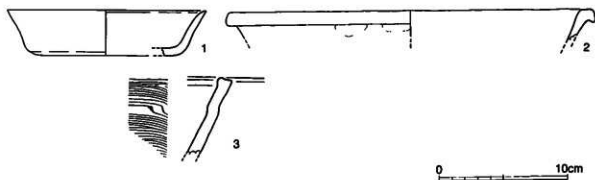
**SK147 (第578図)** 調査区西側のC18区で検出した平面が楕円形の土坑である。SD106Bにより西側を切られている。SD106Aの上面から掘り込まれており、床面はほぼ平坦であるが、東にやや上る。長軸約1.5m、短軸1.2mで、深さは0.67mを測る。

出土遺物

**出土遺物 (第579図)** 1～3はSK147出土の遺物である。1は在地系土師質土器である。箱形で口径と底径があまり差がないタイプである。体部は外反し直線的に立ち上がる。口縁端部はさらに外反しており、15世紀初頭頃のものであろう。2は土鍋の口縁部か。端部は屈曲する。3は防長系播鉢の口縁部か。端部内面に肥厚帯を巡らす。内面にハケ目が残る。



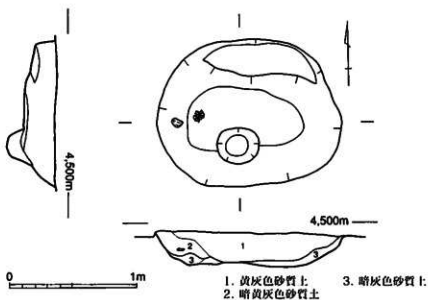
第578図 SK147実測図 (1/30)



第579図 SK147出土遺物実測図 (1/3)

SK148

**SK148 (第580図)** 調査区西側のB19区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で中央北側が1段下がる。15世紀の土坑が集中する付近で検出したことから、15世紀の土坑と判断した。長軸約1.9m、短軸1.5mで、深さは0.28m、底まで0.32mを測る。遺物は土師器の細片が出土しているが、実測できるものはなく遺物については割愛した。



第580図 SK148実測図 (1/30)

## 14世紀の土坑

SK106 SK106(第581図) 調査区東側のD23区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で長軸約1.4m、短軸約0.7m、深さ約0.7mを測る。

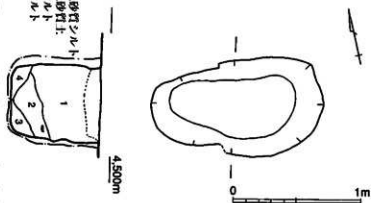
出土遺物

出土遺物(第582図)

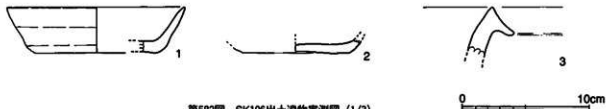
1～3はSK106から出土した遺物である。1は在地系土師器の坏である。口径と底径の差が少なく、体部

は底部から外傾し直線的に伸びる。14世紀後半の所産である。2は在地系土師器の小皿の底部である。体部がやや内湾するものであろう。3は須恵器の口縁部か。他の遺物と時期差があることから混入物である。

1. 灰黄褐色砂質シルト  
2. 灰黄褐色砂質土  
3. 灰褐色シルト  
4. 灰褐色シルト



第581図 SK106実測図(1/30)

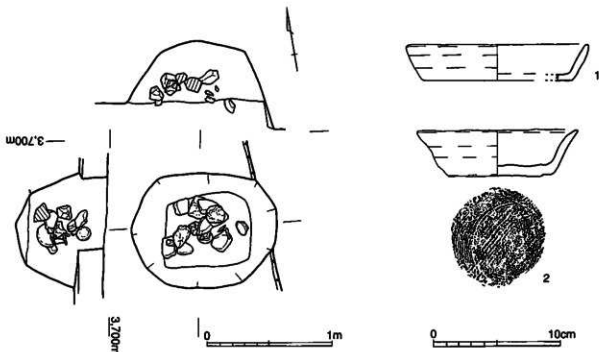


第582図 SK106出土遺物実測図(1/3)

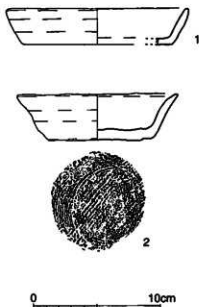
SK112 SK112(第583図) 調査区東端の土層遺構をトレンチ調査のため上部構造物を取り除いた際、その下で検出した土坑である。C24区に位置する。平面が楕円形で床面は丸みを帯びる。全体規模は長軸1.2m、短軸約0.9m、深さは約0.7mを測る。

出土遺物

出土遺物(第584図) 1・2はSK112から出土した遺物である。1・2ともに在地系土師質土



第583図 SK112実測図(1/30)

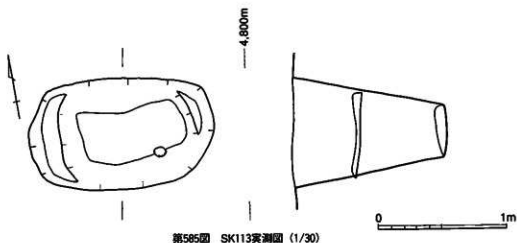


第584図 SK112出土遺物実測図(1/3)

器の坏であるが、1は口径と底径の差があまりないタイプである。1の体部が底から直線的に立ち上がり、2は外反するように立ち上がる14世紀末から15世紀初頭の所産であろう。

SK113

**SK113 (第585図)** 調査区東側のD23区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦であるが、中央部が1段下がっている。長軸約1.5m、短軸約0.9mで、深さは床面までが0.6m、底までが1.2mを測る。土師質土器の副部小片が1点出土した。



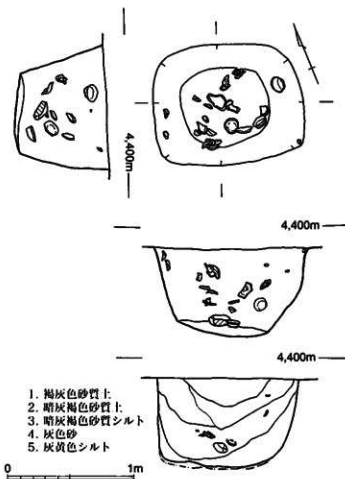
第585図 SK113実測図 (1/30)

SK114

**SK114 (第586図)** 調査区中央東寄りD18区で検出した平面が隅丸方形の土坑である。床面はやや南下がり、ほぼ平坦である。長軸約1.2m、短軸約0.9m、深さ約0.8mを測る。

出土遺物

**出土遺物 (第587図)** 1～13はSK114から出土した遺物である。いずれも在地形土師質土器で1～10までは坏、11～13は小皿である。坏については、3～10は底径と口径にあまり差がないタイプである。6・7は体部がやや内湾気味に立ち上がるものの、全体的には体部が直線的に立ち上がる。端部については基本的には直線的に伸びるが、3は外反する。小皿は、11・12は体部が直線的に立ち上がるのに対し、13はやや内湾気味に立ち上がる。いずれも14世紀後葉の所産であろう。

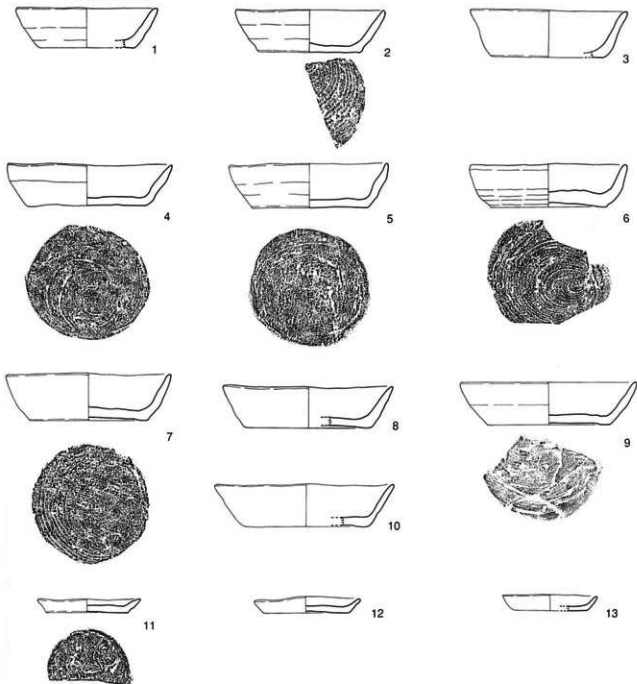


第586図 SK114実測図 (1/30)

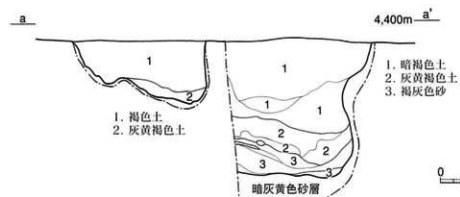
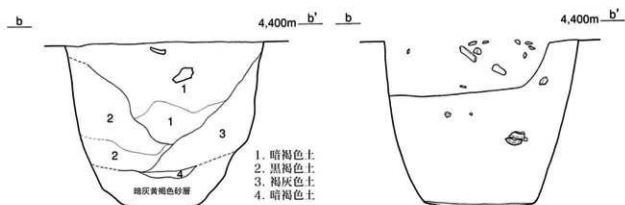
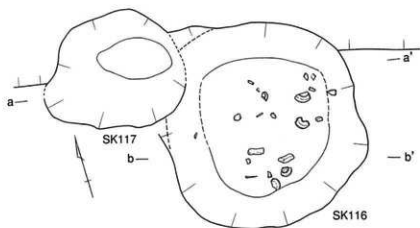
SK116 **SK116** (第588図) 調査区東側のD18区で検出した。SK116はSK117と重複して並ぶが、この二つの土坑の切りあい関係については明確にできなかった。いずれもSD101に切られる。SK116は不整な円形を呈しており、床面は平坦である。長軸・短軸ともに約1.6m、深さ約1.3mを測り、土師質土器や托(たく)などが出土した。

出土遺物 **出土遺物** (第589図) 1~4はSK116から出土した遺物である。1は托(たく)もしくは台坏皿か。2・3は在地系土師質土器の坏である。口縁端部が尖り気味に収まる。4は飾り金具か。

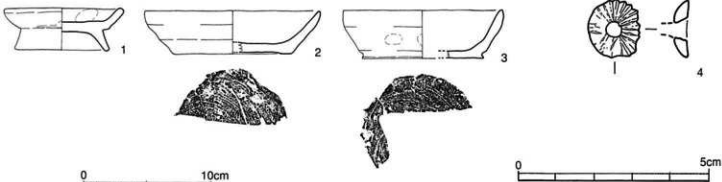
SK117 **SK117** (第589図) 不整な楕円形の土坑である。床面は平坦で、長軸約1.1m、短軸0.9m、深さ0.5mを測る。



第587図 SK114出土遺物実測図 (1/3)



第588図 SK116実測図 (1/30)



第589図 SK116出土遺物実測図 (1/3)

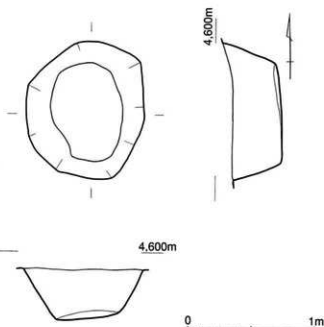


SK119

**SK119 (第590図)** 調査区中央のB19区で検出した。平面が不整な楕円形で、床面は丸みを帯びる。長軸約1.1m、短軸約0.9m、深さは約0.4mを測る。

出土遺物

**出土遺物 (第591図)** 1はSK119より出土した在地系土師質土器の小皿である。体部はやや内湾気味に立ち上がり、端部は丸く収まる。底部の肥厚がまだ認められないことから14世紀後葉の所産であろう。



第590図 SK119実測図 (1/30)



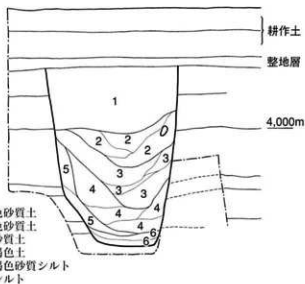
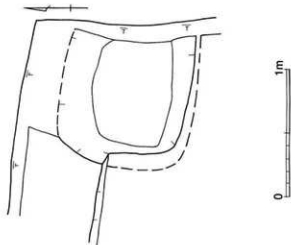
第591図 SK119出土遺物実測図 (1/3)

SK120

**SK120 (第592図)** 調査区東端北側D25区で検出した。東側が調査区外に続くため全体規模は不明であるが、平面は隅丸方形か。土壇状遺構の下面から掘り込まれた可能性が高く、床面はほぼ平坦で、現状で短軸約1.1m、深さ約1.5mを測る。

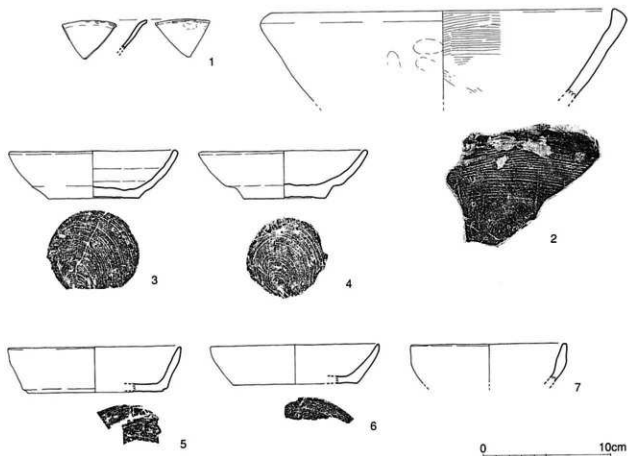
出土遺物

**出土遺物 (第593図)** 1～7はSK120から出土した遺物である。1は森田A群に属するいわゆる「口禿げの白磁」碗の口縁部である。口縁端部は外反し、端部には煤が付着しており、灯明皿として使用された可能性が高い。2は防長型播鉢である。ハケ目による調整痕が残り、口縁端部内側に断面三角形の肥厚帯が貼り付けられる。3～7は在地系の土師質土器の坏である。3・4は在地系土師質土器の坏である。底部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がり、口縁端部は尖り気味に仕上がる。5・6は外傾しながら直線的に立ち上がり、口縁端部は丸く仕上がる。7は口縁部片である。いずれも14世紀後葉の所産であろう。



1. 褐灰色砂質土
2. 黄灰色砂質土
3. 灰色砂質土
4. 灰黄褐色土
5. 暗灰褐色砂質シルト
6. 灰色シルト

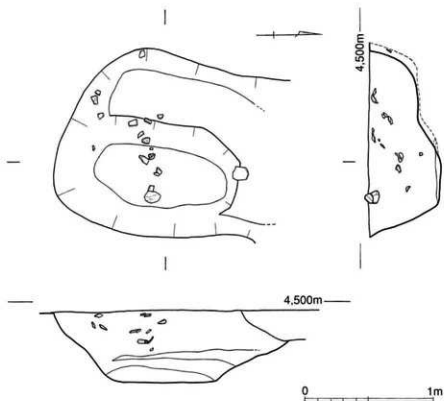
第592図 SK120実測図 (1/30)



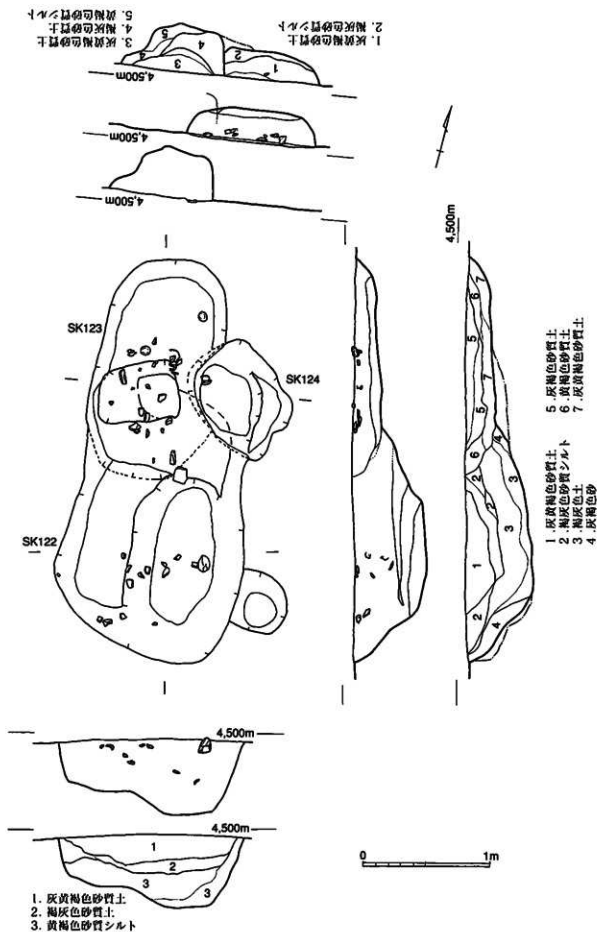
第593図 SK120出土遺物実測図 (1/3)

SK122

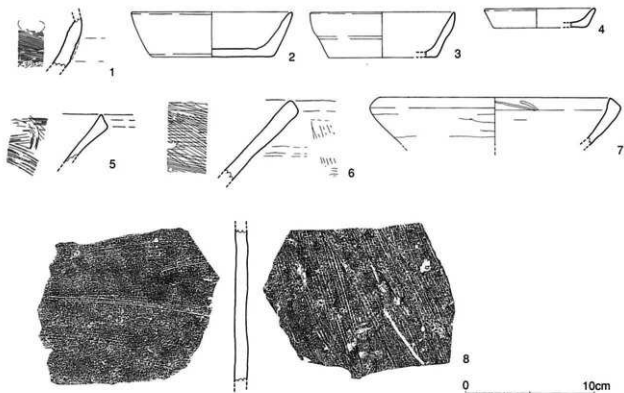
**SK122** (第594図) 調査区西側B・C17区で検出。SK123・SK124と重複するように並ぶ。検出面の観察では明確ではなかったが、土層を観察するとSK123・SK124・SK125の順に作られたことが明らかとなった。SK122は不定形の土坑であり、北側を



第594図 SK122実測図 (1/30)



第955図 SK122~SK124発掘面 (1/30)

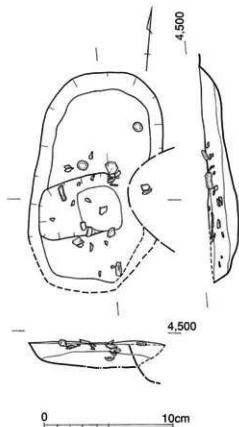


第596図 SK122出土遺物実測図 (1/3)

SK123・SK124によって切られる。床面はほぼ平坦であるが、南側で1段下がる。長軸は不明であるが短軸約1.3m、床面まで約0.4m、底まで約0.6mを測る。

出土遺物

**出土遺物(第596図)** 1～8はSK122から出土した遺物である。1は緑軸陶器片である。2～4は在地系土師質土器で2・3は坏、4は小皿である。2・3は底部から体部が外傾し直線的に伸び、口縁端部は尖り気味に仕上がる。3の体部には沈線状の段が残るが、これは体部下外面に強い横ナデが施されたためである。4は在地系土師質土器の小皿である。底部から体部が外傾し直線的に伸び、口縁端部は尖り気味に仕上がる。5は土師質土器の鍋である。口縁端部外側に断面三角形の肥厚帯を貼り付けた後、端部を面取りする。6・7は瓦質の鉢である。6の内面にはハケ目調整が施され、口縁端部内側に肥厚帯が貼り付けられていることから防長系の楕鉢か。11は須恵器の甕の胴部片である。



第597図 SK123実測図 (1/30)

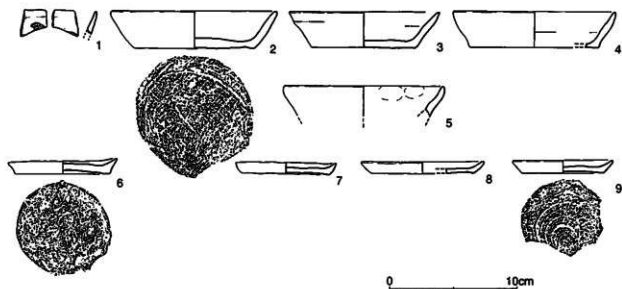
SK123

SK123 (第597図) SK122の上面に掘

り込まれ、SK124に切られる、平面が楕円形の土坑である。床面は平坦であるが南向きに下がる。長軸約1.7m、短軸1.0m、深さ0.17mを測る。

## 出土遺物

出土遺物(第598図) 1～9はSK123から出土した遺物である。1は青花碗の口縁部片である。他の遺物に比べると時期が新しいことから混入物であろう。2～9は在地系土師質土器で2～5は坏、6～9は小皿である。坏はいずれも口径と底径の差があまりないタイプで、体部は外傾し直線的に伸びるが、中央付近でやや肥厚し、口縁部は尖り気味に仕上がる。5は口縁部片である。小皿は、いずれも口径は8cm前後であるが、6は底部から体部が外傾し直線的に伸びるのに対し、7～9はやや内湾しながら伸びる。これらの土師質土器は14世紀前葉頃～中葉の所産であろう。



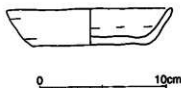
第598図 SK123出土遺物実測図 (1/3)

## SK124

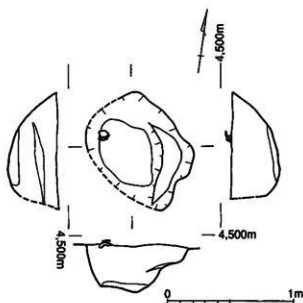
SK124 (第599図) 平面が不定形の土坑である。床面はやや丸みを帯びており、西側で1段下がる。長軸は約0.9m、短軸0.7m、床面まで約0.17m、底まで約0.35mを測る。

## 出土遺物

出土遺物(第600図) 1はSK124から出土した在地系土師質土器の坏である。口径と底径の差があまりないタイプで、底部から体部は外傾し直線的に伸び、端部は丸く収まる。14世紀後半の所産か。



第600図 SK124出土遺物実測図 (1/3)



第599図 SK124実測図

SK127

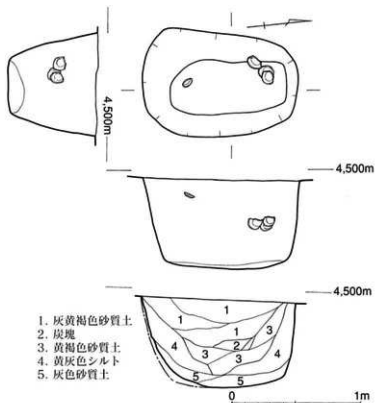
**SK127 (第601図)** 調査区西側 C17区で検出した平面が不正な楕円形の土坑である。床面は丸みを帯びる。長軸約1.2m、短軸0.8m、深さ0.68mを測る。

出土遺物

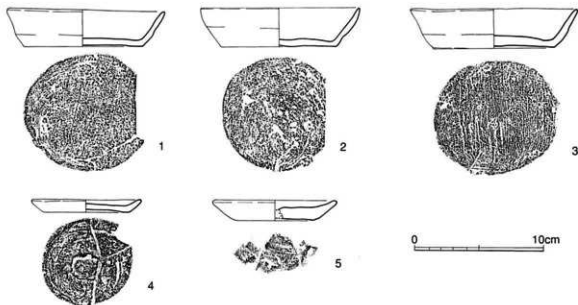
**出土遺物 (第602図)**

1～5はSK127から出土した遺物である。1～5は在地系土師質土器で、1～3は坏、4・5は小皿である。坏はいずれも口径と底径の差があまりないタイプで、底部から体部が外傾して直線的に伸びる。端部は丸く収まるが、2は尖り気味に仕上がる。小皿は、坏同様に底部から体部が外傾し直線的に伸び端部は丸く収まるが、5の底部は肥厚する。SK126同様、これらの土師質土器は14

世紀前葉頃～中葉の所産であろう。



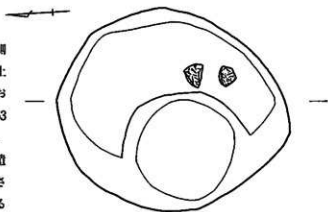
第601図 SK127実測図 (1/30)



第602図 SK127出土遺物実測図 (1/3)

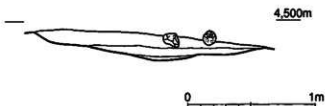
SK128

SK128 (第603図) 調査区西側C17区で検出した平面が楕円形の土坑である。床面は丸みを帯びており、西側で1段下がる。長軸は0.53m、短軸0.35m、床面まで0.1m、底まで0.2mを測る。竪を含む遺物は出土しなかった。上部が削平されており、全体の形状は不明であるが、床面の規模や検出状況から14世紀の土坑と判断した。

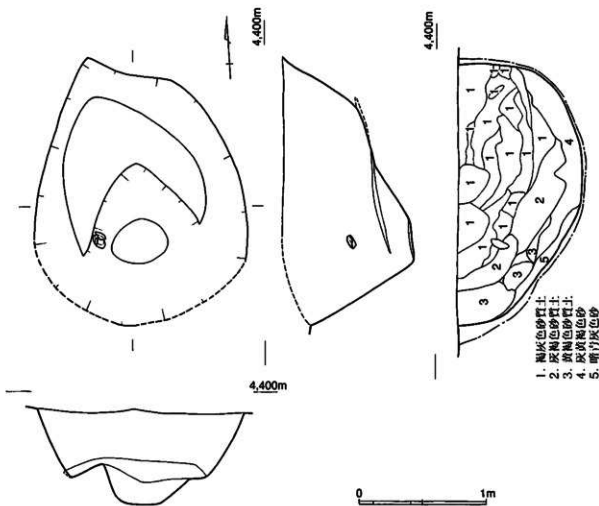


SK131

SK131 (第604図) 調査区西側C・Dの17区で検出した平面が不整の楕円形の大型土坑である。床面は北側で1段下がるが、床面はほぼ平坦である。南側をSD105Aによって上部が切られる。長軸は0.37m、



第603図 SK128実測図 (1/30)



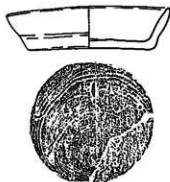
1. 褐色砂質土
2. 灰褐色砂質土
3. 灰褐色砂質土
4. 灰褐色砂質土
5. 暗褐色砂

第604図 SK133実測図 (1/30)

短軸0.37m、床面まで0.17m、底まで0.40mを測る。

出土遺物

**出土遺物（第605図）** 1はSK131から出土した遺物である。在地系土師質土器の坏である。口徑と底徑の差があまりないタイプで、底部外面に強いナデが施されるため、体部中央付近が肥厚する。



0 10cm

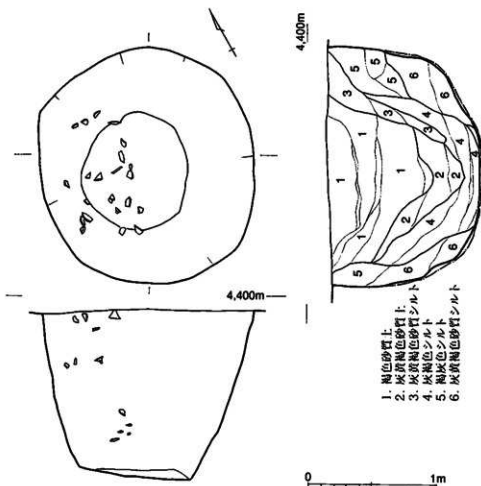
SK133

**SK133（第606図）** 調査区西側C・Dの18区で検出した平面が楕円形の大型土坑である。床面はほぼ平坦である。長軸は約1.78m、短軸約1.65m、深さ約1.2mを測る。

出土遺物

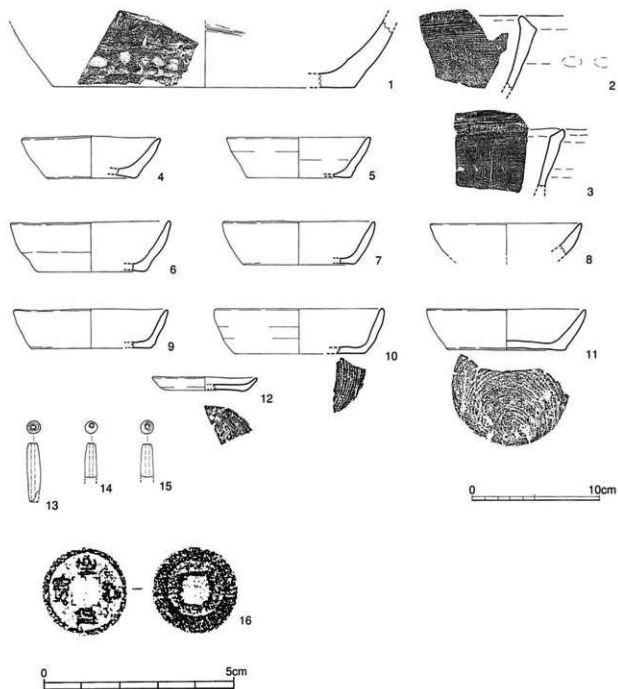
**出土遺物（第607図）** 1～16はSK133から出土した遺物である。1は備前系の甕の底部である。2・3は土師質土器の握ね鉢の口縁部片である。4～12は在地系土師質土器で4～11は坏、12は小皿である。いずれも底部から体部が外傾し直線的に伸び、端部は丸く取まる。6の体部下外面には強い横ナデが施される。いずれも器高が3cmを超えるが、4・5は6～11に比べて底徑と口徑の差が少ない。小皿も坏同様に体部が外傾し直線的に伸びる。13から15は土師である。16は銅銭で、初鋳年が1054年（北宋）の「至和元寶」である。

第605図 SK131出土遺物実測図（1/3）



第606図 SK133実測図（1/30）





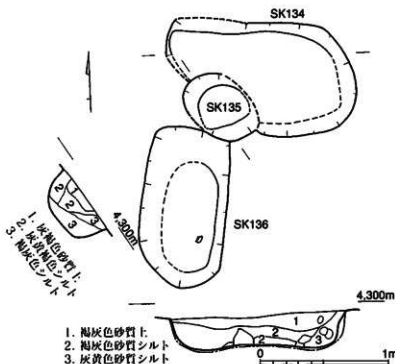
第607図 SK133出土遺物実測図 (1/3、1/1)

SK134

SK134 (第608図) 調査区東側 D17区で SK135・SK136と重複して検出した。平面が楕円形の土坑で、床面は丸みを帯びており、長軸は約1.6m、短軸約1.0m、深さ0.22mを測る。

出土遺物

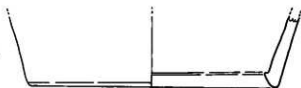
出土遺物 (第609図) 1はSK134から出土した甔の底部片である。底部の返りが残ることから9世紀前半のものであり、混入物の可能性が高い。



第608図 SK134・135・136実測図 (1/30)

SK135

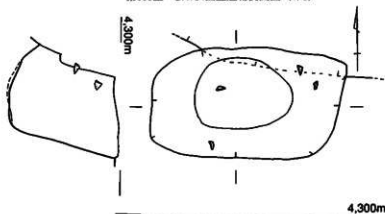
SK135 (第608図) SK39とSK40を切るように掘り込まれた楕円形の土坑である。床面はほぼ平坦で長軸は約0.6m、短軸約0.45m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。



SK136

SK136 (第608図) 不整な楕円形の土坑である。床面はやや凸凹しており、長軸は約1.22m、短軸約0.7m、深さ0.26mを測る。遺物は出土していない。

第609図 SK134出土遺物実測図 (1/3)



SK137

SK137 (第608図) 調査区西側 D18区で検出した平面が不整な隅丸方形で北側がSD101によって切られる。床面はほぼ平坦であるが、南向きに下がる。長軸は約1.5m、短軸約0.86m、深さ約0.9mを測る。

出土遺物

出土遺物 (第610図) 1～3はSK137から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の坏

第610図 SK137実測図 (1/30)



第611図 SK137出土遺物実測図 (1/3)

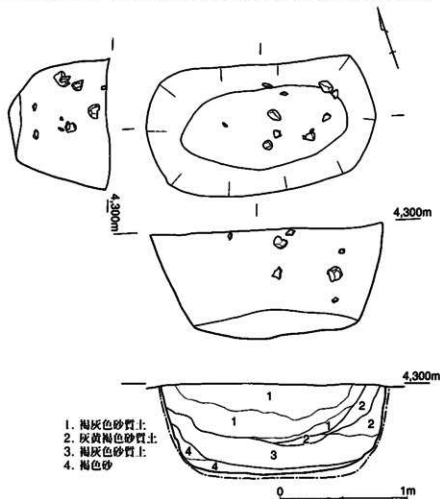
の口縁部である。底部から体部が外に傾き直線的に伸び、端部は丸く収まる。底径と口径の差が少ないタイプである。2は在地系土師質土器の小皿である。体部の立ち上がりはやや内湾する。これらの土師質土器は14世紀中葉～後葉の所産であろう。3は鉢の底部か。底部外面にはハケ目状の調整痕が残る。

SK138

**SK138 (第612図)** 調査区西側D17・18区で検出した平面が東西方向に長い大型の土坑である。平面は楕円形を呈しており、床面はやや丸みを帯びる。長軸は約1.8m、短軸約1.0m、深さ約0.8mを測る。礫とともに遺物も出土したが、いずれも小片であり、図示できるものはなかった。

SK140

**SK140 (第613図)** 調査区西側D17区で検出した不定形の大型の土坑である。北西側は後世の擾乱のために削平される。床面は中央部で2段下がり底部はやや丸みを帯びる。長軸は約2.5m、短軸約2.3m、床面まで約0.9m、1段目まで深さ約1.2mを測る。



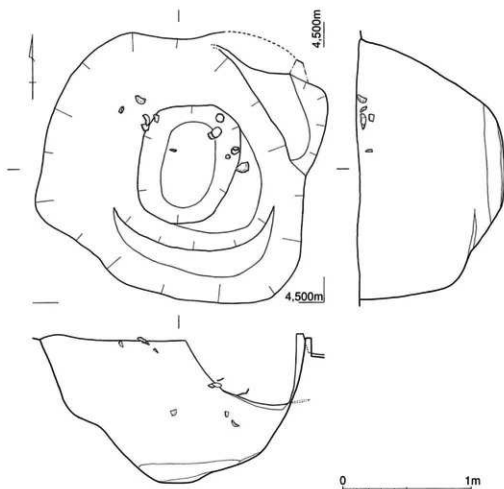
第612図 SK138実測図 (1/3)

出土遺物

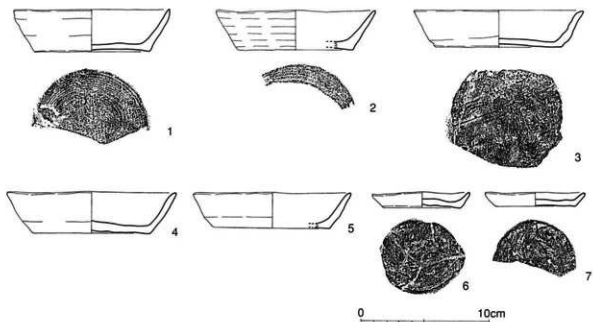
出土遺物(第614

図) 1～7は

SK140から出土した遺物である。いずれも在地系土師質土器で1～5は坏。3～5は小皿である。坏はいずれも口径と底径にあまり差がないタイプで1・2は底部から体部が外傾し直線的に伸びて端部は丸く収まるのに対し、3～5は体部がやや内湾しながら伸び、口縁端部はさらに外反する。小皿については、いずれも底部から体部が外傾し直線的に伸びて端部は丸く収まる。体部の形状か



第613図 SK140実測図 (1/30)



第614図 SK140出土遺物実測図 (1/3)

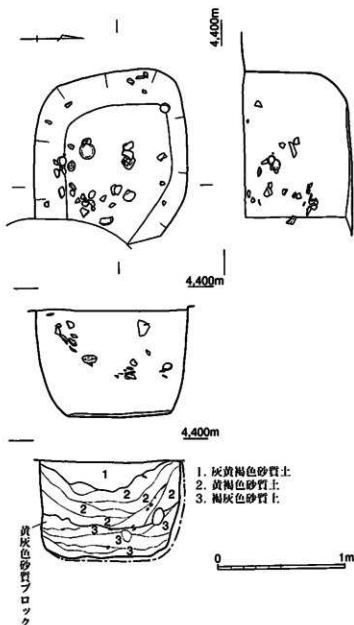
ら14世紀中葉～後葉の所産であろう。

SK141

**SK141 (第615図)** 調査区西側D17区でSK45の西側で検出した東西方向に長い大型の土坑である。SK45同様に東側が後世の掘乱のために削平される。平面は楕円形を呈しており、床面はほぼ平坦である。長軸は不明であるが、短軸1.2m、深さ約0.8mを測る。

出土遺物

**出土遺物 (第616図)** 1～24はSK141から出土した遺物である。1～24は在地系土師質土器である。1～8は坏、9～24は小皿である。いずれも箱型であるが4～8は口径と底径にあまり差のないタイプである。1～3は、体部の立ち上がりは1が直線的、2は内湾気味、3は口縁が外反するなど、バラエティーに富む。それに比べると3～8の体部はいずれも外に傾きながら直線的に立ち上がる。小皿については、9～18まではいずれも底部から体部が外傾し直線的に伸び端部は



第615図 SK141実測図 (1/30)

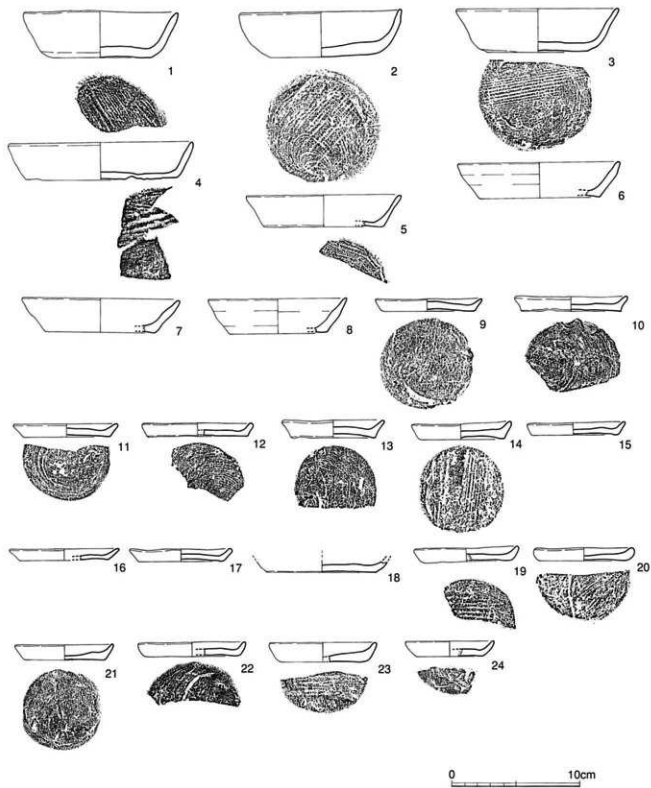
丸く収まる。19～24は体部が内湾気味に立ち上がる。1～3については15世紀代にみられることから、これらの土師質土器は14世紀末～15世紀初葉の所産と考慮してよいであろう。

SK142

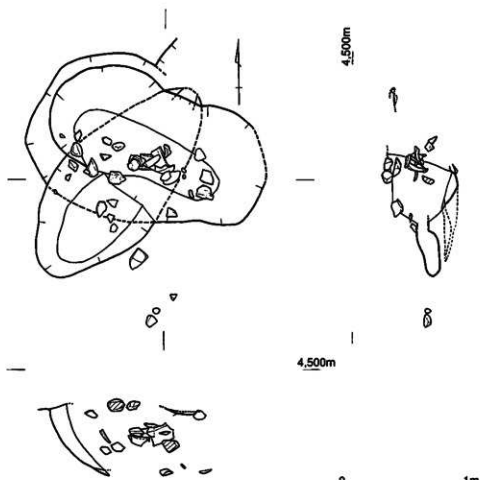
**SK142 (第617図)** 調査区西側C17区で検出した土坑である。後世の掘乱により平面プランは不明であるが、楕円形を呈していたと思われる。床面はやや丸みを帯びる。長軸は約1.9m、短軸約1.2m、深さ約0.5mを測る。

出土遺物

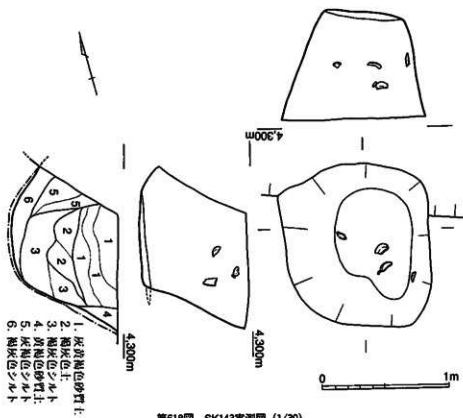
**出土遺物 (第618図)** 1～8はSK142から出土した遺物である。1は在地系土師質土器の坏で、体部がやや内湾しながら伸び、口縁端部はさらに外反する。底径と口径の差が少ないタイプである。14世紀後葉の所産であろう。2は口縁が受け口状の縁帯を持つ信楽系の甕の口縁部。3は土鍋の口縁部である。体部外面下半分から底部にかけて格子目状のタタキ痕が残る。4～8は瓦質土器である。4は鉢の口縁部で内外面にハケ目が施されている。5・6・7は埴ね鉢、8は摺鉢で、スリ目の条数は5本程度と少ない。



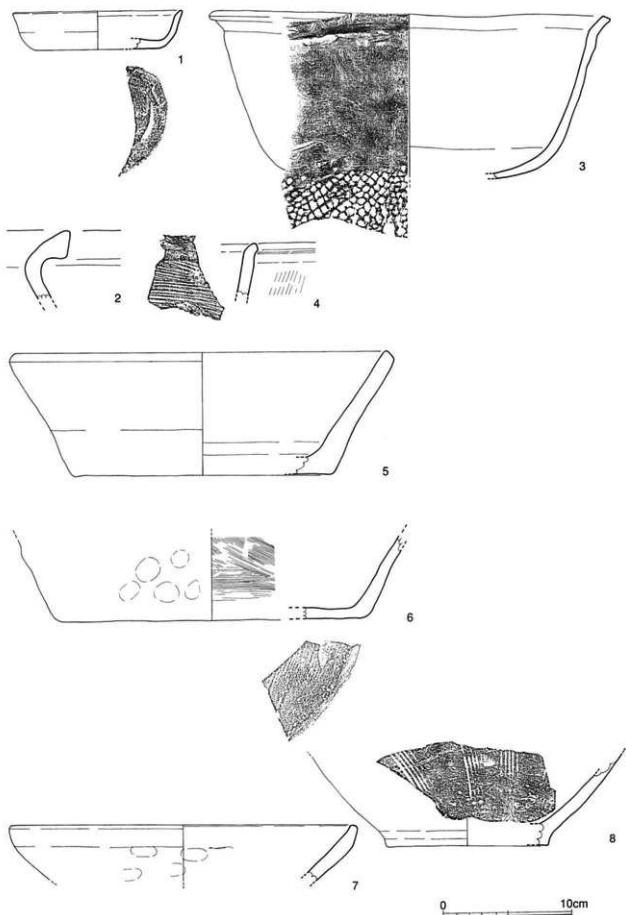
第616図 SK141出土遺物実測図 (1/3)



第617図 SK142実測図 (1/30)

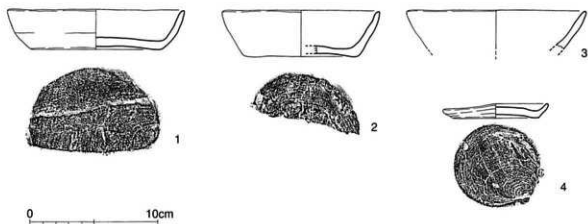


第618図 SK143実測図 (1/30)



第619図 SK142出土遺物実測図 (1/3)

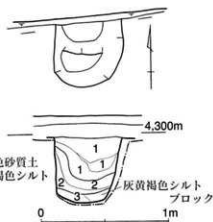




第620図 SK143出土遺物実測図 (1/3)

SK143 **SK143** (第618図) SK47に北東側を切られた平面が隅丸方形の土坑である。床面はやや丸みを帯びる。長軸は約1.3m、短軸約1.8m、深さ0.8mを測る。

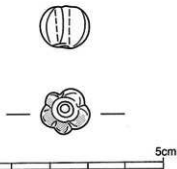
出土遺物 **出土遺物** (第620図) 1～4はSK143から出土した遺物である。1・2は在地系土師質土器の坏である。いずれも体部がやや内湾しながら伸び、口縁端部は丸く取まる。3は同じく在地系土師質土器の坏の口縁部片である。4は在地系土師質土器の小皿で、坏同様体部がやや内湾しながら伸びる。14世紀中葉頃の所産であろう。



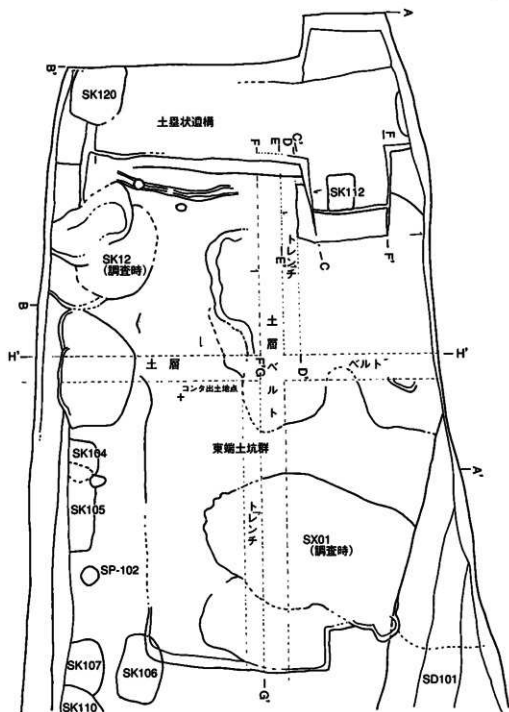
第621図 SK145実測図

SK145 **SK145** (第621図) 調査区西側 D18区で検出した土坑である。北側が調査区外へと続く。平面は楕円形の可能性が高い。床面はやや丸みを帯び北側に1段下がる。短軸約0.52m、深さ0.52mを測る。遺物は出土していないが14世紀代の土坑が集中する場所で検出したので14世紀代の遺構とした。

概説 **東端土坑群** (第623図) 第623図は調査区東端の遺構配置状況である。東端には土塁状遺構が存在し、その西側には、SK104やSK105などの土坑とは別に、SX01やSX02など不定形の大型の掘り込みが存在する。当初は大型土坑群と考えたが、これらの土坑の土層を観察すると、遺構の上面に硬くしまった整地層(灰褐色砂質土)が土塁状遺構の基部から覆うように続いており、遺物はその上面から出土していること、また、土坑群から出土したと考えられていた遺物が水田開発に伴う整地層から出土した遺物と接合関係があることなどから、遺物は整地に伴うものであり、これらの大型の掘り込みは、土塁状遺構の構築に伴う土取りのための掘り込みの可能性が高いと判断した。掘り込みを覆う整地層は不規則であるがD23区まで続いており、府内で最初にキリシタン遺物となったコンタはこの整地層から出土している。(第622図)はロザリオの珠の「コンタ」である。ロザリオはキリシタンが祈りをさ



第622図 コンタ実測図 (1/1)



## II-III(地山層)

II層…暗褐色砂質シルト。

III層…黄褐色砂質土。

## 1-2層(聚地層)

1層…暗灰色砂質土。遺物の細粒や礫を含む。

① 灰色が強く、黄褐色のブロックを含む。

② やや白色が強い。

③ 固くしまっている。

④ 地山ブロックを多く含む。

⑤ シルト質でめきが細かい。コンタ出土層。

2層…青灰色砂質土。

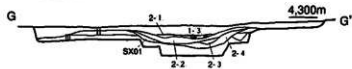
① 灰色が強く固くしまる。

② やや粘質が強い。

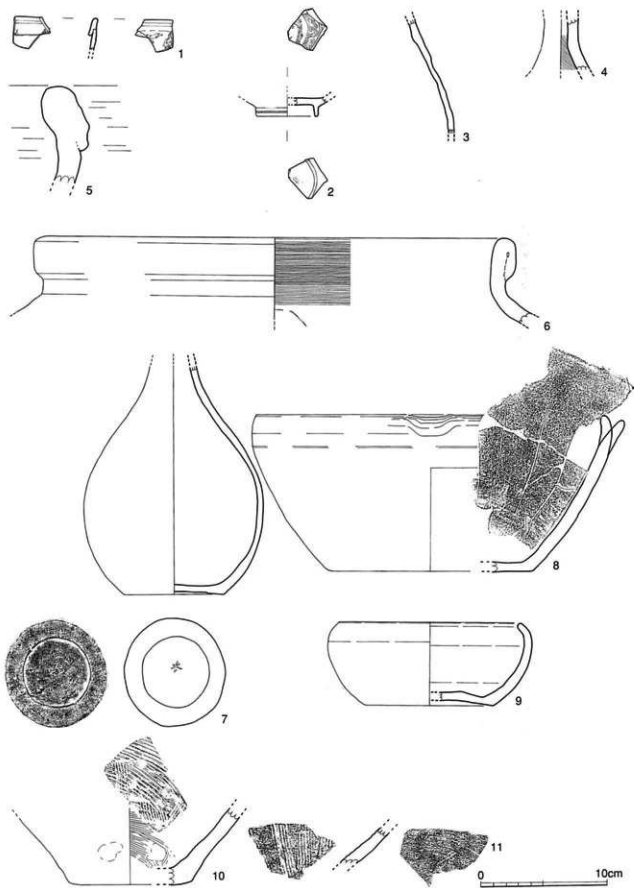
③ 青色が強い。

④ ③と同質であるが、青色が強い。

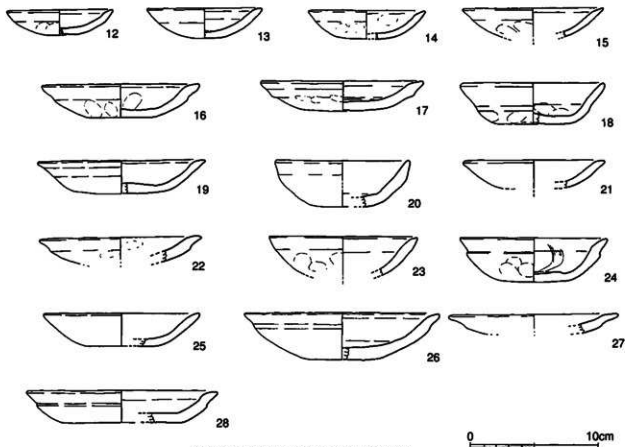
⑤ 地山ブロックを含む。



第623図 調査区東端遺構配置図 (1/40)



第624図 東端土坑群出土遺物実測図① (1/3)



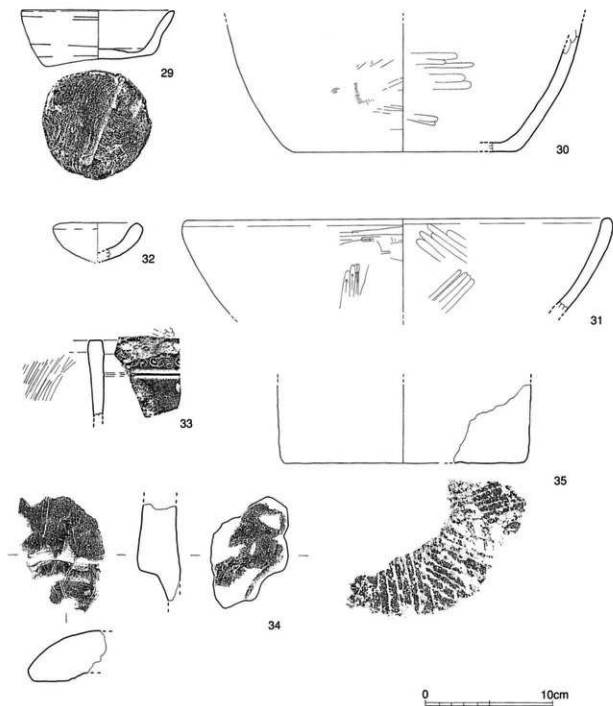
第625図 東端土坑群出土遺物実測図② (1/3)

さげる際に使用したクルスのついた数珠で、「聖母マリアへの祈り（天子祝詞）」を「コンタ」を繰り、数えながら祈りをささげたといわれる。その様子がバラの花輪を編むような形に良く似ていることから、この数珠がラテン語で「バラの冠」の意味であるロザリオと呼ばれるようになったと言われる。今回出土した「コンタ」はガラス製で高さ1cm、最大幅1.2cmを測り、珠の中央は紐を通すために穿孔され、胴部には縦方向に5ヶ所の縦れがあり、表面にはわずかに帯色している（白色）。

以上東端土坑群について説明を加えたが、ここでは遺構の説明は行わず、遺物のみの説明にとどめたい。なお土塁状遺構については、本来ならば別項で取り扱うべきであるが、東端土坑群とは密接な関係があることから、この項で扱うが、この土塁状の遺構については、当初、その存在が予想できずに土塁状遺構上面に先行トレンチを設定し掘り込んだため、積土部分をかなり削平してしまった。そのため、その構造については、土層断面でしか確認できなくなってしまった。以下、東端土坑群出土遺物の説明の後に、土塁状遺構の説明を加えるが、これらの遺物は16世紀末のものが中心であり、他の土坑から出土した遺物と接合するものも存在することから、烏津の府内進入後一旦は復興し、近世府内城下町へ移行する際に大規模な整地が行われたことを物語っているといえよう。

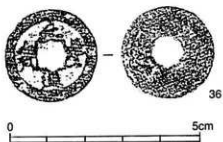
## 出土遺物

**出土遺物（第624～632図）** 1～36は東端土坑群の西端の、調査当時SX01とした掘り込みの上面から出土した遺物である。土層観察により、これらはいずれも水田開発の際に整地に伴う遺物であることが明らかとなった。1は中国製の青花で、重ね焼きの際に壺着したものか。2も同じく中国製であるが、景徳鎮窯系の碗E群に属する碗の底部であろう。3は産地不明の焼締陶器の瓶である。中国南部か東南アジア製であろう。4～7は備前系統焼締陶器である。4は徳利の頸部、5・6

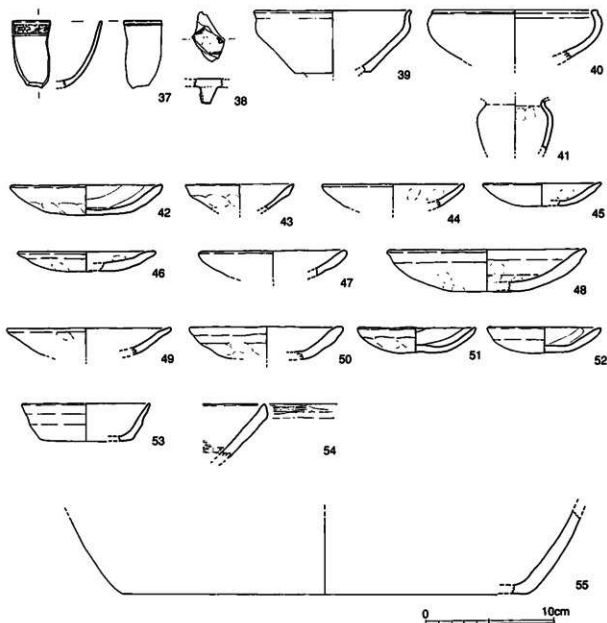


第626図 東壙土坑群出土遺物実測図③ (1/3)

は大甕の口縁部である。5は凹線帯がやや内湾気味であり近世I期に属す。6はまだ凹線帯が出現する前の口縁の玉縁の偏平化が進んだ状態で中世5期に属すものであろう。7は舟徳利で底部外面には「大」の刻印が施される。8は鉢で体部から口縁端部にかけて内湾する。9～10は備前、10は在地系の擂鉢である。10は交差スリ目が認められる。12～28は3期の京都系土師

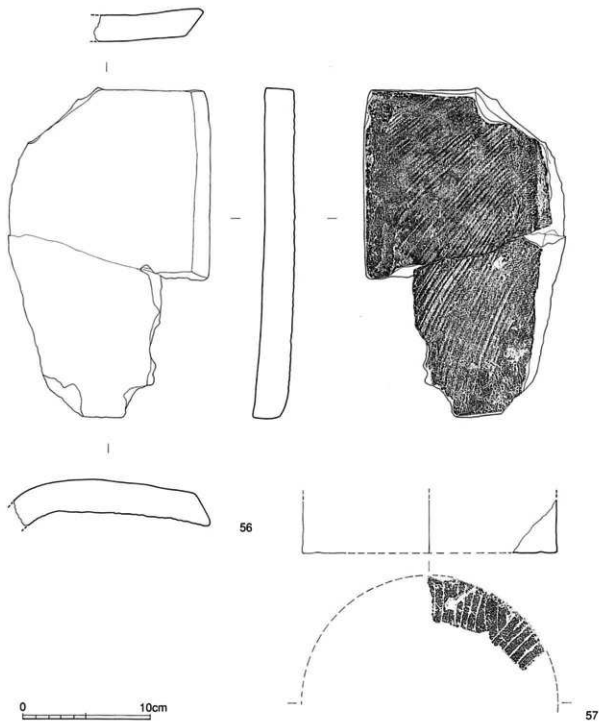


第627図 東壙土坑群出土遺物実測図④ (1/1)



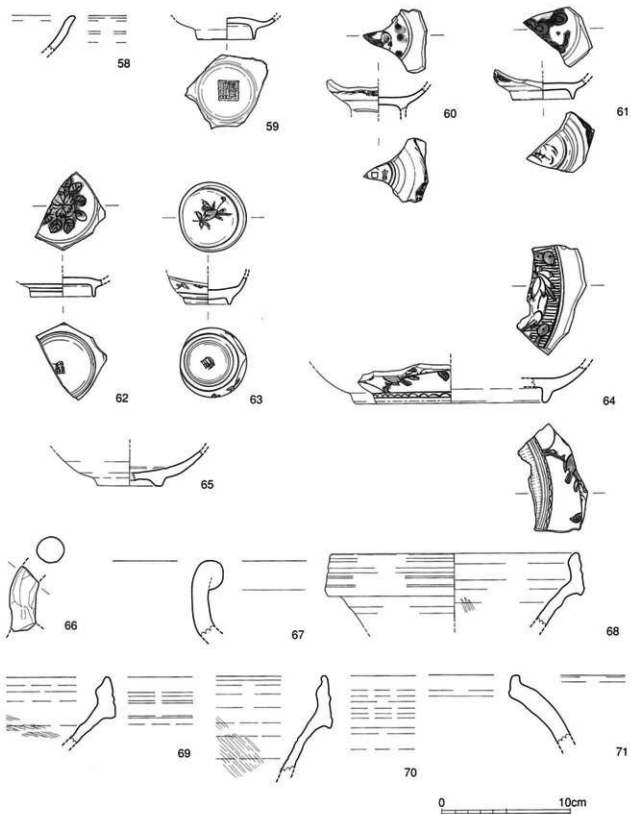
第628図 東端土坑群出土遺物実測図(5) (1/3)

質土器である。12・17・19・21・28は小皿、18・20はやや器口が高い杯である。いずれも口縁部外面に強いナデが施されている。29は在地系土師質土器である。体部下端に強いナデが施される。30・31は瓦質土器である。内外面にミガキが施されていることから風如であろう。32は埴輪である。SD103で出土したものに類似する。33は火鉢の口縁部である。口縁端部が肥厚するいわゆる巻後型火鉢であり2条の突帯の間に連続する蕨手文が施される。34は瓦片、35は安山岩製の茶臼か。36は銅銭で初铸年が1078年(北宋)の「元豊通寶」である。37~57は、調査当時SK12とした掘り込みから出土した遺物である。37は景德鎮窯系の青花碗の口縁部である。外面には界線が、内面には四方禪文が描かれており、染付碗E群に属するものである。38は漳州窯系の青花小皿の高台部である。39は志戸呂焼の天目茶碗で、底部付近まで施軸される。40・41は中国南部もしくは東南アジア産系の焼締陶器か。40は鉢、41は茶入れである。42~53は3期の京都系土師質土器で、42~52は小皿、53は杯である。いずれも口縁端部外面に強いナデが施されており、小皿については3法量が認められる。54・55は瓦質土器である。54は鉢の口縁部、55は風如か。内外面ともに丁寧に仕上げら



第629図 東端土坑群出土遺物実測図⑥ (1/3)

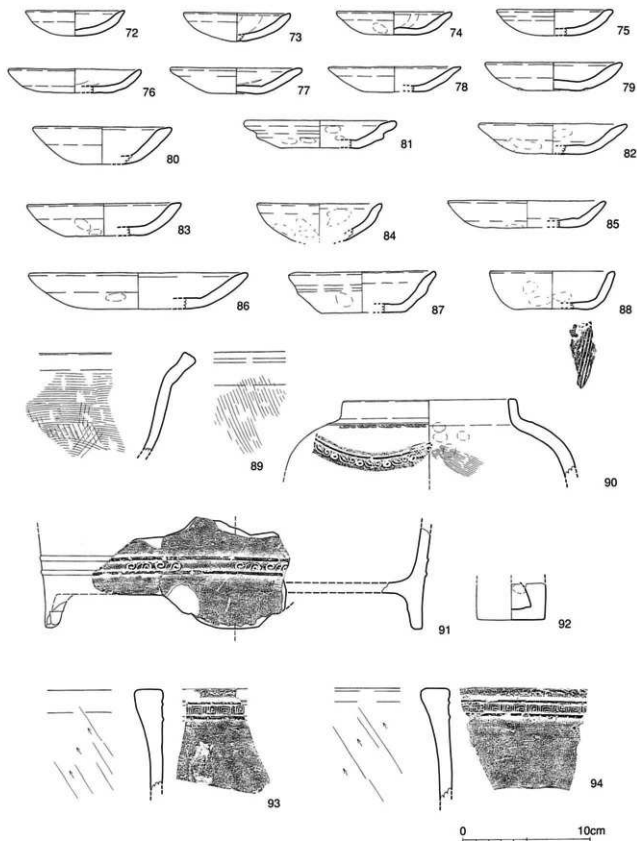
れる。56は鬘斗瓦で、表面には斜めのハケ目と布目痕が残る。57は茶臼か。溝が6本・4本の単位になる。58~102は調査時に整地層一括で取り上げた遺物である。58は青磁碗の口縁部片、59~64はいずれも景德鎮窯産系の青花である。59~62は碗、63は小坏、64は皿である。いずれも染付けE群に属するもので、59の高台内面には「富貴佳器」の銘が入る。61の見込み部には雲気紋、62には牡丹唐草文が描かれる。小坏の見込み部には花文が描かれており、皿の内面には花文、外面には花鳥文が描かれる。65は朝鮮産の碗である。内外面ともに施釉される。66・67は東南アジア産の燒締陶器で66はタイ産の四耳壺の把手部分、67は東南アジア産系の甕の口縁部である。68~71は備前系



第630図 整地層出土物実測図① (1/3)

焼締陶器で、68～70は播鉢の口縁部、71は水屋甕の口縁部である。播鉢については口縁帯の立ち上がりや凹線の条数から中世6期～近世1期に属するもので16世紀後葉に位置付けられよう。72～86は3期の京都系土師質土器の小屋である。81や85のように器高の高いものもあるが、基本的には3





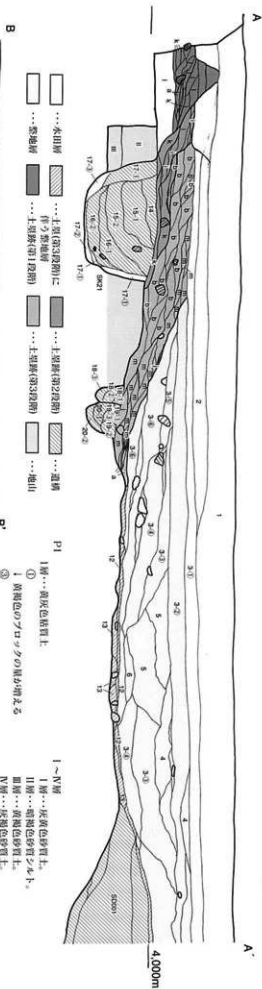
第631図 整地層出土遺物実測図② (1/3)

法量に分けることができる。いずれも口縁部外面に強いナデが施される。87・88は坏で89底部には板状の圧痕が残る。89は土鍋の口縁部で、内外面にハケ目が施される。90～94は瓦質土器である。

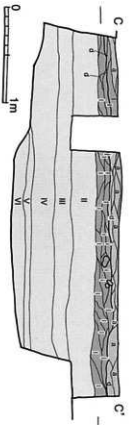
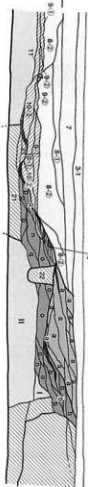


第632図 整地層出土遺物実測図③ (1/3)

90は壺の口縁部である。口縁はほぼ垂直に立ち上がり、肩部には連続した蕨手文がスタンプされる。91～94は火鉢である。90の底部外面には2本の突帯が巡らされ、その間に蕨手文が2つを単位にスタンプされる。91は風炉の脚部であろう。92・93は口縁部であるが、端部が肥厚するいわゆる在地系の火鉢であり、いずれも端部外面に2本の突帯が巡らされ、連続した雷文がスタンプされる。95・96は古代瓦である。95の外面にはカキ目痕が、96には平行タタキ痕が残る。いずれも内面には布目痕が残っており、95の外面には赤色顔料が付着する。97は丸瓦の玉縁部分である。97～99は土製品で、98・99は土鍾、100はメンコである。100・101は金属製品である。101は銅製品であるが器種は不明、102は石鍋の体部である。内外面に調整痕が残る。



- a~q (土塚跡)  
 a 灰色砂質土、遺物の埋没を含む。 k a+1.  
 b 黄褐色砂質土。  
 i 灰黄色砂質土。  
 j 黄褐色砂質シルト。  
 o b+n.  
 p 暗灰色粘土。  
 m j+黄褐色砂質土。 q p+n.  
 n 雑土。



- P1  
 1層…黄灰色粘質土  
 ① 黄褐色のフロッグの層が増える  
 ②

- P2  
 1層…黄褐色砂質土  
 ① ややしまりがあふ。  
 ② しまりが少ない。  
 ③ 灰色が強い。

- P3  
 1層…黄褐色砂質土  
 ① 灰色が強い。  
 ② 黄褐色のフロッグを含む。

- SK21  
 1層…雑質  
 2層…黄褐色粘土  
 ① 水分を多く含む。  
 ② 灰色が強い。

- SK22  
 3層…灰黄色粘土。  
 ① フロッグ状に堆積する。  
 ② 灰色が強く、黄褐色のフロッグを含む。

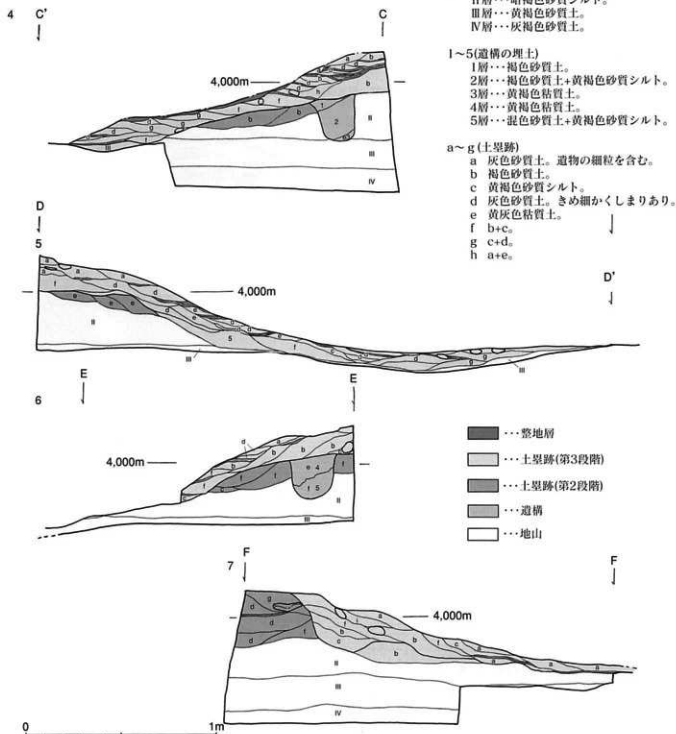
- 4層…黄褐色粘質土。  
 ① やや黄色が強い。  
 ② 灰色が強い。  
 ③ ①よりも黄色が強い。

- I-N層  
 I層…灰黄色砂質土。  
 II層…黄褐色砂質シルト。  
 III層…黄褐色粘質土。  
 IV層…灰褐色砂質土。  
 V層…黄褐色シルト。  
 VI層…灰色砂質土。  
 ① 2層…黄褐色粘土。  
 ② 灰黄色粘土。  
 ③ 地山フロッグを含む。  
 ④ 地山フロッグを含む。  
 ⑤ ①層の漸形層。  
 ⑥ ②層…灰色シルト。  
 ⑦ ③層…灰黄色シルト。  
 ⑧ ④層…黄褐色粘質土。  
 ⑨ ⑤層…黄褐色粘質土。  
 ⑩ ⑥層…黄褐色粘質土。  
 ⑪ ⑦層…灰黄色粘土を含む。  
 ⑫ ⑧層…灰黄色粘土を含む。  
 ⑬ ⑨層…灰黄色粘土を含む。  
 ⑭ ⑩層…黄褐色粘質土。

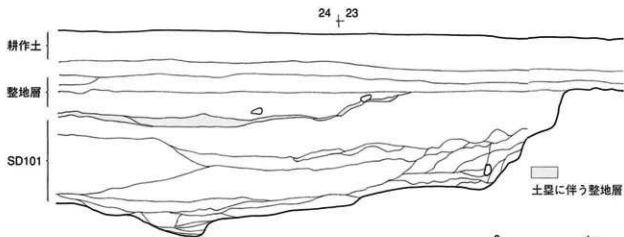
第633図 土塚状遺構土層断面図① (1/40)

概説

**土壘状遺構 (第633図)** 土壘状遺構は調査区東端で検出した南北に走る積土遺構である。基底部は現状で約4.5mを測る。土壘は2～3回の改修の跡が認められる。まず、地山層まで削平した後基部を成形し、斜め方向に積み土する方法がとられている。2回目以降は、改修前の土壘を成形し基部を作り、同様に斜め方向に積み土をしている。なお、積み土を構成する土は、灰色系・灰黄



第634図 土壘状遺構土層断面図② (1/20)

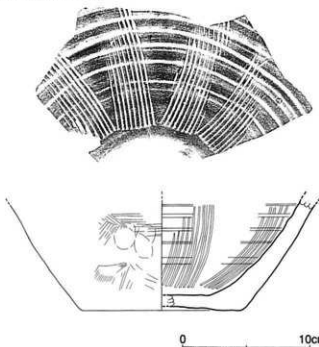


第636図 整地層延長部分 (1/40)

色系・黄褐色系の土色と砂質やシルト質の土質であるが、これらの土は地山層を構成するものであり、土塁の西側が大きくえぐれ、大型の掘り込みが認められることから（東端土坑群）、積み土は土塁西側の土を使用したものであろう。なお、基部付近から硬くしまった整地層（灰褐色砂質土・シルト）が土塁状遺構の西側裾部から延長する形で伸びている（第636図）。

出土遺物

**出土遺物**（第635図） 1は土塁状遺構の積み土内から出土した備前焼の摺鉢である。口縁部が存在しないため明確な時期が比定できない。しかし、東端土坑群出土の3と接合する焼締陶器片が出土していることから、いずれにしても16世紀後半の時期を考えたい。



第635図 土塁出土遺物実測図 (1/2)

SX101

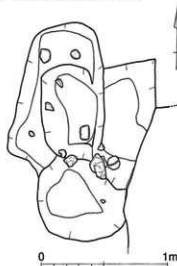
**SX101**（第637図） C20区で検出した複数の土坑が切り合った遺構である。表面観察では、切り合い関係が判断できず性格不明の遺構としていたが、掘り進むにつれ複数の土坑が切り合った遺構である可能性が高いことが明らかとなった。

出土遺物

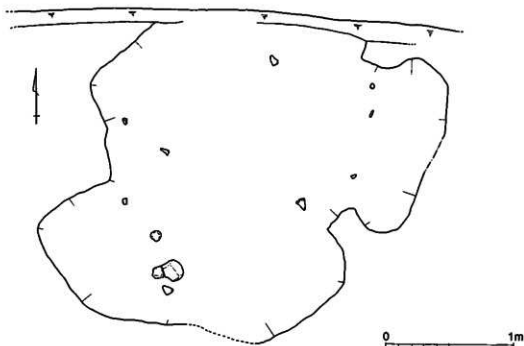
**出土遺物**（第640図） 1～3はいずれもⅢ期の京都系土師器の小皿である。口縁部外面には強いナデが施されていることから、遺構も16世紀末に位置付けられよう。

SX102

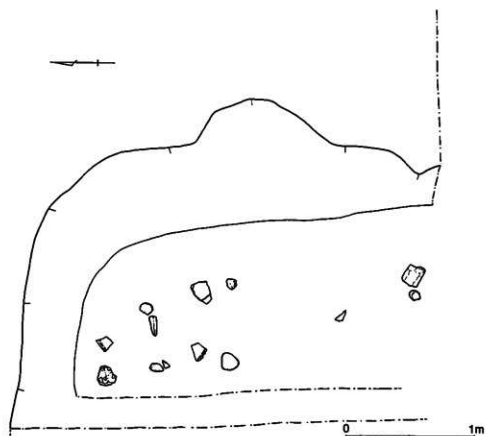
**SX102**（第638図） D21区で検出した不定形の浅い掘り込みである。床面の痕跡を検出したに過ぎず、



第637図 SX101実測図 (1/30)



第638図 SX102実測図 (1/30)



第639図 SX103実測図 (1/30)

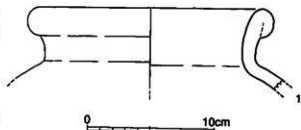


第640図 SX101出土遺物実測図 (1/3)

遺構なのか窪地なのか判断できなかったが、遺物が出土したためSX102とした。出土した遺物からこの遺構は14世紀後葉以降のものであろう。

出土遺物

出土遺物 (第641図) 1はSX104から出土した遺物である。備前焼の甕の口縁部で、玉縁がやや扁平することから乗岡中世3期に位置付けられよう。



第641図 SX102出土遺物実測図 (1/3)

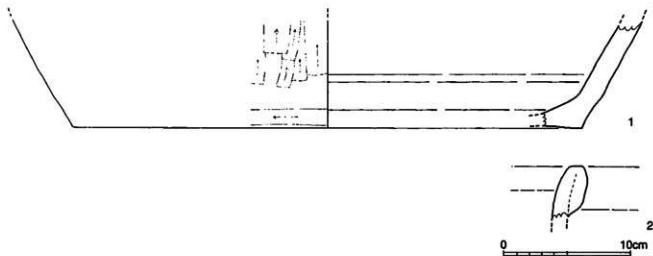
SX103

SX103 (第639図) B・C15区で検出した

性格不明の掘り込みである。当初は、最下層に灰色砂と暗青灰色砂が互層になっており、自然流路に土砂が堆積した状態ではないかと考えられたが、上層を観察すると、埋土内に褐色土のブロックや灰色土のブロックが多く含まれることから人為的に埋められた可能性が高く、土器片が若干出土したため遺構と判断したものの、これが人為的に掘り込まれた土坑なのか自然流路や窪地であったのかは正確に判断はできなかった。この遺構の時期については、出土した遺物が少ないため時期の比定は難しいが、遺物から見て少なくとも15世紀代の可能性が高く、土層観察から、SX103が埋められた後にSD105が掘り込まれているなど、少なくとも15世紀後葉までには埋没していたと思われる。

出土遺物

出土遺物 (第642図) 1・2はSX103から出土した遺物である。いずれも備前系統焼陶器で1が大甕の底部、2が口縁部で、口縁部の玉縁の扁平化が進んでいることから、乗岡4期に位置付けられるであろう。



第642図 SX103出土遺物実測図 (1/3)

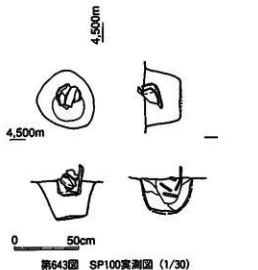
## Ⅳ. ビットについて (第643~645図)

概説

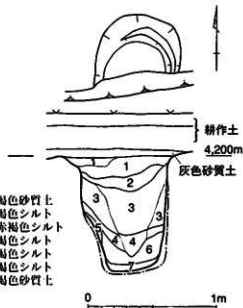
大友8次調査区では、B・C17区、D21区、C22区でまとまって柱穴を検出した。特にB・C17区にビット集中する。しかし、これらの柱穴は直線に並ぶものが若干存在するものの、建物としてのまとまりを見せる柱穴群は確認できなかった。第643図や第644図のように、柱穴の残る大型のビットや、遺物を埋納したビットも存在することから、何らかの遺物が存在していた可能性もあるが、面積の割にはビットの密度は薄く、数に関しても、隣接する大友府内町跡第5次調査区に比べると極端に少ない。このことは、後世の開発によりビットが切り取られた可能性も残るものの、この空間が、恒常的に掘建柱建物が存在するような場所ではなかった事を示唆するものであろう。以下、各ビットから出土した遺物について説明を加える。

出土遺物

出土遺物 (第646図) 1はSP100出土の備前系統締輪陶器大甕の胴部片である。「一石」の銘を有する灰被りの大甕であることから16世紀後葉のものであろう。2はSP012出土の瓦質土器で風炉か。内外面に磨きが施される。3はSP003、4はSP101出土の在地系土師質土器である。口径と底径にあまり差がない器高の低いタイプで、体部が直線的に伸び、体部中央がやや肥厚することから14世紀前葉~中葉のものであろう。5はSP100出土の備前焼の甕の底部である。ビット内に埋納された状態で出土した。内面には粗めの、胴部及び外面には細かなハケ目仕上げがある。

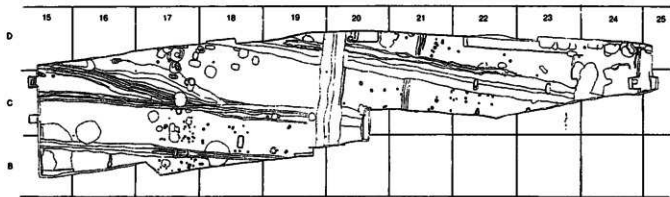


第643図 SP100実測図 (1/30)



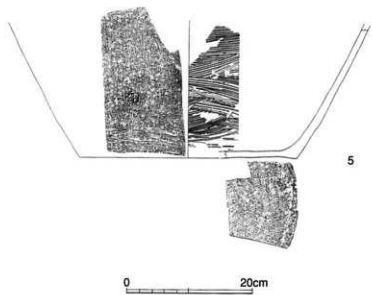
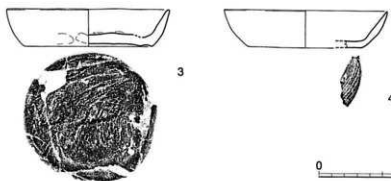
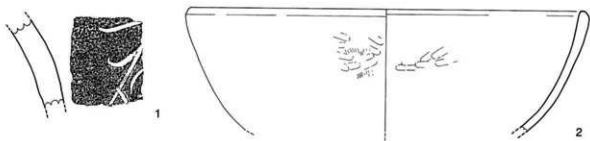
1. 黄褐色砂質土
2. 暗褐色シルト
3. 暗赤褐色シルト
4. 黒褐色シルト
5. 黄褐色シルト
6. 黄褐色シルト
7. 黄褐色砂質土

第644図 SP109実測図 (1/30)

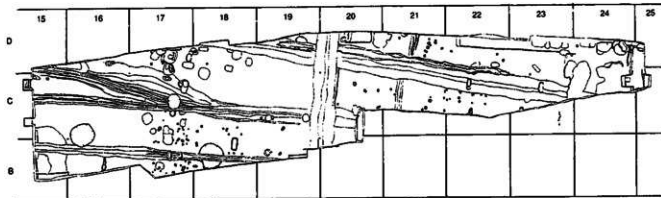


第645図 ビット配置図





第646図 ビット出土遺物実測図 (1/3、1/6)



第647図 井戸配置図

## V. 井戸について (第674図)

概説

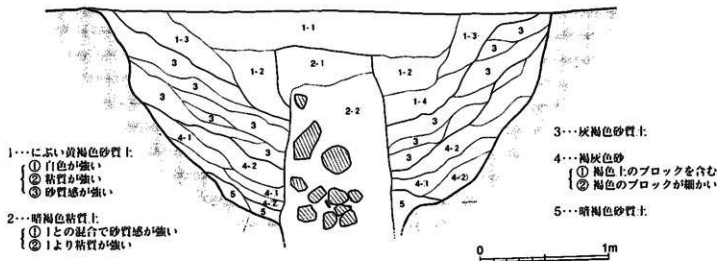
中世大友府内町第8次調査区ではB18区でSE101をB・C16区でSE102を検出した。これらの井戸の時期は、SE101はSD105との切り合い関係や出土した遺物から14世紀後葉の所産と推定され、SE102については、出土した遺物は14世紀後葉～15世紀前葉頃のものであるが、SD105との切り合い関係のみをみると、SD105が埋没して掘り込まれていることから、15世紀後葉の所産の可能性が高い。しかし、ロクロナデの残る在地系土師器や京都系土師器などが出土していないことから、これらの土師質土器が出現する15世紀末までには埋井されたものであろう。第8次調査区では井戸遺構はこの二つしか検出していない。

なお、SE102では大型の礎石が埋井の際に使用されており、SE102周辺ではまとまったピット群が存在しないことから、大型の礎石を利用した構造物の存在が予想される。以下、井戸について説明を加えるが、他の遺構同様に時期の新しい順に行う。

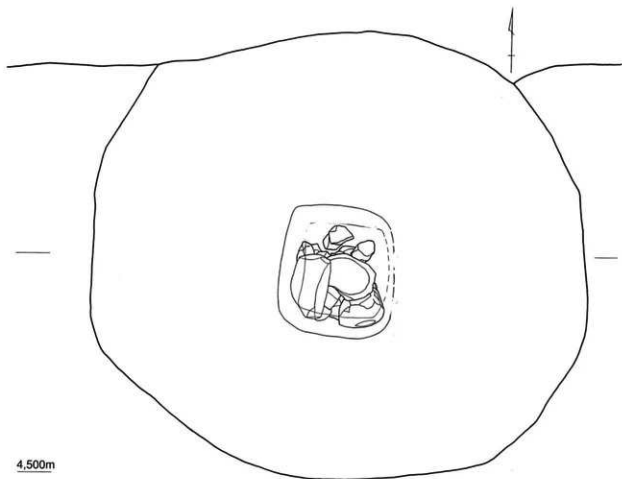
SE102

SE102 (第649図) SE102はB・C16区で検出した「段掘り」の井戸である。出土遺物から15世紀前葉に位置付けられるが、SD105との切り合い関係から15世紀後葉の所産の可能性も残る。掘方はSE101のように逆台形ではなく揺鉢型で、平面径は約3.5m、深さは約1.6mを測り、やはり中央部分に井戸枠の抜取坑が土層観察で確認できる。なお、井戸枠を抜き取り埋井する際に、大きな石が使用されているが、これらの石には加工の跡が残っており、建物の礎石を利用したもので、井

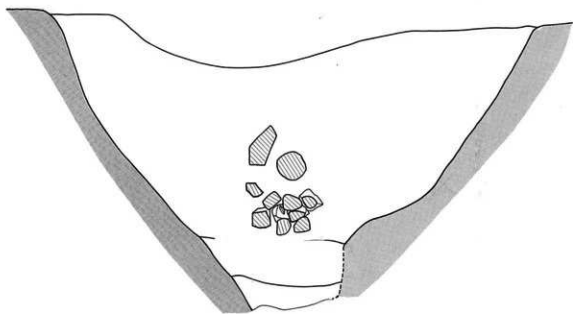
4,500m



第648図 SE102土層断面図 (1/30)

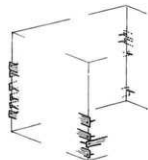
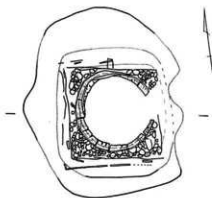


4.50m



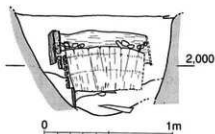
0 1m

第649図 SE102実測図 (1/30)



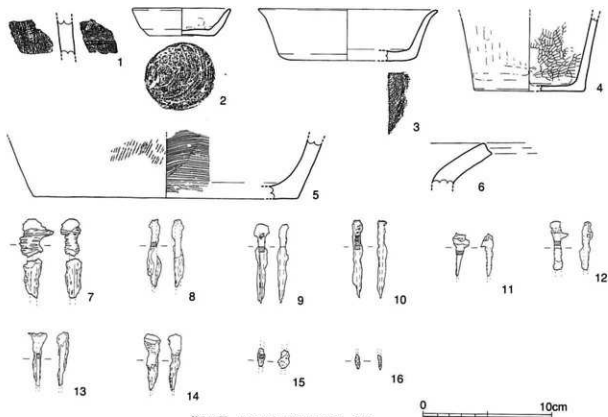
第651図 井筒方形横板枠上段の釘による木組模式図

戸廃棄時の鎖井祭に伴うものであろう。次に井戸枠であるが、縦板と横板とで構成される。水桶を取り囲むように、1面につき1枚ものの横板で桶を方形に囲い（横板枠下段）、さらにその上部を同じように横板4枚で方形に囲み（横板枠上段）その間には裏込めの石が入る。この横板枠上段の外側にはそれを囲うように縦板が二重に巡る。この縦板については、横板との間に裏込めの石等が確認できず、井戸枠というよりも補強もしくは土止めのための縦板の可能性が高い。上部についてはSE101のように抜き取られている。水溜の桶には、縦板を箆で留めた樽を使用しているが、その下に曲物の一部が残存していることから、当初は曲物を使用していたが、使用不能になり樽へと改修されたのであろう。



第650図 井戸枠実測図 (1/30)

き取られている。水溜の桶には、縦板を箆で留めた樽を使用しているが、その下に曲物の一部が残存していることから、当初は曲物を使用していたが、使用不能になり樽へと改修されたのであろう。



第652図 SE102出土遺物実測図 (1/3)

出土遺物

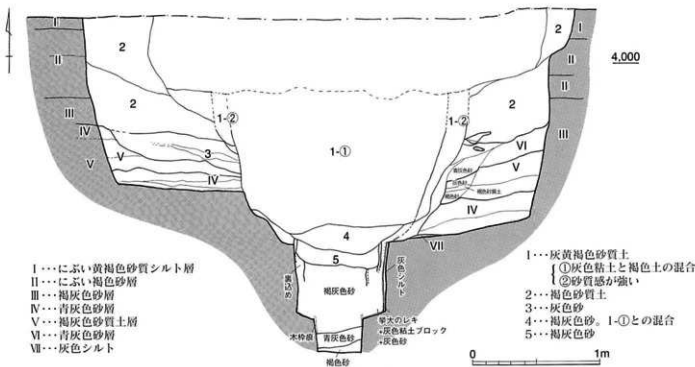
**出土遺物** (第652図) 1～16はSE102出土の遺物である。1は銅皿である。2・3は在地系土師質土器の坏で、1の体部は直線的に伸び口縁端部は失り気味になる。2の口縁端部は反外しており、大小のバリエーションが存在することから15世紀前葉の坏に相当する。4は弥生時代のコップ型土器か。5は土師質土器の甕か壺の底部であろう。6は瓦質土器の甕の口縁部である。東播系か。7～16はいずれも井戸枠の鉄釘である。。

SE101

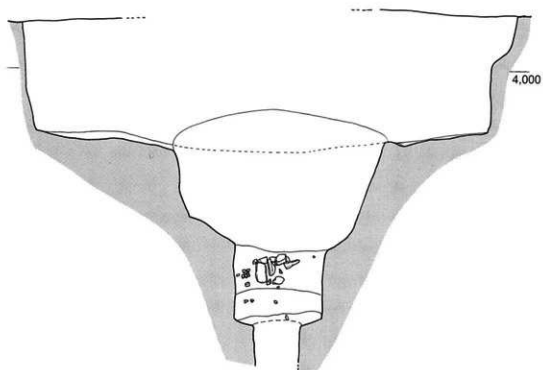
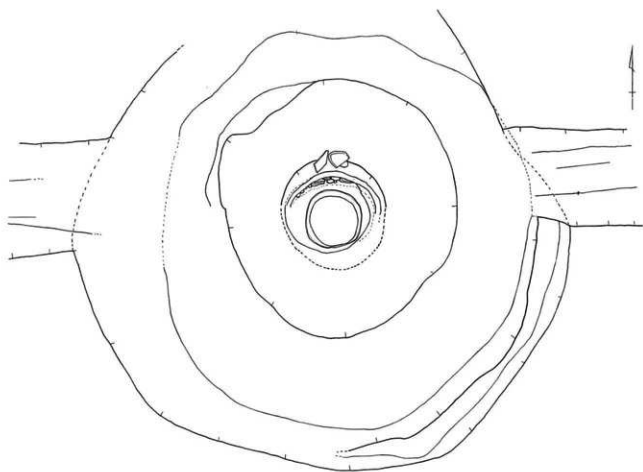
**SE101** (第654図) B18区で検出した井戸は、出土した遺物から14世紀中葉～14世紀後葉の所産であろう。いわゆる「段掘り」といわれるもので、2段の掘方が確認でき、1段目の掘方は逆台形の掘方で平面径が井戸本体の8倍ほどの約3.6m、深さは約1.1mを測る。2段目の掘方は、2段目は掘鉢型で平面径は井戸本体の2倍ほどの0.8mを測るが、土層観察から井戸枠を抜き取った際の抜取坑であり、井戸の本来の掘方は1段である。この段差は、土層観察から井戸を掘る際の「鑿井の足場(さくいのあしば)」であった可能性が高い。井戸枠及び水溜の桶はいずれも円形で、わずかに桶の痕跡と木枠の断片が残存していた。井戸枠はやや東西方向に長い楕円形を呈しており、長径が約0.45mで、桶はほぼ円形の約0.35mを測る。なお井戸枠上方については、すでに抜き取られており、上部構造については不明である。

出土遺物

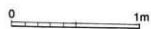
**出土遺物** (第655図) 1～6はSE101出土の遺物である。1・2は常滑系焼締陶器で、1は甕の底部、2は口縁部である。2の口縁部緑帯部が4cm近いことから中世常滑窯製品編年図では7型式に位置付けられるもので14世紀前半代に相当する<sup>(28)</sup>。3～5は備前系焼締陶器で、3・4が口縁部、5が底部である。3については玉縁の上縁と下縁に稜がみられ、4については口縁部がやや扁平化しており、これらはいずれも乗岡中世3期に位置付けられるもので、14世紀中葉～14世紀後葉に相当しよう。6は瀬戸美濃系の折縁の深皿か。灰軸が施されているが、口縁部外面には軸葉の流れが認められており、口縁端部の形状が鈍いことから古瀬戸前期様式のⅣ期～中期前半のものであろう。

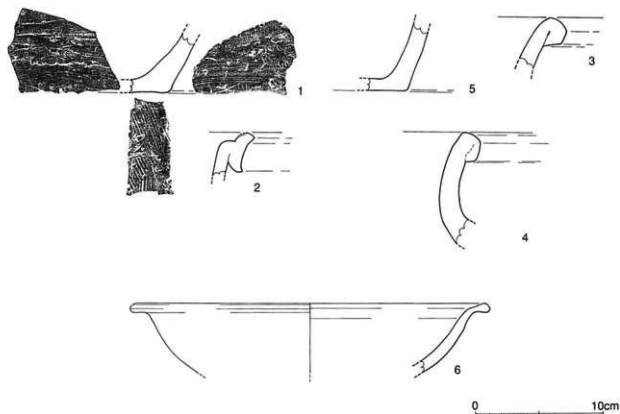


第653図 SE101土層断面実測図 (1/30)



第654図 SE101実測図 (1/30)

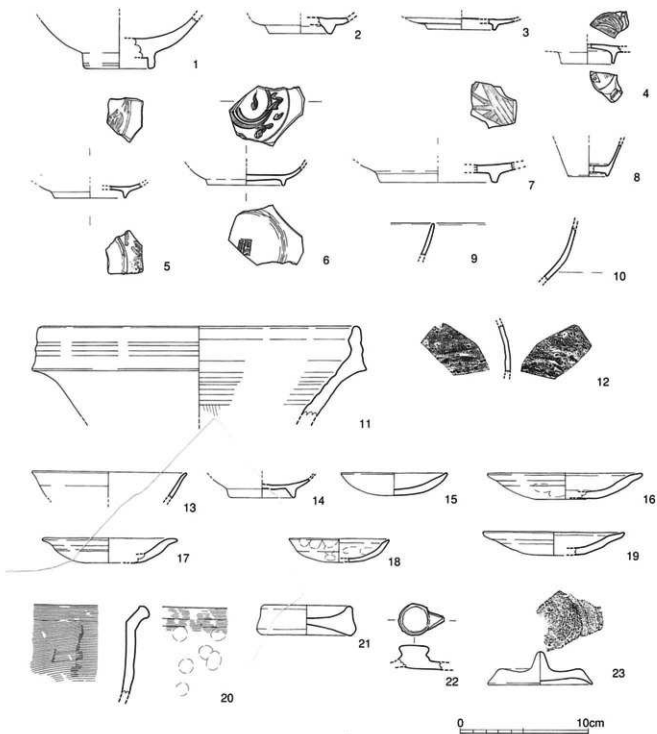




第655図 SE101出土遺物実測図 (1/3)

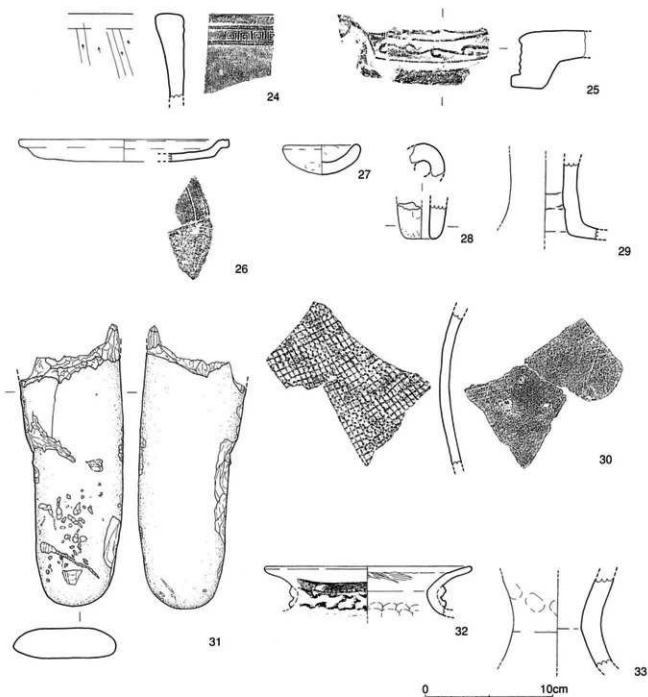
#### その他の遺物 VI. その他の遺物について (第656・657図)

1～33は中世大友府内町跡第8次調査区から出土した一括遺物である。ここでは図示できるもののみを掲載した。1・2は青磁である。1は碗であるが、高台の断面が四角形であることからC類に属するものか。2は皿の底部であろう。3・4・5・6・8は景德鎮窯系の青花である。3～5は皿、6は碗、8は小坏でいずれも衆付E群に属する。7は漳州窯系の皿である。9・10は朝鮮産陶器の碗の口縁部で、内・外面には軸が施される。11は備前系埴輪陶器の擋鉢で口縁部の形状から近世1期に属するものである。12は銅片片であるが器種は不明である。13・14は産地不明の陶器碗の口縁部及び底部である。15～19は3期の京都系土師器の小皿である。いずれも口縁外面に強いナデが施される。20は土鍋の口縁部である。口縁部が「く」の字状に外反する。21は土師質土器であるが器種は不明である。22は土師質土器の坏蓋のつまみである。9世紀前後のものであろう。23は土師質土器の蓋である。これは在地系土師質土器の小皿の底部につまみを付けたものである。24は口縁端部が肥厚する、いわゆる「豊後大分型火鉢」の口縁部である端部外面には2条の突帯を巡らし、雷文をスタンプする。25は軒平瓦の瓦当部分である。唐草文様がスタンプされる。26は土師質土器の盤であらう。口縁部が「く」の字状に屈折し端部は短く垂直に伸びる。27は埴塙、28は甕の羽口である。埴塙はSD103で出土したものと同様のものである。29・30は須恵器である。29は高坏の脚、30は甕の銅片片である。外面に格子目状のタキキ痕が残る。31は叢石であらう。欠損しているが使用痕が残る。32・33は弥生土器で32は複合口縁の頸部であり複合部は欠損している。33は高坏の脚部であらう。



第656図 一括出土遺物実測図① (1/3)





第657図 一括出土遺物実測図② (1/3)

### 第3節 小 結

#### I. はじめに

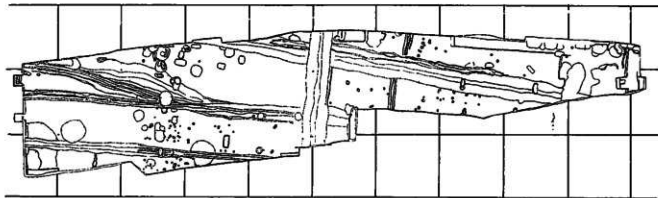
中世大友府内町跡第8次調査区は、「大分市史」に掲載されている『戦国時代の府内復元想定図』では国指定史跡大友氏館跡の南外郭線の外にあたり、大友氏館と御藏場の間の空閑地と想定される場所に該当する。したがって調査前には調査区東側で柳町の一部は確認できるだろうが、基本的には大友館や中世府内町跡に関わる遺構・遺物を検出する可能性は低いと考えられていた場所である。しかし、調査の結果、本文で触れたように、遺構面は1面しか確認できなかったものの、出土した遺物から14世紀～16世紀末にかけての東西・南北の溝や堀、土塁状遺構、50近い土坑、2基の井戸を検出することとなった。しかし、本調査区では、隣接する第5次調査区や他の調査区で検出したロクロナデの残る在地系土師器や京都系土師器1期・2期が出現する15世紀末～16世紀前半にかけての遺構や遺物が、まったく検出できず、また、焼土を含む整地層など「かさ上げ」の状況も認められないなど、特殊な状況も窺えるのである。このように遺構状況は、本調査区を解釈するだけでなく、大友館の成立や中世府内町の変遷を考える上で重要なポイントとなると思われる。なお、本来ならば出土遺物について項目を起こすべきであるが、特殊遺物については本文で説明を加えており、また、それ以外の遺物については出土量が少なく、遺構一括遺物であるが、層位的な調査が不可能であったこと等から遺物の編年等は他稿に譲り、ここでは遺構の変遷について時代ごとに説明を加えながら、本調査区の解釈及び実像に迫っていきたい。

#### II. 14世紀の遺構について

14世紀の遺構は、第658図で示すように、調査区中央東よりで検出したSD104と調査区東側に点在する土坑や性格不明の掘り込みX103、西側に集中する土坑群で構成される。ピット数は少ないものの、調査区東側のピットから2点14世紀の在地形土師質土器が出土しており、掘立柱建物が存在した可能性もある。

次にこれらの遺構の性格であるが、SD103についてはSD101やSD103のように「堀」の規模ではなく、また、単独で存在していることから、この溝状遺構は道路に伴うというよりも、なんらかの区画の溝であろう。

次に土坑であるが、長径が1～2m、深さが2m程度の規模を持つものもあり、全体的に他の時期の土坑よりも大きい。また、SK142を除くと、いずれも在地系土師質土器の坏と小皿の一括廃棄が認められる。この土坑の性格であるが、この一括廃棄の坏と小皿には、灯明皿として使用された痕跡がないこと、坏・小皿の大量廃棄は認められないこと、日常雑器が含まれないことなどから、儀礼的儀式後の一括廃棄に伴う土坑の可能性が高いのではないかと考える。



第658図 14世紀遺構配置図

ピットについては、土師質土器を含む柱穴が存在することから、何らかの建物が存在したであろうが掘建柱建物群が存在した状況は、ピット数やそのまよりから見ても想定できない。

以上、14世紀の遺構について説明を加えたが、検出した遺構やその分布から、14世紀において第8次調査区に町屋が展開していたとは考えにくい。また坪と小皿の一括廃棄土坑の存在から、儀礼的な儀式を執り行うような施設の存在も窺える。

### Ⅲ. 15世紀の遺構について

15世紀の遺構は、第659図で示すように東西に走る溝状遺構、井戸、土坑、ピットなどで構成される。

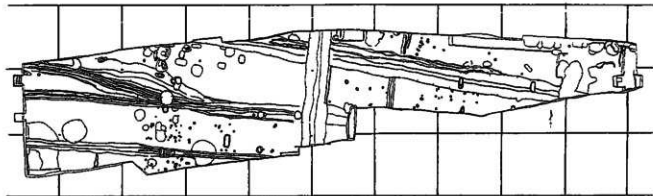
まず、溝であるが、本文ではA・Bグループに分けた軸線の異なる2グループの東西方向の溝が調査区を斜めに横断する。切り合い関係や出土遺物からまず14世紀末～15世紀前半にかけてAグループが掘られ、15世紀後半にはBグループが掘られる。これらの溝はグループごとにそれぞれ平行して走っており、出土遺物や軸線の関係から同時に存在していた可能性が高い。また、SD101についてはその形状や規模から「堀」であり、SD101に隣接する同時期のSD107は、規模は小さいが同じ形状を呈しておりSD101との関係が注目される。Bグループについては、ロクロナアの残る在地系土師器や京都系土師器などは出土していないため、これらの土器の出現以前には埋め戻されている。

次に土坑であるが、調査区西側に点在する。いずれも遺物をあまり含まず、14世紀に比べると土鍋や摺鉢を含む廃棄土坑や、銅銭を多量に含む性格不明の土坑が中心で、14世紀のように坪や小皿の一括廃棄は認められなくなる。土坑の前後関係であるが、遺物が少なく正確さを欠くものの溝との関係から南側の土坑が北に分布する土坑よりも新しいであろう。

ピットについては遺物が出土していないため時期の比定が難しいが、土坑との関係からB17・18区に集中するピットを当該期のもものと判断した。これらのピットも、密度は低く建物としてのまよりは認められない。しかし、SE102からは柱を受ける部分を丸く彫りくぼめた明らかな礎石が出土しており（写真図版50SE102）周辺に礎石の建物が存在していたことが想定できる。

井戸については2基であり、出土した遺物やSD105との切り合い関係からSD101がAグループの溝とはほぼ同時期で、SD102はSD105が埋没してから掘り込まれている。しかし、SD102からはロクロナアの残る在地系土師器や京都系土師器は出土しておらず15世紀末～16世紀初頭までには埋められたのであろう。

以上、15世紀の遺構についてまとめたが、第8次調査区では14世紀末～15世紀初頭にかけて堀や溝などの大型の遺構が登場し、その様相が大きく変化する。平行する溝の間の空間は、道路として使



第659図 15世紀遺構配置図

用された可能性が高く、その規模も幅8m前後の直線的な道路となり、まさに大路の規模である。また、堀の登場は、公的施設の登場を示唆するものであり、初期大友館との関係が注目される。さらに15世紀後半には溝の軸線が変化するなど中世府内町に大きな変化が生じたことが看取できる。なお、町屋についてはSE101周辺にビット群や土坑が存在することから、15世紀前半において一時的に町や部分が成立した可能性はあるが、継続して存続した状況は認められなかった。

#### IV. 16世紀の遺構について

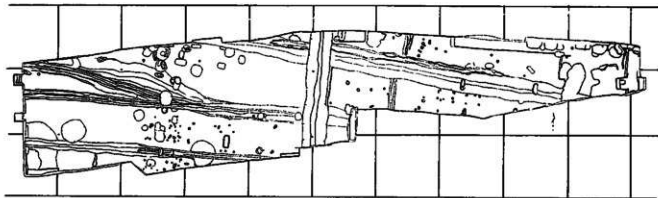
16世紀の遺構は、第660図のように調査区東端の土坑群や土塁状遺構、調査区中央と西端の溝であるが、いずれも16世紀後半の島津府内進入（1587年）前後のものである。

まず、溝であるが、SD103は調査区中央を南北に走る箱廻り状の大型の堀であり、大友館方向へ延びる。SD108は調査区西端の溝状遺構である。これらの溝は東端の土塁状遺構から約50m 間隔（約半町）で掘られる。

土塁状遺構については、調査区東端に位置する。2～3回の改修工事の後が認められ、16世紀末までは存在していたようである。わずかに出土した遺物などからすくなくとも16世紀後半には構築した可能性が高く、若林文吉等文献資料にみられる「土圀廻屏」<sup>1)</sup>の建設時期とほぼ一致するようである。

土坑については、埋土に焼土が含まれていることから、当該期の土坑はいずれも火災処理土坑である。3期の京都系土師土器の一括廃棄や褐釉陶器、風が、天目茶碗など茶道具関係の遺物の出土が出土しており、島津進入（1587年）前後の土坑と思われる。

以上、16世紀の遺構について説明を加えたが、この時期の大きな特徴としては、15世紀に存在した道路は15世紀末に姿を消し、それ以降16世紀の第3四半期前後まで遺構が出現しないことである。この第8次調査区については大友氏館と御蔵場の間の空地と想定される場所であったが、この遺構・遺物が存在しない時期がそれに該当するのであろうか。次に、16世紀の第4四半期に出現する堀や溝、土塁の問題であるが、これらの遺構は前述のように半町間隔で並ぶ。この土塁については宗麟が「土圀廻屏」の建設を指示した時期（1573年）と考古学的見地がほぼ一致することから、（この「土圀廻屏」については場所が明記されていないため、議論の分かれるところであるが、）大友館に関連する土塁の可能性が高い。また半町ごとに並ぶ堀及び溝については、SD108の外側には築地塼もしくは道路状の遺構が存在した可能性が挙げられており<sup>2)</sup>、半町ごとに区切られた中には何らかの区画が存在した可能性が高い。この区画が、館の内部か否かについての問題は、今後の周辺調査を待たなければ結論は出ないだろうが、本調査区で検出したこの溝や土塁で仕切られ



第660図 16世紀遺構配置図

た区画についても、大友館に関連する区画である可能性は高いと考える。

#### V. まとめ

以上、本調査区で検出した遺構の変遷について、14世紀から順に説明を加えてきた。当初、大友館と御蔵場の間の空閑地と考えられていた本調査区から、初期大友館成立に関わる可能性の高い遺構や、中世府内町の町割を考える上で重要な道路状遺構などの遺構を検出できたことは大きな成果であるといえよう。また、16世紀初頭～16世紀第3四半期にかけて遺構・遺物がまったく存在しない状況、16世紀第4四半期に出現する堀や土塁状遺構の存在は、何らかの区画が存在した可能性を示唆している。事実、本調査区内では当該期の町屋に関連する遺構は存在せず、また、このような状況は本調査区の西側に隣接する第5次調査区では看取できず、土塁状遺構の延長部分は、本調査区の南側では検出できていない<sup>3)</sup>。今回の調査では、区画の存在に言及できたものの、その性格を明らかにすることはできなかったが、大友館の周辺ということもあり、この区画の取り扱いについては、今後、大友館南限の問題を含め、大友館周辺の状況を考えるうえで非常に重要なポイントとなってくるであろう。いずれにせよ、大友館周辺の状況を明らかにするには、今後の調査の蓄積と、今までの発掘成果を総合的に判断しなければ解決できない問題であると考え、今後の調査に期待するところである。

註(1)「若林文書」32号「大分県資料」大分県教育委員会他

(2) 本報告書「第3章」参照

(3) 中世大友府内町跡第19次調査区(大分県教育委員会の調査)の所見による。

## 第5章 自然科学的分析

### 第1節 中世大友府内町跡第5次調査区出土人骨

石川健・田中良之

(九州大学大学院比較社会文化研究院基層構造講座)

#### I. はじめに

大分県大分市中世大友府内町跡第5次調査区から頭蓋骨を中心とした人骨が出土した。人骨は、大分県教育委員会による調査・取上が行われた後、九州大学大学院比較社会文化研究院基層構造講座へと搬入され、同講座で整理・分析を行った。以下に、これらの人骨についてその結果を記載する。なお、人骨は現在九州大学大学院比較社会文化研究院考古人類資料室に保管されている。

#### II. 出土状態

##### SD153出土人骨（人骨1）

SD153の堆積土中より、下顎骨を欠く頭蓋骨が出土している（第51図参照）。付近に本人骨のものと考えられる下顎や体部骨等は認められない。頭蓋骨は頭頂部を上に向けた状態である。

本頭蓋骨については、溝内を頭部が流れた際に下顎と遊離した可能性も考えられるが、出土状態からみると上顎歯列に乱れがない状態であることなどから、溝内を大きく移動した可能性は低いと考えられる。従って、本頭蓋骨は下顎と遊離した状態でSD153に廃棄されたものと推定される。

##### SD151出土人骨

当遺構からは、頭蓋骨3体分及び下肢骨1が出土している。頭蓋はそれぞれ数十メートル離れた場所から出土している。以下それぞれ人骨2～4として報告する。

##### 人骨2

溝（SD151）の堆積土中から頭蓋冠が出土している（第60図参照）。頭蓋骨は側頭部を上にした状態である。付近には本頭蓋骨に伴う下顎骨や体部骨は認められない。また、頭蓋骨の西側のほぼ同一のレベルより漆器輪が伏せた状態で出土し、頭蓋骨の下位より鏝が出土している。

頭蓋骨付近に同一個体のものと考えられる四肢骨等の骨が認められないことから、本来溝中に全身が関節した状態で廃棄された後、溝を流された際に本頭蓋骨のみが遊離してしまったのか、あるいは頭蓋骨のみが溝に廃棄されたのかは不明である。しかし、SD153出土の頭蓋骨の事例等を考慮すると、頭蓋のみが溝に廃棄された可能性が高いものと推定される。また、本頭蓋と漆器輪との関係については不明である。

##### 人骨3

人骨2から東南へ22m離れた場所から、頭蓋骨と下肢骨が出土している（第60図参照）。頭蓋は下顎骨を伴わず、右側頭部を下位にした状態である。出土状態からみると上顎歯列に乱れがない状態で出土している。下肢骨は大腿骨であり、近位を頭蓋骨側に向けた状態である。頭蓋及び下肢骨ともに付近に鏝が認められる。

頭蓋骨と下肢骨が同一個体かどうかについては、下肢骨の残存状況が良くなかったため、不明である。頭蓋骨については、上顎歯列に乱れがない状態であることから、SD153出土頭蓋骨と同様に、頭蓋骨と下顎骨の関節が外れ、下顎骨が伴わない状態で遺棄された可能性が想定される。

##### 人骨4

人骨3から東南へ65m離れた場所から、頭蓋骨が下顎を欠落した状態で出土している。頭蓋底を下位にした状態である。付近から他の部位の人骨の出土は認められない。

本陣骨についても、SD1出土の頭蓋骨や人骨3頭蓋骨の事例を参考にすると、頭蓋のみが溝に遺棄された可能性が高いと考えられる。

### Ⅲ. 人骨所見

#### 人骨1

【保存状況】人骨の残存状態はあまり良くない。頭蓋骨は左外耳孔周辺部及び大後頭孔周辺部が遺存している。その他にも多数の頭蓋片が残存するが、細片化しており部位など詳細は判定不能である。残存歯牙の歯式は以下のとおりである。

•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
M <sup>2</sup>	M <sub>1</sub>	/	P <sup>2</sup>	P <sup>1</sup>	C	I <sup>2</sup>	I <sup>1</sup>	I <sup>1</sup>	I <sup>2</sup>	/	P <sup>1</sup>	/	/	/	/	/	/	/	/
/	M <sub>1</sub>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	P <sub>1</sub>	/	/	/	/	/	/	/	/

人骨1

性別不明  
成年後半～  
熟年前半

これらの他に、遊離歯で細片のため歯種の同定は不能であるが、下顎の臼歯が残存する。歯牙咬耗度は橋原の2° aである<sup>(1)</sup>。

【性別・年齢】性別は判定可能な部位が残存していないため、不明である。年齢は、歯牙咬耗度から成年後半から熟年前半と推定される。

#### 人骨2

【保存状況】人骨の残存状態はあまり良くない。頭蓋骨は前頭骨、頭頂骨の一部及び後頭骨ラムダ縫合付近が遺存している。その他に接合不能な頭蓋片が多数残存する。歯牙は残存していない。

外後頭隆起については残存状況が悪く不明であるが、眼窩上隆起は発達している。頭蓋主要縫合は、冠状縫合及びラムダ状縫合ともに、内板・外板が開放している。

人骨2

男性  
若年～成年

【性別・年齢】性別は、眼窩上隆起が発達していることから男性と判定される。年齢は、頭蓋主縫合の癒合状態から、若年から成年と推定される。

#### 人骨3

【保存状況】人骨の残存状態はあまり良くない。頭蓋骨及び下肢骨が遺存する。前頭骨がほぼ遺存し、頭頂骨・側頭骨・後頭骨は小片が多数遺存する。頭蓋主縫合は、矢状縫合のみ観察可能であったが、内板・外板ともに開放している。残存歯牙の歯式は以下のとおりである。

•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
M <sup>2</sup>	/	/	/	/	/	C	I <sup>2</sup>	I <sup>1</sup>	I <sup>1</sup>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

残存歯牙の咬耗度は橋原の1° a～bである<sup>(2)</sup>。

下肢骨は、大腿骨が残存するが、保存状況が非常に悪いことから詳細については不明である。

また、先述の通り、これらの頭蓋骨と大腿骨が同一個体に属するものであるかどうかについては不明である。

人骨3

性別不明  
若年～成年前  
半

【性別・年齢】性別は、判定可能な部位が遺存していないため不明である。年齢は、歯牙の咬耗がさほど進んでいないこと、頭蓋縫合の癒合がほとんどみられないことから、若年から成年前半と推

註(1) 橋原博「日本人歯牙の咬耗に関する研究」〔熊本医学会雑誌〕31, 補冊4, 1957年)

(2) 註(1)と同じ。

定される。

#### 人骨4

人骨4  
性別不明  
若年～  
成年前半

【保存状況】頭蓋の残存状態は不良である。前頭骨から頭頂骨にかけての部分が残存し、後頭骨ラムダ状縫合付近がわずかに遺存する。残存歯牙は認められない。

頭蓋主縫合は、矢状縫合が内板・外板ともに開放している。

【性別・年齢】性別は、判定可能な部位が残存しないことから、不明である。年齢は、頭蓋縫合の癒合がみられないことから、若年から成年前半と推定される。

#### IV. まとめ

以上本遺跡出土人骨についての報告を行ってきた。本調査においては頭蓋骨が4体分出土し、また、人骨3頭蓋骨に近接した位置から下肢骨が出土した。これらの出土人骨はいずれも保存状況が良好でなかったため、計測に耐えうるものはほとんどなく、形質的比較を行える個体は得られなかった。

頭蓋骨の出土状況は、いずれの頭蓋骨も下顎骨を伴わない状態での出土であった。このような出土状態については、溝内を頭が流れて下顎骨と頭蓋骨が遊離した結果である可能性も考えられるが、人骨1や人骨3にみられるように上顎歯列に乱れがない状態であることから、溝内ではさほど移動していない可能性が高いものと考えられる。以上のような出土状況から、おそらく下顎と遊離した状態の頭蓋を溝に遺棄した可能性が高いものと考えられた。

頭蓋を  
溝に遺棄

これらの人骨がどのような経緯で溝に遺棄されるに至ったのかについては不明であるが、都市の道路における遺体遺棄については、平安前期までは一般的に認められるようである<sup>(3)</sup>。このような遺体遺棄については縄文の観念と関係しており、都市管理者はこのような路上における遺体遺棄を好まず、特定の地に片づけようとしていたものとの指摘がある<sup>(4)</sup>。15世紀末から16世紀初頭の本人骨出土遺構において認められたような溝内への遺体遺棄が、平安前期における遺体の取扱にかかわる上記のような観念とどのような関連性をもつのかは、今後の検討課題であり、資料増加が望まれる。

#### 謝辞

本報告にあたり、坂本嘉弘氏、田中裕介氏、吉田寛氏を初め大分県教育庁埋蔵文化財センターの方々には様々なご便宜を賜りました。また、九州大学大学院比較社会文化学府基層構造講座の学生諸氏には整理段階で大変お世話になりました。記して深謝いたします。

註(3) 藤田至「中世民衆の葬制と死穢—特に死体遺棄について—」(『史林』第70巻第3号 1987年)

藤田至『死者たちの中世』(吉川弘文館 2003年)

(4) 註(3)に同じ。





人骨1 上下顎歯牙

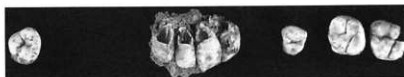


人骨2 頭蓋骨正面観



人骨2 頭蓋骨上面観

第661図 中世大友府内町跡第5次調査区出土人骨①



人骨3 上顎歯牙



人骨4 頭蓋骨上面観

第662図 中世大友府内町跡第5次調査区出土人骨②

## 第2節 中世大友府内町跡第8次調査区出土ガラス玉の自然科学的分析

山田拓伸（大分県立歴史博物館）

**試料の状態** 中世大友府内町跡第8次調査で出土したガラス玉について、蛍光X線分析を行った。試料は2.7g、最大径13mmである。色調は透明で、部分的に白色の付着物が認められる。

**分析** 試料は表面や中心部の孔についた汚れを取り除き、アセトンにて脱脂し、蛍光X線分析を行った。また、白色の付着物については、電子顕微鏡付属の分析装置（EDS）とX線回折装置により分析を行った。各装置の分析条件等は以下のとおりである。

分析装置・分析条件

蛍光X線分析装置	フィリップス：PW2400LS II
	管 球：Sc 管球
	出 力：60KV、40mA
	検 出 器：シンチレーション検出器、ガスフロー検出器
EDS 分析装置	日 本 電 子：JSM-5600LV
	電 圧：20KV
	検 出 器：Si 検出器
X線回折装置	島津製作所：XRD-6000
	管 球：Cu 管球
	出 力：40KV、30mA
	検 出 器：シンチレーション検出器

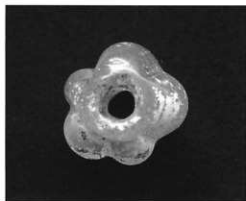
**結果** 蛍光X線分析では、Na、Al、Si、Cl、K、Ca、Pbが検出され、ピーク強度から鉛ガラスと判断される。

鉛ガラス

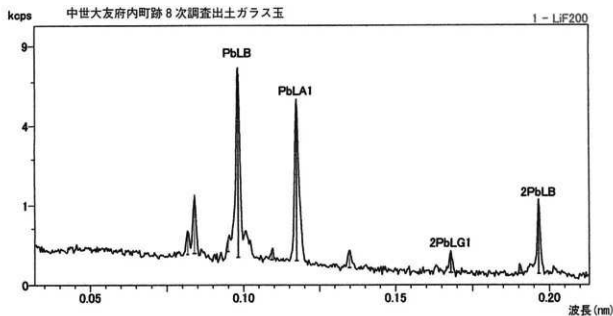
ガラス玉表面の白色付着物については、胡粉（ $\text{CaCO}_3$ ）と鉛白〔 $2\text{PbCO}_3 \cdot \text{Pb}(\text{OH})_2$ 〕、それとガラスに含まれる鉛が劣化し、白色化したものの3つが考えられる。比較のために、白色の付着物部分とガラスの透明部分についてEDS分析を行った。それぞれNa、Si、Pbが検出され、付着物ではPbが強しSiが弱い。検出されたCaの強度も弱い。Caはガラス本体や汚れとして付着している土壌に微量含まれ、それと付着物の接着状況などから胡粉の可能性は低いといえる。

付着物の解積

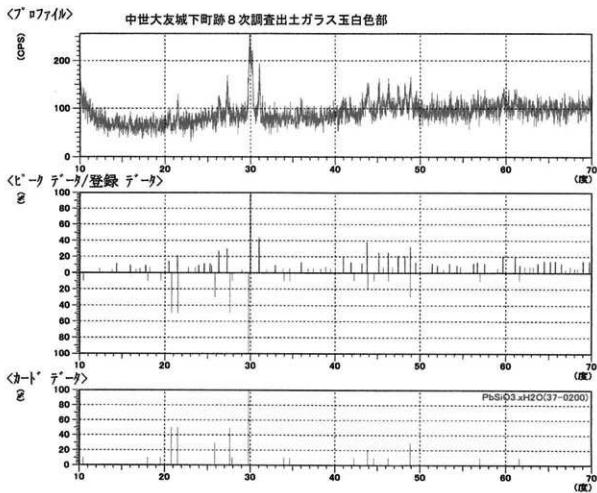
白色の付着物のX線回折分析では、小さいガラス玉の曲面を分析したため十分な強度とピークが得られず判断しにくい。鉛白よりもガラス成分の劣化物の可能性を窺わせるものである。



第663図 中世大友府内町跡第8次調査出土ガラス玉  
(最大径13mm)



第664図 蛍光 X 線分析チャート図



第665図 X 線回折分析チャート図

## 第6章 総 括

JR日豊・豊肥線の高架化事業に伴う中世大友城下町跡の発掘調査は平成11年度に開始され、平成14年度に現場での作業はほぼ終了した。発掘調査区は、東は大分川の河畔から、大友氏館の南側を通り、西は「府内古園」後元業の西側にあたる低湿地部までの約700mであり、「府内」を東西に横断する形状となった。本書は、その最初の調査報告書である。掲載された調査位置は、「府内古園」の復元図上で、東は大友氏館前を南北に「府内」を貫く街路（第2南北街路）西側から、西は「府内」の西側の街路（第4南北街路）までである。この発掘調査範囲は、これまで12枚確認されている「府内古園」をA類・B類・C類の3種類に分類しているが、それぞれで描かれ方の異なる場所でもあった。発掘調査では、大友氏館と御蔵場の間の街路（空地）、林小路町、御蔵場跡が検出されることが想定された。

土塁

調査の結果、この調査範囲では、14世紀から16世紀末まで継続的に遺構が認められた。特に16世紀後葉の遺構は、府内町跡5次調査区で、第4南北街路から東方にかけて、御蔵場を取り巻く築地の北側の基礎、林小路町と考えられる町屋跡などが検出された。また、8次調査区の東端部では、南北方向に築かれた土塁を検出した。さらに、府内町跡5次A調査区と府内町5次B調査区の間、府内町5次B調査区と8次調査区の間には町割を示す大規模な堀が検出され、府内町跡5次A調査区では土割割りと考えられる小規模な溝を検出している。

積土遺構

こうした遺構は、描かれた「府内古園」の復元図と、必ずしも完全に整合させることは出来なかった。しかし、府内町跡5次A調査区で、林小路町の変遷や構造の実態が明らかになった。すなわち、堀状の大区画で囲まれた中が、さらに、溝状の小区画で区切られている。また、出土する遺物は中国や東南アジア系の貿易陶磁器が多数出土した。さらに、検出された御蔵場の積土遺構（築地基礎）と想定される遺構は、府内町跡5次A調査区から府内町跡5次B調査区まで、約115mにわたり、直線的に検出され、両側に堀を持つことが確認された。そして、北西側では礎石建物が存在することがわかった。このことは、「府内古園」の3分類のそれぞれで、表現や記載方法の異なる御蔵場の実態が、具体的な形で現れたことになる。すなわち、積土遺構（築地基礎）は幅約2mで、最下部に掌大の礫を敷き、その上を砂と土を交互に積み上げる版築状を呈している。その方向性は、第2南北街路と直交する方位で、「府内」の都市整備の中で企画された施設であることが推測される。

地鎮遺構

さらに府内町跡第5次B調査区では、御蔵場の積土遺構（築地基礎）に平行して、約5m北側に16世紀中葉から後葉の細い溝が検出された。また、この積土遺構（築地基礎）の以前には、15世紀末葉から16世紀初頭に掘削された、やや方向性の異なる大きな溝が存在し、府内町跡5次A調査区との境で、北に屈曲しており、一部は16世紀後半まで機能していることが判った。さらにこの調査区の東側にも16世紀後半の南北方向の大規模な溝があり、府内町跡第5次B調査区は、こうした溝に区画され区域であることが理解できた。その大区画の中には、15世紀後半から16世紀後半にかけての溝や焦土を含む廃棄土坑、井戸などが多数検出されており、銭貨を使用した地鎮遺構が2箇所、土器による地鎮遺構が1箇所、検出されている。この調査区は大友館の推定地の南側にあたり、その性格については、館との関係を含め、注目される。

そして、大友氏館の南側にあたる8次調査区では、第1南北街路と直交する方向性を持つ15世紀代の断面V字の堀は、大分市教育委員会が大友氏館跡の東南隅にある庭園遺構の北側の発掘調査で検出している。15世紀代の規則性の強い建物遺構との関係を考えなければならない。また、調査区の東端で検出された南北方向に構築された16世紀後半の土塁状遺構は、大友氏館との関係が指摘されている。狭い範囲で確認された遺構であるが、平成17年度の発掘調査は、この土塁状遺構の東

側が予定されており、今後の調査が注目され、その性格が明らかにされることと思われる。

以上のように、本書で報告した調査範囲は、「府内古園」に描かれた「府内」の中核部にあたることが、発掘調査の結果、御蔵場の構造や林小路町の状況が理解できるようになったが、なおも、大友氏館との関係など、今後とも検討しなければならない問題も残された。今回報告した地域に隣接した部分の発掘調査も今後予定されており、そうした中で、明らかにするものと期待する。

#### 重要遺構の保存

最後に、本書で報告した調査範囲で検出された重要遺構の保存について述べる。大分県教育委員会が中世大友城下町跡を最初に調査した平成11年度から注目され、府内町跡5次A調査区から府内町跡5次B調査区まで、約115mにわたり直線的に御蔵場の積土遺構(築地基礎)が検出された。この遺構は、調査区の南端にあたり、工事計画では、高架橋の南側に沿った側道部分にあたった。しかし、その部分には、発掘調査時にJR日豊・豊肥線沿いに流れていた「金池下水道」が移設し、埋設されること計画されていた。計画通りの工事施工ならば、検出された御蔵場の積土遺構(築地基礎)はすべて破壊されてしまうことが判明した。

そこで、開発関係者である大分県土木建築部・大分市土木建築部と、御蔵場を区画する積土遺構(築地基礎)の保存のための協議を行い、「金池下水道」のルート変更の可能性の検討をお願いした。その結果、いくつかの変更案が提示されたが、経費・工事期間の問題もあり、最終的には、現在の市道六坊新中島線の西側で「金池下水道」を高架橋の北側に方向を変え、北側側道の下に埋設し、府内町跡8次調査区で再び南側の側道に方向を変え、本来の計画路線に戻す案を採用した。その結果、高架橋の南側の側道下であるが、検出された御蔵場の積土遺構(築地基礎)の大部分を保存することが出来た。

また、大友氏館跡が平成13年8月に同指定史跡になることが決定し、将来は史跡公園として整備される見通しとなった。一方JR日豊・豊肥線の南側はかねてから「元町公園」として都市計画決定されていた。その2つの将来の公園の間に計画された高架橋は、「ラーメン工法」という工区内を全面掘削し、10m間隔でコンクリートの橋脚を林立させるものであった。この工法が採用されると、府内町跡第5・8次調査で発掘した「府内」の中核部の遺構の全てが消滅してしまうことが明らかになった。さらに、将来の「史跡公園」と「都市公園」を繋ぐ部分が遮断されてしまう懸念が生じた。そこで、JR九州・大分市・大分県土木建築部と協議を行い、「ラーメン工法」から高架下が利用可能な「橋脚工法」に工法変更をお願いし、採用いただいた。その結果、大友氏館前の遺構の7割は地表下であるが保存することができ、高架下の通過も可能となった。

以上の工法変更による遺跡保存にあたっては、JR九州・大分市土木建築部・大分市教育委員会・大分県土木建築部など開発関係機関の御理解と協力があって達成できたことを銘記し、感謝の意を表したい。

# 遺物觀察表



5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

種別No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺物名	備考	図版No.
			口径	底径	高さ			
第14001	青花	織	中国(景德鎮系)	10.8	4.1	4.8	SD101	E群(埋込・埋)
第14002	青花	織	中国(漳州系)	—	4.4	—	SD101	
第14003	青花	織	中国(景德鎮系)	(10.8)	2.6	4.5	SD101	C群
第14004	青花	織	中国(景德鎮系)	—	3.8	—	SD101	C群
第14005	翠南五彩	水滸?	中国	—	—	—	SD101	
第14006	焼締陶器	磁鉢	中国南部	—	—	—	SD101	
第14007	焼締陶器	陶瓦葺	タイ(ナラムライ系)	—	—	—	SD101	
第14008	陶器	壺	中国	—	—	—	SD101	灰釉
第14009	陶器	壺	中国	—	—	—	SD101	灰釉
第14010	陶器	壺	中国	20.0	—	—	SD101	灰釉輪
第14011	焼締陶器	壺	島前	12.2	—	—	SD101	
第14012	焼締陶器	壺	島前	—	9.6	—	SD101	底部にへう記号
第14013	焼締陶器	壺	島前	14.4	29.7	15.6	SD101	
第14014	焼締陶器	壺	島前	10.0	—	—	SD101	
第14015	焼締陶器	壺	島前	23.1	—	—	SD101	
第14016	焼締陶器	磁鉢	島前	(25.1)	—	—	SD101	
第14017	焼締陶器	磁鉢	島前	(29.0)	—	—	SD101	
第14018	焼締陶器	壺	島前	—	—	—	SD101	
第14019	焼締陶器	壺	島前	—	—	—	SD101	
第14020	焼締陶器	小壺	島前	4.4	—	—	SD101	
第14021	焼締陶器	鉢	島前	—	—	—	SD101	
第14022	陶器	砂皿	瀬戸黄瀬	—	—	—	SD101	
第14023	陶器	砂皿	瀬戸黄瀬	—	—	—	SD101	
第14024	京都系土師器	壺	在野	8.8	—	2.0	SD101	
第14025	京都系土師器	壺	在野	12.4	—	2.8	SD101	
第14026	京都系土師器	壺	在野	12.0	—	2.2	SD101	
第14027	京都系土師器	壺	在野	12.4	—	2.7	SD101	
第14028	京都系土師器	坪	在野	12.4	—	2.6	SD101	
第14029	土師系土器	壺	在野	6.6	2.0	3.4	SD101	
第14030	土師系土器	壺	在野	7.2	1.6	4.6	SD101	
第14031	土師系土器	甗台	在野	8.4	5.1	7.0	SD101	
第14032	土師系土器	甗台	在野	—	6.6	—	SD101	
第14033	土師系土器	土鉢	在野	—	—	—	SD101	
第14034	瓦質土器	灰鉢	在野	(33.0)	—	—	SD101	
第14035	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD101	
第14036	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD101	
第14037	瓦質土器	灰鉢	在野	35.0	—	—	SD101	
第18001	青花	織	中国(景德鎮系)	—	4.2	—	SD103	E群(埋込・埋)
第18002	青花	織	中国(景德鎮系)	—	(3.0)	—	SD103	C群
第18003	青磁	壺	中国(瓊島系)	—	8.8	—	SD103	
第18004	青磁	湯合壺	中国(瓊島系)	—	—	—	SD103	
第18005	白磁	壺	中国	—	—	—	SD103	
第18006	白磁	壺	中国	—	—	—	SD103	
第18007	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SD103	B群
第18008	焼締陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SD103	C群
第18009	翠南五彩	鳥形水滸	中国	—	—	—	SD103	
第18010	陶器	壺	中国	—	(13.4)	—	SD103	黒釉地
第18011	焼締陶器	磁鉢	島前	(25.3)	—	—	SD103	
第18012	焼締陶器	磁鉢	島前	(10.0)	—	—	SD103	
第18013	焼締陶器	壺	島前	(10.0)	—	—	SD103	
第18014	焼締陶器	壺	島前	—	—	—	SD103	
第18015	焼締陶器	壺	島前	11.8	—	—	SD103	
第18016	焼締陶器	壺	島前	11.4	13.0	30.4	SD103	
第18017	焼締陶器	水滸	島前	(19.3)	—	—	SD103	
第18018	瓦質土器	磁鉢	動岳系	(23.4)	(13.8)	10.3	SD103	
第18019	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD103	
第18020	瓦質土器	灰鉢	在野	(20.5)	—	—	SD103	
第18021	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD103	
第18022	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD103	
第18023	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD103	
第18024	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD103	
第18025	瓦質土器	灰鉢	在野	(29.6)	—	—	SD103	
第18026	瓦質土器	灰鉢	在野	—	—	—	SD103	
第18027	瓦質土器	灰鉢	在野	(39.2)	—	—	SD103	
第18028	京都系土師器	壺	在野	(12.6)	—	(2.4)	SD103	
第18029	京都系土師器	壺	在野	(14.0)	—	(2.4)	SD103	
第18030	土師系土器	壺	在野	7.4	4.0	3.1	SD103	
第18031	土師系土器	壺	在野	(7.4)	4.8	3.1	SD103	
第18032	土師系土器	甗台	在野	7.0	6.8	6.2	SD103	
第18033	土師系土器	甗台	在野	—	6.8	—	SD103	
第22001	青花	織	中国(景德鎮系)	—	3.7	—	SK102	E群(埋込・埋)
第22002	青花	織	中国(景德鎮系)	—	3.9	—	SK103	E群(埋込・埋)
第22003	青磁	壺	中国	(12.8)	—	—	SK102	
第22004	青磁	壺	中国	—	6.2	—	SK102	
第22005	青磁	壺	中国(瓊島系)	—	—	—	SK102	



5次調査 A区遺物観察表 (土器・陶磁器類②)

探検No.	器 種	生産地	法量 (単位 cm)			遺物名	備 考	図録 No.
			口径	底径	高さ			
第2206	豆 皿	産 中国(福建省)	--	--	--	SX102		
第2207	磁 鉢	産 中国(福建省)	(18.8)	--	--	SX102	片断	
第2208	炆 埴器	産 中国南部	--	--	--	SX102		
第2209	炆 埴器	産 中国(メナムノイ)	--	--	--	SX102		
第2210	磁 鉢	産 中国 (13.2)	--	--	--	SX102	片断	
第2211	磁 鉢	産 中国	--	--	--	SX102	片断	
第2212	磁 鉢	産 中国	--	(11.8)	--	SX102		
第2213	磁 鉢	産 中国	--	(12.0)	--	SX102		
第2214	磁 鉢	産 中国	--	(16.8)	--	SX102	片断	
第2215	磁 鉢	産 朝鮮王朝	--	4.0	--	SX102		
第2216	磁 鉢	産 朝鮮王朝	--	5.0	--	SX102		
第2217	磁 鉢	産 朝鮮王朝 (15.0)	6.6	5.8	--	SX102		
第2218	磁 鉢	産 朝鮮王朝	--	--	--	SX102		
第2219	炆 埴器	産 備前 (10.2)	--	--	--	SX102		
第2220	炆 埴器	産 備前 (10.4)	--	--	--	SX102		
第2221	炆 埴器	産 備前 (17.0)	--	--	--	SX102		
第2222	炆 埴器	産 水尾 (26.8)	(29.0)	--	--	SX102		
第2223	炆 埴器	産 備前 (56.0)	--	--	--	SX102		
第2224	炆 埴器	産 備前 (34.4)	--	--	--	SX102		
第2225	炆 埴器	産 備前 (33.0)	--	--	--	SX102		
第2226	瓦 質土器	産 佐治	--	(4.4)	--	SX102		
第2227	瓦 質土器	産 佐治	--	--	--	SX102		
第2228	瓦 質土器	産 佐治 (28.6)	--	--	--	SX102		
第2229	土 師 瓦 土 器	産 備前	--	6.0	--	SX102		
第2230	土 師 瓦 土 器	産 備前	--	6.4	--	SX102		
第2231	土 師 瓦 土 器	産 備前	--	6.6	--	SX102		
第2232	京 都 系 土 師 器	産 佐治	12.0	--	2.2	SX102		
第2233	土 師 瓦 土 器	産 佐治	8.2	1.8	6.0	SX102		
第2234	土 師 瓦 土 器	産 佐治	11.4	6.4	2.6	SX102		
第2235	土 師 瓦 土 器	産 佐治	11.6	6.0	2.6	SX102		
第2801	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会	1~134同一体	
第2802	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2803	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2804	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2805	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2806	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2807	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2808	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2809	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2810	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2811	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2812	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2813	甌 南 三 彩	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第2901	苜 花	産 中国	--	6.2	--	法検開発会	2~8同一体	
第2902	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第2903	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第2904	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第2905	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第2906	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第2907	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第2908	炆 埴器	産 ベトナム	--	--	--	法検開発会		
第3001	陶 器	産 中国 (12.8)	--	--	--	法検開発会		
第3002	陶 器	産 中国 (23.4)	--	--	--	法検開発会		
第3101	陶 器	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第3102	陶 器	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第3103	陶 器	産 中国	--	16.0	--	法検開発会		
第3104	陶 器	産 中国 (19.2)	--	--	--	法検開発会		
第3105	陶 器	産 中国	--	--	--	法検開発会		
第3106	炆 埴器	産 備前	--	(6.4)	--	法検開発会		
第3107	炆 埴器	産 備前 (27.0)	13.8	(13.8)	--	法検開発会		
第3108	炆 埴器	産 備前 (45.6)	6.9	(26.6)	--	法検開発会		
第3109	炆 埴器	産 備前	9.8	11.0	17.6	法検開発会	扉部にヘラ記号	15
第3110	炆 埴器	産 備前 (水指)	18.2	16.2	17.8	法検開発会		15
第3201	炆 埴器	産 備前	--	--	--	SD408		
第3202	炆 埴器	産 備前	--	--	--	SD408		
第3203	瓦 質土器	産 佐治	--	--	--	SD408		
第3204	瓦 質土器	産 佐治	--	--	--	SD408		
第3405	苜 花	産 中国(吉林省)	--	--	--	SX604	外側に毛彫り文様	
第3406	苜 花	産 中国(吉林省)	--	--	--	SX604		
第3407	白 磁	産 中国	--	--	--	SX604		
第3408	白 磁	産 中国	--	--	--	SX604		
第3409	炆 埴器	産 中国南部	--	(12.8)	--	SX604		
第3410	炆 埴器	産 備前	--	--	--	SX604		
第3411	炆 埴器	産 備前 (32.4)	--	--	--	SX604		
第3412	炆 埴器	産 備前	--	--	--	SX604		

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類(3))

発掘No.	種 類	生産地	法量 (単位 cm)			遺物名	備 考	図版 No.
			口径	底径	高さ			
第34013	地埴陶器	漆	---	---	---	SX04		
第34014	地埴陶器	漆	19.5	---	4.9	SX04		
第34015	土師瓦土器	土埴	---	---	---	SX04		
第34016	京都系土師器	皿	---	---	---	SX04		
第34017	京都系土師器	皿	11.8	---	2.6	SX04		
第34018	京都系土師器	坪	11.8	---	3.6	SX04		
第34019	土師瓦土器	燗台	---	7.0	---	SX04		
第34020	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SX04		
第34021	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SX04		
第34022	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SX04		
第34023	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SX04		
第3601	地埴陶器	鉢	中国(南朝)	---	---	SX08		
第3602	地埴陶器	漆鉢	奥前	---	---	SX08		
第3603	地埴陶器	漆鉢	奥前	---	---	SX08		
第3604	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SX08		
第3605	土師瓦土器	土埴	---	---	---	SX08		
第3606	京都系土師器	皿	12.6	6.2	3.0	SD45		
第3701	土師瓦土器	皿	---	---	---	SD45		
第3702	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SD45		
第3801	瓦質土器	火鉢	---	---	---	SD420		
第3802	地埴陶器	漆鉢	奥前	---	---	SD415		
第3803	荷花	碗	中国(景德鎮)	13.2	---	SD429	C群	
第4001	京都系土師器	皿	在埴	8.0	1.8	SD424		
第4002	土師瓦土器	皿	在埴	8.4	5.4	1.8	SD424	
第4201	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4202	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4203	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4204	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4205	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4206	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4207	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4208	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4209	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4210	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4211	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4212	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4213	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4214	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4215	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4216	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4217	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4218	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4219	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4220	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4221	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4222	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4223	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4224	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4225	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4226	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4227	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4228	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4229	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4230	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4231	五砂	碗	中国	---	---	SD428		16
第4232	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4233	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4234	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4235	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4236	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4237	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4238	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4239	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4240	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4241	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4242	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4243	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4244	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4245	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4246	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4247	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第4248	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群(蓮子碗)	16
第43049	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD429	B1群	16
第43050	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群	16
第43051	荷花	碗	中国(景德鎮)	---	---	SD428	C群	16

遺物観察表 4  
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類(4))

押印No.	器 種	生産地	寸法 (単位 cm)			品名	備 考	埋 込 深 度
			口徑	底徑	器高			
第43252	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43253	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43254	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43255	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43256	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43257	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43258	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43259	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43260	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43261	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43262	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43263	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43264	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43265	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43266	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43267	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43268	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43269	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43270	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43271	甕	中国(魯西州)	—	—	—	—	—	—
第43272	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43273	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43274	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43275	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43276	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43277	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43278	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43279	甕	中国	—	—	—	—	—	—
第43280	陶器	朝鮮王朝	—	—	—	—	—	—
第43281	陶器	天目鍋	中国	—	3.9	—	—	—
第43282	埴輪陶器	鉢	中国(南朝)	(20.4)	—	—	—	—
第43283	埴輪陶器	鉢	中国(南朝)	—	(8.8)	—	—	—
第43284	埴輪陶器	埴輪	朝鮮	—	—	—	—	—
第43285	埴輪陶器	埴輪	朝鮮	—	—	—	—	—
第43286	埴輪陶器	埴輪	朝鮮	—	—	—	—	—
第43287	埴輪陶器	甕	朝鮮	—	—	—	—	—
第43288	京師系土師器	甕	在池	(10.3)	—	—	—	16
第43289	京師系土師器	甕	在池	(10.3)	—	2.5	—	16
第43290	京師系土師器	甕	在池	10.5	—	2.5	—	16
第43291	京師系土師器	甕	在池	10.5	—	2.0	—	16
第44292	京師系土師器	甕	在池	(12.5)	—	—	—	16
第44293	京師系土師器	甕	在池	(12.8)	—	(2.3)	—	16
第44294	京師系土師器	甕	在池	12.6	—	2.5	—	16
第44295	京師系土師器	甕	在池	12.6	—	2.5	—	16
第44296	京師系土師器	甕	在池	12.6	—	2.5	—	16
第44297	京師系土師器	甕	在池	(12.1)	—	2.5	—	16
第44298	京師系土師器	甕	在池	12.8	—	2.3	—	16
第44299	京師系土師器	甕	在池	(12.5)	—	—	—	16
第44300	京師系土師器	甕	在池	14.1	—	2.5	—	16
第44301	京師系土師器	甕	在池	(16.0)	—	—	—	16
第44302	土師系土師	甕	在池	12.4	2.6	7.0	—	16
第44303	土師系土師	甕	在池	(8.0)	—	5.2	—	16
第44304	瓦質土器	埴	在池	—	—	—	—	—
第44305	瓦質土器	埴	在池	(30.0)	—	—	—	—
第44306	瓦質土器	埴	在池?	—	—	—	—	—
第46201	青花	碗	中国(景德鎮)	(13.4)	6.6	5.4	—	C群
第46202	青花	碗	中国(景德鎮)	—	—	5.4	—	C群
第46203	青花	碗	中国(景德鎮)	—	—	—	—	C群
第46204	青花	碗	中国(景德鎮)	—	—	—	—	C群
第46205	青花	碗	中国(景德鎮)	—	—	—	—	C群
第46206	青磁	碗	中国(魯西州)	—	—	—	—	—
第46207	青磁	碗	中国(魯西州)	(31.0)	(14.2)	8.0	—	—
第46208	白磁	甕	中国	—	—	—	—	—
第46209	白磁	甕	中国	14.6	6.2	4.4	—	—
第46210	埴輪陶器	鉢(水甕)	朝鮮	(19.8)	(13.8)	(17.8)	—	—
第46211	埴輪陶器	埴輪	朝鮮	—	—	—	—	—
第46212	埴輪陶器	埴輪	朝鮮	—	—	—	—	—
第46213	埴輪陶器	埴輪	朝鮮	—	—	(11.4)	—	—
第46214	京師系土師器	甕	在池	8.5	—	1.8	—	—
第46215	京師系土師器	甕	在池	10.4	—	2.1	—	—
第46216	京師系土師器	甕	在池	(10.0)	—	—	—	—
第46217	京師系土師器	甕	在池	10.7	—	2.1	—	—
第46218	京師系土師器	甕	在池	(10.6)	—	2.0	—	—
第46219	京師系土師器	甕	在池	11.0	—	2.0	—	—
第46220	京師系土師器	甕	在池	(11.0)	—	1.8	—	—

5次調査 A区遺物観察表 (土器・陶磁器類⑤)

探検No.	器 種	生産地	法量 (単位 cm)			遺物名	備 考	図録 No.
			口径	底径	器高			
第46821	京都系土師器	甕	在埴	(11.6)	--	1.9	SD436	
第46822	京都系土師器	甕	在埴	(12.6)	--	2.4	SD436	
第47023	京都系土師器	甕	在埴	(12.6)	--	2.4	SD436	
第47024	京都系土師器	甕	在埴	(13.0)	--	1.8	SD436	
第47025	京都系土師器	甕	在埴	(14.0)	--	1.9	SD436	
第47026	京都系土師器	甕	在埴	(13.2)	--	2.0	SD436	
第47027	京都系土師器	甕	在埴	(14.2)	--	--	SD436	
第47028	京都系土師器	甕	在埴	14.8	--	2.4	SD436	
第47029	京都系土師器	甕	在埴	13.2	--	2.2	SD436	胴部下半部に穿孔
第47030	土師質土器	甕	在埴	(8.0)	(5.0)	1.8	SD436	
第47031	土師質土器	甕	在埴	--	(6.4)	--	SD436	
第47032	土師質土器	甕	在埴	--	(6.2)	--	SD436	
第47033	土師質土器	甕	在埴	--	(5.8)	--	SD436	
第47034	土師質土器	甕	在埴	(10.6)	(5.4)	2.8	SD436	
第47035	土師質土器	甕	在埴	--	(7.6)	--	SD436	
第47036	土師質土器	甕	在埴	(17.0)	(12.8)	2.2	SD436	
第47037	土師質土器	土鍋	在埴	--	--	--	SD436	
第47039	瓦質土器	甕鉢	在埴	--	--	--	SD436	
第47040	瓦質土器	甕鉢	在埴	--	--	--	SD436	
第47041	瓦質土器	土鍋	在埴	--	--	--	SD436	
第47042	瓦質土器	*	在埴	--	--	--	SD436	
第47043	瓦質土器	香炉	在埴	(11.6)	--	--	SD436	
第47044	瓦質土器	甕	在埴	(23.6)	--	--	SD436	
第49001	土師質土器	甕	在埴	11.6	6.8	2.6	SD425a	
第49002	京都系土師器	甕	在埴	(13.2)	--	(2.4)	SD425a	
第49003	京都系土師器	甕	在埴	(18.8)	--	--	SD425a	
第49004	甕	甕	中国	--	(4.5)	--	SD425a	
第49005	甕	甕	中国	--	(5.0)	--	SD425a	
第49006	京都系土師器	甕	在埴	10.6	--	2.0	SD425b	
第49007	京都系土師器	甕	在埴	13.0	--	2.4	SD425	
第49008	京都系土師器	甕	在埴	(14.0)	--	(2.8)	SD425	
第49009	京都系土師器	甕	在埴	(15.4)	--	--	SD425	
第49010	土師質土器	甕	在埴	(8.0)	(4.6)	1.4	SD425	
第49013	瓦質土器	穴鉢	在埴	(30.4)	--	--	SD425	
第53001	土師質土器	甕	在埴	7.0	4.2	1.9	SD153	1-3 第1區中国東部
第53002	土師質土器	甕	在埴	--	4.7	--	SD153	18
第53003	埴師陶器	甕鉢	在埴	--	--	--	SD153	18
第53004	土師質土器	甕	在埴	(6.1)	--	--	SD153	17
第53005	土師質土器	甕	在埴	9.2	5.2	1.9	SD153	4-8 第1區中国上部
第53006	土師質土器	甕	在埴	(11.0)	6.8	2.4	SD153	17
第53007	土師質土器	甕	在埴	11.0	2.6	6.0	SD153	17
第53008	土師質土器	甕	在埴	11.2	6.6	2.6	SD153	17
第53009	土師質土器	甕	在埴	7.4	4.8	2.0	SD153	9-18 第1區中国下部
第53010	土師質土器	甕	在埴	9.0	5.4	1.9	SD153	17
第53011	土師質土器	甕	在埴	11.0	6.3	3.2	SD153	17
第53012	土師質土器	甕	在埴	11.6	6.2	2.6	SD153	17
第53013	土師質土器	甕	在埴	12.2	6.4	2.8	SD153	17
第53014	土師質土器	甕	在埴	(12.6)	6.2	(2.7)	SD153	17
第53015	土師質土器	甕	在埴	11.6	6.2	2.7	SD153	17
第53016	土師質土器	甕	在埴	11.0	6.8	2.6	SD153	17
第53017	土師質土器	甕	在埴	13.0	6.4	2.6	SD153	17
第53018	京都系土師器	甕	在埴?	15.2	--	2.0	SD153	22-23 第2區中国
第54002	土師質土器	甕	在埴	12.8	6.8	3.0	SD153	
第54003	瓦質土器	甕鉢	在埴	--	--	--	SD153	
第54004	土師質土器	小甕	在埴	4.0	3.4	0.6	SD153	
第54005	土師質土器	甕	在埴	11.2	6.0	3.0	SD153	
第54006	土師質土器	甕	在埴	(12.0)	(6.6)	2.8	SD153	
第54007	土師質土器	甕	在埴	7.8	4.8	1.4	SD153	
第54008	土師質土器	甕	在埴	7.4	4.8	2.0	SD153	
第54009	土師質土器	甕	在埴	7.6	5.4	1.8	SD153	
第54010	土師質土器	甕	在埴	8.0	5.0	1.8	SD153	
第54011	土師質土器	甕	在埴	8.2	5.4	1.6	SD153	
第54012	土師質土器	甕	在埴	9.0	4.8	2.0	SD153	
第54013	土師質土器	甕	在埴	9.8	5.0	2.0	SD153	
第54014	土師質土器	甕	在埴	11.0	5.6	2.8	SD153	
第54015	土師質土器	甕	在埴	11.6	6.8	2.6	SD153	
第54016	土師質土器	甕	在埴	12.6	6.0	2.2	SD153	
第54017	土師質土器	甕	在埴	12.2	6.8	2.8	SD153	
第54018	土師質土器	甕	在埴	13.6	5.8	3.6	SD153	
第54019	土師質土器	甕	在埴	--	7.4	--	SD153	
第54020	土師質土器	甕	在埴?	--	5.4	--	SD153	白色系
第54041	土師質土器	陶台	在埴	--	5.0	--	SD153	
第54042	土師質土器	土鍋	在埴	--	--	--	SD153	
第54047	瓦質土器	穴鉢	在埴	--	--	--	SD153	
第54048	瓦質土器	穴鉢	在埴	--	--	--	SD153	

遺物観察表 6  
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑥)

発掘No	器 種		産地地	通径 (単位 cm)			発掘名	備 考	図解 No.
	口徑	底徑		高さ					
第50049	瓦質土器	甕	在池	—	—	—	SD153		
第50050	瓦質土器	甕	在池	—	(5.0)	—	SD153		
第50051	瓦質土器	不明	在池	(15.2)	—	0.6	SD153		
第50052	炰埴陶器	甕	甕前	(27.4)	—	—	SD153		
第50053	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD153		
第50054	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD153		
第50055	炰埴陶器	不明	甕前	—	7.0	—	SD153		
第50056	青磁	小茶碗 or 小杯	中国(龍泉窯)	9.0	—	—	SD153		
第50057	青磁	甕	中国(龍泉窯)	(23.0)	—	—	SD153		
第50058	青磁	甕	中国	—	3.4	—	SD153		
第50059	青磁	甕	中国(龍泉窯)	6.0	—	—	SD153		
第50061	土師系土器	甕	在池	12.0	6.0	2.7	SK903		
第50062	土師系土器	甕	在池	12.0	6.7	2.8	SK903		
第50063	土師系土器	甕	在池	14.2	6.8	3.2	SK903		
第50064	土師系土器	甕	在池	15.2	7.2	2.8	SK903		
第50065	土師系土器	甕	在池	13.2	7.2	2.6	SK403		
第50066	土師系土器	甕	在池	15.0	7.8	2.8	SK403		
第6101	管瓦	甕	中国(呂孫龍窯)	—	—	—	SD151		
第6102	管瓦	甕	中国(呂孫龍窯)	—	—	—	SD151		
第6103	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第6104	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	(12.6)	—	—	SD151		
第6105	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第6106	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	(14.0)	—	—	SD151		
第6107	管瓦	小甕	中国(龍泉窯)	(8.2)	—	—	SD151		
第6108	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第6109	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	(13.2)	—	—	SD151		
第61010	管瓦	甕	中国(龍泉窯)	—	—	—	SD151		
第61011	白磁	甕	中国	(10.2)	—	—	SD151		
第61012	白磁	甕	中国	13.4	6.4	3.0	SD151		
第61014	磁器	甕	朝鮮王儲	3.8	—	—	SD151		
第61015	炰埴陶器	甕鉢	甕前	(28.4)	(14.0)	12.4	SD151		
第61016	炰埴陶器	甕鉢	甕前	(27.4)	(11.8)	11.8	SD151		
第61017	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61018	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61019	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61020	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61021	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61022	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61023	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	(16.2)	—	SD151		
第61024	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	(14.0)	—	SD151		
第61025	炰埴陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SD151		
第61026	炰埴陶器	甕	甕前	—	—	—	SD151		
第61027	炰埴陶器	甕	甕前	—	—	—	SD151		
第61028	炰埴陶器	甕	甕前	—	(15.2)	—	SD151		
第63029	京師系土師器	甕	在池	13.0	—	1.9	SD151		
第63030	京師系土師器	甕	在池	13.2	—	2.0	SD151		
第63031	京師系土師器	甕	在池	8.2	—	1.8	SD151		
第63032	京師系土師器	甕	在池	10.6	—	2.1	SD151		
第63033	京師系土師器	甕	在池	10.8	—	2.2	SD151		
第63034	京師系土師器	甕	在池	13.0	—	2.0	SD151		
第63035	京師系土師器	甕	在池	13.0	—	2.6	SD151		
第63036	京師系土師器	甕	在池	13.0	—	2.6	SD151		
第63037	京師系土師器	甕	在池	13.6	—	2.6	SD151		
第63038	京師系土師器	甕	在池	13.0	—	2.6	SD151		
第63039	京師系土師器	甕	在池	(14.0)	—	1.9	SD151		
第63040	京師系土師器	甕	在池	15.0	—	2.2	SD151		
第63041	京師系土師器	甕	在池	16.4	—	2.5	SD151		
第63042	京師系土師器	甕	在池	17.3	—	3.4	SD151		
第63043	土師系土器	甕	在池	6.0	—	2.0	SD151		
第63044	土師系土器	甕?	在池?	5.4	—	1.8	SD151	炰埴器または小甕 天部群にへう記号	
第63045	土師系土器	甕?	在池?	(5.0)	—	(1.8)	SD151	炰埴器または小甕	
第63046	土師系土器	取皿	在池	3.9	—	1.9	SD151		
第63047	土師系土器	甕	在池	7.4	5.6	1.8	SD151		
第63048	土師系土器	甕	在池	7.6	5.0	1.8	SD151		
第63049	土師系土器	甕	在池	8.6	4.8	2.1	SD151		
第63050	土師系土器	甕	在池	—	(8.0)	—	SD151		
第63051	土師系土器	甕	在池	—	4.6	—	SD151		
第63052	土師系土器	甕	在池	—	5.2	—	SD151		
第63053	土師系土器	甕	在池	11.0	6.0	3.1	SD151		
第63054	土師系土器	甕	在池	10.4	6.2	3.6	SD151		
第63055	土師系土器	甕	在池	10.8	5.8	3.2	SD151		
第63056	土師系土器	甕	在池	11.2	5.8	3.4	SD151		
第63057	土師系土器	甕	在池	11.6	5.8	2.8	SD151		
第64058	土師系土器	甕	在池	(11.4)	(7.0)	3.0	SD151		
第64059	土師系土器	甕	在池	12.0	6.0	3.2	SD151		

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類②)

探跡No.	部 類	生産地	法量(単位cm)			記録名	備 考	図幅 No.
			口径	底径	高さ			
0064000	土師製土器	甕	在埴	11.4	6.8	2.6	SD151	
0064001	土師製土器	甕	在埴	11.6	6.0	3.4	SD151	
0064002	土師製土器	甕	在埴	12.2	6.2	2.1	SD151	
0064003	土師製土器	甕	在埴	12.0	6.0	3.2	SD151	
0064004	土師製土器	甕	在埴	12.4	7.0	2.2	SD151	
0064005	土師製土器	甕	在埴	6.2	5.9	1.7	SD151	
0064006	土師製土器	甕	在埴	6.4	5.0	1.8	SD151	
0064007	土師製土器	甕	在埴	7.4	4.8	2.1	SD151	
0064008	土師製土器	甕	在埴	(8.0)	(5.0)	2.2	SD151	
0064009	土師製土器	甕	在埴	11.4	4.9	2.7	SD151	
0064070	土師製土器	甕	在埴	11.4	6.2	2.9	SD151	
0064071	土師製土器	甕	在埴	--	5.6	--	SD151	
0064072	土師製土器	甕	在埴	--	5.0	--	SD151	
0064073	土師製土器	甕	在埴	--	(3.0)	--	SD151	
0064074	土師製土器	小皿	在埴	3.2	2.7	1.0	SD151	
0064075	土師製土器	甕	在埴?	--	5.6	--	SD151	白色系
0064076	土師製土器	甕	在埴?	11.4	4.2	3.7	SD151	白色系?
0064077	土師製土器	甕	在埴?	15.2	6.2	3.2	SD151	白色系
0064078	土師製土器	甕	在埴?	(19.2)	9.3	4.2	SD151	白色系
0064079	土師製土器	甕	在埴	(11.8)	(10.0)	2.3	SD151	
0065000	土師製土器	陶台	在埴	--	7.2	--	SD151	
0065001	土師製土器	陶台	在埴	--	6.6	--	SD151	
0065002	土師製土器	陶台	在埴	--	7.3	--	SD151	
0065003	土師製土器	陶台	在埴	--	6.7	--	SD151	
0065004	土師製土器	陶台	在埴	--	6.0	--	SD151	
0065005	土師製土器	陶台	在埴	7.2	6.2	5.6	SD151	
0065006	土師製土器	陶台	在埴	7.0	7.8	5.6	SD151	
0065007	瓦質土器	土埴	在埴	--	--	--	SD151	
0065008	瓦質土器	土埴	在埴	--	--	--	SD151	
0065009	瓦質土器	*	在埴	(12.8)	--	--	SD151	
0065010	瓦質土器	漆鉢	在埴	--	--	--	SD151	
0065014	瓦質土器	火鉢 or 風炉	在埴	--	(16.2)	--	SD151	
0065015	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	SD151	
0065016	瓦質土器	火鉢	在埴	--	(25.2)	--	SD151	
0065017	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	SD151	
0065018	瓦質土器	火鉢	在埴	--	(36.0)	--	SD151	
0065019	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	SD151	
00660100	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	SD151	
00660101	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	SD151	
00660102	瓦質土器	粥釜	在埴	(14.8)	(12.0)	12.2	SD151	
0069001	磁	甕	在埴	--	--	--	SD404	
0069002	土師製土器	甕	在埴	7.0	4.0	1.6	SD404	
0069003	土師製土器	甕	在埴	6.6	5.0	1.6	SD404	
0069004	土師製土器	甕	在埴	7.0	5.1	1.7	SD404	
0069005	土師製土器	甕	在埴	7.0	5.6	1.9	SD404	
0069006	土師製土器	甕	在埴	8.0	4.3	1.8	SD404	
0069007	土師製土器	甕	在埴	9.2	6.0	2.0	SD404	
0069008	土師製土器	甕	在埴	10.0	5.0	2.1	SD404	
0069009	土師製土器	甕	在埴	(12.0)	6.0	3.7	SD404	
0069010	土師製土器	甕	在埴	11.2	6.0	3.4	SD404	
0069011	土師製土器	甕	在埴	(11.2)	(5.8)	3.6	SD404	
0069012	土師製土器	甕	在埴	12.0	7.0	2.1	SD404	
0069013	瓦質土器	粥釜	在埴	(17.2)	--	--	SD404	
0071001	土師製土器	甕	在埴	11.0	6.6	3.7	SD411	19
0071002	土師製土器	甕	在埴	11.0	7.0	4.2	SD411	19
0071003	土師製土器	甕	在埴	12.6	3.8	7.4	SD411	19
0071004	土師製土器	甕	在埴	(11.0)	--	--	SD411	19
0071005	土師製土器	甕	在埴	--	(6.7)	--	SD411	19
0071006	土師製土器	甕	在埴	(11.0)	(6.0)	4.1	SD411	19
0071007	京極系土師器	甕	在埴	12.8	--	2.0	SD411	
0072001	土師製土器	甕	在埴	(7.4)	8.2	2.9	SD412	
0072002	土師製土器	坪	在埴	14.0	9.0	4.1	SD412	
0072003	土師製土器	坪	在埴	--	7.8	--	SD413	
0072004	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	SD413	
0077001	管線	甕	中国(福島県)	--	5.4	--	SD431	
0077002	管線	甕	中国(福島県)	16.4	--	--	SD431	
0077003	地師陶器	漆鉢	甕前	--	--	--	SD431	
0077004	地師陶器	漆鉢	甕前	--	--	--	SD431	
0077005	地師陶器	漆鉢	甕前	(36.4)	--	--	SD431	
0077006	地師陶器	漆鉢	甕前	--	--	--	SD431	
0077007	地師陶器	漆鉢	甕前	--	--	--	SD431	
0077008	地師陶器	漆鉢	甕前	--	--	--	SD431	
0077009	地師陶器	甕	甕前	--	--	--	SD431	
0077010	地師陶器	甕	甕前	(36.2)	--	--	SD431	
0078011	土師製土器	小皿	在埴	4.0	2.6	1.2	SD431	

遺物観察表 8  
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類⑧)

探検No.	器 種	発見地	法位 (単位 cm)			透視名	備 考	図説 No.
			口徑	底径	器高			
第78回12	土師質土器	甕	9.6	5.4	2.5			SD431
第78回13	土師質土器	甕	11.0	6.0	3.2			SD431
第78回14	土師質土器	甕	6.6	--	--			SD431
第78回15	瓦質土器	罎鉢	甕地	--	--			SD431
第78回16	瓦質土器	罎鉢	甕地	--	--			SD431
第78回17	瓦質土器	甕	甕地	--	--			SD431
第78回18	瓦質土器	土鍋	甕地	--	--			SD431
第78回19	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--			SD431
第78回20	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--			SD431
第78回21	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--			SD431
第78回22	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--			SD431
第78回23	瓦質土器	火鉢 or 風炉	甕地	--	--			SD431
第78回24	瓦質土器	不明	甕地	--	--			SD431
第80回 1	甕	甕	中国(龍泉窯)	--	--			SK001
第80回 2	京師系土師器	甕	甕地	--	--			SK001
第80回 3	京師系土師器	甕	甕地	--	--			SK001
第80回 4	京師系土師器	甕	甕地	--	--			SK001
第80回 5	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--			SK026
第80回 6	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--			SK026
第80回 7	京師系土師器	甕	在池	(11.0)	--	2.0		SK026
第80回 8	京師系土師器	甕	在池	(14.8)	--	2.0		SK026
第80回 9	京師系土師器	甕	在池	--	--	--		SK027
第80回 2	京師系土師器	甕	在池	--	--	--		SK027
第80回 3	京師系土師器	甕	在池	--	--	--		SK027
第80回 4	土師質土器	土鍋	甕地	--	--	--		SK027
第80回 1	甕	甕	中国(龍泉窯)	(13.6)	--	--		SK006
第80回 2	甕	甕	中国(龍泉窯)	(13.8)	--	--		SK006
第80回 3	甕	甕	中国(龍泉窯)	--	5.2	--		SK006
第80回 4	甕	甕	中国(龍泉窯)	--	(5.6)	--		SK006
第80回 5	地持陶器	罎鉢	中国(甌南窯)	--	--	--		SK035:同一器体
第80回 6	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--	--		SK006
第80回 7	土師質土器	罎鉢	在池	6.2	--	2.2		SK006
第80回 8	土師質土器	甕	在池	(8.2)	1.8	--		SK006
第80回 9	土師質土器	甕	在池	10.6	--	2.4		SK006
第80回10	土師質土器	甕	在池	12.8	--	1.9		SK006
第80回11	土師質土器	甕	在池	(14.0)	--	--		SK006
第80回12	土師質土器	甕	在池	(16.8)	--	--		SK006
第90回 1	京師系土師器	甕	在池	--	--	--		SK012
第90回 2	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	5.0	--		SK012
第90回 3	地持陶器	甕	甕地	--	--	--		SK012
第90回 4	地持陶器	罎鉢	甕地	--	--	--		SK012
第90回 5	地持陶器	罎鉢	甕地	--	--	--		SK012
第92回 1	青花	甕	中国(汝州窯)	5.0	--	--		SK030
第94回 1	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--		SK024
第94回 2	甕	甕	中国(龍泉窯)	7.0	--	--		SK024
第94回 3	京師系土師器	甕	甕地	--	--	--		SK024
第96回	地持陶器	甕	甕地	13.0	18.2	40.0		SK028
第98回 1	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--	--		SK035
第98回 2	土師質土器	甕	甕地	--	6.7	--		SK035
第98回 3	京師系土師器	甕	在池	(11.4)	--	2.8		SK035
第100回 1	青花	甕	中国(汝州窯)	--	(5.4)	--		SK061
第102回 1	地持陶器	罎鉢	甕地	--	--	--		SK048
第102回 2	京師系土師器	甕	甕地	--	--	--		SK048
第102回 3	瓦質土器	*	在池	--	4.8	--		SK048
第102回 4	瓦質土器	鉢	在池	--	14.0	--		SK048
第104回 1	土師質土器	甕	在池	8.2	5.0	1.7		SK031
第104回 2	土師質土器	甕	在池	8.8	4.8	1.7		SK031
第104回 3	土師質土器	甕	在池	9.0	5.0	2.2		SK031
第104回 5	京師系土師器	甕	甕地	--	--	--		SK031
第104回 6	京師系土師器	甕	甕地	--	--	--		SK031
第104回 7	土師質土器	小皿?	在池	4.4	--	1.0		SK031
第104回 8	土師質土器	罎鉢	在池	5.4	--	1.5		SK031
第104回 9	土師質土器	鉢?	甕地	--	--	--		SK031
第105回 1	青花	甕	中国(汝州窯)	--	--	--		SK032
第105回 2	京師系土師器	甕	甕地	(12.0)	--	--		SK032
第107回 1	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--		SK033
第107回 2	瓦砂	甕	中国	--	--	--		SK033
第107回 3	白磁	甕	中国	--	--	--		SK033
第107回 4	地持陶器	罎鉢	甕地	(20.6)	--	--		SK033
第107回 5	地持陶器	甕	甕地	--	--	--		SK033
第107回 6	瓦質土器	火鉢 or 風炉	甕地	--	--	--		SK033
第107回 7	瓦質土器	罎鉢	在池?	--	--	--		SK033
第107回 8	瓦質土器	火鉢	甕地	--	--	--		SK033
第107回 9	土師質土器	不明	在池	--	--	--		SK033
第107回10	土師質土器	不明	在池	(15.0)	--	--		SK033

5次調査A区遺物觀察表(土器・陶磁器類9)

図面No	器 種	生産地	測定 (単位 cm)			遺物名	備 考	図面No
			口徑	底徑	器高			
第107図11	京師系土師器	甌	在池	10.4	--	2.4	SK033	
第107図12	京師系土師器	甌	在池	7.8	--	1.8	SK033	
第107図13	京師系土師器	甌	在池	9.0	--	1.9	SK033	
第107図14	京師系土師器	甌	在池	(9.0)	--	2.0	SK033	
第107図15	京師系土師器	甌	在池	(9.0)	--	2.8	SK033	
第107図16	京師系土師器	甌	在池	(10.4)	--	--	SK033	
第107図17	京師系土師器	甌	在池	(10.5)	--	--	SK033	
第107図18	京師系土師器	甌	在池	(10.8)	--	(1.9)	SK033	
第107図19	京師系土師器	甌	在池	12.2	--	2.1	SK033	
第107図20	京師系土師器	甌	在池	12.6	--	(2.0)	SK033	
第107図21	京師系土師器	甌	在池	13.2	--	2.0	SK033	
第107図22	京師系土師器	甌	在池	(12.4)	--	(2.4)	SK033	
第107図23	京師系土師器	甌	在池	12.6	--	2.1	SK033	
第107図24	京師系土師器	甌	在池	(18.0)	--	--	SK033	
第107図25	土師質土器	甌	在池	9.0	5.0	1.9	SK033	
第107図26	土師質土器	甌	在池	(11.0)	(6.2)	2.1	SK033	
第107図27	土師質土器	甌	在池	12.0	5.0	2.4	SK033	
第110図1	雪花	襷	中国(魯魯魯)	--	(5.4)	--	SK004	C群
第110図2	白磁	甌	中国	(13.4)	7.4	2.7	SK004	
第110図3	白磁	甌	中国	--	6.0	--	SK004	
第110図4	埴輪陶器	埴輪	埴前	--	--	--	SK004	
第110図5	埴輪陶器	埴輪	埴前	--	--	--	SK004	
第110図6	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK004	
第110図7	瓦質土器	埴輪	在池	--	--	--	SK004	
第110図8	土師質土器	甌	在池	15.0	8.4	2.7	SK004	
第110図9	土師質土器	甌	在池	--	7.0	--	SK004	
第110図10	京師系土師器	甌	在池	(12.6)	--	(1.8)	SK004	
第110図11	京師系土師器	甌	在池	8.6	--	1.7	SK004	
第110図12	京師系土師器	甌	在池	8.6	--	1.6	SK004	
第110図13	京師系土師器	甌	在池	11.0	--	2.0	SK004	
第110図14	京師系土師器	甌	在池	12.4	--	2.2	SK004	
第110図15	京師系土師器	甌	在池	12.4	--	(2.4)	SK004	
第110図16	京師系土師器	甌	在池	12.8	--	2.1	SK004	底部に穿孔
第110図17	京師系土師器	甌	在池	12.8	--	2.0	SK004	
第110図18	京師系土師器	甌	在池	13.0	--	2.2	SK004	
第110図19	京師系土師器	甌	在池	13.0	--	2.1	SK004	
第110図20	京師系土師器	甌	在池	13.2	--	20.4	SK004	
第110図21	京師系土師器	甌	在池	14.8	--	(2.0)	SK004	
第110図22	土師質土器	甌	在池	(11.0)	6.4	2.0	SK004	
第110図23	土師質土器	甌	在池	10.6	5.0	2.2	SK004	
第110図24	土師質土器	甌	在池	11.4	6.4	2.1	SK004	
第110図25	土師質土器	甌	在池	13.8	7.2	2.4	SK004	
第112図1	土師質土器	甌	在池	12.0	6.2	2.4	SK002	
第112図2	土師質土器	甌	在池	12.3	6.6	3.0	SK002	
第112図3	土師質土器	甌	在池	--	--	--	SK002	
第112図4	土師質土器	甌	在池	--	--	--	SK002	
第112図5	土師質土器	小甌	在池	4.4	3.0	1.0	SK002	
第112図6	白磁	甌	中国(魯魯魯)	--	--	--	SK002	
第112図7	埴輪陶器	埴輪	埴前	--	--	--	SK002	
第112図8	白磁	甌	中国(魯魯魯)	5.0	--	--	SK003	
第112図9	土師質土器	甌	在池	12.0	6.8	2.8	SK003	
第112図10	土師質土器	甌	在池	--	--	--	SK003	
第112図11	土師質土器	甌	在池	(7.2)	5.6	1.8	SK003	
第112図12	土師質土器	甌	在池	8.4	4.2	2.2	SK003	
第112図13	土師質土器	甌	在池	(7.6)	(5.0)	1.5	SK003	
第112図14	土師質土器	甌	在池	(7.4)	(4.2)	2.0	SK003	
第112図15	土師質土器	甌	在池	(12.4)	(6.8)	2.2	SK003	
第112図16	土師質土器	甌	在池	(11.0)	(6.6)	3.4	SK003	
第112図17	白磁	甌	中国(魯魯魯)	--	--	--	SK003	
第112図18	白磁	甌	中国(魯魯魯)	--	(7.4)	--	SK003	流入
第116図1	土師質土器	甌	在池	10.0	5.6	1.8	SK017	
第116図2	土師質土器	甌	在池	(7.0)	--	--	SK018	
第118図1	土師質土器	土鍋	在池	--	--	--	SK025	
第118図2	瓦質土器	土鍋	在池	--	--	--	SK025	
第118図3	土師質土器	甌	在池	(12.0)	6.4	2.8	SK025	
第120図1	土師質土器	所合	在池	6.4	6.4	4.8	SK013	20
第122図1	埴輪陶器	埴輪	埴前	--	--	--	SK037	
第122図2	瓦質土器	不明	不明	--	--	--	SK037	
第124図1	陶器	燗盆?	中国(魯魯魯)	--	--	--	SK053	埴輪土器に形似す?
第124図2	土師質土器	甌	在池	12.6	6.8	2.4	SK053	
第124図3	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK053	
第127図1	土師質土器	甌	在池	--	6.2	--	SK014	
第129図1	埴輪陶器	甌	埴前	--	--	--	SK009	20
第129図2	土師質土器	坪	在池	13.6	8.6	3.1	SK009	20
第130図1	土師質土器	甌	在池	7.4	4.8	1.9	SK036	



遺物観察表10  
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶器類等)

探出No	器 種	生産地	直径(単位cm)			遺物名	備 考	図説 No
			口径	底径	縁径			
第13002	土師質土器	坯	空地	7.0	4.6	2.0	SK036	
第13401	土師質土器	蓋	空地	—	5.2	—	SK039	
第14001	土師器	坯	空地	13.0	7.0	3.5	SK019	20
第14002	土師器	蓋	空地	14.6	5.2	5.4	SK019	20
第14003	土師器	蓋	空地	14.6	7.2	5.2	SK019	20
第14301	百花	瓶	中国(魯地録家)	—	—	—	SK029	C群(蓮子組)
第14302	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK029	
第14303	埴師陶器	甕	甕前	—	10.4	—	SK029	
第14304	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK029	
第14501	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK029	
第14502	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK029	
第14503	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK029	
第14504	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK029	
第14505	埴師	鉢	中国	—	—	—	SK029	
第14506	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK029	
第14901	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK032	
第15101	埴師陶器	甕鉢	中国(魯地録家)	—	11.2	—	SK035	SK006に同一器体
第15301	青磁	甕	中国(魯地録家)	13.7	—	—	SK025	
第15302	青磁	甕	中国(魯地録家)	—	5.0	—	SK025	
第15303	白磁	甕	中国	(12.8)	(7.0)	2.9	SK025	
第15304	白磁	甕	中国	(15.4)	—	—	SK025	
第15305	白磁	甕	中国	—	(8.0)	—	SK025	
第15306	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK025	
第15307	土師質土器	甕	空地	—	—	—	SK025	
第15501	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK026	
第15502	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK026	
第15503	埴師陶器	木蓋甕	甕前	(25.6)	—	—	SK026	
第15701	陶器	不明	中国(魯地録家)	—	—	—	SK038	
第15702	青磁	甕	中国(魯地録家)	—	4.6	—	SK038	
第15703	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK038	
第15704	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK038	
第15705	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK038	
第15706	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK038	
第15707	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK038	
第15708	瓦質土器	火鉢	空地	—	—	—	SK038	
第16001	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK020	
第16002	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK020	
第16003	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK020	
第16004	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK020	
第16005	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK020	
第16006	瓦質土器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK020	
第16007	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK020	
第16008	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK020	
第16101	埴師陶器	大甕	甕前	29.2	—	—	SK020	
第16301	百花	瓶	中国(魯地録家)	—	—	—	SK017	
第16302	百花	瓶	中国(魯地録家)	—	—	—	SK017	
第16303	百花	瓶	中国(魯地録家)	—	—	—	SK017	
第16304	白磁	甕	中国(魯地録家)	—	—	—	SK017	
第16305	埴師陶器	大甕	甕前	—	—	—	SK017	
第16306	埴師陶器	大甕	甕前	—	—	—	SK017	
第16307	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK017	
第16308	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK017	
第16309	京都系土師器	甕	空地	(10.4)	—	2.0	SK017	
第163010	京都系土師器	甕	空地	11.0	—	1.9	SK017	
第163011	京都系土師器	甕	空地	(12.0)	—	—	SK017	
第163012	京都系土師器	甕	空地	(13.6)	—	—	SK017	
第163013	京都系土師器	甕	空地	(19.6)	—	—	SK017	
第163014	土師質土器	甕	空地	—	5.2	—	SK017	
第163015	土師質土器	甕	空地	(10.6)	(5.8)	1.7	SK017	
第163016	瓦質土器	甕鉢	空地	—	—	—	SK017	
第163017	瓦質土器	火鉢	空地	—	—	—	SK017	
第163020	白磁	甕	中国	—	(5.4)	—	SK018	
第163021	京都系土師器	甕	空地	12.6	—	2.0	SK018	
第16602	土師質土器	甕	空地	8.0	5.0	2.0	SK022	
第16603	青磁	甕	中国(魯地録家)	—	7.0	—	SK022	
第17101	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK027	
第17102	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK027	
第17103	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK027	
第17104	京都系土師器	甕	空地	8.2	—	1.9	SK027	
第17105	瓦質土器	甕鉢	空地?	—	—	—	SK027	
第17106	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK027	
第17107	埴師陶器	甕鉢	甕前	—	—	—	SK027	
第17201	京都系土師器	甕	空地	—	—	—	SK007	
第17202	京都系土師器	甕	空地	13.0	—	2.5	SK007	
第17801	京都系土師器	甕	空地	11.4	—	2.1	SK048	

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

探検No	器 種	生産地	法位 (単位 cm)			遺供名	備 考	探検 No
			口径	底径	高さ			
探17802	瓦質土器	大鉢	在埴	--	(30.1)	--	SX648	
探18001	甕	甕	中国(龍泉窯)	--	--	--	SX633	
探18002	土師質土器	甕	在埴	8.4	4.8	1.6	SX633	
探18003	土師質土器	甕	在埴	--	(6.0)	--	SX633	
探18005	瓦質土器	香炉	在埴	(10.4)	--	--	SX633	
探18006	瓦質土器	甕	在埴	--	(4.0)	--	SX633	
探18007	瓦質土器	甕	在埴	--	4.4	--	SX633	
探180010	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SX633	
探180011	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SX633	
探180012	埴師陶器	甕	埴前	14.4	--	--	SX633	
探180011	京都系土師器	甕	在埴	11.2	--	2.2	SE501	
探18002	土師質土器	甕	在埴	7.4	5.6	1.7	SE501	
探18003	土師質土器	甕	在埴	(12.0)	--	--	SE501	
探18004	土師質土器	甕	在埴	--	4.8	--	SE501	
探18005	土師質土器	甕	在埴?	(12.4)	1.5	(6.0)	SE501	白色系
探18006	土師質土器	甕	在埴	--	7.2	--	SE501	
探18007	土師質土器	甕	在埴	(11.2)	6.0	(2.6)	SE501	
探18008	土師質土器	甕	在埴	(11.2)	(5.8)	2.2	SE501	
探18009	土師質土器	甕	在埴	11.8	5.8	2.6	SE501	
探180010	土師質土器	甕	在埴	11.6	6.0	2.2	SE501	
探180011	土師質土器	甕	在埴	12.4	6.1	3.0	SE501	
探180012	土師質土器	甕	在埴	16.6	9.0	3.0	SE501	
探180013	土師質土器	瓦皿	在埴	--	--	--	SE501	
探187001	甕	甕	中国(龍泉窯)	11.0	--	--	SE502	
探187002	土師質土器	土鍋	在埴	--	--	--	SE502	
探187003	土師質土器	甕	在埴?	--	--	--	SE502	白色系
探187004	土師質土器	甕	在埴	11.6	6.6	4.0	SE502	
探187005	瓦質土器	羽釜	在埴	16.0	--	--	SE502	5・6区同一層位
探187006	瓦質土器	羽釜	在埴	--	--	--	SE502	
探187007	埴師陶器	埴鉢	埴前	31.2	--	--	SE502	
探189001	青花	甕	中国(景德镇)	--	--	--	SE505	E群
探189002	青花	甕	中国(漳州窯)	--	--	--	SE505	
探189003	京都系土師器	甕	在埴	--	--	--	SE505	
探189004	京都系土師器	甕	在埴	--	--	--	SE505	
探189005	瓦質土器	大鉢	在埴	--	--	--	SE505	
探189006	瓦質土器	大鉢	在埴	--	--	--	SE505	
探189007	瓦質土器	大鉢	在埴	31.4	--	--	SE505	
探189008	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SE505	
探189009	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SE505	
探189010	埴師陶器	埴鉢	埴前	22.8	--	--	SE505	
探189011	埴師陶器	埴鉢	埴前	28.0	--	--	SE505	
探189012	埴師陶器	鉢	中国南部	(28.2)	(14.8)	10.2	GE505	C群
探191001	青花	甕	中国(漳州窯)	--	4.6	--	SE515	
探191002	甕	甕	甕	--	--	--	SE515	
探191001	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--	SE514	C群(蓮子釉)
探191002	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--	SE514	C群(蓮子釉)
探191003	甕	甕	中国(龍泉窯)	--	--	--	SE514	
探191004	甕	甕	中国(龍泉窯)	--	--	--	SE514	
探191005	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SE514	
探191006	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SE514	
探191007	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SE514	
探191008	埴師陶器	埴鉢	埴前	(11.8)	--	--	SE514	
探191009	埴師陶器	埴鉢	埴前	--	--	--	SE514	
探191010	埴師陶器	大甕	埴前	--	--	--	SE514	
探191011	京都系土師器	甕	在埴	9.4	--	2.8	SE514	
探191012	京都系土師器	甕	在埴	(11.8)	--	3.0	SE514	
探191013	京都系土師器	甕	在埴	--	--	--	SE514	
探191014	京都系土師器	甕	在埴	12.0	--	2.2	SE514	
探191015	京都系土師器	甕	在埴	12.7	--	2.4	SE514	
探191016	京都系土師器	甕	在埴	(13.0)	--	2.2	SE514	
探191017	京都系土師器	甕	在埴	(13.3)	--	--	SE514	
探191018	京都系土師器	甕	在埴	(13.6)	--	--	SE514	
探191019	京都系土師器	甕	在埴	(13.8)	--	2.6	SE514	
探191020	京都系土師器	甕	在埴	(15.0)	--	2.0	SE514	
探191021	京都系土師器	甕	在埴	(16.0)	--	(2.8)	SE514	
探191022	京都系土師器	甕	在埴	(17.4)	--	(2.8)	SE514	
探191023	土師質土器	甕	在埴	8.0	--	--	SE514	
探191024	土師質土器	甕	在埴	(7.0)	--	--	SE514	
探191025	土師質土器	甕	在埴	(6.7)	--	--	SE514	
探191026	土師質土器	甕	在埴	(9.2)	--	--	SE513	
探191001	甕	甕	甕	(13.4)	--	--	SE506	
探191002	瓦質土器	大鉢	在埴	--	--	--	SE506	
探191003	土師質土器	甕	在埴	11.4	8.2	2.8	SE506	
探191004	土師質土器	甕	在埴	(7.5)	(4.8)	1.6	SE506	
探191005	瓦質土器	大鉢	在埴	--	--	--	SE506	

遺物観察表12  
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類②)

探検No	器 種	生産地	測定(単位cm)			遺物名	備 考	図解No
			口縁	底径	器高			
第19806	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	SE506		
第19807	土師質土器	甕	在池	12.0	7.3	2.9	SE503	
第19808	土師質土器	甕	在池	11.8	6.2	2.9	SE503	
第19809	土師質土器	甕	在池	9.4	4.6	2.1	SE503	
第19804	瓦質土器	鉢	在池	--	--	SE503		
第19805	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	SE503		
第19806	地師陶器	甕鉢	備前	--	--	SE503		
第20001	青磁	甕	中国(魯泉窯)	5.2	--	SE511		
第20002	地師陶器	甕鉢	備前	--	--	SE511		
第20003	地師陶器	大甕	備前	--	--	SE513		
第20002	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	SE513		
第20002	地師陶器	甕	常滑	--	--	SE512		
第20002	瓦質土器	香炉	在池	(10.0)	--	SE512		
第20002	土師質土器	甕台	在池	8.4	8.0	3.3	SE507	
第20003	土師質土器	甕	在池	(11.2)	(6.6)	1.9	SE507	
第20006	瓦質土器	鉢	在池	--	--	SE507		
第20002	瓦質土器	*	在池	--	(5.0)	SE507	混入?	
第21001	土師質土器	坪	在池	13.2	10.2	3.8	SE510	
第21003	瓦質土器	鉢	在池	--	--	SE510		
第21004	瓦質土器	甕	在池	(21.8)	--	SE510		
第21501	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	6.0	SE550	E群	
第21502	青磁	甕	中国	--	5.2	SE550		
第21503	陶器	甕	不明	--	4.8	SE550		
第21504	陶器	甕	肥前(唐津)	12.0	4.3	2.6	SE550	
第21505	陶器	甕	肥前(唐津)	--	(4.0)	SE550		
第21506	陶器	甕	肥前(唐津)	--	--	SE550		
第21507	地師陶器	甕鉢	中国南部	--	--	SE550		
第21508	土師質土器	甕台	在池	--	5.8	SE550		
第21509	瓦質土器	不明	在池	--	--	SE550		
第215010	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	SE550		
第21801	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	SX601		
第21802	瓦質土器	火鉢	在池	--	33.0	SX601		
第21803	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	SX601		
第21804	京師系土師器	甕	在池	--	--	SX601		
第21901	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	5.0	包含群	B群	
第21902	青花	甕	中国(景德鎮窯)	(11.2)	(4.4)	5.9	包含群	C群(温子群)
第21903	青花	甕	中国(景德鎮窯)	(15.6)	5.2	5.4	包含群	C群(温子群)
第21904	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--	包含群	
第21905	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--	包含群	
第21906	青花	甕	中国(景德鎮窯)	(11.2)	(6.6)	2.6	包含群	B1群
第21907	青花	甕	中国(景德鎮窯)	9.2	2.5	3.2	包含群	C群
第21908	青花	甕	中国(景德鎮窯)	10.8	(6.6)	2.6	包含群	E群
第21909	青花	甕	中国(景德鎮窯)	(10.6)	(6.0)	2.9	包含群	E群
第21910	青花	甕	中国(景德鎮窯)	--	--	--	包含群	E群
第21911	青花	甕	中国(景德鎮窯)	(11.0)	(4.4)	3.0	包含群	
第21912	青花	小坪	中国(景德鎮窯)	--	2.4	--	包含群	
第21913	青花	鉢	中国(景德鎮窯)	--	6.2	--	包含群	
第21914	五彩	甕	中国	--	4.8	--	包含群	
第21915	五彩	甕	中国	--	--	--	包含群	
第21916	五彩	甕	中国	--	--	--	包含群	
第21917	五彩	甕	中国	--	--	--	包含群	
第21918	五彩	甕	中国	--	--	--	包含群	
第21919	五彩	甕	中国	--	(12.0)	--	包含群	
第21920	青花	甕	中国(漳州窯)	(10.8)	(5.0)	2.4	包含群	
第21921	青花	甕	中国(漳州窯)	(31.2)	(13.0)	8.0	包含群	
第220022	青磁	香炉	中国(魯泉窯)	(8.0)	3.2	4.6	包含群	
第220023	青磁	甕	中国(魯泉窯)	--	6.4	--	包含群	
第220024	青磁	甕	中国	(13.6)	(6.2)	3.5	包含群	
第220025	青磁	甕	中国	(10.6)	(5.2)	3.0	包含群	
第220026	青磁	甕	中国(景德鎮窯)	(12.4)	(6.1)	2.3	包含群	
第220027	青磁	甕	中国(魯泉窯)	--	--	--	包含群	
第220028	青磁	甕	中国(魯泉窯)	--	--	--	包含群	
第220029	青磁	甕	中国(魯泉窯)	--	--	--	包含群	
第220030	白磁	甕	中国	(11.0)	--	--	包含群	
第220031	白磁	甕	中国	--	(4.0)	--	包含群	内蔵部に集束
第220032	白磁	甕	中国	(13.0)	5.4	2.8	包含群	
第220033	白磁	甕	中国	1.6	--	1.8	包含群	
第220034	白磁	小坪	中国	6.6	2.1	3.4	包含群	
第220035	陶器	甕台?	中国(福州窯)	--	--	--	包含群	胎底周縁に形吻合?
第220036	陶器	甕	中国(福州窯)	--	--	--	包含群	
第220037	陶器	甕	中国	(9.0)	--	--	包含群	
第220038	陶器	甕	中国	9.6	--	--	包含群	底地
第220039	陶器	甕	中国	10.0	--	--	包含群	底地
第220040	陶器	甕	中国	10.2	--	--	包含群	底地
第220041	陶器	甕?	中国	4.0	--	--	包含群	底地

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類13)

種別No.	器 種	生産地	法量(単位:cm)			法別名	備 考	図版 No.
			口径	底径	器高			
第220942	陶器	天目碗	中国	(13.4)	--	--	包含層	
第220943	陶器	蓋	中国	--	(8.4)	--	包含層	
第220944	陶器	蓋	中国	--	(13.2)	--	包含層	埴輪
第220945	陶器	不明	中国	--	--	--	包含層	埴輪
第220946	陶器	蓋 or 足	中国	--	--	--	包含層	瓦物
第220947	陶器	蓋 or 足	中国	--	--	--	包含層	瓦物
第220948	陶器	蓋入	中国	--	(3.0)	--	包含層	埴輪
第221050	埴輪陶器	罐鉢	中国南部	--	--	--	包含層	
第221051	埴輪陶器	罐鉢	中国南部	--	--	--	包含層	
第221052	埴輪陶器	罐鉢	中国南部	--	--	--	包含層	
第221053	埴輪陶器	罐鉢	中国南部	--	--	--	包含層	
第221054	埴輪陶器	罐鉢	中国南部	--	--	--	包含層	
第221055	埴輪陶器	蓋	中国南部	(18.0)	--	--	包含層	
第221056	埴輪陶器	蓋	中国南部	(18.0)	--	--	包含層	
第221057	埴輪陶器	蓋	中国南部	--	--	--	包含層	
第221058	埴輪陶器	小壺	中国南部	--	--	--	包含層	
第221059	埴輪陶器	蓋	中国南部	--	--	--	包含層	
第221060	埴輪陶器	鉢	中国南部	--	--	--	包含層	A類
第221061	埴輪陶器	鉢	中国南部	--	--	--	包含層	A類
第221062	埴輪陶器	鉢	中国南部	--	(14.0)	--	包含層	
第221063	埴輪陶器	鉢	中国南部	(26.4)	(15.0)	11.6	包含層	C類
第221064	埴輪陶器	鉢	中国南部	(24.2)	--	--	包含層	C類
第221065	埴輪陶器	鉢	中国南部	--	(11.0)	--	包含層	
第221066	埴輪陶器	鉢	中国南部	(38.0)	--	--	包含層	
第222067	草甕三彩	鉢	中国	--	--	--	包含層	
第222068	草甕三彩	鉢	中国	--	--	--	包含層	
第222069	草甕三彩	鉢?	中国	--	--	--	包含層	
第222070	草甕三彩	水注	中国	--	--	--	包含層	
第222071	草甕三彩	水注	中国	--	--	--	包含層	
第222072	草甕三彩	瓶	中国	--	--	--	包含層	
第222073	草甕三彩	水注	中国	--	--	--	包含層	
第222074	草甕三彩	磁形水注	中国	--	--	--	包含層	
第222075	草甕三彩	磁形水注	中国	--	--	--	包含層	
第222076	草甕三彩	水注	中国	--	--	--	包含層	
第222077	草甕三彩	鳥形水注	中国	--	--	--	包含層	
第222078	草甕三彩	小皿	中国	--	--	--	包含層	埴輪小皿
第222079	草甕三彩	小皿	中国	--	--	--	包含層	埴輪小皿
第222080	草甕三彩	小皿	中国	--	--	--	包含層	埴輪小皿
第222081	埴輪陶器	甌耳登	タイ(メナムノイ)	(15.0)	--	--	包含層	
第222082	埴輪陶器	甌耳登	タイ(メナムノイ)	--	--	--	包含層	
第222083	埴輪陶器	甌耳登	タイ(メナムノイ)	--	--	--	包含層	
第222084	埴輪陶器	甌耳登	タイ(メナムノイ)	--	--	--	包含層	
第222085	磁器	瓶	ベトナム	--	(6.0)	--	包含層	
第222086	埴輪陶器	長胴登	ベトナム	--	--	--	包含層	
第222087	埴輪陶器	長胴登	ベトナム	--	--	--	包含層	
第222088	埴輪陶器	長胴登	ベトナム	--	(13.0)	--	包含層	
第225089	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	郡瓦品
第225090	陶器	甌	朝鮮王朝	--	(5.6)	--	包含層	
第225091	陶器	甌	朝鮮王朝	--	(5.6)	--	包含層	
第225092	陶器	甌	朝鮮王朝	10.4	4.4	3.0	包含層	
第225093	白磁	甌	朝鮮王朝	--	(4.8)	--	包含層	
第225094	白磁	甌	朝鮮王朝	(10.2)	4.4	3.2	包含層	
第225095	白磁	甌	朝鮮王朝	--	(6.0)	--	包含層	
第225096	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225097	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225098	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225099	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225100	陶器	鉢	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225101	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225102	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225103	陶器	甌	朝鮮王朝	--	(10.6)	--	包含層	丹徳利
第225104	陶器	甌	朝鮮王朝	--	--	--	包含層	丹徳利
第225105	陶器	甌	朝鮮王朝	--	(10.0)	--	包含層	丹徳利
第22601	鉢	蓋	膠州	(8.0)	(3.4)	2.2	包含層	
第22602	陶器	甌	膠州(龍津)	(12.5)	4.5	4.0	包含層	
第22603	陶器	甌	膠州(龍津)	--	5.0	--	包含層	
第22604	陶器	甌	湖芦黄道	(11.0)	(6.0)	2.2	包含層	
第22605	陶器	知箇	湖芦黄道	--	(7.6)	--	包含層	
第22606	陶器	知箇	湖芦黄道	--	(6.4)	--	包含層	
第22607	陶器	鉢	湖芦黄道	--	2.3	--	包含層	
第22608	陶器	甌	湖芦黄道	8.0	3.9	2.2	包含層	
第22609	陶器	天目碗	本产品	--	--	--	包含層	
第22610	埴輪陶器	甌	甌前	10.4	--	--	包含層	
第22611	埴輪陶器	甌	甌前	6.4	8.8	12.0	包含層	
第22612	埴輪陶器	甌	甌前	11.4	--	--	包含層	

遺物観察表14  
(5次調査A区)

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類(4))

探検No	器種	生産地	高さ(単位cm)		遺物名	備考	図版No
			口徑	底径			
探226回13	埴輪陶器	壺	埴前	(12.0)	--	惣念部	
探226回14	埴輪陶器	壺	埴前	(10.4)	--	惣念部	
探226回15	埴輪陶器	大壺	埴前	--	--	惣念部	胴部にへう記号
探227回16	埴輪陶器	壺	埴前	--	--	惣念部	
探227回17	埴輪陶器	壺	埴前	--	(5.0)	惣念部	
探227回18	埴輪陶器	壺	埴前	--	4.8	惣念部	
探227回19	埴輪陶器	壺	埴前	--	5.6	惣念部	
探227回20	埴輪陶器	壺	埴前	--	4.3	惣念部	底部にへう記号
探227回21	埴輪陶器	壺	埴前	--	(5.4)	惣念部	底部にへう記号
探227回22	埴輪陶器	水置壺	埴前	(21.6)	(23.0)	27.9	惣念部
探227回23	埴輪陶器	水置壺	埴前	(26.2)	(20.0)	(31.7)	惣念部
探228回1	土師質土器	壺	在埴	9.0	4.4	1.9	SP65
探228回2	土師質土器	壺	在埴	10.1	5.0	2.6	SP65
探228回3	土師質土器	壺	在埴	(12.0)	5.1	3.8	SP65
探228回4	土師質土器	壺	在埴	11.2	5.4	2.6	SP65
探228回5	土師質土器	小皿	在埴	5.2	3.0	1.4	惣念部
探228回6	土師質土器	壺	在埴	6.0	--	--	惣念部
探228回7	土師質土器	壺	在埴	7.6	--	2.4	惣念部
探228回8	土師質土器	高皿	在埴	7.2	2.1	--	惣念部
探228回9	土師質土器	高皿	在埴	6.0	1.4	--	惣念部
探228回10	京師系土師器	壺	在埴	9.0	--	1.6	惣念部
探228回11	京師系土師器	壺	在埴	9.3	--	1.9	惣念部
探228回12	土師質土器	羽釜	在埴	8.4	--	--	惣念部
探228回13	土師質土器	樽台	在埴	--	8.0	--	惣念部
探228回14	土師質土器	樽台	在埴	--	6.4	--	惣念部
探228回15	土師質土器	樽台	在埴	--	5.4	--	惣念部
探228回16	土師質土器	樽台	在埴	--	5.6	--	惣念部
探228回17	土師質土器	樽台	在埴	--	6.4	--	惣念部
探228回18	土師質土器	樽台	在埴	--	7.0	--	惣念部
探228回19	土師質土器	樽台	在埴	--	6.0	--	惣念部
探228回20	土師質土器	樽台	在埴	--	6.2	--	惣念部
探228回21	土師質土器	樽台	在埴	--	5.8	--	惣念部
探228回22	土師質土器	樽台	在埴	--	6.4	--	惣念部
探228回23	土師質土器	樽台	在埴	8.2	9.0	--	惣念部
探230回1	瓦質土器	甌	在埴	11.0	4.0	2.1	惣念部
探230回2	瓦質土器	甌	在埴	(10.4)	(5.0)	4.6	惣念部
探230回3	瓦質土器	甌	在埴	10.6	--	--	惣念部
探230回4	瓦質土器	甌	在埴	--	(3.6)	--	惣念部
探230回5	瓦質土器	甌	在埴	(15.3)	--	--	惣念部
探230回6	瓦質土器	甌鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探230回7	瓦質土器	甌鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探230回8	瓦質土器	甌鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探230回9	瓦質土器	土鍋	在埴?	(24.8)	--	--	惣念部 跡長系
探230回10	瓦質土器	土鍋	在埴?	(25.4)	--	--	惣念部 跡長系
探230回11	瓦質土器	土鍋	在埴?	(27.0)	--	--	惣念部 跡長系
探230回12	瓦質土器	粥釜	在埴	--	--	--	惣念部
探230回13	瓦質土器	鉢	在埴	(26.0)	(18.2)	8.0	惣念部
探231回14	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回15	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回16	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回17	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回18	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回19	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回20	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回21	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回22	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回23	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回24	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回25	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回26	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回27	瓦質土器	火鉢	在埴	--	26.3	--	惣念部
探231回28	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回29	瓦質土器	火鉢	在埴	--	29.6	--	惣念部
探231回30	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在埴	(15.6)	--	--	惣念部
探231回31	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回32	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回33	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回34	瓦質土器	香炉 or 火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回35	瓦質土器	火鉢	在埴	--	--	--	惣念部
探231回36	瓦質土器	火鉢	在埴	(34.6)	--	--	惣念部
探231回37	瓦質土器	香炉	在埴	(11.6)	10.4	7.4	惣念部
探231回38	瓦質土器	香炉	在埴	(11.8)	(10.4)	--	惣念部
探231回39	瓦質土器	火鉢 or 風炉	在埴	--	--	--	惣念部
探231回40	瓦質土器	風炉	在埴	(28.2)	--	--	惣念部
探231回41	瓦質土器	粥釜	在埴	(15.0)	--	--	惣念部

5次調査A区遺物観察表(土器・陶磁器類5)

探跡No.	器 種	材 質	生産地	寸法 (単位 cm)			遺構名	備 考	図版 No.
				口徑	底徑	高さ			
探221図42	瓦質土器	鉢	在地			11.4	包含層		
探248図1	縄文土器	深鉢	--	(18.0)	--	--	--		
探248図2	縄文土器	深鉢	--	--	--	--	--		
探248図3	縄文土器	浅鉢	--	--	--	--	--		
探248図4	縄文土器	浅鉢	--	--	--	--	--		
探248図5	縄文土器	浅鉢	--	--	--	--	--		
探248図7	土師器	貝形鉢	--	9.1	--	13.1	包含層		
探248図8	土師器	鉢	--	(35.4)	--	--	--		

5次調査A区遺物観察表(土製品)

探跡No.	品 種	材 質	部 位	寸法 (単位 cm)				重 量 (g)	遺構名	備 考	図版 No.
				長さ	幅	厚さ	孔径				
探200図34	土師	土師質	--	長さ 4.0	幅 1.1	孔径 0.3	--	SD101			
探200図35	土師	土師質	--	長さ 4.3	幅 1.8	孔径 0.8	--	SD103			
探200図36	土師	土師質	--	長さ 4.2	幅 1.2	孔径 0.3	--	SD103			
探248図37	土師	土師質	--	長さ 4.2	幅 1.0	孔径 0.4	--	SK102			
探248図37	土師	土師質	--	長さ 4.2	幅 1.1	孔径 0.2	--	SK102			
探248図38	土師	土師質	--	長さ 4.0	幅 1.0	孔径 0.3	--	SK102			
探348図15	土師	土師質	--	長さ 3.0	幅 1.0	孔径 0.2	--	SK604			
探47図38	土師	土師質	--	長さ 3.1	幅 1.0	孔径 0.2	--	SD436			
探490図11	土師	土師質	--	長さ 3.9	幅 1.0	孔径 0.3	--	SD425			
探490図12	土師	土師質	--	長さ 4.5	幅 1.2	孔径 0.1	--	SD425			
探550図43	土師	土師質	--	長さ 3.0	幅 1.4	孔径 0.3	--	SD153			
探550図44	土師	土師質	--	長さ 4.0	幅 1.0	孔径 0.1	--	SD153			
探550図45	土師	土師質	--	長さ 4.2	幅 1.2	孔径 0.3	--	SD153			
探550図46	土師	土師質	--	長さ 3.9	幅 2.7	孔径 0.5	--	SD153			
探61図13	内籠状加工品	陶磁	胴部	径 4.2	厚さ 0.6		--	SD151			
探650図1	土師	土師質	--	長さ 2.9	幅 1.0	孔径 0.3	--	SD151			
探650図2	土師	土師質	--	長さ 4.1	幅 1.2	孔径 0.3	--	SD151			
探650図3	土師	土師質	--	長さ 6.0	幅 2.2	孔径 0.4	--	SD151			
探105図3	土師	土師質	--	長さ 5.4	幅 1.2	孔径 0.3	--	SH032			
探134図2	土師	土師質	--	長さ 6.1	幅 1.8	孔径 0.2	--	SH029			
探157図9	土師片加工品	土師質	--	径 2.1	厚さ 0.4		--	SK638			
探160図4	土師	土師質	--	長さ 5.8	幅 3.2	厚さ 1.6	--	SK633		20	
探160図8	土師	土師質	--	長さ 5.1	幅 0.9	孔径 0.2	--	SK633			
探160図9	土師	土師質	--	長さ 3.4	幅 1.0	孔径 0.3	--	SK633	有孔土師 流入		
探165図14	土師	土師質	--	長さ 4.1	幅 1.0	孔径 0.4	--	SE501			
探166図13	土師片加工品	土師質	--	径 1.9	厚さ 0.4		--	SE505			
探205図3	土師	土師質	--	長さ 4.8	幅 1.0	孔径 0.4	--	SE512			
探205図4	土師	土師質	--	長さ 3.6	幅 1.0	孔径 0.3	--	SE512			
探205図5	土師	土師質	--	長さ 2.6	幅 0.8	孔径 0.2	--	SE512	有孔土師 流入		
探208図4	土師	土師質	--	長さ 5.0	幅 1.0	孔径 0.2	--	SE507			
探208図5	土師	土師質	--	長さ 5.2	幅 1.1	孔径 0.2	--	SE507			
探210図2	土師	土師質	--	長さ 5.1	幅 1.7	孔径 0.9	--	SE510			
探220図49	内籠状加工品	陶磁	胴部	径 3.0	厚さ 1.1		--	SF650			
探220図25	土師	土師質	--	長さ 4.5	幅 3.5	厚さ 1.3	--	包含層			
探220図26	土師	土師質	--	長さ 3.3	幅 3.0	厚さ 0.6	--	包含層			
探220図27	土師	土師質	--	長さ 3.0	幅 2.8	厚さ 0.8	--	包含層			
探220図28	土師片加工品	土師質	--	径 3.6	厚さ 1.0		--	包含層			
探220図29	土師片加工品	土師質	--	径 3.0	厚さ 0.5		--	包含層			
探220図30	土師片加工品	土師質	--	径 2.5	厚さ 0.5		--	包含層			
探220図31	有孔内籠	土師質	--	径 2.6	厚さ 0.5	孔径 0.7	--	包含層			
探220図32	有孔内籠	土師質	--	径 2.1	厚さ 0.3	孔径 0.3	--	包含層			
探231図43	土師片加工品	瓦質	--	径 4.2	厚さ 0.7		--	包含層			
探231図44	土師片加工品	瓦質	--	径 4.4	厚さ 0.8		--	包含層			

5次調査A区遺物観察表(石製品)

標識No.	品名	材質	寸法(単位cm)				目量(g)	遺物名	備考	品類	
			長さ	口徑(22.0)	底径	高さ					
第248040	石錘	角石	—	—	—	—	—	—	—	SK102	
第250041	碇石	—	長さ	5.4	幅	3.0	厚さ	1.2	—	SK102	
第250042	碇石	—	長さ	6.8	幅	2.7	厚さ	1.1	—	SK102	
第250043	石臼	凝灰岩	上口	長さ	—	—	厚さ	6.0	—	SK102 赤陶磁	
第250044	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	3.0	幅	3.2	厚さ	0.5	SK102	
第250045	加工石材	凝灰岩	—	長さ	24.0	幅	25.0	厚さ	15.0	SK102	
第27001	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	30.0	幅	30.0	厚さ	18.0	SK102	
第27002	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	38.0	幅	41.0	厚さ	22.0	SK102	
第27003	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	36.0	幅	38.0	厚さ	20.0	SK102	
第27004	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	43.0	幅	44.0	厚さ	27.0	SK102	
第27005	石埴	凝灰岩	空風輪	長さ	21.0	幅	19.0	—	—	SK102	
第27006	石埴	凝灰岩	火輪	長さ	29.0	幅	36.0	厚さ	15.0	SK102	
第27007	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	23.5	幅	23.0	厚さ	15.0	SK102	
第27008	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	36.0	幅	35.0	厚さ	16.0	SK102	
第33004	碇石	—	長さ	6.6	幅	5.0	厚さ	2.6	—	SK604	
第6600103	碇石	—	長さ	4.6	幅	3.6	厚さ	1.8	—	SD151	
第6600104	碇石	—	長さ	7.2	幅	3.4	厚さ	1.8	—	SD151	
第6600105	碇石	—	長さ	8.0	幅	5.2	厚さ	3.3	—	SD151	
第6600106	石埴	凝灰岩	—	長さ	12.0	幅	15.0	厚さ	6.0	SD151	
第6600107	石埴	凝灰岩	空風輪	長さ	19.0	幅	18.0	厚さ	18.0	SD151	
第6600108	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	28.5	幅	28.0	厚さ	15.5	SD151	
第6600109	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	26.0	幅	27.0	厚さ	22.0	SD151	
第690015	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	35.0	幅	34.5	厚さ	15.5	SD404	
第70001	石臼	凝灰岩	上口	長さ	—	—	厚さ	68.0	—	SD418	
第700020	石臼	凝灰岩	下口	長さ	—	—	厚さ	55.0	—	SD431	
第700020	石埴	粘岩	—	長さ	14.4	幅	8.6	厚さ	2.6	SD431 碇石?	
第700030	石埴	粘岩	—	長さ	18.4	幅	14.0	厚さ	2.6	SD431 碇石?	
第80005	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	10.2	幅	7.0	厚さ	1.6	SK027 赤陶磁	
第13600	石埴	凝灰岩	火輪	長さ	35.5	幅	34.0	厚さ	14.5	SK025	
第1610010	石臼	凝灰岩	口径	(43.2)	底径	—	—	—	—	SK020	
第1610019	碇石	—	長さ	7.7	幅	7.4	厚さ	4.2	—	SK017	
第1610022	加工石材	凝灰岩	—	長さ	15.0	幅	13.5	厚さ	8.8	SK018	
第16600	加工石材	凝灰岩	—	長さ	14.0	幅	11.0	厚さ	6.6	SK019	
第174001	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	34.0	幅	35.0	厚さ	22.0	SK045	
第174002	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	35.0	幅	37.0	厚さ	20.0	SK045	
第174003	石埴	凝灰岩	板埴	長さ	52.0	幅	40.0	厚さ	17.5	SK045	
第174004	石埴	凝灰岩	火輪	長さ	36.0	幅	36.0	厚さ	20.0	SK045	
第174005	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	33.0	幅	31.0	厚さ	26.0	SK045	
第174006	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	36.0	幅	36.0	厚さ	26.0	SK045	
第174007	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	32.0	幅	31.0	厚さ	16.0	SK045	
第174008	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	37.0	幅	36.0	厚さ	22.0	SK045	
第175009	石埴	凝灰岩	露盤	長さ	12.0	幅	14.5	厚さ	6.6	SK049	
第175010	石埴	凝灰岩	板埴	長さ	37.0	幅	30.0	厚さ	14.0	SK049	
第183001	石埴	凝灰岩	火輪	長さ	34.0	幅	33.0	厚さ	16.0	SE500	
第183002	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	34.0	幅	32.0	厚さ	30.0	SE501	
第183003	石埴	凝灰岩	水輪	長さ	34.0	幅	34.0	厚さ	24.0	SE502	
第183004	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	31.0	幅	32.0	厚さ	23.0	SE503	
第183005	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	40.0	幅	31.0	厚さ	17.0	SE504	
第183006	石埴	凝灰岩	地輪	長さ	38.0	幅	30.0	厚さ	17.0	SE505	
第190008	茶臼	凝灰岩	口径	—	底径	—	—	—	—	SE503	
第190009	茶臼	下口	口径	—	底径	—	—	—	—	SE503	
第190012	石臼	凝灰岩	下口?	径	(36.4)	厚さ	6.4	—	—	SP650	
第190013	石臼	凝灰岩	上口	径	—	厚さ	7.0	—	—	SP650	
第190014	石臼	凝灰岩	上口	径	—	厚さ	8.6	—	—	SP650	
第234001	碇石	—	長さ	10.1	幅	3.5	厚さ	1.0	—	管倉類	
第234002	碇石	—	長さ	5.6	幅	4.6	厚さ	4.4	—	管倉類	
第234003	碇石	—	長さ	13.6	幅	4.4	厚さ	1.8	—	管倉類	
第234004	碇石	—	長さ	5.4	幅	2.6	厚さ	2.2	—	管倉類	
第234005	碇石	—	長さ	7.4	幅	4.0	厚さ	2.4	—	管倉類	
第234006	碇石	—	長さ	5.0	幅	4.8	厚さ	0.9	—	管倉類	
第234007	碇石	—	長さ	5.4	幅	2.4	厚さ	1.6	—	管倉類	
第234008	碇石	—	長さ	6.0	幅	1.8	厚さ	1.4	—	管倉類	
第234009	碇石	—	長さ	5.8	幅	3.4	厚さ	2.0	—	管倉類	
第234010	碇石	—	長さ	4.0	幅	4.7	厚さ	3.4	—	管倉類	
第234011	碇石?	—	長さ	8.0	幅	5.9	厚さ	1.0	—	管倉類	
第234012	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	5.4	幅	6.4	厚さ	1.0	—	管倉類 赤陶磁
第234013	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	6.2	幅	5.4	厚さ	1.4	—	管倉類 赤陶磁
第234014	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	5.8	幅	5.0	厚さ	0.6	—	管倉類 赤陶磁
第234015	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	12.0	幅	3.8	厚さ	2.4	—	管倉類 赤陶磁
第234016	碇	輝緑凝灰岩	—	長さ	4.6	幅	6.4	厚さ	1.6	—	管倉類 赤陶磁
第234017	碇	口径	—	長さ	4.2	幅	2.1	厚さ	1.4	—	管倉類
第234018	石埴	丸形	長さ	3.8	幅	2.9	厚さ	0.8	4.6	管倉類	
第2350019	茶臼	上口	口径	—	底径	—	—	—	—	管倉類	
第2350020	茶臼	上口	口径	—	底径	—	—	—	—	管倉類	
第2350021	茶臼	上口	口径	—	底径	—	—	—	—	管倉類	
第2350022	茶臼	下口	口径	—	底径	—	—	—	—	管倉類	
第2350023	石臼	上口	口径	—	底径	—	—	—	—	管倉類	

5次調査A区遺物観察表(金属製品)

種別No.	品 種	材 質	部 位	寸法(単位cm)				重 量 (g)	遺物名	備 考	図版 No.	
				長さ	幅	厚さ	穴径					
図23001	不明	銅	—	長さ	3.0	幅	1.6	厚さ	0.1	—	SK904	
図23002	不明	金?	—	長さ	0.5	幅	0.5	厚さ	0.1	0.1	SK904	
図23003	小銅仏	銅	—	長さ	4.0	幅	1.0	厚さ	1.1	10.9	惣骨部	21
図23004	扇子	鉄	把手部	長さ	4.2	幅	2.8	厚さ	0.4	10.0	惣骨部	21
図23005	唐首金具	銅	—	長さ	3.6	幅	2.2	厚さ	0.2	2.5	惣骨部	
図23006	小孔金具	銅	—	長さ	3.7	幅	1.4	厚さ	0.2	2.5	惣骨部	
図23007	釧	銅	—	長さ	3.8	幅	0.4	厚さ	0.3	2.4	惣骨部	
図23008	不明	銅	—	長さ	3.5	幅	0.8	厚さ	0.1	—	惣骨部	21
図23009	不明	銅	—	長さ	4.4	幅	1.5	厚さ	0.1	—	惣骨部	
図23010	不明	銅	—	長さ	2.0	幅	2.0	厚さ	0.2	—	惣骨部	
図23011	杵子	鉄	—	口径	8.6	高さ	1.9	—	—	—	—	
図23012	匙状物品	銅	—	長さ	12.0	幅	1.5	厚さ	0.2	4.1	惣骨部	
図23013	小柄	銅	—	長さ	9.4	幅	1.5	厚さ	0.4	10.1	惣骨部	
図23014	小柄	銅	—	長さ	9.6	幅	1.2	厚さ	0.4	20.3	惣骨部	
図23015	小柄	銅	—	長さ	8.9	幅	1.4	厚さ	0.4	25.3	惣骨部	
図23016	不明	銅	—	径	0.9	厚さ	0.3	—	—	1.27	惣骨部	21
図23017	分銅	金	—	径	0.4	厚さ	0.05	—	—	—	惣骨部	
図23018	銅玉	銅	—	径	1.4	厚さ	1.4	—	—	15.1	惣骨部	21

5次調査A区遺物観察表(ガラス製品)

種別No.	品 種	材 質	部 位	寸法(単位cm)				重 量 (g)	遺物名	備 考	図版 No.	
				長さ	幅	厚さ	穴径					
図23019	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	SK904	
図23020	小玉	ガラス	—	径	0.7	厚さ	0.5	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23021	小玉	ガラス	—	径	0.6	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23022	小玉	ガラス	—	径	0.5	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23023	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23024	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23025	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23026	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23027	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23028	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23029	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23030	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23031	小玉	ガラス	—	径	0.3	厚さ	0.1	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23032	小玉	ガラス	—	径	0.3	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23033	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23034	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23035	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23036	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23037	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23038	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.3	穴径	0.1	—	惣骨部	
図23039	小玉	ガラス	—	径	0.4	厚さ	0.2	穴径	0.1	—	惣骨部	

5次調査A区遺物観察表(木製品)

種別No.	品 種	部 位	寸法(単位cm)				遺物名	備 考	図版 No.	
			長さ	幅	高さ	厚さ				
図54019	漆製椀	—	口径	16.0	底径	8.4	高さ	8.1	SD153	
図54020	下駄	—	長さ	18.6	幅	8.5	厚さ	4.2	SD153	18
図54021	加工木材	—	長さ	44.0	幅	3.0	厚さ	2.6	SD153	
図54022	漆製椀	—	口径	—	底径	—	高さ	—	SD153	18
図54023	下駄	—	長さ	14.8	幅	7.8	厚さ	6.3	SD153	
図19327	曲物	銅製	長さ	16.2	幅	6.5	厚さ	0.2	SE506	
図19328	竹	—	長さ	14.4	幅	3.1	厚さ	2.2	SE506	下部部を加工。跡を抜く

5次調査A区遺物観察表(瓦)

種別No.	品 種	部 位	寸法(単位cm)				遺物名	備 考	図版 No.	
			長さ	幅	厚さ	穴径				
図20037	軒平瓦	瓦当部	長さ	5.4	幅	4.0	厚さ	3.8	SD103	
図24039	軒丸瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SK102	
図44040	平瓦	—	長さ	15.0	幅	8.0	厚さ	2.0	SD428	
図44041	塼	—	長さ	8.8	幅	8.0	厚さ	2.0	SD428	
図71000	平瓦	—	長さ	13.0	幅	9.4	厚さ	1.8	SD411	
図71009	平瓦	—	長さ	12.0	幅	15.0	厚さ	1.9	SD411	
図72003	平瓦	—	長さ	11.0	幅	11.0	厚さ	2.1	SD412	
図72004	伏間瓦	—	長さ	18.8	幅	17.2	厚さ	1.8	SD412	
図78025	平瓦	—	長さ	10.0	幅	7.0	厚さ	1.8	SD431	
図78026	塼	—	長さ	6.7	幅	6.9	厚さ	2.9	SD431	
図78027	丸瓦	—	長さ	21.2	幅	11.0	厚さ	2.2	SD431	
図83005	平瓦	—	長さ	15.0	幅	17.2	厚さ	1.6	SK001	
図94004	軒丸瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SK024	
図116002	平瓦	—	長さ	5.0	幅	7.2	厚さ	1.8	SK018	
図116003	塼	—	長さ	14.2	幅	9.4	厚さ	2.4	SK018	
図13000	軒丸瓦	瓦当部	長さ	—	幅	—	厚さ	—	SK038	
図143000	塼	—	長さ	10.0	幅	7.1	厚さ	2.0	SK028	
図155004	塼	—	長さ	10.2	幅	5.0	厚さ	2.7	SK026	
図166004	平瓦	—	長さ	8.1	幅	11.2	厚さ	2.2	SK022	
図166005	丸瓦	—	長さ	9.0	幅	15.4	厚さ	2.2	SK022	
図166006	丸瓦	—	長さ	13.8	幅	8.0	厚さ	1.8	SK022	
図166007	丸瓦	—	長さ	28.0	幅	12.4	厚さ	1.4	SK022	
図185005	丸瓦	—	長さ	16.4	幅	11.4	厚さ	2.4	SE501	
図198007	平瓦	—	長さ	20.0	幅	10.4	厚さ	2.8	SE503	
図20003	丸瓦	—	長さ	19.4	幅	11.0	厚さ	1.8	SE511	



5次調査A区遺物観察表(鋼線①)

発見No.	遺物名	発見場所	国・王朝名	遺物名	重さ (g)	直径 (mm)	形状	備考	図版
第17回 1	太平通貨	976	北宋	SD101	2.2	2.4	円形		
第17回 2	皇祐元貨	1004	北宋	SD101	2.7	2.5	圓形		
第17回 3	聖祐元貨	1054	北宋	SD101	2.3	2.4	圓形		
第17回 4	元豐通貨	1078	北宋	SD101	2.5	2.4	円形		
第17回 5	元祐通貨	1078	北宋	SD101	2.1	2.3	円形		
第17回 6	元符通貨	1098	北宋	SD101	2.7	2.3	円形		
第17回 7	永興通貨	1408	明	SD101	2.7	2.4	円形		
第17回 8	銅銭不明	—	—	SD101	2.6	2.4	圓形	「発見」のみ列挙	
第21回 1	祥符□□	1008	北宋	SD103	0.8	—	円形		
第21回 2	熙寧元貨	1068	北宋	SD103	1.3	—	圓形		
第26回 1	開元通貨	960	北宋	SK102	2.9	2.3	円形		
第26回 2	咸平元貨	976	北宋	SK102	3.5	2.4	円形		
第26回 3	皇寧通貨	1038	北宋	SK102	2.1	2.4	円形		
第26回 4	皇寧通貨	1038	北宋	SK102	2.7	2.3	円形		
第26回 5	嘉祐通貨	1056	北宋	SK102	3.0	2.5	円形		
第26回 6	不明	—	—	SK102	3.6	2.4	—		
第26回 7	不明	—	—	SK102	1.2	—	円形	「発見」のみ列挙	
第36回 7	皇寧通貨	1038	北宋	SK008	3.7	2.3	円形		
第37回 3	政和通貨	1111	北宋	SK005	2.9	2.4	圓形		
第44回109	不明	—	—	SK028	1.0	—	—		
第44回110	政和通貨	1111	北宋	SK029	1.1	—	圓形		
第44回111	不明	—	—	SK030	0.4	—	—		
第44回112	不明	—	—	SK031	0.5	—	—		
第47回46	政和通貨	1111	北宋	SK036	2.6	2.4	圓形		
第47回47	不明	—	—	SK036	1.1	2.2	—		
第48回14	洪武通貨	1368	明	SK025	1.1	—	円形		
第48回15	不明	—	—	SK026	1.2	2.2	—		
第57回16	不明	—	—	SD153	1.6	2.3	—		
第67回 1	開元通貨	960	唐	SD151	2.4	2.3	円形		
第67回 2	皇祐元貨	1004	北宋	SD152	2.8	2.5	円形		
第67回 3	皇寧通貨	1038	北宋	SD153	2.2	2.4	圓形		
第67回 4	熙寧元貨	1068	北宋	SD154	2.0	2.4	円形		
第67回 5	元祐通貨	1086	北宋	SD155	3.0	2.4	圓形		
第67回 6	洪武通貨	1368	明	SD156	1.5	—	円形		
第67回 7	不明	—	—	SD157	2.0	2.2	—		
第67回 8	不明	—	—	SD158	2.9	2.4	—		
第67回 9	不明	—	—	SD159	—	2.1	—		
第67回10	不明	—	—	SD180	1.8	2.1	—		
第67回11	不明	—	—	SD161	1.7	2.4	—		
第67回12	和文銭	—	日本?	SD162	1.5	1.9	—		
第68回14	不明	—	—	SK004	—	2.1	—		
第74回 4	皇祐元貨	1004	北宋	SK013	—	—	円形		
第92回 5	咸平元貨	976	北宋	SK030	3.2	2.4	円形		
第100回 2	天聖元貨	1023	北宋	SK051	2.0	2.4	円形		
第105回 3	聖寧通貨	1104	北宋	SK032	2.6	2.2	圓形		
第134回 3	天聖元貨	1023	北宋	SK029	1.1	—	円形		
第134回 4	熙寧元貨	1068	北宋	SK029	2.7	2.3	円形		
第147回	皇寧通貨	1038	北宋	SK030	1.9	2.4	円形		
第161回11	不明	—	—	SK030	0.7	—	円形		
第165回	天聖元貨	1023	北宋	SK022	3.4	2.4	円形		
第190回14	不明	—	—	SK505	0.8	2.3	—		
第190回15	不明	—	—	SK505	3.3	2.3	—		
第190回16	開元通貨	960	唐	SK505	2.7	2.3	円形		
第194回 9	洪武通貨	1368	明	SK506	1.7	2.2	円形		
第194回10	永興通貨	1408	明	SK506	2.4	2.4	円形		
第207回	政和通貨	1111	北宋	SK507	2.1	2.4	円形		
第215回11	寛永通貨	1636	日本	SK650	1.7	2.4	円形		
第230回 1	乾元通貨	756	唐	SK650	2.1	2.2	円形		
第230回 2	唐國通貨	959	南唐	SK650	3.1	2.4	圓形		
第230回 3	開元通貨	960	南唐	SK650	2.0	2.3	円形		
第230回 4	開元通貨	960	南唐	SK650	2.3	2.4	円形		
第230回 5	開元通貨	960	南唐	SK650	3.1	2.4	円形		
第230回 6	開元通貨	960	南唐	SK650	2.2	2.3	円形		
第230回 7	開元通貨	960	南唐	SK650	2.7	2.4	円形		
第230回 8	開元通貨	960	南唐	SK650	2.4	2.4	円形		
第230回 9	開元通貨	960	南唐	SK650	1.7	2.4	円形		
第230回10	寧遠元貨	960	北宋	SK650	1.4	—	円形		
第230回11	太平通貨	976	北宋	SK650	2.4	2.4	円形		
第230回12	淳化元貨	990	北宋	SK650	2.0	2.4	円形		
第230回13	至道元貨	995	北宋	SK650	3.1	2.4	円形		
第230回14	至道元貨	995	北宋	SK650	3.3	2.4	円形		
第230回15	咸平元貨	998	北宋	SK650	1.9	2.3	円形		
第230回16	皇祐元貨	1004	北宋	SK650	3.9	2.4	円形		
第230回17	皇祐元貨	1004	北宋	SK650	1.0	—	円形		
第230回18	祥符元貨	1009	北宋	SK650	2.3	2.4	円形		

5次調査 A区追物観察表 (銅銭②)

押印No.	銭名	初出年度	国・王明名	造幣名	重さ (g)	直径 (mm)	形状	備 考	図版
銅236019	祥符元宝	1009	北宋	祥符通寶	2.2	2.4	行貨		
銅236020	祥符元宝	1009	北宋	祥符通寶	2.4	2.4	行貨		
銅236021	祥符元宝	1009	北宋	祥符通寶	2.9	2.4	行貨		
銅236022	祥符元宝	1009	北宋	祥符通寶	1.5	2.1	行貨		
銅236023	祥符元宝	1009	北宋	祥符通寶	1.1	—	行貨		
銅236024	祥符通寶	1009	北宋	祥符通寶	1.8	2.4	行貨		
銅236025	祥符通寶	1009	北宋	祥符通寶	2.0	2.5	行貨		
銅236026	天聖通寶	1017	北宋	天聖通寶	2.9	2.5	行貨		
銅236027	天聖通寶	1017	北宋	天聖通寶	2.1	2.4	行貨		
銅236028	天聖元宝	1023	北宋	天聖通寶	2.3	2.4	行貨		
銅236029	天聖元宝	1023	北宋	天聖通寶	3.1	2.5	行貨		
銅236030	天聖元宝	1023	北宋	天聖通寶	2.8	2.4	行貨		
銅236031	天聖元宝	1023	北宋	天聖通寶	2.7	2.4	行貨		
銅236032	天聖元宝	1023	北宋	天聖通寶	2.5	2.3	行貨		
銅236033	天聖元宝	1023	北宋	天聖通寶	1.3	—	行貨		
銅236034	景祐元宝	1034	北宋	景祐通寶	2.7	2.4	行貨		
銅236035	景祐元宝	1034	北宋	景祐通寶	2.8	2.5	行貨		
銅236036	景祐元宝	1034	北宋	景祐通寶	2.3	2.5	行貨		
銅236037	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	2.5	2.4	行貨		
銅236038	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	2.2	2.3	行貨		
銅236039	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	1.9	2.4	行貨		
銅236040	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	3.2	2.4	行貨		
銅236041	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	2.4	2.4	行貨		
銅236042	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	1.5	—	行貨		
銅240043	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	0.6	—	行貨		
銅240044	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	1.8	2.4	行貨		
銅240045	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	—	2.4	行貨		
銅240046	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	1.6	2.4	行貨		
銅240047	景寧通寶	1038	北宋	景寧通寶	0.6	—	行貨		
銅240048	景祐元宝	1056	北宋	景祐通寶	3.5	2.3	行貨		
銅240049	景祐元宝	1056	北宋	景祐通寶	1.6	2.3	行貨		
銅240050	景祐通寶	1056	北宋	景祐通寶	2.9	2.2	行貨		
銅240051	景祐通寶	1056	北宋	景祐通寶	2.8	2.4	行貨		
銅240052	治平元宝	1064	北宋	治平通寶	2.8	2.3	行貨		
銅240053	治平元宝	1064	北宋	治平通寶	2.5	2.4	行貨		
銅240054	治平元宝	1064	北宋	治平通寶	2.7	2.4	行貨		
銅240055	治平元宝	1064	北宋	治平通寶	1.6	—	行貨		
銅240056	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	3.3	2.3	行貨		
銅240057	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	3.0	2.3	行貨		
銅240058	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	2.7	2.4	行貨		
銅240059	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	2.4	2.3	行貨		
銅240060	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	3.5	2.4	行貨		
銅240061	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	3.0	2.5	行貨		
銅240062	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	2.4	2.4	行貨		
銅240063	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	3.2	2.4	行貨		
銅241064	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	2.4	2.4	行貨		
銅241065	熙寧元宝	1066	北宋	熙寧通寶	3.2	2.4	行貨		
銅241066	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	3.3	2.4	行貨		
銅241067	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	3.2	2.4	行貨		
銅241068	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.6	2.4	行貨		
銅241069	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.8	2.4	行貨		
銅241070	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	3.1	2.3	行貨		
銅241071	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	3.3	2.3	行貨		
銅241072	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	0.9	—	行貨		
銅241073	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.3	2.4	行貨		
銅241074	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	8.9	2.4	行貨		
銅241075	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	1.3	2.2	行貨		
銅241076	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.9	2.3	行貨		
銅241077	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	3.1	2.3	行貨		
銅241078	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.5	2.2	行貨		
銅241079	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.6	2.3	行貨		
銅241080	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	2.6	2.4	行貨		
銅241081	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	1.6	2.4	行貨		
銅241082	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	0.9	—	行貨		
銅241083	元豐通寶	1078	北宋	元豐通寶	0.7	—	行貨		
銅242084	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	3.0	2.4	行貨		
銅242085	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	1.7	2.4	行貨		
銅242086	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	2.1	2.4	行貨		
銅242087	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	3.2	2.4	行貨		
銅242088	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	2.9	2.4	行貨		
銅242089	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	1.9	2.4	行貨		
銅242090	元祐通寶	1086	北宋	元祐通寶	2.3	2.3	行貨		
銅242091	紹聖元宝	1094	北宋	紹聖通寶	13.8	2.4	行貨		
銅242092	紹聖元宝	1094	北宋	紹聖通寶	2.8	2.4	行貨		
銅242093	紹聖元宝	1094	北宋	紹聖通寶	3.2	2.3	行貨		

5次調査A区遺物観察表(銅銭(3))

探検No	銭貨名	初探検年	国・王朝名	遺検名	重量 (g)	直径 (mm)	形状	備考	国産
探2402094	紹聖元貨	1094	北宋	紹聖元	4.0	2.3	行貨		
探2402095	紹聖元貨	1094	北宋	紹聖元	2.8	2.3	行貨		
探2402096	紹聖元貨	1094	北宋	紹聖元	1.9	2.4	行貨		
探2402097	紹聖元貨	1094	北宋	紹聖元	1.8	2.3	行貨		
探2402098	紹聖元貨	1094	北宋	紹聖元	1.3	-	行貨		
探2402099	元祐通寶	1095	北宋	元祐通	2.0	2.5	背貨		
探2402100	元祐通寶	1096	北宋	元祐通	2.3	2.4	背貨		
探2402101	元祐通寶	1097	北宋	元祐通	1.5	-	背貨		
探2402102	聖宗元貨	1101	北宋	聖宗元	2.4	2.4	行貨		
探2402103	聖宗元貨	1101	北宋	聖宗元	2.3	2.3	背貨		
探2402104	聖宗元貨	1101	北宋	聖宗元	2.5	2.4	背貨		
探2402105	聖宗元貨	1101	北宋	聖宗元	1.4	2.4	背貨		
探2402106	大観通寶	1107	北宋	大観通	2.8	2.3	行貨		
探2402107	大観通寶	1107	北宋	大観通	2.0	2.3	行貨		
探2402108	大観通寶	1107	北宋	大観通	1.1	-	行貨		
探2402109	政和通寶	1111	北宋	政和通	1.8	2.3	縁貨		
探2402110	政和通寶	1111	北宋	政和通	1.3	2.4	縁貨		
探2402111	政和通寶	1111	北宋	政和通	2.4	2.3	背貨		
探2402112	政和通寶	1111	北宋	政和通	3.4	2.6	背貨		
探2402113	政和通寶	1111	北宋	政和通	0.9	-	背貨		
探2402114	大定通寶	1178	金	大定通	2.5	2.5	行貨		
探2402115	大定通寶	1178	金	大定通	2.4	2.5	行貨		
探2402116	鳳凰元貨	1208	南宋	鳳凰元	2.3	2.4	行貨	異銭「六」字	
探2402117	洪武通寶	1368	明	洪武通	2.9	2.4	行貨		
探2402118	洪武通寶	1368	明	洪武通	2.6	2.2	行貨		
探2402119	洪武通寶	1368	明	洪武通	3.1	2.4	行貨		
探2402120	洪武通寶	1368	明	洪武通	3.2	2.1	行貨		
探2402121	洪武通寶	1368	明	洪武通	2.0	1.9	行貨		
探2402122	洪武通寶	1368	明	洪武通	1.2	2.2	行貨		
探2402123	洪武通寶	1368	明	洪武通	-	-	行貨		
探2402124	永楽通寶	1408	明	永楽通	4.7	2.5	行貨		
探2402125	永楽通寶	1408	明	永楽通	3.5	2.4	行貨		
探2402126	永楽通寶	1408	明	永楽通	2.8	2.5	行貨		
探2402127	永楽通寶	1408	明	永楽通	1.7	2.4	行貨		
探2402128	永楽通寶	1408	明	永楽通	1.4	2.4	行貨		
探2402129	寛永通寶	1636	日本	寛永通	3.5	2.4	-	古貨永 新貨永	
探2402130	寛永通寶	1636	日本	寛永通	2.6	2.4	-		
探2402131	判銭不明	-	-	判銭	1.6	2.2	-		
探2402132	判銭不明	-	-	判銭	2.8	2.4	-		
探2402133	判銭不明	-	-	判銭	2.5	2.4	-		
探2402134	判銭不明	-	-	判銭	2.3	2.4	-		
探2402135	判銭不明	-	-	判銭	1.8	2.4	-		
探2402136	判銭不明	-	-	判銭	1.8	2.4	-		
探2402137	判銭不明	-	-	判銭	1.2	-	-		
探2402138	判銭不明	-	-	判銭	-	-	-		
探2402139	判銭不明	-	-	判銭	0.9	-	-		
探2402140	判銭不明	-	-	判銭	1.2	-	-		
探2402141	判銭不明	-	-	判銭	1.3	-	-		
探2402142	判銭不明	-	-	判銭	1.4	-	-		
探2402143	判銭不明	-	-	判銭	0.8	-	-		
探2402144	判銭不明	-	-	判銭	0.6	-	-		
探2402145	判銭不明	-	-	判銭	0.5	-	-		
探2402146	判銭不明	-	-	判銭	0.6	-	-		
探2402147	異文銭	-	-	判銭	0.2	0.9	-		
探2402148	異文銭	-	-	判銭	0.3	1.4	-		
探2402149	異文銭	-	-	判銭	0.6	1.5	-		
探2402150	異文銭	-	-	判銭	0.4	1.7	-		
探2402151	異文銭	-	-	判銭	0.7	2.0	-		
探2402152	判銭不明	-	-	判銭	4.1	2.5	-		
探2402153	判銭不明	-	-	判銭	3.6	2.5	-		
探2402154	判銭不明	-	-	判銭	4.1	2.3	-		
探2402155	判銭不明	-	-	判銭	1.6	2.4	-		
探2402156	判銭不明	-	-	判銭	2.6	2.3	-		
探2402157	判銭不明	-	-	判銭	1.6	2.0	-		
探2402158	判銭不明	-	-	判銭	2.5	2.4	-		
探2402159	判銭不明	-	-	判銭	2.8	2.3	-		
探2402160	判銭不明	-	-	判銭	2.2	2.1	-		
探2402161	判銭不明	-	-	判銭	2.6	2.4	-		
探2402162	判銭不明	-	-	判銭	2.2	2.2	-		
探2402163	判銭不明	-	-	判銭	2.6	2.2	-		
探2402164	判銭不明	-	-	判銭	1.4	2.0	-		
探2402165	判銭不明	-	-	判銭	2.8	2.3	-		
探2402166	判銭不明	-	-	判銭	2.3	2.4	-		
探2402167	判銭不明	-	-	判銭	1.8	2.5	-		
探2402168	判銭不明	-	-	判銭	2.0	2.3	-		

5次調査A区遺物觀察表(銅銭(4))

神田No.	銭貨名	製造地年	国・王朝名	通称名	直径 (g)	直径 (mm)	背文	備 考	数量
第246回169	判銭不明	—	—	惣金形	3.0	2.4	—		
第246回170	判銭不明	—	—	惣金形	2.8	2.3	—		
第246回171	判銭不明	—	—	惣金形	2.2	2.3	—		
第246回172	判銭不明	—	—	惣金形	1.7	2.1	—		
第246回173	判銭不明	—	—	惣金形	1.9	2.1	—		
第246回174	判銭不明	—	—	惣金形	2.3	2.3	—		
第246回175	判銭不明	—	—	惣金形	1.6	2.2	—		
第246回176	判銭不明	—	—	惣金形	1.6	2.4	—		
第246回177	判銭不明	—	—	惣金形	1.6	2.1	—		
第246回178	判銭不明	—	—	惣金形	2.0	2.2	—		
第246回179	判銭不明	—	—	惣金形	2.1	2.3	—		
第246回180	判銭不明	—	—	惣金形	1.9	2.1	—		
第246回181	判銭不明	—	—	惣金形	0.8	—	—		
第246回182	判銭不明	—	—	惣金形	1.2	—	—		
第246回183	判銭不明	—	—	惣金形	1.6	—	—		
第246回184	判銭不明	—	—	惣金形	1.0	—	—		
第246回185	判銭不明	—	—	惣金形	0.9	—	—		
第246回186	判銭不明	—	—	惣金形	1.0	—	—		
第246回187	判銭不明	—	—	惣金形	—	—	—		
第246回188	判銭不明	—	—	惣金形	0.7	—	—		
第247回189	判銭不明	—	—	惣金形	4.3	2.4	—	2枚分付品	
第247回190	判銭不明	—	—	惣金形	7.1	2.4	—	3枚分付品	
第247回191	判銭不明	—	—	惣金形	7.3	2.5	—	2枚分付品	
第247回192	判銭不明	—	—	惣金形	14.2	2.8	—	5枚以上分付品	

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類①)

件ID	器 種	生産地	直径 (単位 cm)			遺物名	備 考	図録 No.
			口径	底径	高さ			
第263001	印籠	中国	—	6.0	—	SD101		
第263002	印籠	不明	中国	—	—	SD101	遺手	
第263003	白磁	磁	中国	(7.1)	(1.4)	2.1	SD101	
第263004	陶器	磁	朝鮮王朝	—	6.0	—	SD101	
第263005	陶器	磁	麗麗吳国	—	—	—	SD101	
第263006	白磁	磁	中国	—	8.0	—	SD101	
第263007	埴輪陶器	埴輪	中国南部	—	(10.4)	—	SD101	
第263008	京都系土師器	磁	壹池	9.0	—	2.1	SD101	
第263009	京都系土師器	磁	壹池	(10.0)	—	1.8	SD101	
第263010	京都系土師器	磁	壹池	—	—	2.3	SD101	
第263011	京都系土師器	磁	壹池	(12.6)	—	2.6	SD101	
第263012	京都系土師器	磁	壹池	(12.6)	—	2.6	SD101	
第263013	京都系土師器	磁	壹池	11.6	—	2.8	SD101	
第263014	京都系土師器	磁	壹池	(12.1)	—	2.6	SD101	
第263015	土師質土器	磁	壹池	(10.4)	(6.1)	2.0	SD101	
第263016	土師質土器	磁	壹池	(10.4)	(6.0)	2.2	SD101	
第263017	京都系土師器	磁	壹池	(12.1)	—	2.2	SD101	
第263018	京都系土師器	磁	壹池	(11.8)	—	2.3	SD101	
第263019	京都系土師器	磁	壹池	(12.6)	—	3.0	SD101	
第263020	京都系土師器	磁	壹池	(12.8)	—	2.7	SD101	
第263021	瓦質土器	磁 or 磁	壹池	—	—	—	SD101	
第263022	瓦質土器	磁	壹池	—	—	—	SD101	
第263023	瓦質土器	磁	壹池	—	(4.8)	—	SD101	
第263024	瓦質土器	不明	壹池	—	—	—	SD101	
第263025	瓦質土器	埴輪	壹池	—	—	—	SD101	
第263026	瓦質土器	埴輪	壹池	(27.2)	12.2	10.3	SD101	
第263027	瓦質土器	火鉢	壹池	—	—	—	SD101	
第263030	土師質土器	扁合	壹池	—	(7.0)	—	SD101	
第263031	瓦質土器	土鍋	壹池	—	—	—	SD101	
第265001	青花	小杯	中国(魯特録)	—	(3.0)	—	SK102	
第265002	白磁	磁	中国	—	—	—	SK102	
第265003	白磁	磁	中国	—	(5.2)	—	SK102	
第265004	陶器	香	中国	(10.5)	—	—	SK102	磁鉢・蓋鉢
第265005	陶器	香	壹池	—	—	—	SK102	蓋鉢
第265006	瓦質土器	土鍋	壹池	—	—	—	SK102	
第265007	瓦質土器	埴輪	壹池	—	—	—	SK102	
第265008	瓦質土器	火鉢	壹池	—	—	—	SK102	
第265009	瓦質土器	火鉢	壹池	—	—	—	SK102	
第265010	瓦質土器	火鉢	壹池	—	—	—	SK102	
第265011	瓦質土器	羽釜	壹池	—	—	—	SK102	
第265012	新田系土器	香	壹池	—	—	—	SK102	
第266001	埴輪陶器	埴	備前	—	—	—	SK102	
第266002	埴輪陶器	広口壺	備前	—	—	—	SK102	水甕
第266003	埴輪陶器	埴鉢	備前	(29.0)	(13.0)	10.0	SK102	
第266004	埴輪陶器	埴鉢	備前	(29.2)	(15.0)	12.9	SK102	
第267001	青花	磁	中国(魯特録)	—	—	—	SD103	C群(菓子皿)
第267002	青花	磁	中国(魯特録)	—	—	—	SD103	F群
第267003	瓦砂	磁	中国	—	—	—	SD103	
第267004	京都系土師器	磁?	壹池	—	—	—	SD103	
第267005	青花	磁	中国(魯特録)	(12.0)	(6.2)	2.9	SD103	B1群
第267006	青花	磁	中国(魯特録)	—	—	—	SD103	C群(菓子皿)
第267007	青花	陶	中国(魯特録)	—	—	—	SD103	
第267008	白磁	磁	中国	—	—	—	SD103	
第267009	白磁	小杯	中国	—	(1.7)	—	SD103	
第267010	白磁	磁	中国(魯特録)	—	—	—	SD103	
第267011	陶器	天目碗	麗麗吳国	—	4.0	—	SD103	
第267012	陶器	不明	中国	—	—	—	SD103	蓋鉢
第267013	埴輪陶器	鉢	中国南部	(26.2)	—	—	SD103	鉢C群
第267014	埴輪陶器	鉢	中国南部	—	—	—	SD103	鉢C群
第267015	埴輪陶器	鉢?	中国?	—	—	—	SD103	
第267016	埴輪陶器	鉢?	中国?	—	—	—	SD103	
第267017	埴輪陶器	鉢?	中国?	—	—	—	SD103	
第267018	陶器	磁	中国	—	—	—	SD103	磁鉢物 二次被焼
第267019	京都系土師器	磁	壹池	(8.4)	—	1.8	SD103	
第267020	京都系土師器	磁	壹池	8.4	—	1.9	SD103	
第267021	土師質土器	磁	壹池	(8.1)	(6.0)	1.6	SD103	
第267022	土師質土器	磁	壹池	(8.8)	(5.3)	2.4	SD103	
第267023	土師質土器	磁 or 中国	壹池	(5.8)	(3.6)	1.9	SD103	
第267024	土師質土器	埴輪香	壹池?	—	—	—	SD103	
第267025	土師質土器	埴台	壹池	8.0	—	—	SD103	
第267026	瓦質土器	鉢	壹池	—	—	—	SD103	
第267027	瓦質土器	火鉢	壹池	—	—	—	SD103	
第267028	瓦質土器	火鉢	壹池	—	—	—	SD103	
第268001	白磁	磁	中国	—	—	—	SD103	
第268002	埴輪陶器	香	備前	(9.3)	—	—	SD103	

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類2)

探検No.	器種	生産地	直径(単位cm)			遺物名	備考	記録No.
			口径	底径	器高			
探260図3	埴輪陶器	掛花入	埴前	--	--			SD103
探260図4	埴輪陶器	埴鉢	埴前	--	--			SD103
探260図5	埴輪陶器	埴鉢	埴前	--	--			SD103
探260図6	埴輪陶器	埴鉢	埴前	--	--			SD103
探260図7	埴輪陶器	埴	埴前	--	--			SD103
探260図8	埴輪陶器	埴	埴前	--	--			SD103
探270図1	京磁系土師器	甕	在埴	7.4	--	1.9		SD105
探270図2	京磁系土師器	甕	在埴	(10.9)	--	--		SD105
探270図3	京磁系土師器	甕	在埴	10.8	--	2.1		SD105
探270図4	京磁系土師器	甕	在埴	10.4	--	2.1		SD105
探270図5	京磁系土師器	甕	在埴	10.6	--	2.1		SD105
探270図6	京磁系土師器	甕	在埴	10.5	--	2.2		SD105
探270図7	京磁系土師器	甕	在埴	10.5	--	2.3		SD105
探270図8	京磁系土師器	甕	在埴	10.4	--	2.2		SD105
探270図9	京磁系土師器	甕	在埴	(11.0)	--	1.9		SD105
探270図10	京磁系土師器	甕	在埴	(13.0)	--	2.5		SD105
探270図11	京磁系土師器	甕	在埴	12.3	--	2.5		SD105
探270図12	京磁系土師器	甕	在埴	14.2	--	2.5		SD105
探270図13	京磁系土師器	甕	在埴	10.4	--	2.0		SD105
探270図14	京磁系土師器	甕	在埴	10.8	--	2.5		SD105
探270図15	京磁系土師器	甕	在埴	13.5	--	2.4		SD105
探270図16	京磁系土師器	甕	在埴	12.8	--	2.2		SD105
探270図17	京磁系土師器	甕	在埴	12.7	--	2.4		SD105
探270図18	京磁系土師器	甕	在埴	(13.8)	--	2.4		SD105
探270図19	京磁系土師器	甕	在埴	15.8	--	2.2		SD105
探270図20	京磁系土師器	甕	在埴	7.8	--	2.0		SD105
探270図21	京磁系土師器	甕	在埴	12.2	--	2.2		SD105
探270図22	京磁系土師器	甕	在埴	(11.7)	--	2.1		SD105
探270図23	京磁系土師器	甕	在埴	12.2	--	2.4		SD105
探270図24	京磁系土師器	甕	在埴	12.6	--	2.6		SD105
探270図25	京磁系土師器	甕	在埴	(15.7)	--	2.8		SD105
探270図26	京磁系土師器	甕	在埴	14.4	--	2.5		SD105
探270図27	土師質土器	甕	在埴	11.2	5.2	2.2		SD105
探270図28	土師質土器	甕	在埴	12.1	5.5	2.8		SD105
探270図29	瓦質土器	火鉢	在埴	28.2	--	--		SD105
探270図30	土師質土器	甕	在埴	(12.0)	(5.5)	3.0		SD105
探270図31	土師質土器	甕	在埴	(11.2)	6.0	3.2		SD105
探270図32	土師質土器	甕	在埴	(14.0)	(8.1)	3.0		SD105
探270図33	土師質土器	甕	在埴	9.3	4.9	2.0		SD105
探270図34	土師質土器	甕	在埴	(9.0)	4.2	1.9		SD105
探270図35	土師質土器	甕	在埴	10.4	--	1.8		SD105
探270図36	土師質土器	甕	在埴	12.4	5.5	3.0		SD105
探270図37	土師質土器	甕	在埴	12.3	6.8	2.5		SD105
探270図38	土師質土器	甕	在埴	--	--	--		SD105
探271図1	京磁系土師器	甕	在埴	(8.2)	--	1.9		SD105
探271図2	京磁系土師器	甕	在埴	8.3	--	1.9		SD105
探271図3	京磁系土師器	甕	在埴	10.2	--	2.2		SD105
探271図4	京磁系土師器	甕	在埴	10.6	--	2.2		SD105
探271図5	京磁系土師器	甕	在埴	(10.4)	--	2.1		SD105
探271図6	京磁系土師器	甕	在埴	10.8	--	2.3		SD105
探271図7	京磁系土師器	甕	在埴	10.8	--	2.2		SD105
探271図8	京磁系土師器	甕	在埴	10.2	--	2.2		SD105
探271図9	京磁系土師器	甕	在埴	11.9	--	2.4		SD105
探271図10	京磁系土師器	甕	在埴	12.3	--	2.6		SD105
探271図11	京磁系土師器	甕	在埴	(12.7)	--	2.8		SD105
探271図12	京磁系土師器	甕	在埴	12.3	--	2.4		SD105
探271図13	京磁系土師器	甕	在埴	13.1	--	2.1		SD105
探271図14	京磁系土師器	甕	在埴	12.6	--	2.3		SD105
探271図15	京磁系土師器	甕	在埴	(13.0)	--	2.6		SD105
探271図16	京磁系土師器	甕	在埴	12.7	--	2.7		SD105
探271図17	京磁系土師器	甕	在埴	12.8	--	2.7		SD105
探271図18	京磁系土師器	甕	在埴	12.7	--	2.4		SD105
探271図19	京磁系土師器	甕	在埴	12.7	--	2.5		SD105
探271図20	京磁系土師器	甕	在埴	13.0	--	2.5		SD105
探271図21	京磁系土師器	甕	在埴	13.0	--	2.5		SD105
探271図22	京磁系土師器	甕	在埴	(13.0)	--	2.5		SD105
探271図23	京磁系土師器	甕	在埴	12.7	--	2.1		SD105
探271図24	京磁系土師器	甕	在埴	(12.7)	--	2.4		SD105
探271図25	京磁系土師器	甕	在埴	(13.0)	--	--		SD105
探271図26	京磁系土師器	甕	在埴	14.4	--	2.5		SD105
探271図27	京磁系土師器	甕	在埴	(14.3)	--	2.4		SD105
探271図28	京磁系土師器	甕	在埴	14.0	--	2.4		SD105
探271図29	京磁系土師器	甕	在埴	(14.3)	--	2.5		SD105
探271図30	京磁系土師器	甕	在埴	16.0	--	2.4		SD105
探271図31	土師質土器	甕	在埴	13.5	7.5	2.5		SD105

5次調査B区遺物觀察表(土器・陶磁器類③)

种别No.	器 種	生産地	寸法 (単位 cm)			通称名	備 考	図録 No.
			口径	底径	高さ			
Ⅸ271032	京都系土師器	Ⅸ	在池	—	—	SD105		36
Ⅸ271033	京都系土師器	Ⅸ	在池	8.3	—	2.0	SD105	36
Ⅸ271034	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.2	—	2.2	SD105	36
Ⅸ271035	京都系土師器	Ⅸ	在池	(11.0)	—	2.1	SD105	36
Ⅸ271036	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.0)	—	2.0	SD105	36
Ⅸ271037	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.8)	—	2.3	SD105	36
Ⅸ271038	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.4	—	2.2	SD105	36
Ⅸ271039	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.5	—	2.0	SD105	36
Ⅸ271040	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.4	—	2.3	SD105	36
Ⅸ271041	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.7)	—	2.3	SD105	36
Ⅸ271042	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.7	—	2.1	SD105	36
Ⅸ271043	京都系土師器	Ⅸ	在池	(13.1)	—	—	SD105	36
Ⅸ271044	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.5	—	2.5	SD105	36
Ⅸ271045	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.7	—	2.5	SD105	36
Ⅸ271046	京都系土師器	Ⅸ	在池	(15.0)	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27201	京都系土師器	Ⅸ	在池	6.8	—	1.9	SD105	36
Ⅸ27202	京都系土師器	Ⅸ	在池	7.9	—	1.9	SD105	36
Ⅸ27203	京都系土師器	Ⅸ	在池	(11.0)	—	2.3	SD105	36
Ⅸ27204	京都系土師器	Ⅸ	在池	(12.2)	—	—	SD105	36
Ⅸ27205	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.7)	—	—	SD105	36
Ⅸ27206	京都系土師器	Ⅸ	在池	(11.0)	—	—	SD105	36
Ⅸ27207	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.7)	—	2.3	SD105	36
Ⅸ27208	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.3	—	2.3	SD105	36
Ⅸ27209	京都系土師器	Ⅸ	在池	11.5	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27210	京都系土師器	Ⅸ	在池	(11.3)	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27211	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.5)	—	1.9	SD105	36
Ⅸ27212	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.8	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27213	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.6)	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27214	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.8	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27215	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.0	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27216	京都系土師器	Ⅸ	在池	(12.8)	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27217	京都系土師器	Ⅸ	在池	12.6	—	3.0	SD105	36
Ⅸ27218	京都系土師器	Ⅸ	在池	12.6	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27219	京都系土師器	Ⅸ	在池	12.9	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27220	京都系土師器	Ⅸ	在池	12.2	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27221	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.3	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27222	京都系土師器	Ⅸ	在池	12.6	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27223	京都系土師器	Ⅸ	在池	(12.4)	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27224	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.1	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27225	京都系土師器	Ⅸ	在池	(13.6)	—	2.7	SD105	36
Ⅸ27226	京都系土師器	Ⅸ	在池	14.6	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27227	京都系土師器	Ⅸ	在池	(16.0)	—	2.9	SD105	36
Ⅸ27228	京都系土師器	Ⅸ	在池	(17.4)	—	—	SD105	36
Ⅸ27229	土師貫土器	Ⅸ	在池	12.0	6.8	2.5	SD105	36
Ⅸ27230	京都系土師器	Ⅸ	在池	15.9	—	2.7	SD105	36
Ⅸ27231	土師貫土器	Ⅸ	在池	8.0	4.2	2.1	SD105	
Ⅸ27301	青花	Ⅸ	中国(景德鎮)	—	—	—	SD105	
Ⅸ27302	京都系土師器	Ⅸ	在池	7.9	—	2.0	SD105	36
Ⅸ27303	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.7	—	2.3	SD105	36
Ⅸ27304	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.6	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27305	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.5)	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27306	京都系土師器	Ⅸ	在池	12.7	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27307	京都系土師器	Ⅸ	在池	(13.0)	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27308	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.7	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27309	京都系土師器	Ⅸ	在池	(12.6)	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27310	京都系土師器	Ⅸ	在池	13.1	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27311	京都系土師器	Ⅸ	在池	(14.4)	—	2.3	SD105	36
Ⅸ27312	京都系土師器	Ⅸ	在池	14.4	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27313	京都系土師器	Ⅸ	在池	(15.6)	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27314	京都系土師器	Ⅸ	在池	(16.0)	—	2.7	SD105	36
Ⅸ27315	京都系土師器	Ⅸ	在池	(15.9)	—	2.5	SD105	36
Ⅸ27316	京都系土師器	Ⅸ	在池	(16.9)	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27317	土師貫土器	Ⅸ	在池	10.0	5.7	2.5	SD105	36
Ⅸ27318	土師貫土器	Ⅸ	在池	12.0	6.4	3.0	SD105	36
Ⅸ27319	陶器	天目陶	中国	—	—	—	SD105	
Ⅸ27320	拍毬陶器	拍毬	中国	—	—	—	SD105	
Ⅸ27321	陶器	不明	不明	—	—	—	SD105	肥平
Ⅸ27322	青花	Ⅸ	中国	—	(4.6)	—	SD105	
Ⅸ27323	拍毬陶器	拍毬	中国南部	—	—	—	SD105	
Ⅸ27324	拍毬陶器	拍毬	中国南部	—	—	—	SD105	
Ⅸ27325	京都系土師器	Ⅸ	在池	(10.7)	—	2.2	SD105	36
Ⅸ27326	京都系土師器	Ⅸ	在池	11.2	—	2.6	SD105	36
Ⅸ27327	京都系土師器	Ⅸ	在池	(11.0)	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27328	京都系土師器	Ⅸ	在池	10.6	—	2.4	SD105	36
Ⅸ27329	京都系土師器	Ⅸ	在池	(12.5)	—	2.5	SD105	36

5次調査B区遺物観察表(土器・陶器群A)

採出No.	器種	生産地	法目(単位cm)			法目名	備考	図録No.
			口径	底径	高さ			
第27200	京都系土師器	煎	在池	12.2	--	2.6	SD105	36
第27201	京都系土師器	煎	在池	13.0	--	2.5	SD105	36
第27202	京都系土師器	煎	在池	14.0	--	2.3	SD105	36
第27203	京都系土師器	煎	在池	(16.6)	--	2.4	SD105	36
第27204	土師器土師器	煎	在池	11.8	5.5	2.4	SD105	
第27205	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SD145	
第27206 1	白磁	碗	中国	--	--	--	SD145	
第27206 2	白磁	碗	朝鮮 五湖	--	4.5	--	SD145	
第27206 3	白磁	碗	中国	--	(5.4)	--	SD145	
第27206 4	青花	碗	中国(洛陽系)	--	5.1	--	SD145	
第27206 5	陶器	器	中国	--	(14.0)	--	SD145	補給
第27206 6	陶器	器	中国	--	(36.0)	--	SD145	補給
第27207	京都系土師器	煎	在池	(11.4)	--	2.6	SD145	
第27208	京都系土師器	煎	在池	(11.8)	--	2.7	SD145	
第27209	京都系土師器	煎	在池	(12.4)	--	2.5	SD145	
第27210	京都系土師器	煎	在池	(12.6)	--	2.0	SD145	
第27211	京都系土師器	煎	在池	(13.2)	--	1.9	SD145	
第27212	京都系土師器	煎	在池	(12.4)	--	3.0	SD145	
第27213	京都系土師器	煎	在池	(14.9)	--	2.4	SD145	金箔貼付
第27214	京都系土師器	煎	在池	(17.8)	--	--	SD145	
第27215	京都系土師器	煎	在池	(19.4)	--	2.2	SD145	
第27216	京都系土師器	煎	在池	(21.4)	--	--	SD145	
第27217	白磁	煎	中国	(8.0)	(4.8)	1.9	SD145	
第27218	京都系土師器	煎	在池	(12.4)	--	2.2	SD145	
第27219	土師器土師器	煎	在池	(16.8)	(4.5)	2.7	SD145	
第27220	土師器土師器	煎	在池	(11.5)	5.9	3.0	SD145	
第27221	土師器土師器	煎	在池	(12.0)	(7.0)	3.6	SD145	
第27222	瓦質土器	釜	在池	--	--	--	SD145	
第27223	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SD145	
第27224	瓦質土器	鍋	在池	--	--	--	SD145	
第27225	瓦質土器	黒伊	在池	--	--	--	SD145	
第27226	瓦質土器	摺鉢	在池	--	--	--	SD145	
第27227	瓦質土器	蓋	在池	(12.0)	--	1.1	SD145	
第28001	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SD145	
第28002	瓦質土器	鉢	在池	(33.2)	--	--	SD145	
第28003	瓦質土器	鍋	在池	(38.0)	--	--	SD145	
第28004	瓦質土器	器	在池	(25.4)	--	--	SD145	
第28005	瓦質土器	羽釜	在池	--	--	--	SD145	
第28006	瓦質土器	器	在池	--	--	--	SD145	
第28007	瓦質土器	摺鉢	在池	--	--	--	SD145	
第28008	瓦質土器	器	在池	--	(12.6)	--	SD145	
第28009	瓦質土器	器	在池	--	(16.4)	--	SD145	
第28010	瓦質土器	鉢	在池	--	(17.0)	--	SD145	
第28101	埴輪陶器	器	在池	--	--	--	SD145	
第28102	埴輪陶器	器	在池	--	--	--	SD145	
第28103	埴輪陶器	器	在池	--	(5.0)	--	SD145	
第28104	埴輪陶器	器	在池	--	(7.4)	--	SD145	
第28105	埴輪陶器	摺鉢	在池	--	--	--	SD145	
第28106	埴輪陶器	摺鉢	在池	--	--	--	SD145	
第28107	埴輪陶器	摺鉢	在池	--	--	--	SD145	
第28108	埴輪陶器	摺鉢	在池	--	--	--	SD145	
第28109	埴輪陶器	摺鉢	在池	--	(11.6)	--	SD145	
第28110	埴輪陶器	摺鉢	在池	--	(17.2)	--	SD145	
第28201	白磁	碗	中国(越州系)	--	(8.4)	--	SD310	
第28202	陶器	鉢皿	神戸系出	--	--	--	SD310	
第28203	白磁	煎	中国	(14.0)	--	--	SD310	
第28204	瓦質土器	羽釜	在池	--	--	--	SD310	
第28205	瓦質土器	鉢	在池	--	--	--	SD310	
第28401	土師器土師器	煎	在池	8.2	4.5	1.7	SD114	
第28402	土師器土師器	煎	在池	(8.6)	(4.6)	2.1	SD114	
第28403	土師器土師器	煎	在池	(11.4)	5.6	2.7	SD114	
第28404	土師器土師器	煎	在池	12.3	6.0	3.1	SD114	
第28405	土師器土師器	煎	在池	12.6	6.5	3.1	SD114	
第28406	土師器土師器	煎	在池	(13.4)	(6.6)	2.8	SD114	
第28407	土師器土師器	煎	在池	13.0	7.0	3.1	SD114	
第28408	土師器土師器	煎	在池	(13.0)	6.2	3.4	SD114	
第28409	土師器土師器	煎	在池	(15.1)	(7.4)	3.8	SD114	
第28501	瓦器	碗	中国	(12.5)	(4.8)	5.8	SD114	
第28502	京都系土師器	煎	在池	10.4	--	2.0	SD114	
第28503	京都系土師器	煎	在池	10.7	--	2.2	SD114	
第28504	京都系土師器	煎	在池	12.0	--	2.4	SD114	
第28505	京都系土師器	煎	在池	(6.0)	--	2.2	SD114	
第28506	土師器土師器	煎	在池	8.0	4.1	2.5	SD114	
第28507	土師器土師器	煎	在池	11.4	5.2	3.1	SD114	
第28508	土師器土師器	煎	在池	11.2	5.9	3.3	SD114	



5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類5)

発掘No.	器種	産地	直径(単位cm)			透視名	備考	図録No.
			口径	底径	高さ			
020509	土師質土器	唐	12.2	6.3	2.5	SD114		
020510	土師質土器	唐	—	5.0	—	SD114		
020511	土師質土器	唐	13.0	7.2	4.2	SD114		
020512	土師質土器	隋代	—	6.5	—	SD114		
020513	土師質土器	隋代	—	6.0	—	SD114		
020504	土師質土器	冥羅	6.7	5.4	2.0	SD114		
020515	地持陶器	倭製	(31.2)	(17.8)	13.9	SD114		
020501	陶胎	小唐	—	—	—	SD123	黒輪 不入	38
020502	京師系土師器	唐	—	—	—	SD123		
020503	京師系土師器	唐	—	—	—	SD123		
020504	京師系土師器	唐	7.8	—	2.1	SD123		
020505	京師系土師器	唐	10.4	—	2.0	SD123		
020506	京師系土師器	唐	13.0	—	2.4	SD123		
020507	京師系土師器	唐	12.4	—	2.7	SD123		
020508	京師系土師器	唐	16.0	—	2.2	SD123		
020509	土師質土器	唐	(5.2)	(3.6)	1.5	SD123		
020510	土師質土器	唐	(7.4)	(5.0)	1.6	SD123		
020511	土師質土器	唐	3.8	5.0	1.9	SD123		
020512	土師質土器	唐	8.8	4.6	2.1	SD123		
020513	土師質土器	唐	6.4	5.4	1.9	SD123		
020514	土師質土器	唐	5.6	5.0	2.0	SD123		
020515	土師質土器	唐	(10.4)	5.8	2.0	SD123		
020516	土師質土器	唐	(10.8)	(6.6)	1.9	SD123		
020517	土師質土器	唐	(1.4)	(8.4)	2.3	SD123		
020518	土師質土器	唐	(11.0)	5.6	2.3	SD123		
020519	土師質土器	唐	(11.6)	(5.8)	2.7	SD123		
020520	土師質土器	唐	(12.2)	(6.2)	3.0	SD123		
020521	土師質土器	唐	(12.2)	6.0	3.0	SD123		
020522	土師質土器	唐	(12.2)	(6.4)	2.9	SD123		
020523	土師質土器	唐	(12.0)	(6.0)	2.4	SD123		
020524	土師質土器	唐	(11.8)	6.4	2.4	SD123		
020525	土師質土器	唐	11.6	6.2	2.7	SD123		
020526	土師質土器	唐	(11.8)	5.2	3.0	SD123		
020527	土師質土器	唐	12.4	5.4	3.0	SD123		
020528	土師質土器	唐	(13.0)	7.2	3.3	SD123		
020529	土師質土器	唐	12.3	6.0	3.1	SD123		
020530	瓦質土器	火鉢	—	—	—	SD123		
020531	瓦質土器	火鉢	—	—	—	SD123		
020532	土師質土器	唐	4.5	3.7	1.2	SD123		
020501	荷花	陶	中国(唐彩繪)	—	—	SD151	C群(蓮子碗)	
020502	荷花	陶	中国(唐彩繪)	—	—	SD151	B1群	
020503	荷花	陶	中国(唐彩繪)	—	—	SD151	B1群	
020504	荷花	陶	中国(唐彩繪)	—	—	SD151		
020505	荷花	陶	中国(唐彩繪)	(16.4)	—	SD151		
020506	荷花	陶	中国(唐彩繪)	—	—	SD151	B1群	
020507	豆罐	陶 or 鉢	中国(唐彩繪)	(21.6)	—	SD151		
020508	豆罐	陶	中国(唐彩繪)	—	—	SD151		
020509	豆罐	陶	中国(唐彩繪)	(13.2)	—	SD151		
020510	豆罐	陶	中国(唐彩繪)	—	6.1	SD151		
020511	豆罐	陶	中国(唐彩繪)	—	(10.0)	SD151		
020512	豆罐	陶	中国	—	(7.8)	SD151		
0205013	陶器	天目碗	中国(唐彩繪?)	—	4.1	SD151	赤塗で「玉」or「王」字	38
0205014	陶器	唐	中国	(7.2)	—	SD151	黒輪 14~164同一般	
0205015	陶器	唐	中国	—	—	SD151	黒輪	
0205016	陶器	唐	中国	—	—	SD151	黒輪	
0205017	陶器	唐	朝鮮王朝	—	—	SD151	丹塗利	
0205018	地持陶器	唐	タイ(ナゲムノイ)	—	—	SD151	黒黒唐	
0205019	京師系土師器	唐	唐地	8.7	—	1.9	SD151	
0205020	京師系土師器	唐	唐地	5.3	—	2.1	SD151	
0205021	京師系土師器	唐	唐地	8.4	—	2.3	SD151	
0205022	京師系土師器	唐	唐地	8.5	—	2.5	SD151	
0205023	京師系土師器	唐	唐地	11.0	—	2.2	SD151	
0205024	京師系土師器	唐	唐地	10.7	—	2.5	SD151	
0205025	京師系土師器	唐	唐地	10.8	—	1.9	SD151	
0205026	京師系土師器	唐	唐地	12.3	—	2.1	SD151	
0205027	京師系土師器	唐	唐地	12.4	—	2.4	SD151	
0205028	京師系土師器	唐	唐地	12.3	—	2.6	SD151	
0205029	京師系土師器	唐	唐地	12.4	—	2.7	SD151	
0205030	京師系土師器	唐	唐地	13.4	—	2.7	SD151	
0205031	京師系土師器	唐	唐地	12.4	—	—	SD151	
0205031	京師系土師器	唐	唐地	12.4	—	2.2	SD151	
0205032	京師系土師器	唐	唐地	12.6	—	2.6	SD151	
0205033	京師系土師器	唐	唐地	11.8	—	2.4	SD151	
0205034	京師系土師器	唐	唐地	11.8	—	2.6	SD151	
0205035	京師系土師器	唐	唐地	12.4	—	2.4	SD151	

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑧)

探検No.	器 種	生産地	流量(単位cm)			流開名	備 考	図版 No.
			口径	底径	高さ			
第25006	京都系土師器	■	在焼	12.3	—	2.5	SD151	
第25007	京都系土師器	■	在焼	12.0	—	2.3	SD151	
第25008	京都系土師器	■	在焼	13.7	—	2.6	SD151	
第25009	京都系土師器	■	在焼	13.7	—	—	SD151	
第25010	京都系土師器	■	在焼	13.6	—	2.5	SD151	
第25011	京都系土師器	■	在焼	13.1	—	2.0	SD151	
第25012	京都系土師器	■	在焼	13.4	—	2.9	SD151	
第25013	京都系土師器	■	在焼	12.3	—	2.5	SD151	
第25014	京都系土師器	■	在焼	12.0	—	2.6	SD151	
第25015	京都系土師器	■	在焼	14.7	—	2.7	SD151	
第25016	京都系土師器	■	在焼	12.3	—	2.5	SD151	
第25017	京都系土師器	■	在焼	(12.8)	—	2.6	SD151	
第25018	京都系土師器	■	在焼	16.8	—	2.6	SD151	
第25019	京都系土師器	■	在焼	17.3	—	2.9	SD151	
第25020	京都系土師器	■	在焼	(17.8)	—	3.0	SD151	
第25021	土師系土器	小皿	在焼	4.8	3.2	1.3	SD151	
第25022	土師系土器	■	在焼	6.3	3.1	1.8	SD151	
第25023	土師系土器	■	在焼	7.4	4.7	1.6	SD151	
第25024	土師系土器	■	在焼	7.2	4.0	1.7	SD151	
第25025	土師系土器	■	在焼	8.0	4.7	1.8	SD151	
第25026	土師系土器	■	在焼	7.6	4.4	1.6	SD151	
第25027	土師系土器	■	在焼	7.7	4.8	1.6	SD151	
第25028	土師系土器	■	在焼	7.7	5.6	2.1	SD151	
第25029	土師系土器	■	在焼	8.0	4.6	1.9	SD151	
第25030	土師系土器	■	在焼	(7.8)	5.0	2.6	SD151	
第25031	土師系土器	■	在焼	7.4	5.6	1.6	SD151	
第25032	土師系土器	■	在焼	7.6	5.7	1.5	SD151	
第25033	土師系土器	■	在焼	7.7	4.4	1.6	SD151	
第25034	土師系土器	■	在焼	8.5	4.1	2.1	SD151	
第25035	土師系土器	■	在焼	(9.4)	5.5	2.1	SD151	
第25036	土師系土器	■	在焼	9.3	5.3	2.2	SD151	
第25037	土師系土器	■	在焼	11.2	5.1	2.9	SD151	
第25038	土師系土器	■	在焼	10.9	6.2	2.8	SD151	
第25039	土師系土器	■	在焼	8.7	4.6	1.7	SD151	
第25040	土師系土器	■	在焼	11.0	6.0	2.6	SD151	
第25041	土師系土器	■	在焼	10.4	6.4	2.6	SD151	
第25042	土師系土器	■	在焼	10.5	5.7	3.0	SD151	
第25043	土師系土器	■	在焼	11.0	6.2	3.1	SD151	
第25044	土師系土器	■	在焼	10.5	5.4	3.9	SD151	
第25045	土師系土器	■	在焼	11.3	5.9	2.8	SD151	
第25046	土師系土器	■	在焼	10.2	6.0	2.2	SD151	
第25047	土師系土器	■	在焼	10.7	6.2	3.2	SD151	
第25048	土師系土器	■	在焼	11.5	6.0	2.8	SD151	
第25049	土師系土器	■	在焼	11.8	7.3	3.1	SD151	
第25050	土師系土器	■	在焼	11.1	6.5	2.8	SD151	
第25051	土師系土器	■	在焼	11.3	5.3	2.9	SD151	
第25052	土師系土器	■	在焼	11.6	5.2	3.3	SD151	
第25053	土師系土器	■	在焼	11.8	6.6	2.8	SD151	
第25054	土師系土器	■	在焼	11.7	6.4	3.0	SD151	
第25055	土師系土器	■	在焼	11.5	6.0	2.8	SD151	
第25056	土師系土器	■	在焼	11.3	5.0	3.4	SD151	
第25057	土師系土器	■	在焼	12.3	—	2.4	SD151	
第25058	土師系土器	■	在焼	11.8	6.2	3.0	SD151	
第25059	土師系土器	■	在焼	12.0	7.4	3.2	SD151	
第25060	土師系土器	■	在焼	(11.6)	6.3	2.7	SD151	
第25061	土師系土器	■	在焼	11.7	6.3	2.3	SD151	
第25062	土師系土器	■	在焼	12.4	5.6	2.8	SD151	
第25063	土師系土器	■	在焼	11.9	5.6	3.5	SD151	
第25064	土師系土器	■	在焼	12.2	6.5	3.5	SD151	
第25065	土師系土器	■	在焼	12.4	7.2	3.0	SD151	
第25066	土師系土器	■	在焼	11.8	6.2	3.2	SD151	
第25067	土師系土器	■	在焼	13.2	—	2.9	SD151	
第25068	土師系土器	■	在焼	13.7	7.0	3.4	SD151	
第25069	土師系土器	■	在焼	13.7	6.5	3.3	SD151	
第25070	土師系土器	■	在焼	13.6	6.9	2.8	SD151	
第25071	土師系土器	■	在焼	12.8	6.8	3.6	SD151	
第25072	土師系土器	■	在焼	16.9	9.2	3.9	SD151	
第25073	土師系土器	■	在焼	14.0	7.5	2.8	SD151	
第25074	土師系土器	■	在焼	12.2	8.4	3.1	SD151	
第25075	土師系土器	■	在焼?	—	6.0	—	SD151	白色系
第25076	土師系土器	■	在焼	5.5	—	1.8	SD151	焼場跡の置または小皿
第25077	土師系土器	■	在焼	4.3	—	1.7	SD151	焼場跡の置または小皿
第25078	土師系土器	焼場跡	在焼?	—	—	—	SD151	
第25079	土師系土器	灰皿	在焼	6.0	—	1.5	SD151	
第25080	土師系土器	灰皿	在焼	5.8	3.5	1.3	SD151	

遺物観察表28  
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑦)

発見No	器 種	生産地	測定(単位 cm)			器種名	備 考	図号 No.
			口径	底径	高さ			
第296022	土師質土器	陶台	在池	--	8.0	--	SD151	
第296023	土師質土器	陶台	在池	6.3	6.0	6.1	SD151	
第296024	土師質土器	陶台	在池	--	7.2	--	SD151	
第296021	瓦質土器	甕	在池	11.5	--	--	SD151	
第296022	瓦質土器	甕	在池	(15.2)	(7.5)	7.1	SD151	
第296023	瓦質土器	甕	在池	--	--	--	SD151	
第296024	瓦質土器	甕	在池	--	--	--	SD151	
第296025	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SD151	
第296026	瓦質土器	火鉢	在池	28.8	--	--	SD151	
第296027	瓦質土器	鉢	在池	--	--	--	SD151	
第296028	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SD151	
第296029	瓦質土器	鉢	在池	--	--	--	SD151	
第296030	瓦質土器	甕	在池	28.8	14.5	8.5	SD151	
第296031	埴輪陶器	広口甕	甕	15.2	--	--	SD151	水罨
第296032	埴輪陶器	甕	甕	31.0	--	--	SD151	
第297001	埴輪陶器	甕	甕	(26.6)	--	--	SD151	
第297002	埴輪陶器	甕	甕	(30.2)	--	--	SD151	
第299001	甕	甕	中国(瓠殻質)	(13.8)	--	--	SD151	
第299002	甕	甕	中国(瓠殻質)	--	--	--	SD151	
第299003	甕	甕	中国(瓠殻質)	--	5.0	--	SD151	
第299004	甕	甕	中国(瓠殻質)	--	4.5	--	SD151	
第299005	甕	甕 or 甕	中国(瓠殻質)	--	7.5	--	SD151	
第299006	陶器	天目甕	中国	--	--	--	SD151	
第299007	陶器	天目甕	中国	(12.4)	--	--	SD151	
第299008	土師質土器	小壺	在池	3.7	2.5	1.6	SD151	
第299009	土師質土器	小壺	在池	4.8	3.0	1.5	SD151	
第299010	土師質土器	小壺	在池	5.5	4.0	1.6	SD151	
第299011	土師質土器	甕	在池	6.5	4.6	1.4	SD151	
第299012	土師質土器	甕	在池	7.0	3.2	1.9	SD151	
第299013	土師質土器	甕	在池	8.0	4.2	1.7	SD151	
第299014	土師質土器	甕	在池	8.3	4.8	2.0	SD151	
第299015	土師質土器	甕	在池	8.8	4.4	1.7	SD151	
第299016	土師質土器	甕	在池	8.8	5.4	2.0	SD151	
第299017	土師質土器	甕	在池	8.3	4.2	1.9	SD151	
第299018	土師質土器	甕	在池	9.5	5.2	2.4	SD151	
第299019	土師質土器	甕	在池	9.4	5.7	2.1	SD151	
第299020	土師質土器	甕	在池	10.0	6.3	2.4	SD151	
第299021	土師質土器	甕	在池	10.7	5.6	3.5	SD151	
第299022	土師質土器	甕	在池	10.6	5.7	2.8	SD151	
第299023	土師質土器	甕	在池	10.7	5.9	3.0	SD151	
第299024	土師質土器	甕	在池	10.2	6.4	2.8	SD151	
第299025	土師質土器	甕	在池	10.8	5.3	2.3	SD151	
第299026	土師質土器	甕	在池	10.3	5.5	2.3	SD151	
第299027	土師質土器	甕	在池	11.0	6.5	2.6	SD151	
第299028	土師質土器	甕	在池	11.2	5.5	2.7	SD151	
第299029	土師質土器	甕	在池	10.8	5.6	3.0	SD151	
第299030	土師質土器	甕	在池	10.3	5.6	3.0	SD151	
第299031	土師質土器	甕	在池	10.8	5.6	3.0	SD151	
第299032	土師質土器	甕	在池	11.4	6.0	2.7	SD151	
第299033	土師質土器	甕	在池	11.0	6.7	3.0	SD151	
第299034	土師質土器	甕	在池	11.1	6.3	2.9	SD151	
第300001	土師質土器	甕	在池	11.5	6.3	3.1	SD151	
第300002	土師質土器	甕	在池	11.0	6.7	3.2	SD151	
第300003	土師質土器	甕	在池	11.5	6.7	3.3	SD151	
第300004	土師質土器	甕	在池	12.0	6.7	2.9	SD151	
第300005	土師質土器	甕	在池	12.0	6.3	2.7	SD151	
第300006	土師質土器	甕	在池	12.3	6.4	2.8	SD151	
第300007	土師質土器	甕	在池	11.8	5.7	3.0	SD151	
第300008	土師質土器	甕	在池	13.2	7.0	2.5	SD151	
第300009	土師質土器	甕	在池	13.0	7.3	2.9	SD151	
第300010	土師質土器	甕	在池	12.4	7.5	3.3	SD151	
第300011	土師質土器	甕	在池	13.2	7.5	3.1	SD151	
第300012	土師質土器	甕	在池	12.9	5.6	3.1	SD151	
第300013	土師質土器	甕	在池	14.0	7.4	2.9	SD151	
第300014	土師質土器	甕	在池	(14.6)	7.1	3.2	SD151	
第300015	土師質土器	甕	在池	(14.2)	7.3	3.1	SD151	
第300016	土師質土器	甕	在池	14.8	7.7	3.9	SD151	
第300017	土師質土器	甕	在池	--	6.1	--	SD151	白色系
第300018	土師質土器	甕	在池	--	7.8	--	SD151	白色系
第300019	土師質土器	甕	在池?	(16.5)	--	--	SD151	白色系
第300020	土師質土器	甕	在池?	--	(4.3)	--	SD151	白色系
第300021	土師質土器	甕	在池?	--	(7.6)	--	SD151	白色系
第300022	土師質土器	甕	在池?	--	(7.4)	--	SD151	白色系
第301001	土師質土器	耳皿	在池	5.4	3.8	1.0	SD151	
第301002	土師質土器	耳皿	在池	6.3	3.1	1.3	SD151	

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑧)

押附No.	器 種	生産地	深さ (単位 cm)		深備名	備 考	図版 No.
			口徑	器高			
第301回3	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	SD151	
第301回4	土師質土器	埴舟	在池	—	—	SD151	
第301回5	土師質土器	埴舟	在池	5.8	—	SD151	
第301回6	土師質土器	埴舟	在池	5.3	—	SD151	
第301回7	土師質土器	埴舟	在池	8.2	3.1	SD151	
第301回8	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第301回9	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第301回10	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第301回11	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第301回12	埴輪陶器	埴鉢	(26.5)	13.4	12.0	SD151	
第301回13	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第302回1	土師質土器	皿	在池	11.1	6.0 3.4	SD151	
第302回2	土師質土器	皿	在池	12.4	7.6 3.4	SD151	
第302回3	土師質土器	皿	在池	13.1	7.3 3.4	SD151	
第302回4	土師質土器	不明	在池	—	—	SD151	把手
第302回5	土師質土器	皿	在池	6.8	4.0 1.7	SD151	
第302回6	土師質土器	皿	在池	8.0	4.4 2.4	SD151	
第302回7	土師質土器	皿	在池	8.0	4.2 1.9	SD151	
第302回8	土師質土器	皿	在池	9.2	5.2 1.9	SD151	
第302回9	土師質土器	皿	在池	8.8	5.7 2.1	SD151	
第302回10	土師質土器	皿	在池	9.9	5.4 2.3	SD151	
第302回11	土師質土器	皿	在池	10.8	5.2 3.0	SD151	
第302回12	土師質土器	皿	在池	10.8	6.2 3.1	SD151	
第302回13	土師質土器	皿	在池	11.3	6.4 2.8	SD151	
第302回14	土師質土器	皿	在池	12.1	6.7 3.4	SD151	
第302回15	土師質土器	皿	在池	11.4	6.0 2.7	SD151	
第302回16	土師質土器	皿	在池	(16.4)	—	SD151	
第302回17	土師質土器	皿	在池	—	5.8	SD151	
第302回18	土師質土器	皿	在池	—	11.0	SD151	
第302回19	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第302回20	埴輪陶器	埴鉢	埴前	—	—	SD151	
第305回1	土師質土器	皿	在池	5.3	3.6 1.9	SD153	
第305回2	土師質土器	皿	在池	12.1	6.2 2.6	SD153	
第310回1	京師系土師器	埴	在池	12.4	—	2.6 SK127	
第310回2	京師系土師器	埴	在池	(13.0)	—	4.5 SK127	
第310回3	京師系土師器	皿	在池	12.7	—	2.7 SK140	
第310回4	京師系土師器	皿	在池	10.7	—	2.2 SK241	
第315回1	京師系土師器	皿	在池	11.2	—	2.1 SK227	
第315回2	京師系土師器	皿	在池	13.2	—	2.4 SK227	
第315回3	京師系土師器	皿	在池	13.2	—	2.7 SK227	
第315回4	京師系土師器	皿	在池	13.0	—	2.7 SK227	
第315回5	京師系土師器	皿	在池	20.8	—	3.2 SK227	
第318回1	京師系土師器	皿	在池	10.9	—	2.2 SK106	36
第318回2	京師系土師器	皿	在池	11.0	—	2.2 SK106	36
第318回3	京師系土師器	皿	在池	11.1	—	2.4 SK106	36
第318回4	京師系土師器	皿	在池	12.9	—	2.6 SK106	36
第318回5	京師系土師器	皿	在池	12.7	—	2.4 SK106	36
第318回6	京師系土師器	皿	在池	13.3	—	2.7 SK106	36
第318回7	京師系土師器	皿	在池	13.1	—	2.3 SK106	36
第318回8	京師系土師器	皿	在池	13.1	—	2.1 SK106	36
第318回9	京師系土師器	皿	在池	14.6	—	3.0 SK106	36
第318回10	京師系土師器	皿	在池	13.2	—	2.6 SK106	36
第318回11	京師系土師器	皿	在池	15.0	—	2.9 SK106	36
第318回12	京師系土師器	皿	在池	16.5	—	3.0 SK106	36
第318回13	京師系土師器	皿	在池	16.5	—	3.0 SK106	36
第320回1	京師系土師器	皿	在池	—	—	SK110	
第320回2	京師系土師器	皿	在池	(10.8)	—	SK111	
第322回	土師質土器	皿	在池	(7.8)	(4.2)	1.9 SK129	
第324回1	京師系土師器	皿	在池	(10.2)	—	2.3 SK202	
第324回2	京師系土師器	皿	在池	10.8	—	2.8 SK202	
第324回3	京師系土師器	皿	在池	13.2	—	2.4 SK202	
第326回1	京師系土師器	皿	在池	12.0	—	SK214	
第326回2	京師系土師器	皿	在池	8.2	—	2.1 SK215	
第329回1	青磁	碗	中国(臨汝窯)	(12.0)	—	SK222	
第329回2	青磁	碗	中国(臨汝窯)	(13.5)	—	SK222	
第329回3	陶器	甕	中国	(10.8)	—	SK222	甕輪
第329回4	京師系土師器	皿	在池	8.1	—	2.1 SK222	
第329回5	京師系土師器	皿	在池	8.1	—	2.1 SK222	
第329回6	京師系土師器	皿	在池	8.5	—	2.2 SK222	
第329回7	京師系土師器	皿	在池	8.5	—	2.2 SK222	
第329回8	京師系土師器	皿	在池	8.4	—	2.1 SK222	
第329回9	京師系土師器	皿	在池	8.1	—	2.0 SK222	
第329回10	京師系土師器	皿	在池	8.1	—	2.2 SK222	
第329回11	京師系土師器	皿	在池	8.7	—	1.9 SK222	
第329回12	京師系土師器	皿	在池	8.8	—	2.1 SK222	

遺物観察表30  
(5次調査B区)

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑨)

発掘No.	品名	生産地	流量(単位cm)		流路名	備考	図面No.
			口徑	底径			
Ⅸ329013	京都系土師器	甕	在池	11.0	-	2.0	SK222
Ⅸ329014	京都系土師器	甕	在池	10.7	-	2.1	SK222
Ⅸ329015	京都系土師器	甕	在池	10.6	-	2.5	SK222
Ⅸ329016	京都系土師器	甕	在池	10.3	-	2.4	SK222
Ⅸ329017	京都系土師器	甕	在池	11.0	-	2.4	SK222
Ⅸ329018	京都系土師器	甕	在池	11.1	-	2.4	SK222
Ⅸ329019	京都系土師器	甕	在池	11.0	-	2.6	SK222
Ⅸ329020	京都系土師器	甕	在池	12.8	-	2.2	SK222
Ⅸ329021	京都系土師器	甕	在池	12.1	-	2.1	SK222
Ⅸ329022	京都系土師器	甕	在池	12.5	-	2.1	SK222
Ⅸ329023	京都系土師器	甕	在池	12.7	-	2.3	SK222
Ⅸ329024	京都系土師器	甕	在池	12.6	-	2.2	SK222
Ⅸ329025	京都系土師器	甕	在池	13.0	-	2.0	SK222
Ⅸ329026	京都系土師器	甕	在池	12.6	-	2.0	SK222
Ⅸ329027	京都系土師器	甕	在池	12.9	-	2.3	SK222
Ⅸ329028	京都系土師器	甕	在池	12.7	-	2.2	SK222
Ⅸ329029	京都系土師器	甕	在池	13.0	-	2.3	SK222
Ⅸ329030	京都系土師器	甕	在池	12.4	-	2.1	SK222
Ⅸ329031	京都系土師器	甕	在池	12.5	-	2.4	SK222
Ⅸ329032	京都系土師器	甕	在池	12.6	-	2.0	SK222
Ⅸ329033	京都系土師器	甕	在池	12.0	-	2.5	SK222
Ⅸ329034	京都系土師器	甕	在池	12.7	-	2.2	SK222
Ⅸ329035	京都系土師器	甕	在池	13.3	-	2.5	SK222
Ⅸ329036	京都系土師器	甕	在池	12.7	-	2.2	SK222
Ⅸ329037	京都系土師器	甕	在池	12.3	-	2.1	SK222
Ⅸ329038	京都系土師器	甕	在池	13.1	-	2.4	SK222
Ⅸ329039	京都系土師器	甕	在池	12.9	-	2.4	SK222
Ⅸ329040	京都系土師器	甕	在池	13.0	-	2.2	SK222
Ⅸ329041	京都系土師器	甕	在池	14.2	-	2.4	SK222
Ⅸ329042	京都系土師器	甕	在池	13.0	-	2.3	SK222
Ⅸ329043	京都系土師器	甕	在池	13.5	-	2.4	SK222
Ⅸ329044	京都系土師器	甕	在池	15.3	-	1.9	SK222
Ⅸ329045	京都系土師器	甕	在池	15.0	-	2.0	SK222
Ⅸ329046	京都系土師器	甕	在池	15.9	-	2.4	SK222
Ⅸ329047	京都系土師器	甕	在池	16.0	-	2.0	SK222
Ⅸ33001	土師貫土器	甕	在池	7.8	4.2	2.4	SK222
Ⅸ33002	土師貫土器	甕	在池	9.7	6.4	1.8	SK222
Ⅸ33003	土師貫土器	甕	在池	11.4	6.8	2.1	SK222
Ⅸ33004	土師貫土器	甕	在池	11.4	6.0	2.0	SK222
Ⅸ33005	土師貫土器	甕	在池	(11.4)	6.8	2.1	SK222
Ⅸ33006	土師貫土器	甕	在池	11.8	6.4	2.1	SK222
Ⅸ33007	土師貫土器	甕	在池	12.3	5.7	2.2	SK222
Ⅸ33008	土師貫土器	甕	在池	-	5.0	-	SK222
Ⅸ33009	埴輪器	埴輪	埴前	34.2	-	-	SK222
Ⅸ33010	埴輪器	埴輪	埴前	-	-	-	SK222
Ⅸ33020	京都系土師器	甕	在池	13.2	-	2.0	SK226
Ⅸ33021	京都系土師器	甕	在池	(14.0)	-	2.7	SK226
Ⅸ34001	青花	純	中国(岳陽鎮)	-	(8.4)	-	SK229
Ⅸ34002	白磁	甕	中国(龍泉窯)	13.1	4.4	2.0	SK229
Ⅸ34003	京都系土師器	甕	在池	(13.2)	-	-	SK302
Ⅸ34004	瓦質土器	甕	在池	-	-	-	SK302
Ⅸ34005	京都系土師器	甕	在池	(8.3)	-	2.1	SK304
Ⅸ34006	京都系土師器	甕	在池	12.8	-	2.1	SK115
Ⅸ34007	土師貫土器	甕	在池	(11.6)	(6.0)	2.7	SK115
Ⅸ34008	土師貫土器	甕	在池	(11.8)	(6.0)	3.3	SK115
Ⅸ34009	土師貫土器	甕	在池	-	5.9	-	SK115
Ⅸ34010	土師貫土器	甕	在池	(12.2)	(6.4)	3.3	SK115
Ⅸ34011	土師貫土器	甕	在池	-	6.8	-	SK115
Ⅸ34012	埴輪器	埴輪	埴前	-	-	-	SK115
Ⅸ34013	京都系土師器	甕	在池	(12.0)	-	2.2	SK118
Ⅸ34014	京都系土師器	甕	在池	(13.0)	-	-	SK121
Ⅸ34015	京都系土師器	甕	在池	(13.6)	-	-	SK121
Ⅸ34016	京都系土師器	甕	在池	12.0	-	2.3	SK121
Ⅸ34017	土師貫土器	甕	在池	7.6	3.8	2.0	SK121
Ⅸ34018	土師貫土器	甕	在池	(11.7)	-	-	SK121
Ⅸ34019	土師貫土器	甕	在池	(12.0)	-	-	SK121
Ⅸ34020	土師貫土器	甕	在池	11.1	5.8	3.0	SK121
Ⅸ34021	土師貫土器	甕	在池	12.0	5.8	3.0	SK121
Ⅸ34022	土師貫土器	甕	在池	12.5	6.2	2.0	SK121
Ⅸ34023	土師貫土器	甕	在池	(12.6)	(7.2)	2.5	SK121
Ⅸ34024	土師貫土器	甕	在池	13.0	7.0	3.0	SK121
Ⅸ34025	土師貫土器	甕	在池	-	5.8	-	SK121
Ⅸ34026	土師貫土器	甕	在池	-	5.6	-	SK121
Ⅸ34027	土師貫土器	甕	在池	-	(6.0)	-	SK121
Ⅸ34028	土師貫土器	甕	在池	-	5.5	-	SK121

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類10)

件ID	群	種類	生産地	寸法(単位cm)			遺物名	備考	図録 No.
				口径	底径	高さ			
第344016	土師系土器	甕	在焼	--	7.5	--	SK121		
第344017	土師系土器	甕	在焼	--	(5.0)	--	SK121		
第344018	土師系土器	甕	在焼	--	5.6	--	SK121		
第344019	土師系土器	甕	在焼	--	6.4	--	SK121		
第344021	京師系土師器	甕	在焼	(7.5)	--	1.5	SK125		
第344022	京師系土師器	甕	在焼	(12.0)	--	2.1	SK125		
第344023	京師系土師器	甕	在焼	12.8	--	2.4	SK125		
第344024	京師系土師器	甕	在焼	(13.0)	--	2.4	SK125		
第344025	京師系土師器	甕	在焼	(13.4)	--	2.1	SK125		
第344026	土師系土器	甕	在焼	(8.3)	(4.8)	2.1	SK125		
第344027	土師系土器	甕	在焼	(11.6)	(6.6)	2.3	SK125		
第344028	土師系土器	甕	在焼	--	(6.4)	--	SK125		
第344029	土師系土器	甕	在焼	--	--	--	SK125		
第344030	瓦質土器	鉢 or 鍋	在焼	--	--	--	SK125		
第344031	瓦質土器	甕	在焼	--	--	--	SK125		
第344032	甕	甕	中国(魯東家)	--	--	--	SK126		
第344033	京師系土師器	甕	在焼	(16.0)	--	2.6	SK126		
第350001	京師系土師器	甕	在焼	16.7	--	2.7	SK146		
第350002	土師系土器	甕	在焼	8.2	4.4	1.6	SK146		
第350003	土師系土器	甕	在焼	9.6	5.5	2.2	SK146		
第350004	土師系土器	甕	在焼	--	--	--	SK146		
第352020	京師系土師器	甕	在焼	14.0	--	2.2	SK147		
第354021	青花	甕	中国(魯東諸家)	--	--	--	SK150	B1群	
第354022	青花	甕	中国(魯東諸家)	--	--	--	SK150	B1群	
第354023	白磁	鉢?	中国	--	--	--	SK150		
第354024	京師系土師器	甕	在焼	10.1	--	2.2	SK150		
第354025	京師系土師器	甕	在焼	10.3	--	2.3	SK150		
第354026	京師系土師器	甕	在焼	10.4	--	2.9	SK150		
第354027	京師系土師器	甕	在焼	(13.7)	--	2.4	SK150		
第354028	京師系土師器	甕	在焼	12.8	--	2.1	SK150		
第354029	京師系土師器	甕	在焼	12.4	--	2.4	SK150		
第354030	京師系土師器	甕	在焼	13.3	--	2.4	SK150		
第354031	京師系土師器	甕	在焼	13.6	--	2.7	SK150		
第354032	京師系土師器	甕	在焼	(14.4)	--	--	SK150		
第354033	京師系土師器	甕	在焼	(14.7)	--	--	SK150		
第354034	京師系土師器	甕	在焼	(16.2)	--	2.8	SK150		
第354035	土師系土器	甕	在焼	6.0	4.8	1.7	SK150		
第354036	土師系土器	甕	在焼	9.1	--	1.7	SK150		
第354037	土師系土器	甕	在焼	(11.4)	(6.0)	2.9	SK150		
第354038	土師系土器	甕	在焼	9.5	5.3	1.9	SK150		
第354039	土師系土器	甕	在焼	11.8	6.6	3.3	SK150		
第355001	瓦質土器	禮鉢	在焼	(25.2)	--	--	SK150		
第355002	瓦質土器	禮鉢	在焼	--	--	--	SK150		
第358021	京師系土師器	甕	在焼	(12.8)	--	--	SK204		
第358022	京師系土師器	甕	在焼	(13.0)	--	2.1	SK204		
第358023	土師系土器	甕	在焼	7.8	5.0	1.7	SK204		
第358024	京師系土師器	甕	在焼	(13.6)	--	2.4	SK205		
第358025	土師系土器	甕	在焼	11.3	5.6	2.5	SK205		
第358026	瓦質土器	火鉢	在焼	--	(30.4)	--	SK205		
第360001	苧磁	甕	中国	--	--	--	SK206		
第360002	京師系土師器	甕	在焼	9.7	--	1.9	SK206		
第360003	京師系土師器	甕	在焼	9.2	--	2.1	SK206		
第360004	京師系土師器	甕	在焼	(12.8)	--	2.2	SK206		
第360005	京師系土師器	甕	在焼	(14.7)	--	--	SK206		
第360001	土師系土器	甕	在焼	8.2	4.6	2.1	SK206		
第360002	土師系土器	甕	在焼	(8.3)	(5.0)	2.5	SK206		
第360003	土師系土器	甕	在焼	11.9	5.6	2.9	SK206		
第360004	土師系土器	甕	在焼	12.2	5.7	2.8	SK206		
第360005	土師系土器	甕	在焼	13.3	6.9	3.6	SK206		
第360006	土師系土器	甕	在焼	--	5.1	--	SK206		
第360007	土師系土器	甕	在焼	--	4.0	--	SK206		
第360008	土師系土器	甕	在焼	--	3.7	--	SK206		
第360009	土師系土器	甕	在焼	--	(6.8)	--	SK206		
第360020	土師系土器	甕	在焼	--	(6.0)	--	SK206		
第360021	土師系土器	甕	在焼	--	7.3	--	SK206		
第360022	土師系土器	甕	在焼	--	7.6	--	SK206		
第360023	瓦質土器	火鉢	在焼	--	--	--	SK206		
第360024	桃繪陶器	禮鉢	備前	(30.5)	--	--	SK206		
第363001	京師系土師器	甕	在焼	--	--	--	SK218		
第363002	土師系土器	甕	在焼	(11.4)	(6.1)	2.8	SK218		
第365002	京師系土師器	甕	在焼	11.0	--	2.4	SK225		
第367001	青花	甕	中国(魯東諸家)	--	--	--	SK246	C群(湯子焼)	
第367002	京師系土師器	甕	在焼	(12.4)	--	--	SK246		
第367003	土師系土器	甕	在焼	11.8	6.2	2.5	SK246		
第368001	京師系土師器	甕	在焼	--	--	--	SK130		

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

探検No.	品名	生産地	量目(単位cm)			遺物名	備考	図版No.
			口径	直径	高さ			
探3680B2	土師質土器	甕	在池	(12.0)	(5.6)	3.0	SK130	
探371B1	土師質土器	甕	在池	—	—	—	SK131	
探371B2	土師質土器	甕	在池	8.1	4.4	1.5	SK132	
探371B3	土師質土器	甕	在池	(8.6)	4.8	1.6	SK133	
探371B4	土師質土器	甕	在池	8.4	4.4	2.1	SK133	
探371B5	土師質土器	甕	在池	8.4	4.7	2.0	SK133	
探371B6	土師質土器	甕	在池	(9.4)	(5.5)	1.8	SK133	
探371B7	土師質土器	甕	在池	11.3	5.4	2.8	SK133	
探371B8	土師質土器	甕	在池	(11.4)	(6.0)	2.3	SK133	
探371B9	土師質土器	甕	在池	11.8	6.1	2.5	SK133	
探371B10	土師質土器	甕	在池	11.8	5.3	2.7	SK133	
探371B11	土師質土器	甕	在池	11.8	5.8	2.4	SK133	
探371B12	土師質土器	甕	在池	(13.0)	(6.6)	2.6	SK133	
探371B13	土師質土器	甕	在池	(12.6)	(6.2)	2.3	SK133	
探371B14	土師質土器	甕	在池	(12.5)	(6.2)	2.4	SK133	
探371B15	土師質土器	甕	在池	12.5	5.7	2.9	SK133	
探371B16	土師質土器	甕	在池	12.6	6.4	3.0	SK133	
探371B17	土師質土器	甕	在池	13.2	5.8	2.7	SK133	
探371B18	土師質土器	甕	在池	(13.2)	(6.3)	3.0	SK133	
探371B19	土師質土器	甕	在池	(12.0)	(6.6)	2.5	SK133	
探371B20	土師質土器	甕	在池	(16.2)	—	—	SK133	
探371B21	土師質土器	甕	在池	—	3.8	—	SK133	
探371B22	土師質土器	甕	在池	—	5.7	—	SK133	
探371B23	土師質土器	甕	在池	—	5.4	—	SK133	
探371B24	土師質土器	甕	在池	—	5.9	—	SK133	
探371B25	土師質土器	欠片	在池	—	—	—	SK133	
探371B26	土師質土器	蓋皿	在池	5.7	2.0	1.7	SK133	
探374B1	土師質土器	甕	在池	8.8	5.0	2.3	SK135	
探374B2	土師質土器	甕	在池	(10.8)	(6.7)	2.3	SK135	
探374B3	土師質土器	甕	在池	(11.6)	(5.8)	2.8	SK135	
探374B4	土師質土器	甕	在池	13.1	7.3	2.7	SK135	
探374B5	土師質土器	甕	在池	12.7	6.4	3.1	SK135	
探374B6	土師質土器	甕	在池	12.6	6.8	3.1	SK135	
探374B7	土師質土器	甕	在池	12.7	6.3	3.1	SK135	
探374B8	土師質土器	甕	在池	12.5	5.0	2.9	SK135	
探374B9	土師質土器	甕	在池	—	5.7	—	SK217	
探380B1	土師質土器	小皿	在池	3.7	3.0	1.7	SK230	37
探380B2	土師質土器	小皿	在池	3.5	2.4	1.2	SK230	37
探380B3	土師質土器	小皿	在池	5.0	3.3	1.4	SK230	37
探380B4	土師質土器	小皿	在池	4.7	2.2	1.1	SK230	37
探380B5	土師質土器	小皿	在池	4.5	4.2	1.3	SK230	37
探380B6	土師質土器	小皿	在池	5.4	4.3	1.3	SK230	37
探380B7	土師質土器	小皿	在池	5.0	4.2	1.1	SK230	37
探380B8	土師質土器	小皿	在池	5.4	3.7	1.7	SK230	37
探380B9	土師質土器	小皿	在池	(5.2)	(4.3)	1.2	SK230	37
探380B10	土師質土器	甕	在池	(7.7)	(5.0)	1.5	SK230	37
探380B11	土師質土器	甕	在池	8.8	5.2	2.3	SK230	37
探380B12	土師質土器	甕	在池	9.2	5.6	2.4	SK230	37
探380B13	土師質土器	甕	在池	8.9	5.5	2.0	SK230	37
探380B14	土師質土器	甕	在池	10.5	6.0	3.1	SK230	37
探380B15	土師質土器	甕	在池	10.8	6.3	2.9	SK230	37
探380B16	土師質土器	甕	在池	10.2	6.0	2.5	SK230	37
探380B17	土師質土器	甕	在池	10.4	6.8	3.0	SK230	37
探380B18	土師質土器	甕	在池	11.3	6.2	2.6	SK230	37
探380B19	土師質土器	甕	在池	11.1	7.0	2.9	SK230	37
探380B20	土師質土器	甕	在池	11.8	5.4	2.8	SK230	37
探380B21	土師質土器	甕	在池	11.2	5.5	2.9	SK230	37
探380B22	土師質土器	甕	在池	11.2	6.0	3.0	SK230	37
探380B23	土師質土器	甕	在池	(11.2)	(6.3)	2.4	SK230	37
探380B24	土師質土器	甕	在池	11.2	4.6	2.6	SK230	37
探380B25	土師質土器	甕	在池	11.3	5.8	2.8	SK230	37
探380B26	土師質土器	甕	在池	(12.0)	5.9	2.9	SK230	37
探380B27	土師質土器	甕	在池	11.5	6.2	2.5	SK230	37
探380B28	土師質土器	甕	在池	11.1	6.0	3.0	SK230	37
探380B29	土師質土器	甕	在池	(11.8)	6.2	3.0	SK230	37
探380B30	土師質土器	甕	在池	11.6	5.6	3.1	SK230	37
探380B31	土師質土器	甕	在池	(12.2)	(6.4)	2.4	SK230	37
探380B32	土師質土器	甕	在池	(11.6)	(6.4)	2.9	SK230	37
探380B33	土師質土器	甕	在池	(12.2)	(6.8)	2.8	SK230	37
探380B34	土師質土器	甕	在池	(12.6)	(7.6)	2.8	SK230	37
探381B1	土師質土器	甕	在池	10.9	6.1	3.1	SK230	37
探381B2	土師質土器	甕	在池	12.4	7.0	3.0	SK230	37
探381B3	土師質土器	甕	在池	(12.2)	(6.8)	2.6	SK230	37
探381B4	土師質土器	甕	在池	(12.2)	(6.8)	2.6	SK230	37
探381B5	土師質土器	甕	在池	(12.4)	(7.6)	3.0	SK230	37

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑫)

件IDNo	器 種	生産地	量 (単位 cm)			遺構名	備 考	埋深 No
			口径	底径	高さ			
第38108	土師瓦土器	産	在焼	(12.0)	7.0	2.9	SK230	37
第38109	土師瓦土器	産	在焼	13.2	7.2	3.3	SK230	37
第38110	土師瓦土器	産	在焼	12.6	5.4	3.3	SK230	37
第38111	土師瓦土器	産	在焼	12.6	7.0	3.3	SK230	37
第38112	土師瓦土器	耳取	在焼	5.3	4.1	1.2	SK230	37
第38113	土師瓦土器	耳取	在焼	5.0	4.0	1.5	SK230	37
第38114	土師瓦土器	耳取	在焼	6.4	4.0	1.2	SK230	37
第38115	土師瓦土器	耳取	在焼	(6.4)	4.0	1.3	SK230	37
第38116	瓦質土器	鉢	在焼?	(28.0)	—	—	SK230	
第38117	瓦質土器	風炉	在焼	—	4.3	—	SK230	
第38118	土師瓦土器	産	在焼	8.4	4.5	2.1	SK234	
第38119	土師瓦土器	産	在焼	10.5	5.4	2.7	SK234	
第38120	土師瓦土器	産	在焼	11.9	5.7	3.0	SK234	
第38121	土師瓦土器	産	在焼	11.3	5.1	2.6	SK234	
第38122	土師瓦土器	産	在焼	12.1	5.4	3.0	SK234	
第38123	土師瓦土器	産	在焼	(13.4)	(6.1)	3.2	SK234	
第38124	土師瓦土器	産	在焼	(14.6)	(7.2)	3.1	SK234	
第38125	土師瓦土器	産	在焼	—	3.6	—	SK234	
第38126	土師瓦土器	産	在焼	—	5.1	—	SK234	
第38127	土師瓦土器	産	在焼	—	—	—	SK234	
第38128	土師瓦土器	産	在焼	8.6	5.0	2.2	SK235	
第38129	土師瓦土器	産	在焼	9.4	4.8	2.5	SK235	
第38130	土師瓦土器	産	在焼	11.5	5.3	3.1	SK235	
第38131	土師瓦土器	産	在焼	(12.0)	(5.8)	2.6	SK235	
第38132	土師瓦土器	産	在焼	(12.2)	—	—	SK235	
第38133	土師瓦土器	産	在焼	(11.7)	—	—	SK235	
第38134	土師瓦土器	産	在焼	(12.2)	5.5	3.0	SK235	
第38135	土師瓦土器	産	在焼	12.4	6.0	3.1	SK235	
第38136	土師瓦土器	産	在焼	12.8	(5.5)	3.1	SK235	
第38137	土師瓦土器	産	在焼	(14.0)	—	—	SK235	
第38138	土師瓦土器	産	在焼	(13.5)	—	—	SK235	
第38139	土師瓦土器	産	在焼	(13.6)	(5.5)	3.2	SK235	
第38140	土師瓦土器	産	在焼	—	5.2	—	SK235	
第38141	土師瓦土器	産	在焼	—	5.6	—	SK235	
第38142	土師瓦土器	産	在焼	—	6.3	—	SK235	
第38143	土師瓦土器	産	在焼	—	5.6	—	SK235	
第38144	土師瓦土器	産	在焼	11.9	6.5	3.0	SK242	
第38145	土師瓦土器	産	在焼	8.6	4.9	2.1	SK244	
第38146	土師瓦土器	産	在焼	11.2	5.6	3.0	SK244	
第38147	土師瓦土器	産	在焼	9.4	5.9	3.3	SK303	
第38148	土師瓦土器	産	在焼	(12.8)	(6.4)	2.6	SK303	
第38149	甕	中国	—	—	6.7	—	SK245	
第38150	土師瓦土器	産	在焼	7.6	4.5	1.8	SK245	
第38151	土師瓦土器	産	在焼	8.8	5.2	2.3	SK245	
第38152	土師瓦土器	産	在焼	10.9	5.8	2.6	SK245	
第38153	土師瓦土器	産	在焼	11.3	5.8	3.0	SK245	
第38154	土師瓦土器	産	在焼	11.2	6.5	2.9	SK245	
第38155	土師瓦土器	産	在焼	11.4	5.7	2.7	SK245	
第38156	土師瓦土器	産	在焼	10.9	6.3	2.8	SK245	
第38157	土師瓦土器	産	在焼	—	(5.7)	—	SK245	
第38158	土師瓦土器	産	在焼	—	(6.0)	—	SK245	
第38159	土師瓦土器	産	在焼	(12.1)	(5.6)	3.3	SK139	
第40000	地神甕	甕鉢	甕鉢	—	—	—	SK140	
第40001	土師瓦土器	甕	在焼	12.6	7.5	3.9	SK116	
第40002	土師瓦土器	甕	在焼	7.3	6.0	1.4	SK252	39
第40003	土師瓦土器	甕	在焼	11.7	9.2	3.1	SK252	39
第40004	土師瓦土器	甕	在焼	12.1	9.1	3.0	SK252	39
第40005	土師瓦土器	甕	在焼	12.0	9.4	3.0	SK252	39
第40006	土師瓦土器	甕	在焼	12.6	9.1	3.6	SK236	39
第40007	土師瓦土器	甕	在焼	(12.6)	(8.7)	3.1	SK236	39
第40008	土師瓦土器	甕	在焼	12.4	9.1	3.1	SK236	39
第40009	土師瓦土器	甕	在焼	13.3	10.0	3.3	SK236	39
第40010	土師瓦土器	甕	在焼	12.8	9.6	3.3	SK236	39
第40011	土師瓦土器	甕	在焼	12.7	9.1	3.3	SK236	39
第40012	土師瓦土器	甕	在焼	12.8	9.6	3.2	SK236	39
第40013	土師瓦土器	甕	在焼	12.8	9.5	3.3	SK236	39
第40014	土師瓦土器	甕	在焼	12.3	9.6	3.4	SK236	39
第40015	土師瓦土器	甕	在焼	12.6	9.1	3.4	SK236	39
第40016	土師瓦土器	甕	在焼	12.6	9.4	3.4	SK236	39
第40017	土師瓦土器	甕	在焼	12.4	8.2	3.3	SK236	39
第40018	土師瓦土器	甕	在焼	12.7	9.5	3.3	SK236	39
第40019	土師瓦土器	甕	在焼	12.9	9.2	3.1	SK236	39
第40020	甕	大甕	常滑	—	—	—	SK201	
第40021	甕	小甕	中国(長崎藩産)	—	3.0	—	SK223	甕
第41100	瓦質土器	火鉢	在焼	—	—	—	SK257	



5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類③)

種別No.	器 種	生産地	寸法 (単位:cm)			遺物名	備 考	図録 No.
			口徑	底径	高さ			
第411器	土師質土器	甕	在池	—	(2.5)	—	SK311	
第414器1	白磁	甕	中国	(12.4)	6.1	6.1	SE220	
第414器2	質磁	甕	中国(龍泉窯)	—	6.0	—	SE220	
第414器3	土師質土器	甕	在池	(12.4)	—	2.4	SE220	
第416器1	地師陶器	鉢	中国南部	(22.0)	—	—	SE221	C組
第416器2	陶器	灰青釉	瀬戸黄釉	—	—	—	SE221	
第416器3	京磁系土師器	甕	在池	(12.2)	—	2.4	SE221	
第416器4	京磁系土師器	甕	在池	(12.0)	—	2.1	SE221	
第416器5	土師質土器	甕	在池	7.6	5.1	1.8	SE221	
第416器6	土師質土器	甕	在池	8.2	5.6	2.1	SE221	
第417器1	陶器	甕	甕前	—	(17.2)	—	SE221	
第417器2	陶器	樽鉢	甕前	—	(11.6)	—	SE221	
第417器3	陶器	甕	甕前	—	19.7	—	SE221	
第417器4	陶器	甕	甕前	(9.6)	—	—	SE221	
第417器5	瓦質土器	穴鉢	在池	(43.2)	—	33.0	SE221	
第419器1	陶器	施	瀬戸玉焼	—	4.7	—	SE249	
第419器2	京磁系土師器	甕	在池	10.5	—	2.2	SE248	
第419器3	瓦質土器	香炉	在池	7.0	6.4	5.0	SE248	
第422器1	雪花	施	中国(湯沢窯)	—	—	—	SE247	
第422器2	雪花	施	中国(湯沢窯)	—	—	—	SE247	
第422器3	陶器	郎窑	瀬戸黄釉	—	—	—	SE247	
第422器4	竹節	施	中国	—	—	—	SE247	
第424器1	雪花	施	中国(湯沢窯)	—	—	—	SE106	
第424器2	京磁系土師器	甕	在池	(9.8)	—	1.9	SE106	
第424器3	京磁系土師器	甕	在池	(10.0)	—	2.5	SE106	
第424器4	京磁系土師器	甕	在池	(10.6)	—	2.0	SE106	
第424器5	京磁系土師器	甕	在池	(10.4)	—	2.4	SE106	
第424器6	京磁系土師器	甕	在池	(10.8)	—	2.1	SE106	
第424器7	京磁系土師器	甕	在池	10.2	—	2.3	SE106	
第424器8	京磁系土師器	甕	在池	10.4	—	2.1	SE106	
第424器9	京磁系土師器	甕	在池	(10.2)	—	1.9	SE106	
第424器10	京磁系土師器	甕	在池	(10.2)	—	2.2	SE106	
第424器11	京磁系土師器	甕	在池	(10.4)	—	2.2	SE106	
第424器12	京磁系土師器	甕	在池	(11.2)	—	3.2	SE106	
第424器13	京磁系土師器	甕	在池	(11.4)	—	2.0	SE106	
第424器14	京磁系土師器	甕	在池	(13.2)	—	2.5	SE106	
第424器15	京磁系土師器	甕	在池	(13.2)	—	—	SE106	
第424器16	京磁系土師器	甕	在池	(13.4)	—	2.3	SE106	
第424器17	京磁系土師器	甕	在池	(13.4)	—	2.2	SE106	
第424器18	土師質土器	甕	在池	(5.6)	3.2	1.0	SE106	
第424器19	土師質土器	甕	在池	(8.0)	5.6	1.6	SE106	
第424器20	土師質土器	甕	在池	(8.6)	4.9	1.6	SE106	
第424器21	土師質土器	甕	在池	9.6	5.4	2.8	SE106	
第424器22	土師質土器	甕	在池	10.0	5.0	1.9	SE106	
第424器23	土師質土器	甕	在池	(10.4)	5.2	2.2	SE106	
第424器24	土師質土器	耳血	在池	(2.5)	1.7	—	SE106	
第424器25	土師質土器	樽台	在池	—	(8.0)	—	SE106	
第424器26	瓦質土器	穴鉢	在池	—	—	—	SE106	
第426器	瓦質土器	甕	在池	(12.0)	—	—	SE203	
第428器1	京磁系土師器	甕	在池	—	—	—	SE119	
第428器2	京磁系土師器	甕	在池	—	—	—	SE119	
第428器3	土師質土器	甕	在池	(8.0)	2.0	1.4	SE119	
第428器4	土師質土器	甕	在池	6.2	4.0	1.5	SE119	
第428器5	土師質土器	甕	在池	(12.4)	6.4	3.1	SE119	
第428器6	土師質土器	甕	在池	(12.6)	(6.6)	3.5	SE119	
第428器7	地師陶器	甕	甕前	—	—	—	SE119	
第431器1	白磁	甕	中国	—	—	—	SE249	
第431器2	白磁	小杯	中国	—	3.4	—	SE249	
第431器3	質磁	甕	中国(龍泉窯)	—	(5.3)	—	SE249	
第431器4	土師質土器	小皿	右掛	(4.0)	2.9	1.0	SE249	
第431器5	土師質土器	甕	在池	7.5	6.6	1.8	SE249	
第431器6	土師質土器	樽台	在池	—	5.6	—	SE249	
第431器7	瓦質土器	樽鉢	在池	—	—	—	SE249	
第433器1	土師質土器	甕	在池	10.8	6.4	2.5	SE228	
第433器2	土師質土器	甕	在池	11.8	6.8	2.9	SE228	
第435器1	白磁	不明	中国	—	—	—	SE142	把手
第435器2	地師陶器	樽鉢	甕前	—	—	—	SE142	
第437器1	陶器	郎窑	瀬戸黄釉	—	—	—	SE259	
第437器2	土師質土器	甕	在池?	—	5.6	—	SE259	白色系
第440器	地師陶器	甕	甕前	—	(35.4)	—	SE238	
第445器1	土師質土器	甕	在池	7.6	4.1	1.9	SK134	39
第445器2	土師質土器	甕	在池	7.3	4.3	1.7	SK134	39
第445器3	土師質土器	甕	在池	7.5	4.7	1.7	SK134	39
第445器4	土師質土器	甕	在池	7.5	5.4	1.5	SK134	39
第445器5	土師質土器	甕	在池	7.5	4.5	1.9	SK134	39

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑥)

洋館No	器 種	生産地	法定(単位cm)			遺物名	備 考	図録 No
			口徑	底徑	器高			
第445回6	土師質土器	唐	在池	7.5	4.4	1.6	SK134	39
第445回7	土師質土器	唐	在池	7.5	4.6	1.6	SK134	39
第445回8	土師質土器	唐	在池	7.4	4.2	1.5	SK134	39
第445回9	土師質土器	唐	在池	7.4	4.4	1.7	SK134	39
第445回10	土師質土器	唐	在池	7.3	4.4	1.5	SK134	39
第445回11	土師質土器	唐	在池	11.3	5.9	2.9	SK134	39
第445回12	土師質土器	唐	在池	11.0	5.4	2.8	SK134	39
第445回13	土師質土器	唐	在池	11.2	5.8	3.1	SK134	39
第445回14	土師質土器	唐	在池	11.3	5.9	3.3	SK134	39
第445回15	土師質土器	唐	在池	11.3	5.4	3.2	SK134	39
第445回16	土師質土器	唐	在池	11.2	5.9	3.1	SK134	39
第445回1	京都系土師器	唐	在池	(10.2)	--	--	SK301	39
第445回2	土師質土器	唐	在池	(12.2)	--	--	SK301	39
第445回3	土師質土器	唐	在池	11.5	6.4	3.2	SK301	39
第451回1	土師質土器	坪	在池	8.6	6.6	2.1	SK306	
第451回2	土師質土器	坪	在池	13.0	9.5	3.8	SK306	
第451回3	土師質土器	坪	在池	12.9	8.0	3.9	SK306	
第453回1	瓦器	唐	中国(景德鎮窯)	--	--	--	SK113	
第453回2	青花	唐	中国(景德鎮窯)	(8.6)	(4.2)	2.2	SK113	
第453回3	青花	唐	中国(景德鎮窯)	(14.8)	(8.6)	3.3	SK113	
第453回4	白磁	唐	中国	(12.0)	(6.2)	2.8	SK113	
第453回5	京都系土師器	唐	在池	8.2	--	1.9	SK113	
第453回6	京都系土師器	唐	在池	8.2	--	1.8	SK113	
第453回7	京都系土師器	唐	在池	8.4	--	2.0	SK113	
第453回8	京都系土師器	唐	在池	(8.4)	--	1.7	SK113	
第453回9	京都系土師器	唐	在池	(12.8)	--	2.0	SK113	
第453回10	京都系土師器	唐	在池	(12.6)	--	2.8	SK113	
第453回11	京都系土師器	唐	在池	(12.4)	--	2.4	SK113	
第453回12	京都系土師器	唐	在池	(12.0)	--	2.4	SK113	
第453回13	京都系土師器	唐	在池	(12.4)	--	2.5	SK113	
第453回14	京都系土師器	唐	在池	12.8	--	2.6	SK113	
第453回15	京都系土師器	唐	在池	(13.0)	--	2.4	SK113	
第453回16	京都系土師器	唐	在池	(13.2)	--	2.3	SK113	
第453回17	京都系土師器	唐	在池	(13.4)	--	2.3	SK113	
第453回18	京都系土師器	唐	在池	(13.4)	--	2.3	SK113	
第453回19	京都系土師器	唐	在池	12.9	--	2.5	SK113	
第453回20	京都系土師器	唐	在池	13.0	--	2.1	SK113	
第453回21	京都系土師器	唐	在池	(13.6)	--	--	SK113	
第453回22	京都系土師器	唐	在池	(13.2)	--	2.3	SK113	
第453回23	京都系土師器	唐	在池	(13.6)	--	1.9	SK113	内面に書付
第454回1	土師質土器	唐	在池	(8.2)	2.1	1.9	SK113	
第454回2	土師質土器	唐	在池	8.0	4.2	2.3	SK113	
第454回3	土師質土器	唐	在池	(8.2)	4.8	2.5	SK113	
第454回4	土師質土器	唐	在池	(8.8)	4.8	2.5	SK113	
第454回5	土師質土器	唐	在池	(9.4)	4.7	2.0	SK113	
第454回6	土師質土器	唐	在池	(10.9)	(5.0)	2.5	SK113	
第454回7	土師質土器	唐	在池	(11.4)	(5.3)	3.3	SK113	
第454回8	土師質土器	唐	在池	(11.4)	(5.6)	3.3	SK113	
第454回9	土師質土器	唐	在池	(12.6)	(6.4)	3.2	SK113	
第454回10	土師質土器	唐	在池	(12.0)	(6.7)	2.9	SK113	
第454回11	土師質土器	唐	在池	(13.0)	(6.1)	2.8	SK113	
第454回12	土師質土器	唐	在池	(14.6)	(6.8)	3.2	SK113	
第454回13	土師質土器	唐	在池	(12.0)	6.2	3.7	SK113	
第454回14	土師質土器	唐	在池	--	5.4	--	SK113	
第454回15	土師質土器	唐	在池	(12.8)	--	--	SK113	
第454回16	瓦質土器	風炉 or 火鉢	在池	--	--	--	SK113	
第454回17	瓦質土器	火鉢	在池	(39.4)	--	--	SK113	
第455回2	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	14.1	SK113	
第455回3	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	14.1	SK113	
第456回1	白磁	唐	中国	(13.5)	(7.6)	2.7	SK120	
第456回2	土師質土器	唐	在池	(8.4)	(4.9)	1.9	SK120	
第456回3	土師質土器	唐	在池	(9.5)	(5.3)	2.6	SK120	
第456回4	土師質土器	唐	在池	(13.1)	(6.6)	3.3	SK120	
第456回5	土師質土器	唐	在池	13.2	7.1	2.7	SK120	
第456回6	土師質土器	唐	在池	--	(6.0)	--	SK120	
第456回7	土師質土器	唐	在池	11.3	5.8	2.7	SK120	
第456回8	土師質土器	烟台	在池	--	(10.2)	--	SK120	
第456回9	土師質土器	烟台	在池	7.6	5.8	5.8	SK120	
第459回1	白磁	唐?	中国	--	--	--	SK124	
第459回2	不明	唐?	不明	--	--	--	SK124	
第459回3	京都系土師器	唐	在池	--	--	--	SK124	
第459回4	土師質土器	唐	在池	(7.6)	3.6	1.5	SK124	
第459回5	土師質土器	唐	在池	--	4.4	--	SK124	
第459回6	土師質土器	唐	在池	--	5.4	--	SK124	
第459回7	土師質土器	唐	在池	--	6.4	--	SK124	

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類⑤)

神IDNo.	部 類	生産地	流量 (単位cm)			設備名	備 考	国産 No.
			口徑	流量	器底			
第45608	瓦質土器	焼	在池	--	--	--	SK124	
第45609	瓦質土器	器?	在池	--	--	--	SK124	
第456010	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK124	
第45601	青磁	瓶	中国(魯南)	(12.4)	--	--	SK143	
第45602	陶磁	瓶	朝鮮王朝	--	(17.6)	--	SK143	角德利
第45603	京師系土器	器	在池	--	--	--	SK143	
第45604	京師系土器	器	在池	--	--	--	SK143	
第45605	京師系土器	器	在池	--	--	--	SK143	
第45606	京師系土器	器	在池	(10.6)	--	2.1	SK143	
第45607	土師系土器	器	在池	--	--	--	SK143	
第45608	土師系土器	器	在池	8.0	4.1	2.1	SK143	
第45609	土師系土器	器	在池	(9.0)	4.3	2.0	SK143	
第45610	土師系土器	器	在池	(8.4)	(4.2)	2.2	SK143	
第45611	土師系土器	器	在池	(9.4)	5.2	1.9	SK143	
第45612	土師系土器	器	在池	(9.4)	(5.2)	1.6	SK143	
第45613	土師系土器	器	在池	(10.2)	(5.8)	2.4	SK143	
第45614	土師系土器	器	在池	(11.2)	(6.0)	3.4	SK143	
第45615	土師系土器	器	在池	(11.4)	(6.0)	2.5	SK143	
第45616	土師系土器	器	在池	(11.1)	(5.8)	2.8	SK143	
第45617	土師系土器	器	在池	(11.0)	(6.2)	3.4	SK143	
第45618	土師系土器	器	在池	(11.8)	(6.0)	2.5	SK143	
第45619	土師系土器	器	在池	(12.0)	(5.4)	2.7	SK143	
第45620	土師系土器	器	在池	11.9	5.8	3.5	SK143	
第45621	土師系土器	器	在池	(11.8)	(6.0)	2.6	SK143	
第45622	土師系土器	器	在池	15.4	8.4	3.8	SK143	
第45623	土師系土器	器	在池	(12.4)	(6.2)	2.6	SK143	
第45624	土師系土器	器	在池	--	4.4	--	SK143	
第45625	土師系土器	器	在池	--	4.4	--	SK143	
第45626	土師系土器	器	在池	--	(6.1)	--	SK143	
第45627	土師系土器	器	在池	--	(7.2)	--	SK143	白色系
第45628	陶磁	瓶	朝鮮王朝	--	--	--	SK143	
第45629	瓦質土器	磨鉢	在池	28.8	14.4	10.1	SK143	38
第45630	地神陶器	器	備前	--	--	--	SK143	
第45634	地神陶器	磨鉢	備前	--	--	--	SK143	
第45635	地神陶器	磨鉢	備前	(31.6)	(14.2)	12.0	SK143	
第46601	青花	瓶	中国(魯南)	(10.4)	--	--	SK258	E群(静岡小皿)
第46602	地神陶器	鉢	中国南部	(20.4)	--	--	SK258	群B類
第46603	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK258	
第46701	青花	小杯?	中国(魯南)	--	--	--	SK308	
第46702	青花	瓶	中国(魯南)	--	--	--	SK308	
第46801	京師系土器	器	在池	(10.4)	--	2.5	SK117	
第46802	京師系土器	器	在池	(11.0)	--	2.4	SK117	
第46803	京師系土器	器	在池	(12.2)	--	2.0	SK117	
第46804	土師系土器	器	在池	(12.4)	--	--	SK117	
第46805	土師系土器	器	在池	(11.4)	5.4	2.8	SK117	
第46806	土師系土器	器	在池	(13.2)	6.4	3.4	SK117	
第46807	土師系土器	器	在池	(11.6)	(5.8)	2.5	SK117	
第47001	地神陶器	器	備前	--	--	--	SK307	
第47201	地神陶器	磨鉢	備前	(30.2)	--	--	SK131	
第47202	地神陶器	磨鉢	備前	(26.2)	--	--	SK131	
第47203	地神陶器	磨鉢	備前	(20.0)	10.5	(8.0)	SK131	
第47301	陶磁	器 or 鉢	中国?	7.2	--	--	SK131	
第47302	瓦質土器	火鉢	在池	--	(25.6)	--	SK131	
第47303	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK131	
第47304	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK131	
第47305	瓦質土器	火鉢	在池	--	--	--	SK131	
第47501	青花	瓶	中国(魯南)	--	--	--	包含群	C群(蓮子桶)
第47502	青花	瓶	中国(魯南)	(13.4)	--	--	包含群	C群(蓮子桶)
第47503	青花	器	中国(魯南)	(9.6)	(5.0)	4.0	包含群	
第47504	青花	器	中国(魯南)	12.2	6.0	2.1	包含群	
第47505	青花	器	中国(魯南)	(10.2)	(3.3)	2.8	包含群	
第47506	青花	器	中国(魯南)	--	(7.0)	--	包含群	
第47507	白磁	小杯	中国(魯南)	--	(2.8)	--	包含群	
第47508	磁南五彩	小皿	中国	--	(3.2)	--	包含群	白磁小皿
第47509	磁南五彩	小皿	中国	--	(3.4)	--	包含群	白磁小皿
第47510	青花	小杯	中国(魯南)	--	(2.8)	--	包含群	
第47511	青花	瓶	中国(魯南)	--	(7.1)	--	包含群	
第47512	青磁	小皿	中国	--	--	--	包含群	
第47513	青磁	瓶	中国	--	(7.2)	--	包含群	
第47514	青花	器	中国(魯南)	--	(8.4)	--	包含群	
第47515	青花	瓶	中国(魯南)	--	5.0	--	包含群	
第47516	青花	瓶	中国(魯南)	--	(5.2)	--	包含群	
第47517	青磁	瓶	中国	(14.2)	--	--	包含群	
第47518	青磁	瓶	中国	(15.0)	--	--	包含群	
第47519	青磁	瓶	中国	13.2	5.4	5.0	包含群	

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類)

発掘No.	器種		生産地	遺品(単位:cm)			遺構名	備考	図録No.
				口径	底径	器高			
第475図20	白磁	小皿	中国	(8.8)	(4.9)	2.2	惣倉前		
第475図21	白磁	皿	中国	(15.8)	(9.0)	4.2	惣倉前		
第475図22	白磁	皿	中国	--	3.0	--	惣倉前		
第475図23	青磁	椀	中国	--	(6.6)	--	惣倉前		
第475図24	白磁	皿	中国	--	(6.4)	--	惣倉前		
第475図25	白磁	皿	中国	--	5.0	--	惣倉前		
第476図1	陶器	天目碗	中国	--	--	--	惣倉前		
第476図2	陶器	鉢	中国	--	--	--	惣倉前	雑物	
第476図3	陶器	皿	中国	--	--	--	惣倉前	雑物	
第476図4	陶器	皿	中国	--	--	--	惣倉前	雑物	
第476図5	陶器	皿	中国	(7.4)	--	--	惣倉前	雑物	
第476図6	陶器	皿	中国	(12.8)	(5.4)	2.7	惣倉前	灰皿	
第476図7	陶器	壺	中国	--	--	--	惣倉前	雑物	
第476図8	磁器	瓶	中国	--	--	--	惣倉前	肥子	
第476図9	磁器	瓶	中国	--	--	--	惣倉前	肥子 灰皿	
第476図10	陶器	甕?	中国	--	--	--	惣倉前		
第476図11	黒南三彩	小皿	中国	--	--	--	惣倉前	骨物小皿	
第476図12	焼埴陶器	皿	中国	(10.2)	--	--	惣倉前	雑物	
第476図13	陶器	壺	中国南部?	(18.0)	--	--	惣倉前		
第476図14	焼埴陶器	鉢	中国南部	(19.2)	--	--	惣倉前		
第476図15	焼埴陶器	鉢	中国南部	--	--	--	惣倉前		
第476図16	焼埴陶器	鉢	中国南部	--	--	--	惣倉前		
第476図17	焼埴陶器	鉢	中国南部	--	--	--	惣倉前		
第476図18	焼埴陶器	深鉢	中国南部	--	--	--	惣倉前		
第476図19	焼埴陶器	鉢	中国南部	--	--	--	惣倉前		
第476図20	焼埴陶器	鉢	中国南部	--	--	--	惣倉前		
第476図21	焼埴陶器	壺	中国南部	(25.6)	--	--	惣倉前		
第476図22	土師貫土器	壺	タイ?	--	--	--	惣倉前	ハンネラ?	
第476図23	土師貫土器	壺	タイ?	--	--	--	惣倉前	ハンネラ?	
第476図24	土師貫土器	壺	タイ?	--	--	--	惣倉前	ハンネラ?	
第476図25	土師貫土器	壺	タイ?	--	--	--	惣倉前	ハンネラ?	
第476図26	陶器	小杯 or 皿	不明	--	6.8	--	惣倉前		
第476図27	陶器	碗	朝鮮王朝	--	--	--	惣倉前	海三島	
第476図28	陶器	小杯	朝鮮王朝	--	4.2	--	惣倉前		
第476図29	陶器	碗	朝鮮王朝	(14.2)	--	--	惣倉前	舟地利	
第476図30	陶器	皿	朝鮮王朝	--	4.0	--	惣倉前	砂目	
第477図1	黒南三彩	磁形水注	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図2	黒南三彩	磁形水注	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図3	黒南三彩	磁形水注	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図4	黒南三彩	磁形水注	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図5	黒南三彩	水注	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図6	黒南三彩	磁形水注	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図7	黒南三彩	不明	中国	--	--	--	惣倉前		
第477図8	黒南三彩	不明	中国	--	--	--	惣倉前		
第478図1	陶器	天目碗	瀬戸焼	--	--	--	惣倉前		
第478図2	陶器	天目碗	瀬戸焼	--	--	--	惣倉前		
第478図3	陶器	天目碗	瀬戸焼	--	--	--	惣倉前		
第478図4	陶器	天目碗	瀬戸焼	(11.4)	--	--	惣倉前		
第478図5	陶器	天目碗	瀬戸焼	(10.5)	--	--	惣倉前		
第478図6	陶器	天目碗	瀬戸焼	--	4.1	--	惣倉前		
第478図7	陶器	天目碗	瀬戸焼	--	3.8	--	惣倉前		
第478図8	陶器	鉢	瀬戸焼	(8.0)	(3.6)	3.1	惣倉前		
第478図9	陶器	碗 or 鉢	瀬戸焼	--	--	--	惣倉前	本野	
第478図10	陶器	碗	瀬戸焼	--	--	--	惣倉前		
第478図11	青磁	碗	中国	(12.4)	--	--	惣倉前		
第478図12	磁器	小杯	肥前(唐津)	(6.0)	4.3	2.7	惣倉前	焼成灰色物	
第478図13	磁器	皿	肥前(唐津)	(14.8)	--	--	惣倉前	砂目	
第478図14	焼埴陶器	浅鉢	備前	--	--	--	惣倉前		
第478図15	陶器	碗	朝鮮王朝	--	(4.6)	--	惣倉前		
第478図16	陶器	碗	肥前(唐津)	--	--	--	惣倉前		
第478図17	陶器	小皿	肥前(唐津)	--	3.0	--	惣倉前	胎土目	
第478図18	陶器	皿	肥前(唐津)	--	4.4	--	惣倉前	砂目	
第479図1	京磁系土師器	皿	在池	7.6	--	1.5	惣倉前		
第479図2	京磁系土師器	皿	在池	8.6	--	1.6	惣倉前		
第479図3	京磁系土師器	皿	在池	8.8	--	2.3	惣倉前		
第479図4	京磁系土師器	皿	在池	8.6	--	2.0	惣倉前		
第479図5	京磁系土師器	皿	在池	8.7	--	2.5	惣倉前		
第479図6	京磁系土師器	皿	在池	8.6	--	2.1	惣倉前		
第479図7	京磁系土師器	皿	在池	8.9	--	1.9	惣倉前		
第479図8	京磁系土師器	皿	在池	10.4	--	1.8	惣倉前		
第479図9	京磁系土師器	皿	在池	10.4	--	2.0	惣倉前		
第479図10	京磁系土師器	皿	在池	10.2	--	2.1	惣倉前		
第479図11	京磁系土師器	皿	在池	10.3	--	2.3	惣倉前		
第479図12	京磁系土師器	皿	在池	10.0	--	2.3	惣倉前		
第479図13	京磁系土師器	皿	在池	10.2	--	1.9	惣倉前		

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

発出No.	器 種	生産地	測定(単位cm)			遺物名	備 考	図録 No.
			口徑	底径	高さ			
第4792014	京都系土師器	甕	在焼	10.9	—	2.5	惣倉形	
第4792015	京都系土師器	甕	在焼	11.2	—	2.4	惣倉形	
第4792016	京都系土師器	甕	在焼	10.8	—	2.3	惣倉形	
第4792017	京都系土師器	甕	在焼	10.4	—	2.1	惣倉形	
第4792018	京都系土師器	甕	在焼	(11.6)	—	2.7	惣倉形	
第4792019	京都系土師器	甕	在焼	12.6	—	2.6	惣倉形	
第4792020	京都系土師器	甕	在焼	13.2	—	2.1	惣倉形	
第4792021	京都系土師器	甕	在焼	12.8	—	2.2	惣倉形	
第4792022	京都系土師器	甕	在焼	13.0	—	2.3	惣倉形	
第4792023	京都系土師器	甕	在焼	12.8	—	2.2	惣倉形	
第4792024	京都系土師器	甕	在焼	12.8	—	2.4	惣倉形	
第4792025	京都系土師器	甕	在焼	13.2	—	2.2	惣倉形	
第4792026	京都系土師器	甕	在焼	13.0	—	2.3	惣倉形	
第4792027	京都系土師器	甕	在焼	13.0	—	2.1	惣倉形	
第4792028	京都系土師器	甕	在焼	12.4	—	2.6	惣倉形	
第4792029	京都系土師器	甕	在焼	12.8	—	2.7	惣倉形	
第4792030	京都系土師器	甕	在焼	(12.7)	—	2.3	惣倉形	
第4792031	京都系土師器	甕	在焼	12.6	—	2.5	惣倉形	
第4792032	京都系土師器	甕	在焼	13.4	—	2.7	惣倉形	
第4792033	京都系土師器	甕	在焼	13.2	—	2.2	惣倉形	
第4792034	京都系土師器	甕	在焼	13.0	—	2.2	惣倉形	
第4792035	京都系土師器	甕	在焼	12.8	—	2.3	惣倉形	
第4792036	京都系土師器	甕	在焼	13.2	—	2.1	惣倉形	
第4792037	京都系土師器	甕	在焼	13.2	—	2.0	惣倉形	
第4792038	京都系土師器	甕	在焼	14.1	—	2.7	惣倉形	
第4792039	京都系土師器	甕	在焼	14.0	—	2.7	惣倉形	
第4792040	京都系土師器	甕	在焼	14.0	—	1.8	惣倉形	
第4792041	京都系土師器	甕	在焼	(14.6)	—	—	惣倉形	
第4792042	京都系土師器	甕	在焼	15.6	—	2.4	惣倉形	
第4792043	京都系土師器	甕	在焼	15.2	—	2.6	惣倉形	
第480001	土師質土器	小皿	在焼	3.6	2.3	1.2	惣倉形	
第480002	土師質土器	小皿	在焼	4.6	3.2	1.0	惣倉形	
第480003	土師質土器	小皿	在焼	4.6	3.0	1.1	惣倉形	
第480004	土師質土器	小皿	在焼	4.8	3.5	1.2	惣倉形	
第480005	土師質土器	小皿	在焼	5.0	2.6	1.6	惣倉形	
第480006	土師質土器	小皿	在焼	4.7	2.5	1.2	惣倉形	
第480007	土師質土器	小皿	在焼	5.4	3.1	1.4	惣倉形	
第480008	土師質土器	小皿	在焼	4.9	3.2	1.5	惣倉形	
第480009	土師質土器	甕	在焼	5.5	2.5	2.0	惣倉形	
第480010	土師質土器	甕	在焼	7.2	4.7	1.6	惣倉形	
第480011	土師質土器	甕	在焼	7.8	5.0	1.5	惣倉形	
第480012	土師質土器	甕	在焼	7.6	4.0	1.6	惣倉形	
第480013	土師質土器	甕	在焼	7.6	4.7	1.9	惣倉形	
第480014	土師質土器	甕	在焼	8.5	5.0	2.0	惣倉形	
第480015	土師質土器	甕	在焼	8.7	4.6	1.6	惣倉形	
第480016	土師質土器	甕	在焼	8.3	5.5	2.2	惣倉形	
第480017	土師質土器	甕	在焼	8.4	5.6	2.2	惣倉形	
第480018	土師質土器	甕	在焼	7.5	4.7	2.4	惣倉形	
第480019	土師質土器	甕	在焼	8.1	4.4	2.1	惣倉形	
第480020	土師質土器	甕	在焼	9.0	4.7	1.8	惣倉形	
第480021	土師質土器	甕	在焼	9.8	5.6	1.6	惣倉形	
第480022	土師質土器	甕	在焼	8.8	5.0	1.4	惣倉形	
第480023	土師質土器	甕	在焼	9.2	5.0	2.1	惣倉形	
第480024	土師質土器	甕	在焼	9.8	5.0	1.9	惣倉形	
第480025	土師質土器	甕	在焼	9.0	5.3	2.1	惣倉形	
第480026	土師質土器	甕	在焼	10.2	5.4	3.1	惣倉形	
第480027	土師質土器	甕	在焼	11.4	5.0	3.2	惣倉形	
第480028	土師質土器	甕	在焼	11.4	6.8	2.3	惣倉形	
第480029	土師質土器	甕	在焼	11.0	5.8	2.5	惣倉形	
第480030	土師質土器	甕	在焼	11.0	5.8	2.2	惣倉形	
第480031	土師質土器	甕	在焼	(11.2)	(6.0)	2.7	惣倉形	
第480032	土師質土器	甕	在焼	11.9	5.1	3.4	惣倉形	
第480033	土師質土器	甕	在焼	11.6	6.0	2.6	惣倉形	
第480034	土師質土器	甕	在焼	(11.4)	(6.0)	2.6	惣倉形	
第480035	土師質土器	甕	在焼	(11.4)	(6.0)	3.3	惣倉形	
第480036	土師質土器	甕	在焼	11.0	4.4	3.4	惣倉形	
第480037	土師質土器	甕	在焼	(11.6)	(6.0)	3.3	惣倉形	
第481001	土師質土器	甕	在焼	12.2	5.8	2.8	惣倉形	
第481002	土師質土器	甕	在焼	(12.0)	6.0	2.9	惣倉形	
第481003	土師質土器	甕	在焼	12.0	6.6	2.7	惣倉形	
第481004	土師質土器	甕	在焼	12.0	6.6	3.0	惣倉形	
第481005	土師質土器	甕	在焼	12.6	5.8	3.2	惣倉形	
第481006	土師質土器	甕	在焼	13.0	5.8	2.8	惣倉形	
第481007	土師質土器	甕	在焼	12.0	6.0	2.7	惣倉形	
第481008	土師質土器	甕	在焼	11.6	6.0	2.9	惣倉形	

白磁系

5次調査B区遺物観察表(土器・陶磁器類18)

探検No.	器 種	生産地	法量(単位cm)			遺物名	備 考	記録No.
			口径	底径	高さ			
第461回9	土師質土器	産	在池	11.7	6.4	3.0	惣念部	
第461回10	土師質土器	産	在池	12.0	7.0	3.0	惣念部	
第461回11	土師質土器	産	在池	11.9	5.5	3.2	惣念部	
第461回12	土師質土器	産	在池	11.7	6.5	3.0	惣念部	
第461回13	土師質土器	産	在池	11.7	6.1	2.9	惣念部	
第461回14	土師質土器	産	在池	(12.0)	(6.4)	2.9	惣念部	
第461回15	土師質土器	産	在池	(12.6)	(6.2)	2.7	惣念部	
第461回16	土師質土器	産	在池	12.4	5.9	2.9	惣念部	
第461回17	土師質土器	産	在池	12.6	5.8	3.2	惣念部	
第461回18	土師質土器	産	在池	13.4	6.5	3.2	惣念部	穿孔あり
第461回19	土師質土器	産	在池	18.4	9.6	4.5	惣念部	
第462回1	土師質土器	産	在池	9.6	6.2	2.2	惣念部	
第462回2	土師質土器	産	在池	10.4	6.0	3.1	惣念部	
第462回3	土師質土器	産	在池	11.0	6.6	2.4	惣念部	
第462回4	土師質土器	産	在池	12.2	7.8	2.6	惣念部	
第462回5	土師質土器	産	在池	12.1	6.9	2.3	惣念部	
第462回6	土師質土器	産	在池	12.0	6.0	3.0	惣念部	
第462回7	土師質土器	産	在池	12.4	8.8	2.3	惣念部	
第462回8	土師質土器	産	在池	12.0	8.5	3.0	惣念部	
第462回9	土師質土器	産	在池	7.2	6.4	1.5	惣念部	
第462回10	土師質土器	産	在池	8.2	6.6	1.4	惣念部	
第462回11	土師質土器	産	在池	8.0	7.0	2.1	惣念部	
第462回12	土師質土器	産	在池	8.9	7.0	1.1	惣念部	
第462回13	土師質土器	弁	在池	8.4	6.2	2.2	惣念部	
第462回14	土師質土器	弁	在池	7.0	5.1	2.6	惣念部	
第462回15	土師質土器	弁	在池	8.4	5.8	2.3	惣念部	
第462回16	土師質土器	弁	在池	7.5	5.8	2.5	惣念部	
第462回17	土師質土器	弁	在池	12.0	9.0	2.7	惣念部	
第462回18	土師質土器	弁	在池	12.0	10.0	3.2	惣念部	穿孔あり
第462回19	土師質土器	弁	在池	12.7	8.8	3.4	惣念部	
第463回1	土師質土器	産	在池	(5.5)	3.0	1.5	惣念部	
第463回2	土師質土器	産	在池	(4.3)	(4.0)	1.9	惣念部	
第463回3	土師質土器	産	在池	4.8	4.0	1.8	惣念部	
第463回4	土師質土器	産	在池	(5.2)	(2.8)	1.7	惣念部	
第463回5	土師質土器	産	在池	(4.9)	3.7	1.8	惣念部	
第463回6	土師質土器	産	在池	6.0	4.4	1.8	惣念部	
第463回7	土師質土器	産	在池	(6.2)	(4.0)	2.0	惣念部	
第463回8	土師質土器	耳蓋	在池	5.5	3.2	1.8	惣念部	
第463回9	土師質土器	耳蓋	在池	(5.4)	3.5	2.2	惣念部	
第463回10	土師質土器	産	在池	6.8	4.4	2.6	惣念部	
第463回11	土師質土器	燗台	在池	8.8	—	—	惣念部	
第463回12	土師質土器	燗台	在池	—	(7.2)	—	惣念部	
第463回13	土師質土器	燗台	在池	8.4	7.6	6.4	惣念部	
第463回14	瓦質土器	鉢	在池?	—	—	—	惣念部	
第463回15	瓦質土器	鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第463回16	瓦質土器	鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第463回17	瓦質土器	鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回1	瓦質土器	鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回2	瓦質土器	鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回3	瓦質土器	鉢	在池	(25.4)	—	—	惣念部	
第464回4	瓦質土器	鉢	在池	(35.0)	—	—	惣念部	
第464回5	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回6	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回7	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回8	瓦質土器	火鉢	在池	(33.0)	—	—	惣念部	
第464回9	瓦質土器	火鉢	在池	(35.0)	—	—	惣念部	
第464回10	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回11	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回12	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回13	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第464回14	瓦質土器	火鉢	在池	—	(23.6)	—	惣念部	
第464回15	瓦質土器	火鉢	在池	—	—	—	惣念部	
第465回1	横神陶器	大甕	燗前	(41.0)	—	—	惣念部	
第465回2	須恵質土器	甕	不明	(22.6)	—	—	惣念部	
第490回1	縄文土器	甕	—	—	—	—	惣念部	轟日式
第490回2	縄文土器	鉢	—	—	—	—	惣念部	SO145 北久保山式
第490回3	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	惣念部	SK119 別荘突帯文
第490回4	縄文土器	浅鉢	—	—	—	—	惣念部	SO310 渡林口縁
第490回5	弥生土器	甕 or 釜台	—	13.6	—	—	惣念部	SO145
第490回6	弥生土器	甕	—	—	—	—	惣念部	SE228
第490回7	土師質土器	甕	—	(20.0)	—	—	惣念部	
第490回8	土師質土器	甕	—	(20.0)	—	—	惣念部	SO008
第490回9	土師質土器	鉢	—	(12.8)	—	—	惣念部	トレンチ
第490回10	土師質土器	鉢	—	(12.2)	—	—	惣念部	トレンチ
第490回11	須恵器	甕?	—	—	12.4	—	惣念部	
第490回12	磁器	—	—	—	—	—	惣念部	SO310
第490回13	磁器	—	—	—	—	—	惣念部	SK202
第490回14	磁器	甕	—	(6.8)	—	—	惣念部	SK119 横神陶器

5次調査B区遺物観察表(土製品①)

探取No	品名	材質	形状	寸法(単位cm)				重量(g)	発掘番号	備考	図録No
				長さ	幅	厚さ	孔径				
0020001	土埴	土埴質	—	—	—	—	孔径 0.7	—	—	SK102	
0020002	有孔円盤	土埴質	—	径 2.1	厚さ 0.6	孔径 0.6	—	—	—	SK103	
0020003	土埴	土埴質	—	長さ 4.5	幅 1.1	孔径 0.3	5.7	—	—	SK103	
00200016	土埴	土埴質	—	長さ 4.6	—	孔径 0.4	—	—	—	SK114	
00200017	泥埴	土埴質	—	長さ 6.4	幅 3.4	—	—	116.9	—	SK151	
00200018	土埴	土埴質	—	長さ 5.5	—	孔径 0.2	—	—	—	SK151	
00200019	土埴	土埴質	—	長さ 4.3	—	孔径 0.5	—	—	—	SK151	
00200024	土埴	土埴質	—	長さ 5.6	—	孔径 0.8	—	—	—	SK151	
00200025	有孔円盤	土埴質	—	径 2.9	厚さ 0.3	孔径 0.8	—	—	—	SK151	
00200026	有孔円盤	土埴質	—	径 4.7	厚さ 0.3	孔径 0.5	—	—	—	SK151	
00330011	土埴	土埴質	—	長さ 4.3	幅 1.8	孔径 0.9	—	—	—	SK222	
00330013	有孔円盤	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.3	孔径 0.6	—	—	—	SK226	
00361016	土埴	土埴質	—	長さ 6.4	幅 4.3	孔径 1.6	—	115.1	—	SK230	
00360002	土埴	土埴質	—	長さ 4.0	幅 1.2	—	—	—	—	SK242	
00447001	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.2	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447002	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447003	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447004	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.0	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447005	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.9	—	—	—	—	SK170	
00447006	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447007	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447008	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447009	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.9	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447010	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447011	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447012	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447013	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.9	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447014	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447015	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447016	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447017	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447018	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.2	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447019	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.0	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447020	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447021	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447022	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447023	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.0	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447024	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447025	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.0	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447026	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447027	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447028	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447029	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.0	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447030	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447031	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447032	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.8	—	—	—	—	SK170	
00447033	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447034	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447035	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.2	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447036	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447037	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447038	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447039	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.0	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447040	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.2	厚さ 0.7	—	—	—	—	SK170	
00447041	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447042	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.8	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447043	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00447044	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.6	厚さ 0.4	—	—	—	—	SK170	
00447045	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447046	土埴片加工品	土埴質	—	径 2.4	厚さ 0.6	—	—	—	—	SK170	
00447047	土埴片加工品	土埴質	—	径 3.0	厚さ 0.5	—	—	—	—	SK170	
00450011	土埴	土埴質	—	長さ 6.2	幅 2.2	孔径 0.4	—	—	—	SK113	
00450012	土埴	土埴質	—	長さ 6.2	幅 2.4	孔径 0.5	—	—	—	SK124	
00460002	有孔円盤	土埴質	—	径 2.2	厚さ 0.4	孔径 0.5	—	—	—	SK143	
00470006	埴	土埴質	割口	長さ 16.0	幅 9.2	孔径 1.0	—	—	—	SK131	
00470007	埴	土埴質	割口	長さ 11.0	幅 9.0	孔径 4.0	—	—	—	SK131	
00480014	埴	土埴質	割口	—	—	—	—	—	—	惣倉群	
00480001	土埴	土埴質	—	長さ 2.7	幅 1.1	孔径 0.4	—	—	—	惣倉群	
00480002	土埴	土埴質	—	長さ 3.4	幅 0.8	孔径 0.3	—	—	—	惣倉群	
00480003	土埴	土埴質	—	長さ 4.2	幅 1.5	孔径 0.4	—	—	—	惣倉群	
00480004	土埴	土埴質	—	長さ 3.7	幅 1.4	孔径 0.4	—	—	—	惣倉群	
00480005	土埴	土埴質	—	長さ 4.4	幅 1.4	孔径 0.3	—	—	—	惣倉群	
00480006	土埴	土埴質	—	長さ 4	幅 1.1	孔径 0.3	—	—	—	惣倉群	
00480007	土埴	土埴質	—	長さ 3.9	幅 1.0	孔径 0.3	—	—	—	惣倉群	
00480008	土埴	土埴質	—	長さ 3.8	幅 1.1	孔径 0.4	—	—	—	惣倉群	

5次調査B区道物観察表(土製品②)

標記No.	品名	材質	部位	寸法(単位cm)							重量(g)	遺物名	備考	図版No.
				直径	口径	高さ	底径	厚さ	口径	底径				
第487回9	土師	土師質	---	直径	4.3	口径	1.2	高さ	0.5	---	---	---	---	
第487回10	土師	土師質	---	直径	4.7	口径	1.3	高さ	0.2	---	---	---	---	
第487回11	土師	土師質	---	直径	4.5	口径	1.4	高さ	0.7	---	---	---	---	
第487回12	土師	土師質	---	直径	3.2	口径	1.2	高さ	0.3	---	---	---	---	
第487回13	土師	土師質	---	直径	4.6	口径	1.6	高さ	0.5	---	---	---	---	
第487回14	土師	土師質	---	直径	4.5	口径	1.2	高さ	0.4	---	---	---	---	
第487回15	土師	土師質	---	直径	5.5	口径	1.2	高さ	0.3	---	---	---	---	
第487回16	土師	土師質	---	直径	5.8	口径	1.3	高さ	0.3	---	---	---	---	
第487回17	土師	土師質	---	直径	5.7	口径	1.4	高さ	0.3	---	---	---	---	
第487回18	土師	土師質	---	直径	5.3	口径	1.0	高さ	0.4	---	---	---	---	
第487回19	土師	土師質	---	直径	6	口径	1.3	高さ	0.4	---	---	---	---	
第487回20	土師	土師質	---	直径	7.2	口径	1.4	高さ	0.4	---	---	---	---	
第487回21	土師	土師質	---	直径	3.5	口径	2.0	高さ	0.4	---	---	---	---	
第487回22	有孔円盤	土師質	---	径	2.5	厚さ	0.4	孔径	0.5	---	---	---	---	
第487回26	土器片加工品	土師質	---	径	3.2	厚さ	0.9	---	---	---	---	---	京都系土師器未加工	
第487回27	土器片加工品	瓦質	---	径	3.7	厚さ	0.7	---	---	---	---	---	---	
第487回28	土器片加工品	瓦質	---	径	2.7	厚さ	0.9	---	---	---	---	---	---	
第487回29	土器片加工品	土師質	---	径	3.2	厚さ	1.1	---	---	---	---	---	---	

5次調査B区道物観察表(金属製品)

標記No.	品名	材質	部位	寸法(単位cm)							重量(g)	遺物名	備考	図版No.
				口径	高さ	口径	高さ	口径	高さ	口径				
第255回	短管	真鍮	口径	2.8	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第264回6	小柄	青銅	柄-刀	柄長	6.5	刀長	9.0	---	---	---	---	---	---	---
第269回1	短?	青銅	口縁部	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第269回5	皿	銅	---	直径	7.3	高さ	3.2	---	---	14.8	---	---	---	---
第281回11	小柄	鉄	刀	直径	12.4	高さ	2.2	厚さ	1.3	---	---	---	---	---
第285回17	不明	鉄	---	直径	20.8	高さ	2.4	---	---	---	---	---	---	---
第304回2	鉄皿?	鉄	---	直径	8.2	高さ	1.5	---	---	---	---	---	---	---
第304回1	短打	鉄	---	直径	7.0	高さ	0.6	---	---	---	---	---	---	---
第414回6	杓子	鉄	---	口径	5.8	底径	4.0	器底	---	---	---	---	---	---
第458回2	不明	青銅	---	直径	9.0	高さ	1.5	---	---	---	---	---	---	---
第488回11	短管	真鍮	口径	1.6	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第488回12	短管金具	銅	---	直径	3.0	高さ	3.6	---	---	---	---	---	---	---

5次調査B区道物観察表(石製品)

標記No.	品名	材質	部位	寸法(単位cm)							重量(g)	遺物名	備考	図版No.
				口径	高さ	口径	高さ	口径	高さ	口径				
第363回28	石臼	石	背	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第363回29	石臼	石	背	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第365回4	碓石	不明	---	直径	6.6	高さ	4.8	口径	2.5	145.1	---	---	---	---
第370回8	不明	凝灰岩	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第372回6	碓	凝結凝灰岩	---	直径	6.8	高さ	4.7	口径	1.2	---	---	---	---	---
第372回8	碓石	不明	---	直径	6.2	高さ	4.4	口径	1.4	73.3	---	---	---	---
第414回5	石臼	凝灰岩	下臼	口径	---	底径	16.2	器底	8.6	---	---	---	---	---
第463回3	不明	凝灰岩	---	直径	20.0	高さ	18.5	口径	8.6	---	---	---	---	---
第472回8	石臼	不明	上臼	口径	17.0	底径	19.8	器底	7.0	---	---	---	---	---
第472回9	石臼	不明	上臼	口径	24.0	底径	24.8	器底	6.0	---	---	---	---	---
第485回5	石臼	不明	背	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第485回6	石臼	不明	背	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第485回7	石臼	不明	下臼	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第486回1	石臼	不明	上臼	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第486回2	石臼	不明	上臼	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第486回3	石臼	不明	上臼	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第486回4	石臼	不明	上臼	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第486回5	不明	凝灰岩	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
第487回22	有孔円盤	碓石	---	径	1.9	厚さ	0.4	孔径	0.5	---	---	---	---	---
第487回24	有孔円盤	碓石	---	径	3.5	厚さ	1.0	孔径	0.4	---	---	---	---	---
第487回25	有孔円盤	碓石	---	径	6.9	厚さ	3.3	孔径	1.2	---	---	---	---	---
第487回30	碓石加工品	碓石	---	径	7.2	厚さ	2.5	孔径	0.5	---	---	---	---	---
第488回1	碓	不明	---	直径	7.5	高さ	3.1	口径	1.1	---	---	---	---	---
第488回2	碓	凝結凝灰岩	---	直径	2.4	高さ	3.4	口径	1.3	---	---	---	---	---
第488回3	不明	碓石	---	直径	6.0	高さ	2.1	口径	1.5	---	---	---	---	---
第488回4	碓石	不明	---	直径	3.1	高さ	1.5	口径	1.3	---	---	---	---	---
第488回5	碓石	不明	---	直径	4.1	高さ	2.2	口径	0.8	12.4	---	---	---	---
第488回6	碓石	不明	---	直径	4.5	高さ	2.2	口径	2.2	---	---	---	---	---
第488回7	碓石	灰岩	---	直径	5.2	高さ	4.0	口径	2.4	---	---	---	---	---
第488回8	碓石	灰岩	---	直径	5.3	高さ	3.0	口径	1.4	---	---	---	---	---
第488回9	碓石	不明	---	直径	5.3	高さ	4.3	口径	2.8	104.8	---	---	---	---
第488回10	碓石	不明	---	直径	6.6	高さ	5.3	口径	1.3	76.8	---	---	---	---



5次調査B区遺物観察表(瓦)

探出No.	品名	部 位	寸法(単位:cm)				遺物名	備 考	図版No.
			径	厚さ	幅	厚さ			
図2689 9	軒瓦	瓦当縁	径 9.5	厚さ 1.3	—	—	SD163		
図2689 10	唐	瓦	径 13.2	幅 13.6	厚さ 2.7	—	SD163		
図2692 1	平瓦	瓦	径 14.4	幅 11.5	厚さ 2.1	—	SD145		
図2692 2	平瓦	瓦	径 12.8	幅 110.2	厚さ 2.2	—	SD145		
図2692 3	平瓦	瓦	径 18.6	幅 11.7	厚さ 2.4	—	SD145		
図2692 4	丸瓦	瓦	径 30.3	幅 13.6	厚さ —	—	SD145		
図2697 3	軒平瓦	瓦当縁	瓦	—	幅 —	厚さ —	SD151		
図2697 4	軒平瓦	瓦当縁	瓦	—	幅 —	厚さ 3.9	SD151		
図2697 5	丸瓦	瓦	瓦	—	幅 15.1	厚さ —	SD151		
図2697 6	道具瓦?	瓦	瓦	—	幅 10	厚さ —	SD151		
図2697 7	厚瓦	瓦	瓦	—	幅 —	厚さ —	SD151		
図3729	平瓦	瓦	径 11.5	幅 13.1	厚さ 1.9	—	SK133		
図4149 4	唐	瓦	径 17.4	幅 12.7	厚さ 3.5	—	SE220		
図4639 1	丸瓦	瓦	径 5.2	幅 7.6	厚さ 1.4	—	SK143		
図4749 1	平瓦	瓦	径 7.2	幅 10	厚さ 1.8	—	SK131		
図4749 2	丸瓦	瓦	径 8	幅 7.4	厚さ 1.6	—	SK131		
図4749 3	唐瓦	瓦	径 6	幅 14.2	厚さ 1.8	—	SK131		
図4749 4	平瓦	瓦	径 10.2	幅 10.8	厚さ 1.8	—	SK131		
図4749 5	丸瓦	瓦	径 23.8	幅 14.6	厚さ 1.3	—	SK131		
図4859 3	軒丸瓦	瓦当縁	瓦	径 7.4	幅 11.6	厚さ 1.9	菅倉野		
図4859 4	平瓦	瓦	径 10.2	幅 8.4	厚さ 1.6	—	菅倉野		

5次調査B区遺物観察表(銅銭①)

探出No.	銭名	初録番号	国・正朝名	重さ(g)	直径(cm)	書体	遺物名	備 考	図版No.
図2649 1	元龜通寶	1078	北宋	2.4	2.4	篆書	SD101		
図2649 2	天禧通寶	1017	北宋	3.0	2.5	篆書	SD101		
図2689 7	開元通寶	621	唐	1.5	2.3	篆書	SK102		
図2749	崇寧元寶	1068	北宋	3.2	2.5	篆書	SD106		
図281 1012	洪慶通寶	1368	明	1.9	2.4	篆書	SD145		
図2899	大観通寶	1107	北宋	1.8	2.5	篆書	SD123		
図3039 1	元祐通寶	1086	北宋	2.5	2.5	行書	SD151		
図3039 2	不明	—	—	2.5	2.4	—	SD151		
図3039 3	崇寧元寶	1068	北宋	3.4	2.5	篆書	SD151		
図3039 4	元祐通寶	1086	北宋	2.5	4.1	行書	SD151		
図3039 5	不明	—	—	1.5	2.5	—	SD151	「和通」のみ判読	
図3039 6	天禧通寶	—	北宋	2.4	2.4	篆書	SD151		
図3039 7	開元通寶	621	唐	2.3	2.5	篆書	SD151		
図3039 8	崇寧元寶	1068	北宋	2.2	2.3	篆書	SD151		
図3039 9	崇寧元寶	1068	北宋	2.0	2.3	篆書	SD151		
図3039 10	崇寧元寶	1068	北宋	3.0	2.4	篆書	SD151		
図3039 11	元龜通寶	1078	北宋	2.3	2.4	篆書	SD151		
図3039 12	元龜通寶	1078	北宋	2.4	2.5	行書	SD151		
図3039 13	政和通寶	1111	北宋	2.0	2.3	篆書	SD151		
図3039 14	阜寧通寶	1290	南宋	2.0	2.4	篆書	SD151	背文字「元」	
図3039 15	阜寧元寶	1253	南宋	2.2	2.4	篆書	SD151		
図3069	紹聖元寶	1094	北宋	1.4	2.3	篆書	SD153		
図3179	崇寧元寶	1068	北宋	3.4	2.5	篆書	SK106		
図3749 1	不明	—	—	1.4	2.5	—	SK133		
図3749 2	不明	—	—	1.2	2.3	—	SK133		
図3829	永樂通寶	1408	明	2.5	2.5	篆書	SK230		
図3849	開元通寶	621	唐	2.4	2.3	篆書	SK234		
図3959	宣統通寶	1433	明	2.7	2.5	篆書	SK245		
図4079	元龜通寶	1078	北宋	2.3	2.4	篆書	SK109		
図4089	景徳元寶	1004	北宋	2.6	2.4	篆書	SK141		
図4119	不明	—	—	1.6	2.4	—	SK135		
図4219	崇寧元寶	1064	北宋	2.1	2.4	篆書	SE247		
図4309	阜寧通寶	1038	北宋	2.3	2.4	篆書	SE249		
図4549 4	天聖元寶	1023	北宋	1.4	2.5	篆書	SK113		
図4629	祥符元寶	1009	北宋	0.9	2.4	篆書	SK143		
図4899 1	不明	—	—	0.5	—	—	6 BSP55	「他」のみ判読	
図4899 2	永樂通寶	1408	明	3.0	2.5	篆書	6 BSP102		
図4899 3	咸平元寶	999	北宋	2.8	2.5	篆書	7 CSP19		
図4899 4	開元通寶	621	唐	2.5	2.4	篆書	8 CSP34		
図4899 5	阜寧通寶	1038	北宋	1.9	2.4	篆書	9 DSP05		
図4899 6	阜寧通寶	1038	北宋	2.2	2.4	篆書	9 BSP12		
図4899 7	紹聖元寶	1094	北宋	2.1	2.3	行書	10 CSP02		
図4899 8	夏和光寶	1054	北宋	5.4	2.4	篆書	11 BSP06	2枚が判読	
図4899 9	景祐通寶	1056	北宋	2.3	2.4	篆書	11 BSP12		
図4899 10	阜寧元寶	1034	北宋	3.0	2.5	篆書	11 BSP21		
図4899 11	元龜通寶	1078	北宋	1.9	2.3	篆書	11 BSP21		

5次調査B区遺物観察表(銅銭②)

発掘No	銭名	製造地年	国・王朝名	重量(g)	直径(mm)	形状	遺物名	備考	現蔵No
第489図12	元徳通寶	1076	北宋	2.2	2.4	行貨	11B5P39		
第490図1	天聖元寶	1023	北宋	2.2	2.5	行貨	現金貨		
第490図2	皇寧通寶	1036	北宋	3.0	2.5	行貨	現金貨		
第490図3	皇寧通寶	1036	北宋	2.0	2.4	行貨	現金貨		
第490図4	嘉祐元寶	1054	北宋	2.9	2.5	行貨	現金貨		
第490図5	嘉祐通寶	1056	北宋	2.0	2.4	行貨	現金貨		
第490図6	嘉祐通寶	1056	北宋	1.6	-	行貨	現金貨		
第490図7	熙寧元寶	1066	北宋	2.4	2.3	行貨	現金貨		
第490図8	熙寧元寶	1066	北宋	3.6	2.5	行貨	現金貨		
第490図9	熙寧元寶	1066	北宋	2.2	2.5	行貨	現金貨		
第490図10	元徳通寶	1076	北宋	2.5	2.4	行貨	現金貨		
第490図11	元徳通寶	1076	北宋	2.5	2.4	行貨	現金貨		
第490図12	元徳通寶	1086	明	3.4	2.4	行貨	現金貨		
第490図13	元徳通寶	1086	北宋	2.5	2.4	行貨	現金貨		
第490図14	政和通寶	1111	北宋	2.4	2.5	行貨	現金貨		
第490図15	洪寧通寶	1368	明	3.4	2.4	行貨	現金貨		
第490図16	洪寧通寶	1368	明	2.1	2.3	行貨	現金貨		
第490図17	洪寧通寶	1368	明	1.8	2.4	行貨	現金貨		
第490図18	洪寧通寶	1368	明	2.7	2.4	行貨	現金貨		
第491図1	不明	-	-	0.4	-	-	現金貨	「官」のみ判読	
第491図2	不明	-	-	1.9	-	-	現金貨		
第491図3	不明	-	-	0.7	-	-	現金貨		
第491図4	皇寧通寶	1036	北宋	0.7	-	-	現金貨		
第491図5	大観通寶	1107	北宋	1.4	2.4	行貨	現金貨		
第491図6	不明	-	-	0.9	-	-	現金貨		
第491図7	不明	-	-	0.7	-	-	現金貨	「元」のみ判読	
第491図8	元永通寶		日本	1.1	2.4	-	現金貨	新貨水	
第491図9	皇寧通寶	1036	北宋	0.8	2.4	行貨	現金貨		
第491図10	皇寧通寶	1036	北宋	1.6	2.4	行貨	現金貨		
第491図11	不明	-	-	1.8	2.5	-	現金貨		
第491図12	不明	-	-	1.8	2.3	-	現金貨		
第491図13	不明	-	-	1.4	2.2	-	現金貨		
第491図14	不明	-	-	1.9	2.3	-	現金貨	「官」のみ判読	
第491図15	不明	-	-	2.6	2.4	-	現金貨		
第491図16	朝開通寶	1423	朝鮮王朝	2.0	2.3	-	現金貨		
第491図17	開元通寶	621	唐	4.8	2.5	行貨	現金貨	2枚が付属	
第491図18	開元通寶	621	唐	2.0	2.5	行貨	現金貨		
第491図19	太平通寶	976	北宋	1.7	2.5	行貨	現金貨		
第491図20	景徳元寶	1004	北宋	2.8	2.5	行貨	現金貨		
第491図21	景徳元寶	1004	北宋	2.7	2.5	行貨	現金貨		
第491図22	景徳元寶	1004	北宋	2.1	2.5	行貨	現金貨		
第491図23	景徳元寶	1004	北宋	2.6	2.4	行貨	現金貨		

遺物観察表44  
(8次調査区)

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類①)

品目	種類	生産地	測定(単位cm)			遺物名	備考	図録No.	
			口径	底径	器高				
509	青花	甌	中国	--	--	SD-103			
509	青花	甌	中国	(6.6)	--	SD-103			
509	青花	甌	伊勢織	(5.0)	--	SD-103	底径は高台性		
509	青磁	甌	中国	(10.6)	--	SD-103	口径1/8形		
509	青花	万葉身	伊勢織	(5.6)	--	SD-103	底径は高台性		
509	青花	甌	影洲窯	(3.4)	--	SD-103	底径1/2残存	52	
509	青磁	甌	中国	(8.4)	--	SD-103	底径は高台性		
509	青花	甌	影洲窯	(8.8)	5.0	3.0	SD-103	底径は高台性	
509	青磁	甌	中国	(6.4)	--	SD-103	底径は高台性 目入あり		
509	青花	?	中国	--	--	SD-103			
509	白磁	磁器蓋	中国	(12.0)	--	SD-103			
509	青磁	鉢	中国	(11.0)	--	SD-103	底径は高台性		
509	青磁	鉢	中国	--	4.9	SD-103	目入あり	51	
509	白磁	鉢	中国	(8.4)	--	SD-103			
509	磁器	蓋	朝鮮産	--	4.0	SD-103		52	
509	竹筒磁器	小皿	中国	(8.4)	3.2	1.2	SD-103	底径は高台性約1/3形	51
509	竹筒磁器	小皿	中国	(5.7)	--	0.75±	SD-103	約1/5形	51
510	陶器	腰鉢	奥州	(27.6)	--	--	SD-103	底径は高台性 底面変形	
510	陶器	腰鉢	奥州	--	--	--	SD-103		
510	陶器	腰鉢	奥州	--	--	--	SD-103		
510	陶器	腰鉢	奥州	(26.6)	--	--	SD-103		
510	陶器	腰鉢	奥州	--	--	--	SD-103		
510	陶器	腰鉢	奥州	(27.6)	--	--	SD-103		
510	陶器	腰鉢	奥州	--	--	--	SD-103	破片	
510	陶器	腰鉢	奥州?	(16.6)	(16.2)	--	SD-103		
510	陶器	腰鉢	奥州	--	--	--	SD-103	底径は斜縁最大径 スス付否	
510	陶器	腰鉢	奥州	(12.8)	--	--	SD-103		
511	陶器	壺	タイ	(23.2)	--	--	SD-103		
511	陶器	壺?	奥州?	(22.4)	--	--	SD-103		
511	陶器	大甕	奥州	(47.8)	--	--	SD-103	底径は斜縁最大径 スス付否	
511	陶器	甌	奥州	--	--	--	SD-103	口径1/5	
511	陶器	大甕	奥州	--	--	--	SD-103		
511	陶器	大甕	奥州	--	--	--	SD-103		
511	陶器	大甕	奥州	--	--	--	SD-103		
511	陶器	徳盛部	奥州	--	24.4	--	SD-103		
512	陶器	大甕	奥州	--	--	--	SD-103		
512	陶器	大甕	奥州	--	--	--	SD-103		
512	陶器	甌	奥州	--	--	--	SD-103		
512	陶器	甌	奥州	--	--	--	SD-103	口径破片	
512	陶器	水甕	奥州	--	--	--	SD-103	破片	
512	陶器	壺	奥州	--	--	--	SD-103	口径破片	
512	陶器	壺?	奥州	(12.0)	--	--	SD-103	破片	
512	陶器	壺	奥州	(21.2)	--	--	SD-103		54
512	陶器	鉢	奥州	(16.6)	(16.2)	--	SD-103		
512	陶器	?	奥州	(4.0)	--	--	SD-103	口径破	
512	陶器	鉢?	奥州	--	--	--	SD-103	口径破, 5X13.0	
512	陶器	壺	奥州	(16.6)	--	--	SD-103	底面	
512	陶器	甌	奥州	(24.2)	--	--	SD-103	口径破	
512	陶器	鉢?	奥州	--	--	--	SD-103		
512	陶器	?	奥州	(10.0)	--	--	SD-103		
513	京師系土師器	小皿	在池	(13.0)	--	2.5	SD-103	底径1/4形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(11.8)	(7.4)	1.9	SD-103		
513	京師系土師器	小皿	在池	(11.8)	--	2.5	SD-103		
513	京師系土師器	小皿	在池	(12.2)	--	2.3	SD-103		
513	京師系土師器	小皿	在池	(12.2)	--	2.1	SD-103	スス付否 灯明皿?	
513	京師系土師器	小皿	在池	(12.2)	(6.2)	2.4	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(12.0)	(6.2)	2.3	SD-103	半完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(12.0)	(8.0)	1.9	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(12.3)	--	2.1	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(13.2)	--	2.6	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(11.8)	(5.0)	2.5	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(10.8)	6.4	3.2	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(8.6)	--	--	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(8.8)	--	--	SD-103	内外スス付否	
513	京師系土師器	小皿	在池	(8.4)	--	2.3	SD-103	完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(9.0)	--	1.9	SD-103	1/3形	
513	京師系土師器	小皿	在池	9.0	2.0	2.1	SD-103	スス付否(灯明皿として使用)	
513	京師系土師器	小皿	在池	(8.4)	--	2.2	SD-103		
513	京師系土師器	小皿	在池	8.4	4.0	2.2	SD-103	口径部一底面1/5形	
513	京師系土師器	小皿	在池	8.7	--	2.2	SD-103	1/4片	
513	京師系土師器	小皿	在池	9.0	--	2.2	SD-103	1/6形	
513	京師系土師器	小皿	在池	9.0	--	2.5	SD-103	1/3形	
513	京師系土師器	小皿	在池	9.9	--	2.7	SD-103		
513	京師系土師器	小皿	在池	8.4	--	2.3	SD-103	2/3完形	
513	京師系土師器	小皿	在池	(9.0)	--	2.1	SD-103	1/7残存	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類②)

No.	器 種	生産地	品目 (単位 cm)			測研名	備 考	図解 No.
			口徑	底径	高さ			
513	京都系土師器	小皿	在焼	9.0	—	2.1	SD-103	口縁部1/4形
513	京都系土師器	小皿	在焼	(9.0)	(2.2)	3.2	SD-103	完整
513	京都系土師器	小皿	在焼	(8.6)	(2.4)	2.0	SD-103	口縁～底縁1/4形
513	京都系土師器	小皿	在焼	(9.8)	—	2.5	SD-103	—
513	京都系土師器	小皿	在焼	(9.4)	(4.6)	1.7	SD-103	口縁部1/4形
513	京都系土師器	小皿	在焼	(9.2)	—	—	SD-103	スズ付部1/4残存
513	京都系土師器	小皿	在焼	(4.8)	(4.8)	2.6	SD-103	スズ付部1/5残存
513	京都系土師器	小皿	在焼	(11.4)	—	—	SD-103	完整スズ付部
513	京都系土師器	小皿	在焼	(11.4)	—	—	SD-103	スズ付部1/3形
513	京都系土師器	小皿	在焼	10.4	—	2.0	SD-103	完整
513	京都系土師器	小皿	在焼	(11.6)	4.0	2.4	SD-103	スズ付部半形
513	京都系土師器	小皿	在焼	(10.0)	—	2.5	SD-103	完整スズ付部
513	京都系土師器	小皿	在焼	(11.6)	(4.0)	2.0	SD-103	1/5残存
513	京都系土師器	小皿	在焼	10.6	6.4	2.0	SD-103	完整
513	京都系土師器	小皿	在焼	12.2	—	—	SD-103	1/4残存
513	京都系土師器	小皿	在焼	(12.5)	—	2.4	SD-103	完整
513	京都系土師器	小皿	在焼	8.7	2.5	1.8	SD-103	口縁部1/5形
513	京都系土師器	小皿	在焼	8.9	3.7	2.1	SD-103	—
513	京都系土師器	小皿	在焼	9.2	3.4	2.0	SD-103	口縁部1/2形底縁完整
513	京都系土師器	小皿	在焼	9.0	2.2	3.0	SD-103	完整
513	京都系土師器	小皿	在焼	12.6	2.6	3.0	SD-103	ほぼ完整
513	京都系土師器	坪	在焼	(11.6)	—	2.4	SD-103	スズ付部打壊済?
513	京都系土師器	坪	在焼	11.0	—	3.3	SD-103	1/3形
513	京都系土師器	坪	在焼	10.4	4.7	3.6	SD-103	1/3形
513	京都系土師器	坪	在焼	10.6	—	3.6	SD-103	1/4残存
513	京都系土師器	坪	在焼	(11.0)	(4.8)	3.2	SD-103	完整
514	京都系土師器	坪	在焼	11.6	6.0	3.4	SD-103	スズ付部1/2形
514	京都系土師器	坪	在焼	11.0	—	3.4	SD-103	スズ付部口縁～底縁1/6
514	京都系土師器	坪	在焼	(11.0)	6.8	3.1	SD-103	完整
514	京都系土師器	坪	在焼	(11.8)	—	—	SD-103	1/5残存
514	京都系土師器	坪	在焼	(11.8)	8.0	3.1	SD-103	口縁～底縁1/4形
514	京都系土師器	坪	在焼	(10.4)	—	—	SD-103	1/3形
514	京都系土師器	坪	在焼	(10.6)	—	3.8	SD-103	1/4形
514	京都系土師器	坪	在焼	(10.4)	—	3.4	SD-103	完整
514	京都系土師器	小皿	在焼	—	(6.8)	—	SD-103	1/4残存
514	京都系土師器	小皿	在焼	—	—	—	SD-103	底縁のみスズ付部
514	京都系土師器	小皿	在焼	—	—	—	SD-103	口縁部4.7X2.5
514	京都系土師器	小皿	在焼	—	—	—	SD-103	口縁部4.2X3.9
514	京都系土師器	小皿	在焼	—	—	—	SD-103	口縁部
514	土師質土器	土鍋	国産	(32.2)	—	—	SD-103	—
514	土師質土器	土鍋	国産	—	—	—	SD-103	口縁部1.1X3.5
514	土師質土器	瓦片もしくは瓦	国産	—	—	—	SD-103	口縁部破片
514	土師器	灯火具	国産	(6.7)	—	—	SD-103	—
514	土師質土器	焼酎甕	朝鮮産	(4.2)	(7.8)	—	SD-103	口縁部3.5X1.5
514	土師質土器	混合片碎	在焼	—	(9.5)	—	SD-103	口徑は筒元無縁部
515	瓦質土器	火鉢	国産	(43.0)	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	風炉	国産	(31.4)	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	風炉	国産	(29.2)	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	—	—	SD-103	—
515	瓦質土器	火鉢	国産	(28.4)	—	—	SD-103	割がれている
515	瓦質土器	火鉢	国産	—	27.9	—	SD-103	—
516	瓦質土器	漆鉢	国産	—	—	—	SD-103	口縁部破片
516	瓦質土器	漆鉢	国産	—	(14.3)	—	SD-103	底縁1/5
516	瓦質土器	漆鉢	国産	—	(7.8)	—	SD-103	—
516	瓦質土器	漆鉢	国産	(26.6)	—	—	SD-103	変造り
516	瓦質土器	漆鉢	国産	—	(13.2)	—	—	—
516	瓦質土器	こね鉢	国産	(32.2)	—	—	—	—
516	瓦質土器	土鍋	国産	—	—	—	—	—
516	瓦質土器	?	国産	(13.6)	—	—	—	—
521	埴の蓋	国産	—	5.0	—	2.9	SD-103	—
521	埴の蓋	国産	—	4.8	—	—	SD-103	付着物あり
521	埴	国産	4.4	—	—	1.7	SD-103	スズ付部、付着物あり
521	埴	国産	4.2	—	—	1.8	SD-103	—
521	埴	国産	4.2	—	—	1.7	SD-103	—
521	埴	国産	4.1	—	—	1.5	SD-103	石灰色の付着物あり
521	埴	国産	4.4	—	—	1.7	SD-103	—
521	埴	国産	(4.6)	—	—	—	SD-103	—
521	埴の蓋	国産	(4.2)	—	—	—	SD-103	—
521	埴	国産	5.2	—	—	2.0	SD-103	—
521	埴	国産	(5.7)	—	(2.1)	—	SD-103	赤褐色の付着物あり
521	埴	国産	(5.8)	(2.0)	—	2.6	SD-103	1/2口縁残存
521	埴	国産	(4.7)	—	—	—	SD-103	1/3口縁残存
521	埴	国産	(5.2)	—	—	—	SD-103	1/4口縁残存
521	埴	国産	(5.4)	—	—	2.9	SD-103	1/4口縁残存



8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類④)

No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺物名	備考	図面No
			口径	底径	器高			
526	土師質土器	土鍋	在焼	--	--	SD-104	口縁破片	
526	土師質土器	土鍋	在焼	--	--	SD-105		
526	土師質土器	甗	甗	--	--	SD-101		
526	土師質土器	甗	甗	--	--	SD-101	底部はび裂	
527	瓦質土器	甗	甗	(24.8)	--	SD-101		
527	瓦質土器	鍋?	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	(31.8)	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	(8.8)	--	SD-101		
527	瓦質土器	甗	甗	--	9.0	SD-101	4.3+α	底部破片
527	瓦質土器	甗	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	火鉢	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	火鉢	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	火鉢	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	火鉢	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	火鉢	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	風炉・脚部	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	風炉	甗	--	--	SD-101		
527	瓦質土器	香炉	甗	--	(11.7)	SD-101		
532	須恵質	甗	在焼	--	--	SD-101		
532	須恵質	甗	在焼	--	--	SD-101		
532	須恵質	甗	在焼	--	--	SD-101		
532	須恵質	高杯	在焼	5.0	--	SD-101		10.5X6.2
532	須恵質	高杯	在焼	--	--	SD-101		頸部の柱
532	須恵質	甗	甗	--	--	SD-101		
534	竹組	皿	中国産	--	--	SD102		二次加熱焼つま
535	西福	皿	中国産	(17.0)	(8.8)	SD-105	(1.8)	目入あり
535	陶器	甗	甗	(24.4)	--	SD-105		
535	陶器	甗	甗	--	--	SD-105		
535	陶器	甗	甗?	--	--	SD-105		
535	土師質土器	坪	在焼	(11.8)	(9.0)	SD-105	3.7	1/3残存
535	瓦質土器?	甗	在焼	(40.0)	(34.0)	SD-105		底径は頸部1/5残存
535	土師質土器	甗	在焼	--	--	SD-105		外スス付
535	陶文土器	鉢	在焼	--	--	SD-105		
536	竹花	甗	甗	--	6.0	SD-108A		底径1/5部
536	竹組	皿	中国産	--	--	SD-108A		口縁部3.3X2.1目入あり
536	須恵三彩	?	中国産	--	--	SD-108A		
536	須恵三彩	砂粒砂器	甗	--	--	SD-108A		胴部破片3.2X2.1
536	陶器	甗	?	--	(8.0)	SD-108A		底径の一部
536	陶器	甗	甗	(12.0)	--	SD-108A		
536	陶器	甗	甗	--	--	SD-108A		
536	土師質土器	坪	在焼	(14.4)	(10.0)	SD-108A	3.6	底径1/4部
536	土師質土器	小皿	在焼	(7.0)	(3.5)	SD-108A	1.8	2/3部スス付
536	土師質土器	小皿	在焼	--	(5.4)	SD-108A		底径1/4部
536	土師質土器	坪	在焼	(13.0)	--	SD-108A		口縁部1/4部
536	瓦質	甗	在焼	(10.8)	--	SD-108A		口縁部1/6部
536	土師質土器	火鉢	在焼	--	--	SD-108A		胴部破片5.6X5.1
536	瓦質土器	火鉢	在焼	--	--	SD-108A		口縁部7.4X6.4
536	瓦質土器	火鉢	在焼	--	--	SD-108A		口縁部5.5X6
536	土師質土器	甗	在焼	--	--	SD-108A		把手部分11.7X10
536	須恵質	高台	在焼	--	(10.0)	SD-108A		底径1/4部
536	須恵質	高台	在焼	--	(10.3)	SD-108A		底径1/4部
537	竹組	?	中国産	--	--	SD-108B		目入あり
537	陶器	鉢	ベトナム製?	--	(21.0)	SD-108B		底径1/4部
537	陶器	?	ベトナム?	--	--	SD-108B		
537	陶器	片口甗	甗	--	--	SD-108B		
537	土師質土器	甗の口	在焼	(8.4)	--	SD-108B		5.3X5.6スス付
538	砂粒砂器	甗	甗	--	--	--		口縁部破片
538	陶器	甗	甗	--	--	--		口縁部10.1X8.4
538	陶器	甗	甗	--	--	--		口縁部10.1X8.4
538	土師質土器	土鍋	在焼	--	--	--		口縁部の破片
538	土師質土器	鉢	在焼	(16.5)	--	--		口縁部1/6部
541	土師質土器	坪	在焼	11.8	8.5	SD-104	3.4	はび裂
541	土師質土器	土鍋	在焼	--	--	SD-104		
540	竹組	皿	中国産	18.4	9.6	4.6	SD-107	
547	土師質土器	土鍋	甗	(28.0)	--	SK-107		1/6口縁残存
549	京阪系土師器	坪	在焼	11.0	5.2	SK-108	2.7	1/4部
549	京阪系土師器	甗	在焼	--	5.1	SK-108		底部彫刻(有)
551	磁器	中国	中国	(13.4)	--	SK-109		
551	陶器	天香茶碗	?	(12.2)	--	SK-109		6 X 5.5片
551	京阪系土師器	小皿	在焼	8.5	3.0	SK-109	1.9	実形
551	京阪系土師器	小皿	在焼	8.8	3.8	SK-109	2.1	実形
551	京阪系土師器	小皿	在焼	(8.8)	--	SK-109	1.9	1/4残存
551	京阪系土師器	小皿	在焼	(8.8)	--	SK-109		1/2残存

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器③)

種別No.	器種	生産地	測定(単位:cm)			遺物名	備考	図録No.	
			口径	底径	高さ				
551	京部系土師器	皿?	8.8	--	2.1	SK-109	口径1/3残存		
551	京部系土師器	坪	9.0	--	2.1	SK-109	完整		
551	京部系土師器	坪	8.3-9	--	2.2	SK-109	完整		
551	京部系土師器	皿	9.0	3.0	1.8	SK-109	3/4残存		
551	京部系土師器	皿	8.4	--	2.0	SK-109	完整		
551	京部系土師器	坪	(8.4)	--	1.8	SK-109	1/4残存		
551	京部系土師器	皿	(8.4)	--	SK-109	1/3残存			
551	京部系土師器	坪	8.6	3.8	2.0	SK-109	完整		
551	京部系土師器	坪	6.0	--	2.5	SK-109	完整		
551	京部系土師器	坪	9.0	--	2.1	SK-109	2/3残存		
551	京部系土師器	坪	(11.0)	--	2.4	SK-109	1/2残存		
551	京部系土師器	坪	(11.8)	--	2.4	SK-109	1/2残存		
551	京部系土師器	皿	(12.6)	--	2.1	SK-109	2/3残存		
551	京部系土師器	皿?	12.2	--	2.5	SK-109	1/2残存		
551	京部系土師器	坪	(13.2)	--	1.9+α	SK-109	1/2残存		
551	京部系土師器	坪	(10.0)	--	3.3+α	SK-109	1/4残存		
553	陶器	壺	中国	(10.0)	--	SK-110	最大胴径31.8	53	
553	青花	壺	景徳鎮	10.6	--	SK-110	宮内省蔵	51	
553	白磁	--	中国	--	--	SK-110	口縁部残存		
553	京部系土師器	坪	9.0	3.5	2.0	SK-110	3/4残存		
553	京部系土師器	小皿	12.0	4.5-5.5	2.4	SK-110	ほぼ完整		
553	京部系土師器	坪	(8.7)	--	--	SK-110	内外スチ付器1/3残存		
553	京部系土師器	坪(打明器)	8.5	3.1	1.8	SK-110	内外スチ付器4/5残存		
553	京部系土師器	打明器	8.5	3.4	2.1	SK-110	1/2残存		
553	京部系土師器	小皿	(8.0)	(3.2)	(2.0)	SK-110	2/3残存		
553	京部系土師器	小皿	(8.8)	(3.8)	(1.9)	SK-110	1/3残存		
553	京部系土師器	小皿	(8.8)	(3.0)	2.0	SK-110	1/2残存		
553	京部系土師器	坪	(9.0)	--	--	SK-110	1/8残存		
553	京部系土師器	小皿	(8.2)	(2.8)	(2.0)	SK-110	1/5残存		
553	京部系土師器	小皿	(9.0)	(3.2)	(2.1)	SK-110	2/3残存		
553	京部系土師器	坪	(10.9)	--	--	SK-110	1/4残存		
553	京部系土師器	坪	12.0	4.5-5.5	2.4	SK-110	1/2残存		
553	京部系土師器	坪	11.9	3.6	2.3	SK-110	1/4残存		
553	京部系土師器	坪	12.2	3.6	2.5	SK-110	2/3残存		
553	京部系土師器	坪	(11.8)	(4.7)	(2.4)	SK-110	2/3残存		
553	京部系土師器	坪	(12.0)	(2.5)	2.4	SK-110	4/5残存		
553	京部系土師器	坪	(11.8)	--	--	SK-110	蓋をみもり1/4残存		
553	京部系土師器	坪	(12.2)	(6.0)	2.0	SK-110	1/4残存		
554	瓦質土器	瓶伊	陶産	(32.2)	--	SK-110	口縁部一部残存		
554	瓦質土器	瓶伊	陶産	(24.2)	--	SK-110	1/2残存		
554	瓦質土器	瓶	陶産	(16.1)	--	SK-110	スチ付		
554	瓦質土器	瓶	陶産	(16.8)	(5.4)	4.0	SK-110	1/3残存	
554	瓦質土器	瓶伊	陶産	(26.0)	--	SK-110	口縁部片		
554	瓦質土器	瓶伊	陶産	(36.4)	--	SK-110	口縁部一部残存と比して重要している		
556	瓦質土器	すり鉢	陶産	(26.4)	--	SK-111	--		
560	土師系土器	坪	9.0	(10.0)	4.5	SK-115	--		
562	陶器	陶鉢	陶産	(20.6)	--	SK-118	口縁部片		
564	京部系土師器	小皿	9.0	--	--	SK-118	口縁部片		
562	瓦質土器	甕鉢	陶産	(27.0)	--	SK-118	口縁部1/2形		
572	土師系土器	皿	9.0	1.2	7.5	SK-132	--		
572	土師系土器	土鍋	陶産	--	--	SK-132	土師の陶器片		
574	新羅系土器	坪	(12.7)	--	--	SK-139	1/7残存		
576	瓦質土器	鉢?	陶産	--	(4.7)	SK-144	底径1/4形		
579	土師系土器	坪	(15.8)	(12.0)	--	SK-147	--		
579	土師系土器	土鍋	陶産	(26.4)	--	SK-147	--		
579	瓦質土器	鉢	陶産	--	--	SK-147	口縁部一部残存		
582	土師系土器	坪	--	8.4	--	SK-106	--		
582	土師系土器	坪	13.7	9.7	3.6	SK-106	口縁部から胴部1/4残存		
582	煎茶器	鉢?	陶産	--	--	SK-106	--		
584	壹地系土師器	坪	14.0	11.6	2.9	SK-112	1/4残存		
584	壹地系土師器	坪	12.4	7.4	3.6	SK-112	完整		
587	土師系土器	坪	(11.0)	(7.4)	3.1	SK-114	口縁部-底径1/4形		
587	土師系土器	坪	(11.8)	(8.0)	3.3	SK-114	1/4形		
587	土師系土器	坪	(12.2)	(8.6)	3.7	SK-114	口縁1/8形底径1/4形		
587	土師系土器	坪	12.4	9.1	3.2	SK-114	完整		
587	土師系土器	坪	12.4	9.2	3.5	SK-114	ほぼ完整		
587	土師系土器	坪	12.2	9.0	3.3	SK-114	2/3形		
587	土師系土器	坪	12.6	9.2	3.7	SK-114	完整		
587	土師系土器	坪	13.2	9.2	3.2	SK-114	口縁1/2形底径3/4形		
587	土師系土器	坪	(13.6)	(9.5)	3.3	SK-114	1/4形		
587	土師系土器	坪	13.4	9.8	3.4	SK-114	口縁部-底径		
587	土師系土器	小皿	(8.1)	(6.4)	1.1	SK-114	2/3形		
587	土師系土器	小皿	(8.4)	(6.7)	1.3	SK-114	1/2形		
587	土師系土器	小皿	7.4	5.8	1.2	SK-114	--		
589	土師系土器	鉢	陶産	9.5	(7.4)	3.3	SK-116	胴部は完整胴部1/2残存	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑤)

林図No.	器種	生産地	高さ(単位cm)			遺物名	備考	図録No.
			口徑	底径	器底			
589	土師質土器	坪	在池	(13.0)	(9.6)	3.3	SK-116	1/4個形
589	土師質土器	坪	在池	(12.4)	(9.4)	3.0	SK-116	1/2口縁一底面形
591	土師質土器	小皿	在池	(8.0)	(6.2)	1.4	SK-119	1/4形
593	磁器	茶碗	中国	-	-	-	SK-120	
593	瓦質土器	磨鉢	印度	(26.6)	-	-	SK-120	
593	在池系土師器	坪	在池	(12.6)	7.2	3.7	SK-120	
593	在池系土師器	坪	在池	13.0	6.4	3.7	SK-120	
593	在池系土師器	坪	在池	(13.4)	10.6	3.6	SK-120	1/6残存
593	在池系土師器	坪	在池	13.2	9.6	3.1	SK-120	1/6残存
593	在池系土師器	坪	在池	(12.0)	-	-	SK-120	1/8残存
596	磁物陶器	中国	-	-	-	-	SK-122	百人あり
596	土師質土器	小皿	在池	(12.2)	(9.0)	3.5	SK-122	1/2残存
596	土師質土器	坪	在池	(11.0)	(8.3)	3.5	SK-122	1/8残存
596	土師質土器	坪	在池	(8.4)	(7.1)	1.5	SK-122	1/6残存
596	瓦質土器	土鍋	印度	-	-	-	SK-122	口縁部一底残存
593	瓦質土器	鉢	印度	-	-	-	SK-122	口縁部一底残存
596	瓦質土器	鉢	印度	(17.8)	-	-	SK-122	口縁部一底残存
596	磁器	皿	在池	-	-	-	SK-122	胴部片
596	漆竹磁器	中国	-	-	-	-	SK-123	口縁部片
598	土師質土器	坪	在池	(13.0)	9.3	2.9	SK-123	底面片
598	土師質土器	坪?	在池	(12.6)	-	-	SK-123	口縁部破片
598	土師質土器	坪	在池	(12.6)	(10.2)	2.8	SK-123	口縁部破片
598	土師質土器	坪	在池	11.8	8.2	2.8	SK-123	3/4形
598	土師質土器	小皿	在池	8.5	7.3	1.0	SK-123	
598	土師質土器	小皿	在池	(7.8)	(6.4)	1.0	SK-123	半完形
598	土師質土器	小皿	在池	8.0	7.0	0.9	SK-123	半完形口縁部3/4残存
598	土師質土器	小皿	在池	(9.6)	(8.0)	0.9	SK-123	口縁一底面破片
600	土師質土器	坪	在池	(13.0)	(8.5)	2.8	SK-124	1/4形
602	土師質土器	坪	在池	12.6	3.2	9.7	SK-131	蓋みあり内面形
602	土師質土器	坪	在池	12.2	8.2	2.9	SK-127	鉢形変形(少しくぼみあり)
602	土師質土器	坪	在池	12.4	9.0	3.1	SK-127	鉢形変形3/4形
602	土師質土器	坪	在池	12.8	9.0	3.1	SK-127	くぼみあり変形
602	土師質土器	小皿	在池	8.6	6.6	1.1	SK-127	鉢形変形
602	厚胎土師質土器	小皿	在池	(9.4)	(6.0)	1.6	SK-127	1/2形
607	陶器	皿	中国	(24.0)	-	-	SK-133	
607	土師質土器	こぶ鉢	印度	-	-	-	SK-133	外蓋入ス付品
607	土師質土器	こぶ鉢	在池	-	-	-	SK-133	口縁部5.4X6.2
607	土師質土器	坪	在池	(8.2)	(6.4)	1.0	SK-133	1/4残存
607	土師質土器	坪	在池	(10.6)	(6.8)	3.3	SK-133	1/5残存
607	土師質土器	坪	在池	(11.4)	(8.2)	3.2	SK-133	口縁一底面破片
607	土師質土器	坪	在池	(12.4)	(8.4)	3.8	SK-133	1/4残存
607	土師質土器	坪	在池	(11.8)	(8.8)	3.3	SK-133	1/3残存
607	土師質土器	碗?	在池	(12.0)	-	-	SK-133	口縁部破片
607	土師質土器	坪	在池	(11.8)	(9.4)	3.0	SK-133	1/4残存
607	土師質土器	碗?	在池	(13.4)	-	-	SK-133	破片
607	土師質土器	坪	在池	12.2	9.2	3.2	SK-133	1/2形
609	土師質土器	皿	在池	-	(16.3)	-	SK-134	
611	土師質土器	坪	在池	(12.8)	(8.3)	2.8	SK-137	
611	土師質土器	小皿	在池	7.6	5.8	1.3	SK-137	
611	瓦質土器	鉢?	在池	-	-	-	(9.8)	SK-137
614	土師質土器	坪	在池	(12.2)	(9.0)	(2.7)	SK-140	口縁1/6形
614	土師質土器	坪	在池	(12.2)	(6.8)	(3.3)	SK-140	口縁3.5cm底面1/2形
614	土師質土器	坪	在池	(13.0)	(9.8)	(2.9)	SK-140	口縁部1/6形底面2/3形
614	土師質土器	坪	在池	(13.0)	(9.0)	(3.2)	SK-140	1/3形
614	土師質土器	坪	在池	(12.4)	(9.0)	(3.1)	SK-140	口縁部1/3形底面1/4形
614	土師質土器	小皿	在池	(6.7)	(6.0)	(1.1)	SK-140	1/2形
614	土師質土器	小皿	在池	(7.4)	(5.8)	(1.2)	SK-140	完形
616	土師質土器	坪	在池	(12.0)	(8.0)	(3.6)	SK-141	1/4形
616	土師質土器	坪	在池	12.6	8.0	3.6	SK-141	完形
616	土師質土器	坪	在池	(12.5)	(9.0)	(3.4)	SK-141	1/2形
616	土師質土器	坪	在池	(14.4)	(11.8)	-	SK-141	口縁部破片
616	土師質土器	坪	在池	(12.0)	(9.2)	(2.5)	SK-141	1/8形
616	土師質土器	坪	在池	(12.6)	(9.2)	-	SK-141	口縁部破片
616	土師質土器	坪	在池	(12.2)	(8.5)	(2.6)	SK-141	1/4形
616	土師質土器	坪	在池	10.8	-	-	SK-141	口縁部破片
616	土師質土器	小皿	在池	8.2	7.2	1.0	SK-141	完形
616	土師質土器	小皿	在池	(8.8)	(6.8)	1.2	SK-141	1/2形
616	土師質土器	小皿	在池	8.2	6.8	1.0	SK-141	1/2形
616	土師質土器	小皿	在池	(8.6)	(7.8)	(1.1)	SK-141	1/4形
616	土師質土器	小皿	在池	(7.8)	(6.6)	(1.4)	SK-141	1/2形
616	土師質土器	小皿	在池	7.7	6.6	1.2	SK-141	1/2形
616	土師質土器	小皿	在池	7.5	6.5	1.0	SK-141	1/2形
616	土師質土器	小皿	在池	(8.6)	(7.8)	-	SK-141	口縁部破片
616	土師質土器	小皿	在池	(7.8)	(6.5)	0.8	SK-141	2/3形
616	土師質土器	坪?	在池	-	(8.6)	-	SK-141	底面1/2形



8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑦)

群IDNo.	器名	生産地	測定(単位cm)			遺物名	備考	群IDNo.	
			口径	底径	高さ				
616	土師瓦土器	小皿	容地	(8.0)	(6.8)	(1.1)	SK-141	1/3片	
616	土師瓦土器	小皿	容地	(7.8)	(7.0)	1.0	SK-141	1/2片	
616	土師瓦土器	小皿	容地	7.6	6.3	1.2	SK-141	ほぼ形口縁部少し欠損	
616	土師瓦土器	小皿	容地	(8.3)	(7.2)	(1.1)	SK-141	1/3片	
616	土師瓦土器	小皿	容地	8.3	7.0	1.6	SK-141	1/2片	
616	土師瓦土器	小皿	容地	(6.7)	(5.0)	1.2	SK-141	1/2片	
619	土師瓦土器	坪	容地	12.9	9.6	3.0	SK-142	1/4片	
619	陶土	壺	信濃高	--	--	--	SK-142	口縁部一部5X5	
619	瓦質土器	土鍋	容地	(30.2)	--	--	SK-142	1/2片	
619	瓦質土器	鉢	陶産	--	--	--	SK-142		
619	瓦質土器	こね鉢	陶産	--	23.7	6.6	SK-142		
619	瓦質土器	こね鉢	陶産	(29.0)	(20.3)	(9.5)	SK-142		
619	瓦質土器	こね鉢	陶産	(26.6)	--	--	SK-142		
619	瓦質土器	磨鉢	陶産	--	--	12.4	SK-142	底部内面一部磨	
620	土師瓦土器	坪	容地	(13.6)	(10.0)	(3.1)	SK-143	1/2片	
620	土師瓦土器	坪	容地	(12.2)	(9.0)	(3.6)	SK-143	1/2片	
620	土師瓦土器	坪	容地	(13.8)	--	--	SK-143	1/5片	
620	土師瓦土器	小皿	容地	(8.2)	(6.7)	(1.1)	SK-143	2/3片	
544	京師系土師器	坪	容地	(9.2)	--	--	SK-104	1/3残存	
544	京師系土師器	坪	容地	(8.6)	--	2.1	SK-104	1/2残存	
544	京師系土師器	坪	容地	(10.9)	(4.8)	2.2	SK-104	1/5残存	
544	京師系土師器	坪	容地	(12.0)	--	2.3	SK-104	1/6残存	
544	京師系土師器	坪	容地	(12.6)	(6.0)	2.0	SK-104	1/4残存	
544	京師系土師器	坪	容地	(14.4)	(7.6)	2.9	SK-104	1/3残存	
545	京師系土師器	壺	容地	--	--	--	SK-104	口縁→1/4残存	
545	京師系土師器	壺	容地	(12.6)	(5.8)	2.5	SK-105	1/4形スス付唇	
545	京師系土師器	小皿	容地	(10.2)	--	2.5	SK-105		
624	青花	茶碗	中皿	--	--	--	京師土佐	口縁のみ	
624	青花	盆?	豊前アジマ	--	(4.8)	--	京師土佐	底部1/4残存	
624	陶器	?	豊前アジマ	--	--	--	京師土佐		
624	陶器	徳利?	ベトナム	--	--	--	京師土佐	唇部から胴部残存	
624	陶器	壺	備前	--	--	--	京師土佐	口縁部の一部	
624	陶器	壺	備前	(35.4)	--	--	京師土佐		
624	陶器	徳利	備前	--	7.9	--	京師土佐	1/2残存	53
624	陶器	磨鉢	信濃高	(27.8)	(15.6)	12.2	京師土佐	口縁部1/5片	
624	陶器	鉢	備前	(14.2)	(9.9)	6.6	京師土佐	1/4残存	
624	陶器	大鉢	陶産	--	(10.0)	--	京師土佐	唇部の一部	
624	陶器	磨鉢	信濃高	--	--	--	京師土佐		
625	京師系土師器	坪	容地	(8.2)	(2.4)	2.0	京師土佐	1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(8.8)	(1.8)	2.4	京師土佐	1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(9.0)	--	(2.3)	京師土佐	半片	
625	京師系土師器	坪	容地	(10.8)	--	--	京師土佐	口縁部のみ1/6片	
625	京師系土師器	坪	容地	(12.1)	(5.3)	3.1	京師土佐	1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(6.6)	(3.3)	2.3	京師土佐	1/3片	
625	京師系土師器	坪	容地	(10.9)	(5.4)	3.2	京師土佐	1/6片	
625	京師系土師器	坪	容地	(12.9)	(4.2)	2.6	京師土佐	1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(10.0)	(3.2)	(3.6)	京師土佐	口縁部1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(10.6)	--	--	京師土佐	口縁部5.2X3.9	
625	京師系土師器	坪	容地	(12.6)	--	--	京師土佐	口縁部1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(1.4)	--	--	京師土佐	1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(11.2)	(4.7)	3.4	京師土佐	1/2片	
625	京師系土師器	坪	容地	(12.0)	(5.3)	2.6	京師土佐	1/5片	
625	京師系土師器	坪	容地	(15.8)	(9.4)	2.5	京師土佐	1/5片	
625	京師系土師器	坪	容地	(13.2)	--	--	京師土佐	口縁部1/4片	
625	京師系土師器	坪	容地	(15.0)	(5.1)	3.2	京師土佐	1/3片	
626	土師瓦土器	坪	容地	11.6	8.1	3.7	京師土佐	完整	
626	瓦質土器	瓶伊	容地	--	(17.7)	--	京師土佐		
626	瓦質土器	瓶伊	容地	32.6	--	--	京師土佐		
626	瓦質土器	埴輪	容地	(6.0)	--	--	京師土佐	口縁部1/4片	
626	瓦質土器	大鉢	容地	--	--	--	京師土佐		
626	青花	壺	豊前高	--	--	--	京師土佐	小片5.5X2.9	
626	青花	皿	豊前高	--	--	--	京師土佐	内底残文	
626	陶器	天目	京師高	12.0	--	--	京師土佐	6.0X5.2	
626	陶器	鉢	豊前アジマ	12.6	--	--	京師土佐		
626	陶器	小皿	豊前アジマ	--	--	--	京師土佐		
626	京師系土師器	小皿	容地	11.8	8.0	2.4	京師土佐		
626	京師系土師器	小皿	容地	(8.4)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(11.0)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(9.2)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(10.8)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(11.2)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(15.4)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(12.6)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	(11.6)	--	--	京師土佐	口縁部片	
626	京師系土師器	小皿	容地	9.0	4.4	2.0	京師土佐	口縁部片	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類⑧)

種別No	器 種	生産地	法位 (単位 cm)			通称名	備 考	図録 No	
			口径	底径	高さ				
620	京都系土師器	小皿	在池	8.8	3.8	2.0	京細土坑	灯明皿	
620	京都系土師器	坪	在池	10.0	--	2.9	京細土坑		
620	瓦質土器	鉢	在池	--	--	--	京細土坑		
620	瓦質土器	風炉	在池	31.4	--	--	京細土坑		
635	陶磁	磁鉢	島前	(12.6)	--	--	土甎	1/3残存	
630	青花	碗	豊後編	--	4.3	--	製地野	底部に文字「曹貞信等」	
630	青花	碗	中国	--	--	--	製地野		52
630	青花	碗	中国	--	--	--	製地野		
630	青花	碗	豊後編	--	--	--	製地野		
630	青花	碗	豊後編	--	4.7	--	製地野		
630	青花	皿	豊後編	--	5.0	--	製地野		
630	青花	小坪	豊後編	--	2.3	--	製地野		
630	青花	皿	豊後編	--	14.9	--	製地野		
630	陶磁	碗	朝鮮	--	(5.0)	2.5+α	製地野		
630	陶磁	磁耳瓶	タイ	--	--	--	製地野		54
630	陶磁	壺	島前	--	--	--	製地野		
630	陶磁	鉢	島前	(19.0)	--	5.85+α	製地野	1/7残存	
630	陶磁	下リ鉢	島前	--	--	--	製地野		
630	陶磁	下リ鉢	島前	--	--	--	製地野		
630	陶磁	壺	島前	--	--	--	製地野	口縁部破片	
631	京都系土師器	小皿	在池	(7.6)	--	2.0	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(8.2)	--	2.3	製地野	1/2残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(8.0)	--	1.8	製地野	1/3残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(9.0)	--	2.1	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(10.2)	--	1.8	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(10.2)	--	2.0	製地野	1/5残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(10.3)	(4.6)	1.9	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(10.6)	--	2.2	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(10.8)	--	--	製地野	1/5残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(12.0)	--	2.6	製地野	1/8残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(11.6)	(4.8)	2.4	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(12.0)	--	2.5	製地野	1/6残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(9.8)	--	--	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(12.2)	(5.5)	2.1	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	小皿	在池	(11.6)	(6.4)	3.2	製地野	1/4残存	
631	土師器	小皿	在池	(9.6)	(6.0)	3.0	製地野	1/4残存	
631	京都系土師器	坪	在池	(17.0)	--	2.8	製地野	1/7残存	
631	土師器土器	土鍋	在池	--	--	--	製地野	破片	
631	瓦質土器	壺	在池	(13.0)	--	--	製地野	1/5残存	
631	瓦質土器	穴鉢	在池	--	29.6	7.8+α	製地野	破片	
631	瓦質土器	風炉	在池	--	5.2	2.8+α	製地野	胴	
631	瓦質土器	穴鉢	在池	--	--	--	製地野	破片	
631	瓦質土器	穴鉢	在池	--	--	--	製地野	口縁部破片	
640	京都系土師器	小皿	在池	(11.0)	--	2.8	SX-101	1/5残存	
640	京都系土師器	小皿	在池	8.9-9.4	--	2.1	SX-101	瓦形	
640	京都系土師器	小皿	在池	8.4-8.8	--	2.2	SX-101	ほぼ完整	
641	陶磁	壺	島前	17.6	--	--	SX-102		
642	陶磁	壺	島前	(40.2)	--	--	SX-103		
645	陶磁	壺	島前	--	--	--	SP100		
645	瓦質土器	風爐	在池	(31.0)	--	--	SP102	腰灰の痕?	
648	土師器土器	坪	在池	12.5	9.9	2.9	SP103	ほぼ完整	
648	土師器土器	坪	在池	(10.8)	(8.9)	(3.0)	SP104	1/5形	
648	陶磁	壺	島前系	(34.2)	--	--	SP100		54
652	陶磁	?	?	--	--	--	SE102		
652	土師器土器	坪	在池	7.5	5.1	2.2	SE102		
652	土師器土器	坪	在池	13.6	9.4	4.9	SE102		
652	土師器土器	コップ型土器	在池	--	8.3	--	SE102		
652	土師器土器	壺	在池	--	20.5	--	SE102		
652	瓦質土器	壺	京浦系	--	--	--	SE102		
655	陶磁	壺	徳島	--	--	--	SE101	底部A.2X7.3	
655	陶磁	壺	徳島	--	--	--	SE101	口縁部B.9X5.3	
655	陶磁	壺	島前	--	--	--	SE101	底部A.1X7.2	
655	陶磁	壺	島前	--	--	--	SE101		
655	陶磁	壺	島前	--	--	--	SE101		
655	陶磁	茶碗	瀬戸黄瀬	(27.5)	--	--	SE101		53
656	白磁	碗	中国産	--	(5.3)	--	一埜	胴一直径5.6X3.1	
656	白磁	皿	中国産	--	(5.0)	--	一埜	1/3直径2.2X3	
656	白磁	皿	豊後編	--	(5.3)	--	一埜	底部A.8X2	
656	白磁	皿	中国産	--	(3.0)	--	一埜	1/2直径.45X2.2	
656	白磁	皿	中国産	--	(5.6)	--	一埜	1/4形	
656	青花	碗	豊後編	--	(6.0)	--	一埜		52
656	青花	皿	京浦系	--	(9.2)	--	一埜		
656	青花	小坪	豊後編	--	(4.1)	--	一埜	底部3X1.9	
656	朝鮮王朝陶磁器	碗	朝鮮	--	--	--	一埜	口縁一側部3.5X2.9	

8次調査区遺物観察表(土器・陶磁器類③)

発掘No	品 種	生産地	寸法(単位cm)			重量(g)	遺跡名	備 考	調査No
			口径	直径	高さ				
656	柳子焼地陶器	焼	柳井	-	-	-	一話	別紙5, ZC3, 7	
656	陶器	椀鉢	徳前	(24.6)	-	-	一話	口縁破片	
656	陶器	?	?	-	-	-	一話	別紙破片4.6X3.7	
656	陶磁器	椀	?	(11.9)	-	-	一話	口縁-別紙5, 1X2, 3	
656	陶磁器	椀	?	-	(5.2)	-	一話	底面6.7X4.8	
656	京橋系土器器	坪	香地	(8.2)	(1.1)	1.8	一話	1/4形	
656	京橋系土器器	坪	香地	(11.8)	(4.6)	2.1	一話	1/8形	
656	京橋系土器器	坪	香地	(9.4)	-	-	一話	スス付形	
656	京橋系土器器	灯明皿	香地	(7.7)	(1.5)	1.8	一話	1/4形	
656	京橋系土器器	坪	香地	(10.7)	-	-	一話	1/6形	
656	土器器	土鍋	国産	-	-	-	一話	口縁-別紙破片	
656	弥生土器	器	香地	-	-	-	一話	弥生時代後期	
656	土師質土器	?	香地	(6.6)	(7.0)	2.3	一話	1/2形	
656	土師質土器	煎のつまみ	香地	2.4	3.6	1.9	一話	8c後半~9c前半	
656	土師質土器	煎?	香地	(7.9)	(6.0)	2.6	一話	1/3形	54
657	?	穴鉢	香地	-	-	-	一話		
657	瓦質	埴輪	香地	(6.0)	-	2.2	一話	スス付形?	
657	?	フイゴの羽口	香地	2.7	-	3.8	一話	内側が熱で赤変	
657	煎器器	?	香地	煎器のみ4.6X7.5	-	-	一話	8~9世紀?	
657	煎器器	?	香地	別紙5, 1X1.1	-	-	一話	9世紀	

8次調査区遺物観察表(土製品)

発掘No	品 種	材質	寸法(単位cm)			重量(g)	遺跡名	備 考	調査No
			長さ	内径	幅				
650	土製品	土製		8	幅 6.3	厚 4.3-5.5		SK-115	
657	土鉢	土製	長	6.0	幅 1.6	口径 0.6	4.9	SK-133	
657	土鉢	土製	長	4.2	幅 1.4	口径 0.9	2.8	SK-133	1/2穴通
657	土鉢	土製	長	3.0	幅 1.5	口径 0.7	3	SK-133	1/2穴通
632	土鉢	土製	長	5.1	幅 1.2	口径 0.4	6.4	聖地層	
632	土鉢	土製	長	6.2	幅 1.3	口径 0.2	8.7	聖地層	
632	メンコ	土製	長	4.9	幅 5.15	厚 1	-	聖地層	弥生時代

8次調査区遺物観察表(金属製品・石製品)

発掘No	品 種	材質	寸法(単位cm)			重量(g)	遺跡名	備 考	調査No
			長さ	直径	厚				
519	銅製品	銅	直径	1.2	厚 1.1	厚 0.6	-	SD-103	
519	銅製品	銅	直径	1.2	厚 0.7	厚 0.6	-	SD-103	
520	茶臼	安山岩	直径	-	厚 -	厚 -	-	SD-103	年産形
520	茶臼	安山岩	直径	-	厚 -	厚 -	-	SD-103	上の径10cm片
520	石鍋	滑石	直径	-	厚 -	厚 -	-	SD-103	
520	石鉢	緑島片岩	直径	9.0	幅 6.7	厚 2.0	193.3	SD-103	
520	石鉢		直径	10.3	幅 8.4	厚 -	231.7	SD-103	縄文時代
520	火打ち石?	石英	直径	6.2	幅 5.4	厚 -	184.1	SD-103	
520	磨石?		直径	8.3	幅 7.5	厚 4.9	144.1	SD-103	
521	磨製石		直径	(5.4)	幅 (5.3)	厚 (3.8)	137	SD-103	
532	磨製石	金剛	直径	5.8	幅 5.4	厚 3.8	134.6	SD-101	
532	磨製石	金剛	直径	6.4	幅 9.1	厚 4.4	284	SD-101	
532	磨製石	金剛	直径	5.4	幅 6.9	厚 3.7	166.6	SD-101	
532	火打ち石	チャート	直径	4.8	幅 4.5	厚 2.0	56.1	SD-101	
532	火打ち石	チャート	直径	2.0	幅 3.4	厚 1.2	8.9	SD-101	
536	磨製石		直径	6.7	幅 5.2	厚 2.3	92.9	SD-106A	
536	磨製石		直径	5.3	幅 4.0	厚 2.4	53.1	SD-106A	
545	銅	鉄	直径	1.1	厚 1.2	-	4.2	SK-105	
509	金具	金属	長	1.6	-	厚 0.4	2.7	SK-116	
629	石臼	安山岩	-	-	-	-	-	重層土坑	
632	鉄製品	鋼	長	3.7	-	-	1.7	聖地層	
632	石鍋	滑石	-	-	-	-	9	聖地層	
652	鉄釘	鉄	長	6.2	-	-	9.1	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	5.3	-	-	2.4	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	6.2	-	-	4.2	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	6.1	-	-	3	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	3.4	-	-	1.2	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	3.9	-	-	3.2	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	4.2	-	-	1.8	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	4.5	-	-	2.5	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	1.4	-	-	0.3	SE-102	
652	鉄釘	鉄	長	1.1	-	-	0.1	SE-102	
657	磨石	緑泥片岩	直径	14.8	幅 5.4	厚 1.7	220	一話	

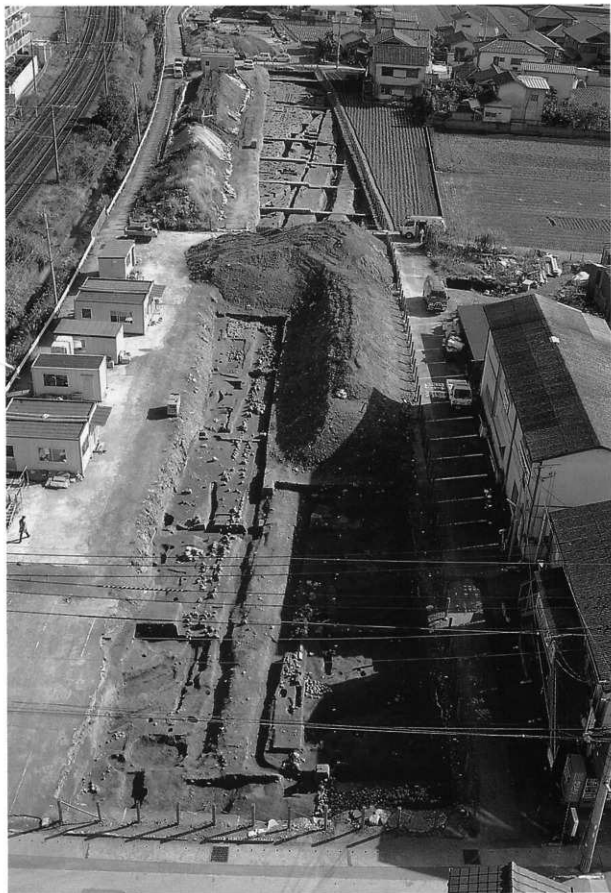
8次調査区遺物観察表(瓦類)

種別No.	品名	部位	寸法(単位cm)				遺物名	備考	図解No.		
			長さ	幅	厚さ	重さ					
518	瓦	丸瓦	長さ	10.9	幅	10.3	厚さ	3.6	SD-103	破片・黒コビキA	
518	瓦	軒丸瓦	長さ	7.1	幅	6.2	厚さ	2.7	SD-109	破片	
516	瓦	平瓦	長さ	7.5	幅	11.2	厚さ	3.1	SD-103	破片黒コビキA	
516	瓦	平瓦	長さ	7.1	幅	6.6	厚さ	1.9	SD-103	黒コビキA	
516	瓦	平瓦	長さ	3.4	幅	5.9	厚さ	2.1	SD-103	破片黒コビキA	
517	瓦	筒	長さ	15.0	幅	18.4	厚さ	2.9	SD-103	破片筒・黒ナデ	
517	瓦	平瓦	長さ	9.9	幅	12.7	厚さ	2.0	SD-103	破片筒・黒ナデ	
517	瓦	平瓦	長さ	9.9	幅	12.6	厚さ	2.1	SD-103		
518	瓦	平瓦	長さ	13.3	幅	10.1	厚さ	1.7	SD-103	破片筒・黒ナデ	
518	瓦	平瓦	長さ	8.4	幅	8.2	厚さ	1.6	SD-103	破片黒コビキA	
528	瓦	丸瓦	長さ	13.3	幅	6.7	厚さ	3.5	SD-101	黒ナデ黒コビキ目	
528	磚		長さ	9.2	幅	7.2	幅	3.6	SD-101	黒ナデ黒コビキ目	
528	磚		長さ	5.4	幅	5.1	幅	2.2	SD-101	黒ナデ黒コビキ目	
528	瓦	軒平瓦	長さ	5.4	幅	4.2	厚さ	3.5	SD-101		
528	瓦	巴瓦	長さ	8.5	幅	9.0	厚さ	2.6-2.5	SD-101	黒ナデ黒布目ナデ	
528	瓦	巴瓦	長さ	5.9	幅	11.1	厚さ	3.2	SD-101	黒ナデ黒布目ナデ	
528	瓦	丸瓦	長さ	9.9	幅	12.1	幅	6.6-2.1	SD-101	黒納目黒布目瓦	
528	瓦	丸瓦	長さ	10.3	幅	10.9	厚さ	2.4	SD-101	黒納目黒布目瓦	
528	瓦	丸瓦	長さ	8.6	幅	8.6	厚さ	2.3	SD-101	黒ナデ黒コビキA	
528	瓦	丸瓦	長さ	3	幅	10.3	厚さ	2.6-2.1	SD-102	黒ナデ黒布目ナデ	
528	瓦	丸瓦	長さ	6.9	幅	8.5	厚さ	2.2	SD-101	黒納目黒布目瓦	
528	瓦	丸瓦	長さ	7.8	幅	6.7	厚さ	1.8	SD-101	黒納目黒布目瓦	
528	瓦	丸瓦	長さ	11.1	幅	10.5	厚さ	2.2	SD-101	黒納目黒布目瓦	
528	瓦	丸瓦	長さ	8.6	幅	11.3	厚さ	2.1	SD-101	黒納目黒布目瓦	
528	古代瓦	丸瓦	長さ	10.3	幅	6.5	幅	1.8	SD-101	黒ナデ黒布目瓦	
544	瓦	平瓦	長さ	10.9	幅	8.8	厚さ	2.0	SK-104	破片・黒ナデ・コビキA黒ナデ	
544	瓦	平瓦	長さ	12.7	幅	9.9	厚さ	2.5	SK-104	黒ナデ・コビキA黒ナデ	
560	瓦	丸瓦	長さ	8.5	幅	8.2	厚さ	1.9	SD-101	黒納目黒布目瓦	
560	瓦	丸瓦	長さ	6.8	幅	8.8	厚さ	1.5	SD-101	黒ナデ黒布目瓦	
560	瓦	丸瓦	長さ	8.7	幅	5.6	厚さ	2.2	SD-101	黒ナデ黒布目ナデ	
560	瓦	丸瓦	長さ	8.7	幅	6.1	厚さ	2.8	SD-101	黒ナデ黒コビキA	
560	瓦	丸瓦?	長さ	11.3	幅	11.1	厚さ	2.0	SD-101	黒布目瓦	
560	瓦	丸瓦	長さ	11.1	幅	11.0	厚さ	2.1	SD-101	黒ナデ黒布目ナデ	
561	瓦	軒丸瓦	長さ	5.5	幅	4.5	厚さ	8.8	SD-101	黒ナデ	
561	瓦	平瓦	長さ	10.9	幅	6.2	幅	1.7	SD-101		
561	瓦	平瓦	長さ	15.2	幅	8.75	厚さ	1.3	SD-101		
561	瓦	平瓦	長さ	10.1	幅	13.2	厚さ	2.1	SD-101	黒ナデ黒コビキA	
561	瓦	平瓦	長さ	9.1	幅	11.4	幅	1.8	SD-101	ナデ	
625	丸瓦	市	長さ	6.4	幅	7.4	幅	6.1		宮城土瓦	
				3.2							
629	瓦	丸瓦	長さ	25.6	幅	15.6	幅	2.4		宮城土瓦	黒ナデ・黒ナデ・布目瓦
632	瓦	平瓦	長さ	—	幅	—	厚さ	—		惣地層	黒ナデ黒布目・黒布目黒布代瓦
632	瓦	平瓦	長さ	11.0	幅	7.9	厚さ	3.4		惣地層	黒ナデ黒コビキA・黒布目瓦
632	瓦	丸瓦	長さ	8.9	幅	8.0	厚さ	2.8		惣地層	黒ナデ
657	瓦	軒平瓦	長さ	11.8	幅	7.9	厚さ	3.4		一様	破片

8次調査区遺物観察表(古銭)

探跡No	銭貨名	初録通年	師・王姓名	遺跡名	重量 (g)	直径 (mm)	形状	備 考	時期
533	元祐通寶	1086	北宋	SD-101	2.2	24.0		新二銭・1083	
533	會德元寶	1004	北宋	SD-101	2.6	24.0			
533	興元通寶	845	唐	SD-101	2.4	23.0		「元」の裏に文字あり 紀地錢	
519	天監元寶	1023	北宋	SD-103	1.8	25.0			
519	?	?	?	SD-103	2.3	23.0			
527	元祐通寶	1078	北宋	宮城土坑	2.6	25.0	行書	長脚孔	
568	咸平元寶	998	北宋	SK-121	3.0	24.0			
569	興元通寶	845	唐	SK-121	2.2	23.0			
568	皇寧通寶	1038	北宋	SK-121	2.4	24.0		真書	
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	2.5	24.0		真書	
565	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	3.5	23.0	行書		
565	聖和元寶	1054	北宋	SK-126	3.8	23.0	真書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	4.1	23.0	篆書		
565	聖寧元寶	1101	北宋	SK-126	3.3	23.0	行書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	4.2	23.5	真書		
565	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	2.7	24.0	篆書		
565	聖道元寶	995	北宋	SK-126	2.1	21.0	行書		
565	天監元寶	1023	北宋	SK-126	3.0	24.0	真書		
565	咸平元寶	998	北宋	SK-126	4.0	23.0			
565	天監元寶	1023	北宋	SK-126	3.5	24.0	真書		
565	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.5	24.0	篆書		
565	皇寧通寶	1038	北宋	SK-126	3.5	24.0	篆書		
565	皇寧通寶	1038	北宋	SK-126	4.0	24.0	真書		
565	皇寧元寶	1253	北宋	SK-126	2.6	23.0			
566	治元元寶	1064	北宋	SK-126	3.7	24.0	篆書		
566	紹聖元寶	1094	北宋	SK-126	3.9	23.0	真書		
566	會德元寶	1004	北宋	SK-126	3.7	23.0			
566	興元通寶	621	唐	SK-126	1.7	22.0			
566	興元通寶	621	唐	SK-126	2.2	23.0			
566	元祐通寶	1078	北宋	SK-126	3.4	23.0	行書		
566	皇寧通寶	1038	北宋	SK-126	2.7	23.0	真書		
566	天監元寶	1023	北宋	SK-126	3.3	24.0	篆書		
566	興元通寶	621	唐	SK-126	2.3	23.0			
566	天監〇〇?	?	?	SK-126	1.3		篆書		
566	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	3.8	23.0	行書		
566	興元通寶	621	唐	SK-126	3.2	24.0			
566	會德元寶	1004	北宋	SK-126	3.9	24.0			
566	紹聖元寶	1094	北宋	SK-126	3.3	23.0	行書		
566	淳化元寶	1174	南宋	SK-126	2.9	21.0		背十五	
566	淳化元寶	990	北宋	SK-126	3.9	23.0	行書		
566	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.4	23.0	真書		
566	天久元寶	758	唐	SK-126	2.9	23.0			
567	聖寧元寶	1064	北宋	SK-126	3.9	23.0			
567	興元通寶	621	唐	SK-126	2.6	22.0			
567	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.5	23.0			
567	天監元寶	1023	北宋	SK-126	3.5	23.0			
567	元祐通寶	1078	北宋	SK-126	3.7	24.0	行書		
567	皇寧通寶	1038	北宋	SK-126	3.2	24.0			
567	?	?	?	SK-126	2.2	25.0			
567	熙寧元寶	1068	北宋	SK-126	3.7	23.0			
567	元祐通寶	1086	北宋	SK-126	2.3	2.1			
567	天監元寶	1023	北宋	SK-126	3.0	24.0			
567	皇寧通寶	1038	北宋	SK-126	2.6	24.0	真書		
567	興元通寶	621	唐	SK-126	1.7	17.0			
607	聖和元寶	1054	北宋	SK-133	2.5	22.0			

# 写 真 图 版



中世大友府内町跡第5次調査区全景



SD101・SX102・SD103全景 (1999年度)



SX102撤去後 (1999年度)



SD101・SX102・SD103全景① (2000年度)



SD101・SX102・SD103全景② (2000年度)



SX102撤去後① (2000年度)



SX102撤去後② (2000年度)





SX102検出状況



SX102土層



SD101コーナー遺物出土状況①



SD101コーナー遺物出土状況②



SD428遺物出土状況



SD428・SD429



SD428・SD429土層



SD152



SD152土層



SD425土層



SD425検出



SD425完掘



SD153人骨出土状況



SD411~413検出状況



SD151人骨出土状況①



SD411~413完掘



SD151人骨出土状況②



SD431石塔類出土状況



SD431完掘



SK001



SK026



SK027



SK006



SK012



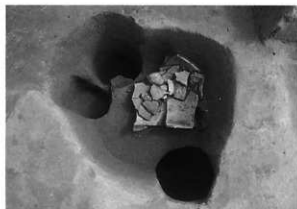
SK012金箔貼り京都系土師器出土状況



SK030



SK024



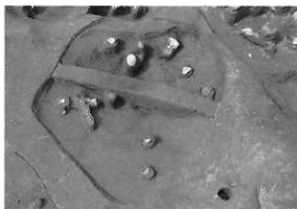
SK028



SK028出土遺物近景



SK035



SK031



SK032



SK049 (礎石廃棄土坑)



SK049礎石近景①



SK049礎石近景②



SK004・SD405



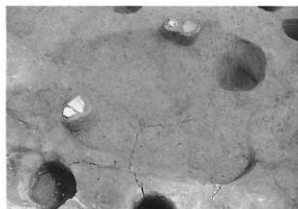
SK002



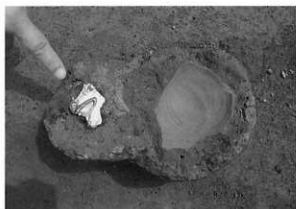
SK003



SK003遺物出土状況



SK053



SK053遺物(磁州窯系陶器)出土状況



SK034



SK036



SK029



SK025



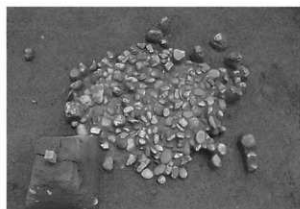
SK038



SK019



SX628



SX629



SX630



SX632



SX635



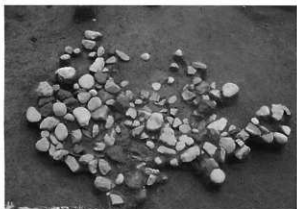
SX625



SX626



SX638



SX620



SX618



SX617・SX618①



SX617・SX618②





SX622



SX634



SX649



SX619



SX645a



SX633



SX627



SE500上面



SE500完掘



SE501掘り下げ



SE500断ち割り



SE502



SE505検出(上面に大型の礫が覆う)



SE505転用石塔(近畿・瀬戸内地域からの搬入)



SE505完掘



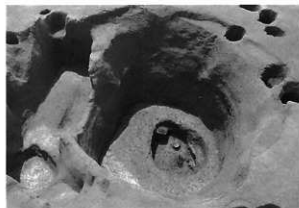
SE514



SE506土層断面



SE506竹の出土状況



SE506完掘



SE503



SE503結桶出土状況



SE511



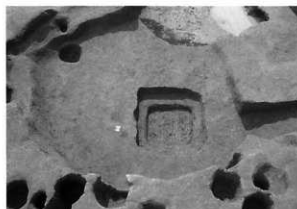
SE504



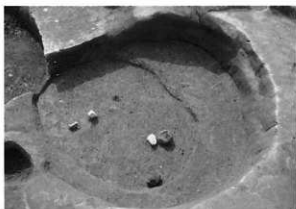
SE513



SE512



SE510



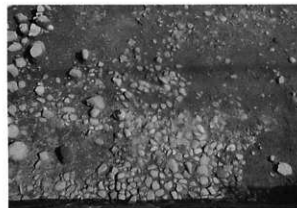
SE508



SF650 (近世初頭~前業段階の路面)



SF650 (中世段階の路面)



SF650近景 (中世段階のバラス敷き部分)



SF650断面 (調査区西壁部分)



備前系陶器壺  
(第31図9参照)

備前系陶器広口壺  
(第31図10参照)

SK028出土  
備前系陶器壺  
(第96図)

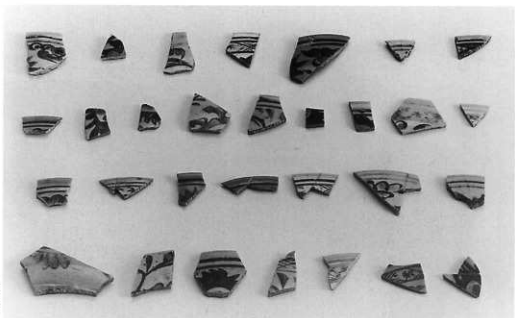
備前系陶器水屋甕  
(第227図23参照)

青花瓶  
(第29図1参照)

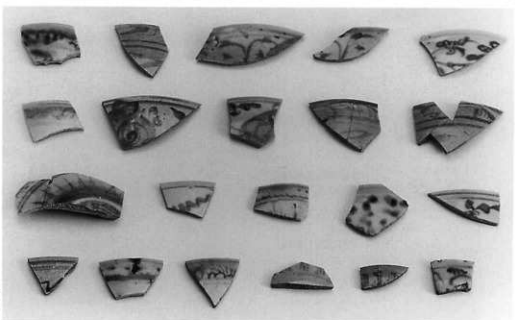




SD428出土  
土師質土器  
(第43・44図  
88~102)



SD428出土五彩  
(第42図  
1~31)



SD428出土青花  
(第42図  
32~52)

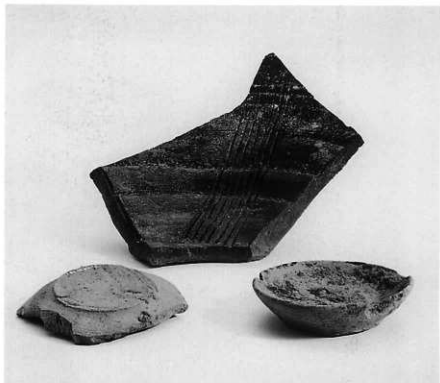


集合写真

京都系土師器	在地系土師質土器 (第53図9参照)
京都系土師器 (第53図18参照)	在地系土師質土器 (第53図16参照)
	在地系土師質土器 (第53図17参照)



SD153第1集中部上層・下層出土土師質土器 (第53図参照)



SD153第1集中部  
東側出土遺物  
(第53図1～3参照)



SD153第1集中部  
最下層出土漆器椀  
(第54図19参照)



SD153出土漆器椀  
(第56図61参照)





SD411出土遺物  
集合写真  
(第71図参照)



SD411出土  
在地系土師質土器  
(第71図1参照)



SD411出土  
京都系土師器  
(第71図7参照)

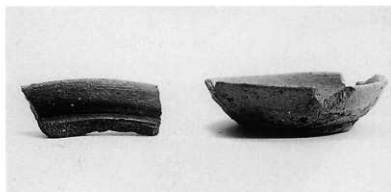




SD151出土白色系土師質土器皿 (第64図76~78参照)



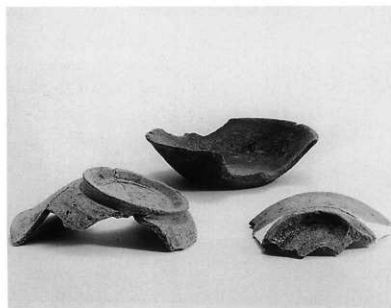
SK013出土遺物 (第120図参照)



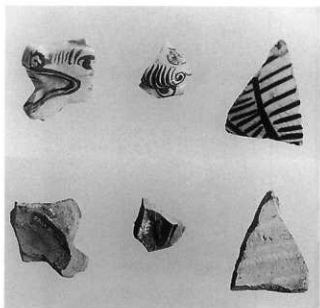
SK009出土遺物 (第129図参照)



SX633出土泥塔 (第180図4参照)



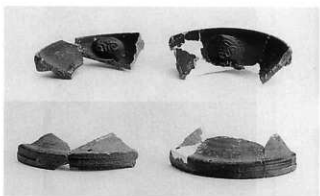
SK019出土遺物 (第140図参照)



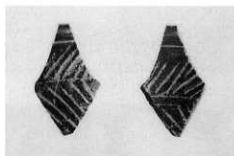
磁州窯系陶器  
(第124図1・第220図35・36参照)



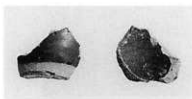
唐津系陶器 (第226図2参照)



黒釉陶器蓋 (第220図39・40)



彫三島茶碗 (第225図89参照)



黒釉陶器小壺 (茶入)  
(第220図48参照)



用途不明銅製品  
(第236図6)



石帯 (丸柄) (第234図18参照)



小銅仏 (第236図1参照)



椀子把手金具 (第236図2参照)



分銅・鉛玉 (第236図14・16参照)



平成12年度調査区



SX102



SX102土層断面



SX102石列



SD151



SD151



SD151土層断面



SD153



SD153



SD153



SD105遺物出土状況



SD105遺物出土状況



SD114



SD105遺物出土状況



SD105遺物出土状況



SD151泥塔出土状況



SD151人骨出土状況



SD105土層断面①



SD105土層断面②



SD123土層断面①



SD123土層断面②



SD145土層断面①



SD145土層断面②



SD145



SD145



SD145全箱土師器出土状況



SD310



SD310土層断面①



SD310土層断面②



SK127



SK129



SK202



SK106



SK302



SK214・SK215・SK216検出状況



SK214・SK215・SK216





SK304



SK229



SK227



SK226



SK222



SK306



SK206



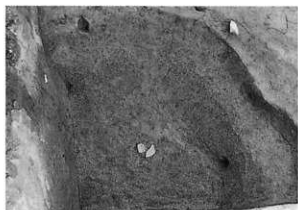
SK205



SK204



SK146



SK126



SK125



SK121



SK303



SK245



SK230



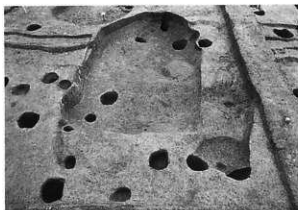
SK150



SK217



SK133



SK133完掘状況



SK236



SK252



SE220



SE220



SE220



SE220



SE221



SE221



SE221



SE221



SE27



SE27



SE248



SE248井筒



SE132



SE132井筒



SE203



SE203



SE108



SE108



SE108半截状況



SE108完掘状況



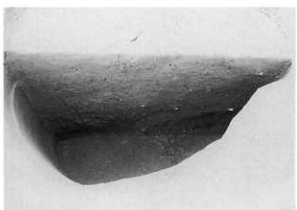
SE119



SE119



SE142



SE228



SE249検出状況



SE249完掘状況



SE259



SE238



SE238



SE238井筒



SE238井筒



SE238完掘状況



SX270検出状況



SX270



SX270楕銭



SX270楕銭近景



SX253検出状況



SX253



SX253楕銭



SX134





SX131



SX170



SX143



SX308



SX301



SX301



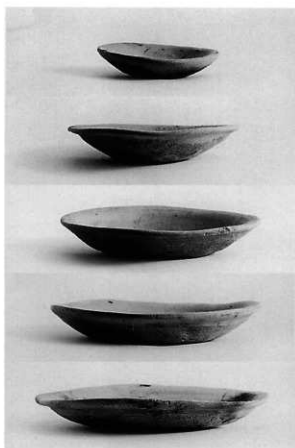
SX258



SX307



SD105出土京都系土師器① (第270~273図)



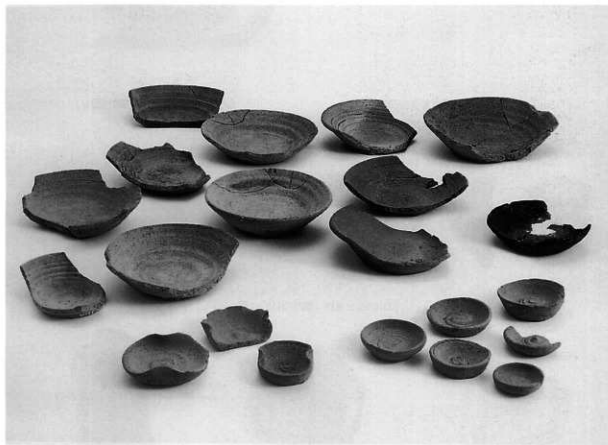
SD105出土京都系土師器② (第270~273図)



SK106出土京都系土師器 (第318図)



SK229出土遺物 (第334図1・2)



SK230出土遺物① (第380～381図)



SK230出土遺物② (第381図11～13)



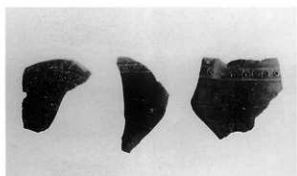
SK230出土遺物③ (第380図)



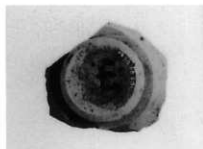
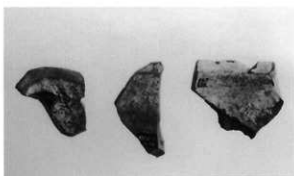
SX113出土墨書京都系土師器 (第453図23)



SE221出土瓦質火鉢 (第417図5)



SD103出土遺物 (第267図15~17)



SD151出土土目茶碗 (第292図13)



SD151出土泥塔 (第298図1)



SD123出土遺物 (第288図1)



SX633・SD151出土泥塔 (第180図4・298図1)



SX143出土遺物 (第465図2)



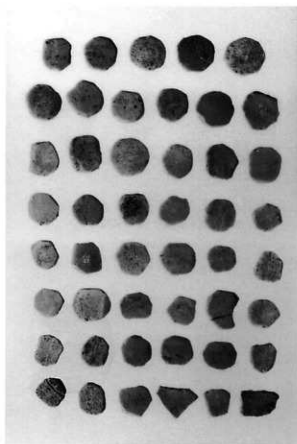
SX134出土遺物 (第445図)



SX301出土遺物 (第449図)



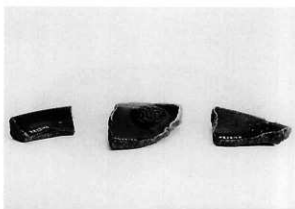
SK252出土遺物 (第404図)



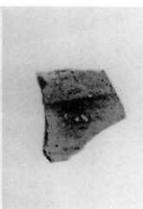
SX170出土遺物 (第447図)



SK236出土遺物 (第406図)

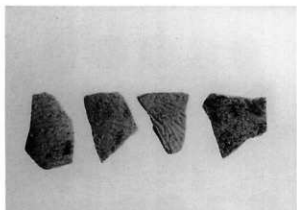


包含層出土遺物① (第476図2~4)



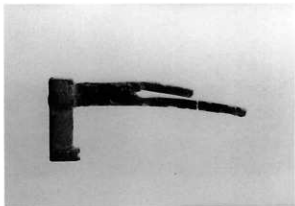
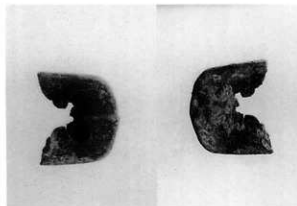
包含層出土遺物② (第476図7)

包含層出土遺物③ (第476図27)



包含層出土遺物④ (第476図22~25)

包含層出土遺物⑤ (第476図26)



包含層出土遺物⑥ (第488図12)

SD103出土遺物 (第269図5)



SD101全景



SD101東から



SD101西から



SD102



SD103



SD103南から



SD103北から



SD103増堀出土状況



SD105東側



SD105西側



SD106全景



SD106A



SD106B



SD107



SD108





SK101完掘状況



SK102・103遺物出土状況



SK102・103完掘状況



SK104・105遺物出土状況



SK105遺物出土状況



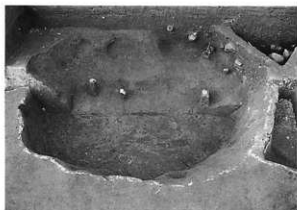
SK106



SK107遺物出土状況



SD108土層断面



SK109



SK110遺物出土状況



SD111遺物出土状況



SD111完掘状況



SD112遺物出土状況



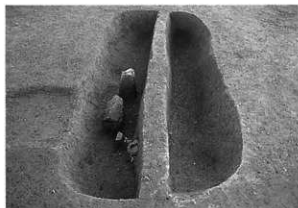
SD112完掘状況



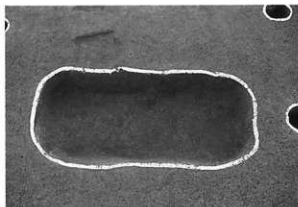
SK113完掘状況



SK114遺物出土状況



SK115遺物出土状況



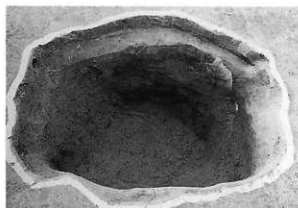
SK115完掘状況



SK116完掘状況



SK117完掘状況



SK118完掘状況



SK120



SK121遺物出土状況



SK122~124遺物出土状況



SK122~124完掘状況



SK125



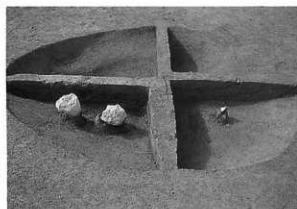
SK126銭出土状況



SK126完掘状況



SK127遺物出土状況



SK128遺物出土状況



SK128完掘状況



SK130



SK131



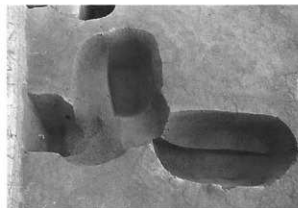
SK132西から



SK133遺物出土状況



SK133完掘状況



SK134・135・136完掘状況



SK137完掘状況



SK138遺物出土状況



SK138完掘状況



SK139遺物出土状況



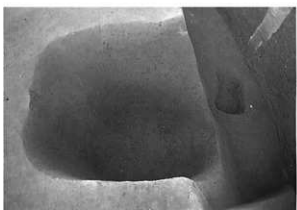
SK140遺物出土状況



SK141遺物出土状況



SK142完掘状況



SK143完掘状況



SK144完掘状況



SK145完掘状況



SK146完掘状況



SK147遺物出土状況



SK148完掘状況



東端土坑群



土壘状遺構



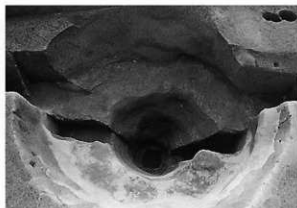
SX101



SX103



SE101



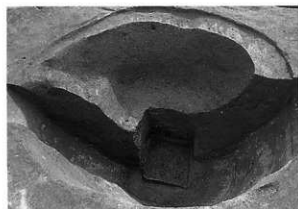
SE101完掘状況



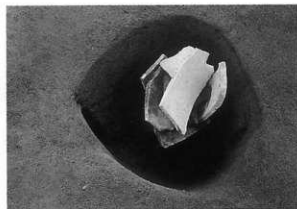
SE102



SE102



SE102全景

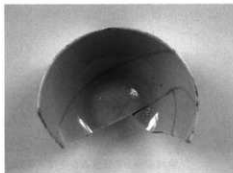
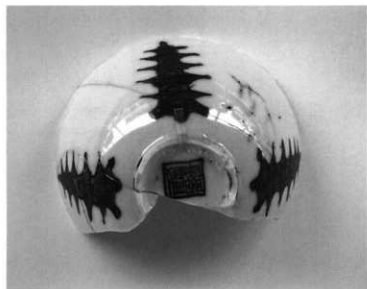


SP100遺物出土状況



作業風景





SK110出土景德鎮系青花碗 (第553図)



中国産翡翠釉小皿 (第509図)



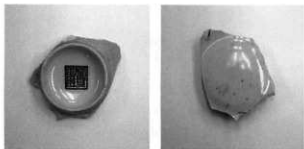
SD103出土中国産青磁皿 (第509図)



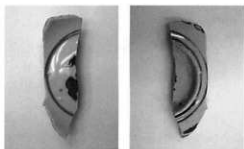
上 SK109出土天目茶碗 (第551図)



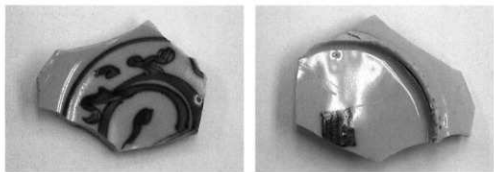
左 東端土坑群出土 志戸呂焼天目茶碗 (第628図)



整地層出土景徳鎮系青花碗 (第630図)



SD103出土景徳鎮系青花皿 (第509図)



一括出土景徳鎮系青花皿 (第656図)



SD103出土彭州窯系青花皿 (第509図)



SD101出土中国産白磁皿 (第524図)



SD106A 出土粉青砂器 (第536图)



整地层出土備前系德利 (第624图)



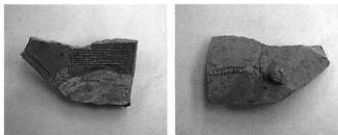
SK110出土中国産褐色釉陶器 (第553图)



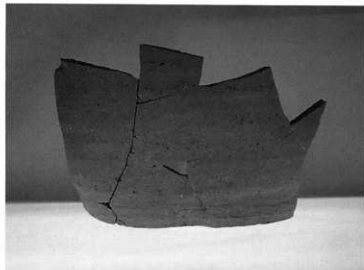
SD103出土朝鮮産陶器椀 (第509图)



SE101出土瀬戸美濃系深皿 (第655图)



SD101出土瀬戸美濃系卸皿 (第524图)



SP100出土備前系焼締陶器大甕 (第646図)



SD103出土備前系焼締陶器甕 (第512図)



SD101出土備前系  
焼締陶器注口部  
(第524図)



整地層出土タイ産焼締陶器  
(第523図)



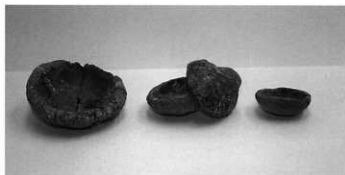
SD101出土瓦質土器火鉢脚 (第527図)



SD101出土瓦質土器火鉢脚 (第527図)



土師質土器小皿蓋 (第656図)



SD103出土埴塼 三法量 (第521図)



SD108出土銅銭  
(第523図)

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	ふんごふないしちゆうせいおむともふないまちあとだいらじ・だいじちようさく
書名	豊後府内1 中世大友府内町跡第5次・第8次調査区
副書名	大分駅付近連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	(2)
シリーズ名	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第1集
編著者名	坂本嘉弘・吉田寛・植島隆二・甲斐寿義・石川健・田中良之・山田拓伸
編集機関	大分県教育庁埋蔵文化財センター
所在地	〒870-1113 大分市中判田1977
発行年月日	西暦2005年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
中世大友 府内町跡 第5次調査	大分市六坊北町	322	051	33° 13' 32"	131° 37' 08"	1999年 9月 ～ 2001年 12月	4,200	大分駅 周辺連続 立体交差 事業
中世大友 府内町跡 第8次調査	大分市元町	322	051	33° 13' 32"	131° 37' 13"	2000年 4月 ～ 2001年 3月	2,000	大分駅 周辺連続 立体交差 事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中世大友 府内町跡 第5次調査	中世都市	中世	柱穴群・溝・道路 ・土坑・井戸	金箔貼り京都系土師器・華 南三彩・小銅仏・分銅	林小路町関連の遺構 ・御蔵場北端の区画 遺構(?)を検出
中世大友 府内町跡 第8次調査	中世都市	中世	溝・井戸・土坑・ 土塁状遺構	コンタ(ガラス玉)・地藏 菩薩像	大友氏館跡と御蔵場 の間の空閑地(?)

要 約	<p>大友府内町跡第5次調査では柱穴群・溝・道路・土坑・井戸など、「林小路町」関連の遺構や「御蔵場」北端の区画(?)と考えられる遺構を検出した。中世大友府内町跡第8次調査では大友氏館跡と御蔵場の間の空閑地と推定される地点の調査であったが、大規模な堀状の遺構や土塁状遺構を検出し、その性格の解明が今後の課題となった。</p>
-----	---

---

---

# 豊後府内 1

中世大友府内町跡第 5 次・第 8 次調査区

大分駅付近連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2)

大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第 1 集

平成17年 3 月31日

編集・発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター  
〒870-1113  
大分市字中判田字ビワノ門1977番地  
TEL (097) 597-5675

印刷 佐伯印刷株式会社  
〒870-0844  
大分市古国府1155-1  
TEL (097) 543-1211

---

---

(X = 25592.899m)  
X = 25220m

(V = 57398.840m)  
Y = 57620m

(V = 57418.840m)  
Y = 57640m

(V = 57438.840m)  
Y = 57660m

(V = 57458.840m)  
Y = 57680m

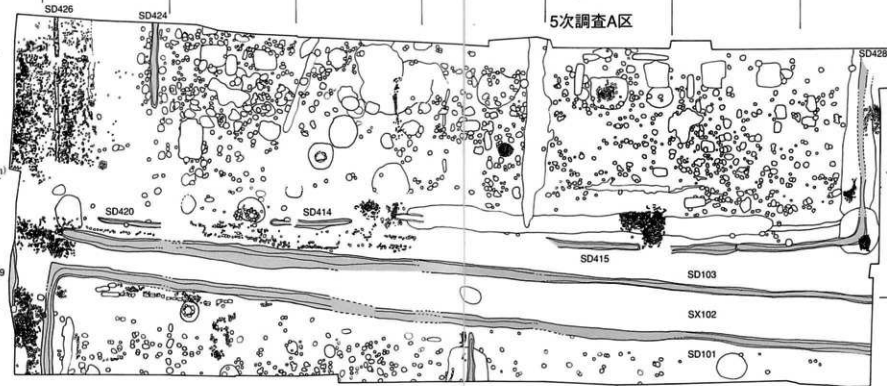
D

C

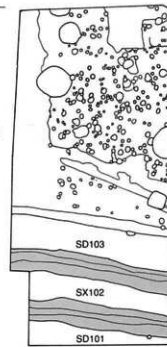
(X = 25572.899m)  
X = 25200m

B

A



5次調査区



(X = 25552.899m) 98  
X = 25180m

99

0

1

2

3

4

5

6

N= 57478.840m  
Y= 577700m

N= 57498.840m  
Y= 577200m

N= 57518.840m  
Y= 577400m

N= 57538.840m  
Y= 577600m

N= 57558.840m  
Y= 577800m

5次調査区

SD145

SD301

SD  
108

7

8

9

10

11

12

13

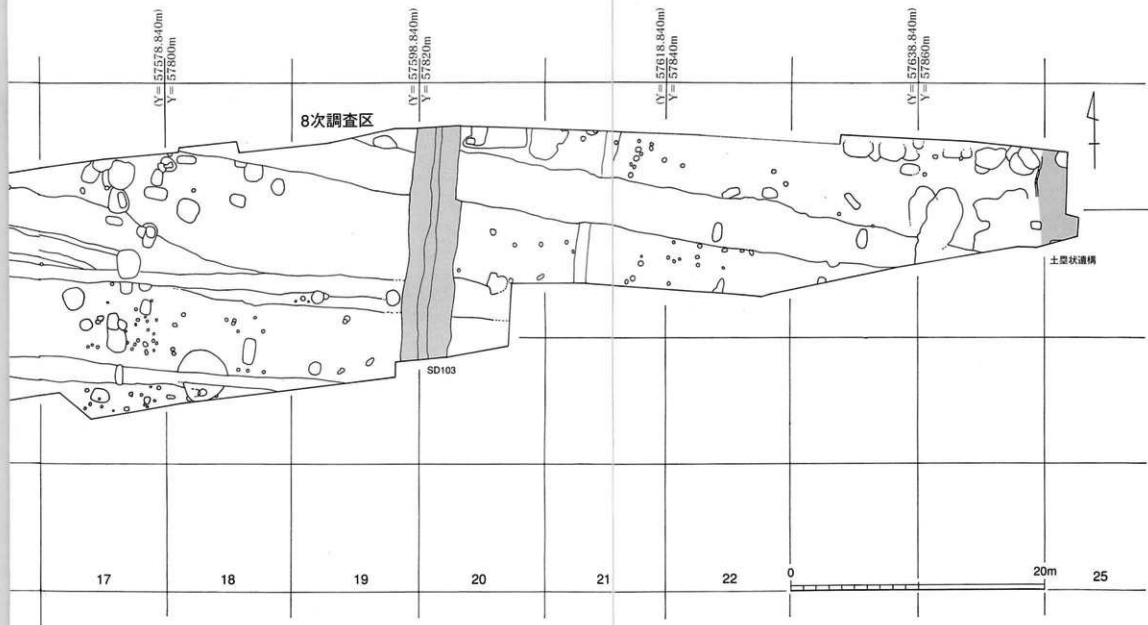
14

15

16







付図 中世大友府内町跡第5次・第8次調査区遺構配置図 (1/300)  
 (網掛けは16世紀後葉～末葉の溝および土塁状遺構)